

Cisco TelePresence IX5000 および IX5200 設置ガイド

改訂: 2014 年 12 月 16 日



設置手順

	Installer 1	Installer 2
8 a.m.	Move packaging and unpack (8 – 9:30 a.m.)	
9 a.m.		
10 a.m.	Assemble and level lower and upper display frames (lower frames 9:30 – 10 a.m., upper frames 10 – 10:20 a.m.)	
11 a.m.	Install cable runner base and table structure assembly (10:20 – 11:30 a.m.)	Install pillars, crossbars, rear kick plate and toe cap (10:20 – 11 a.m.), codec, woofer, speakers, optional switch (11 – 11:30 a.m.)
12 noon	Initial cabling of table assembly (11:30 – 12 noon)	Initial endpoint cabling (11:30 – 12 noon)
1 p.m.	Install displays, final endpoint cabling, structure leveling (1 – 1:30 p.m.)	
	Install front kick plates (1:30 – 1:45 p.m.)	Install camera and light panels (1:30 – 1:45 p.m.)
2 p.m.	Install tabletops (1:45 – 2:15 p.m.)	
3 p.m.	Install software on endpoint and register to UCM, assist Installer 2 with install tasks, reboot system (2:15 – 3:30 p.m.)	Install table electronic components (mic bars, mute buttons, cable retractor, metal cable covers) (2:15 – 3 p.m.)
4 p.m.	First-time setup (camera tuning, white board setup, speaker and light testing), assist with final installation and cleanup tasks 3:30 – 4:15 p.m.	Final installation (thermoformed panels, fascia, camera cover, and cable cap), begin cleanup (3 – 4:15 p.m.)
5 p.m.	Run test calls, complete final installation, complete room cleanup 4:15 – 5 p.m.	

設置のクイック リファレンス

1. 梱包材を動かし、開梱します (2 名必要)。
2. 下側のディスプレイ フレームを設置します (2 名必要)。
3. (耐震ブラケットを含むシステムのみ) 耐震ブラケットを測定し、ドリルで穴を開け、設置します (「耐震ブラケットの取り付け」、ページ 173 を参照) (2 名必要)。
4. 上側のディスプレイ フレームを設置します (2 名必要)。
5. ケーブル ランナーを設置します。
6. 上側のクロスバー、背面キック プレート、トゥー キャップを設置します。
7. エンドポイント構造に、コーデック、PDU、サブウーファー、スピーカー、オプションのエンドポイント スイッチを設置します。
注: エンドポイント構造のスイッチは省略可能なアイテムです。Touch 10 デバイスには、Touch 10 デバイスに接続するテーブル脚にスイッチが必要です。
8. 第 1 列テーブルのテーブル脚と電子機器 (テーブル脚のイーサネット / 電源モジュール、TDM、PoE スイッチ) を設置し、テーブルのケーブル配線手順を開始します (一部の手順に 2 名必要)。
9. 設置されているすべての機器 (エンドポイント構造のコーデック、PDU、サブウーファー、スピーカーと、電源 / ラップトップの接続、およびテーブル脚の PDU) のケーブル配線を行い、照明パネルとカメラ用のケーブルを配置します。
10. ケーブル配線を含む、ディスプレイ、照明パネル、カメラを設置します。
11. 前面キック プレートとトゥー キャップを設置します。
12. 第 1 列テーブルトップを設置します (2 名必要)。
13. マイク バー、ミュート ボタン、レトラクター / プレゼンテーションを設置してケーブルを配線します。
14. (IX5200 システムのみ) 第 2 列目テーブルを設置しケーブルを配線します (一部の手順に 2 名必要)。
15. PET、ファスキア、ディスプレイ トリム、熱成形外部パネルを設置します (2 名必要)。

必要な工具

- ・ メートル式のアレン (六角) レンチ セット
- ・ 6 mm T 型ハンドル六角キー
- ・ 7 mm 六角ソケット ドライバ
- ・ 0 番、1 番、2 番、3 番のプラス ドライバ
- ・ 手ばさみと先長プライヤ
- ・ プラス ドライバ ビット / 長ハンドル ネジ ドライバ用のエクステンション
- ・ コードレス ドライバ
- ・ ソケット レンチ セット (メトリック)
- ・ 10 mm、13 mm および 19 mm レンチとモンキー レンチ
- ・ 19 mm の 12 ポイント ラチェット式ボックスエンド レンチ
- ・ アルコール水準器またはデジタル レベル
- ・ 三脚付きレーザー レベル
- ・ 白い手袋 (アクセサリ キットに付属)
- ・ メジャー
- ・ ボックス カッター

オプションの耐震ブラケット用工具

- ・ #3 プラス ドライバ
- ・ ドリルおよび 1/2 インチ (12.7 mm) 超硬ドリル ビット
- ・ 1 1/8 インチ (29 mm) のスパナまたはボックスエンド レンチ、あるいはモンキー レンチ
- ・ 75 フィート ポンド (102 N-m) 以上の容量のトルク レンチ
- ・ 9/16 インチまたは 15 mm のソケット
- ・ メジャー
- ・ ドリルで空けた穴をクリーニングする圧縮空気源 (缶入り圧縮空気も可)

IX5000 および IX5200 の設置に関する重要な注意事項

- IX システムは、TX9000、CTS-3000、または CTS-3010 システムとコンポーネントは似ていますが、設置は大きく異なります。
- ディスプレイの設置方法はまったく異なります。ディスプレイはエンドポイント構造のシェルフおよび水準器に配置します。ディスプレイのスプールは左右のディスプレイ外縁の前後の位置を調整するためだけに使用されます。**ディスプレイを設置する前にスプールの距離を注意深く測定**しないと、スプールをディスプレイ フレームの所定の位置に配置できません。設置後にスプールを内側または外側に調整できます。
- 各ケーブルの両端には参照番号（印字されたラベル）が付いています。ケーブルを取り付ける際は、ケーブル接続図を確認し、ケーブルの各参照番号がテーブルまたはエンドポイント構造の電気部品の正しい参照番号に対応していることを確認します。
- 多くの場合、留め具（ネジ）の取り付けに電動ドライバは使用できません。手動のドライバを使用してください。次のコンポーネントを取り付ける際に、電動ドライバを使用しないでください。
 - スピーカーとスピーカー ブロック
 - 非脱落型ネジを使用したコンポーネント（ケーブル ランナーおよびスピーカー カバー）
 - 多くの熱成形および PET 外部パネルこれらの部品を設置する際は、マニュアルの手順に従ってください。
- このマニュアルでは、左または右は常に、「システムの正面から見て左または右」を意味します。

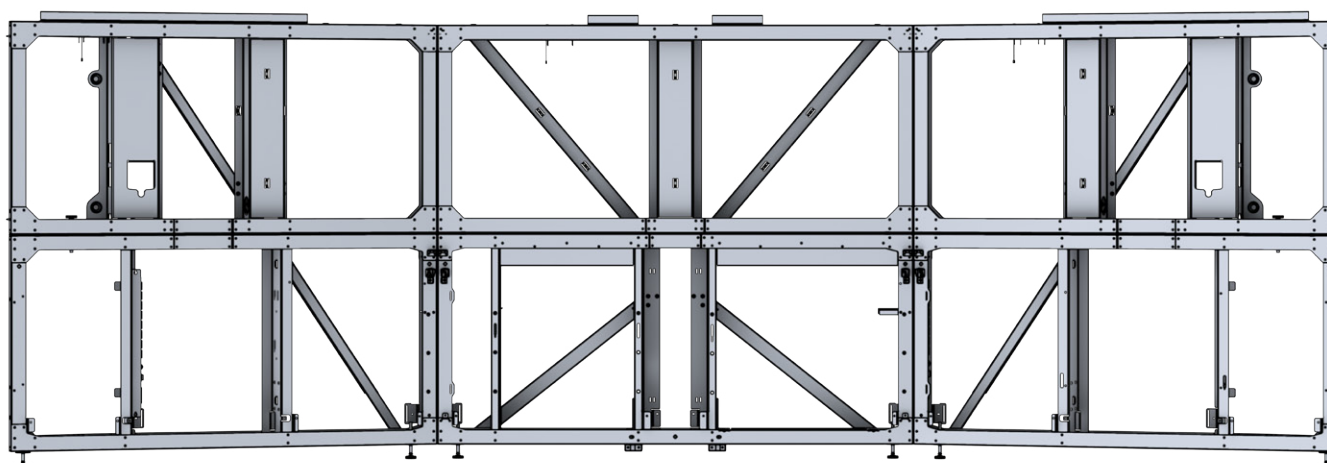
下側および上側ディスプレイ フレームの取り付け

必要な部品

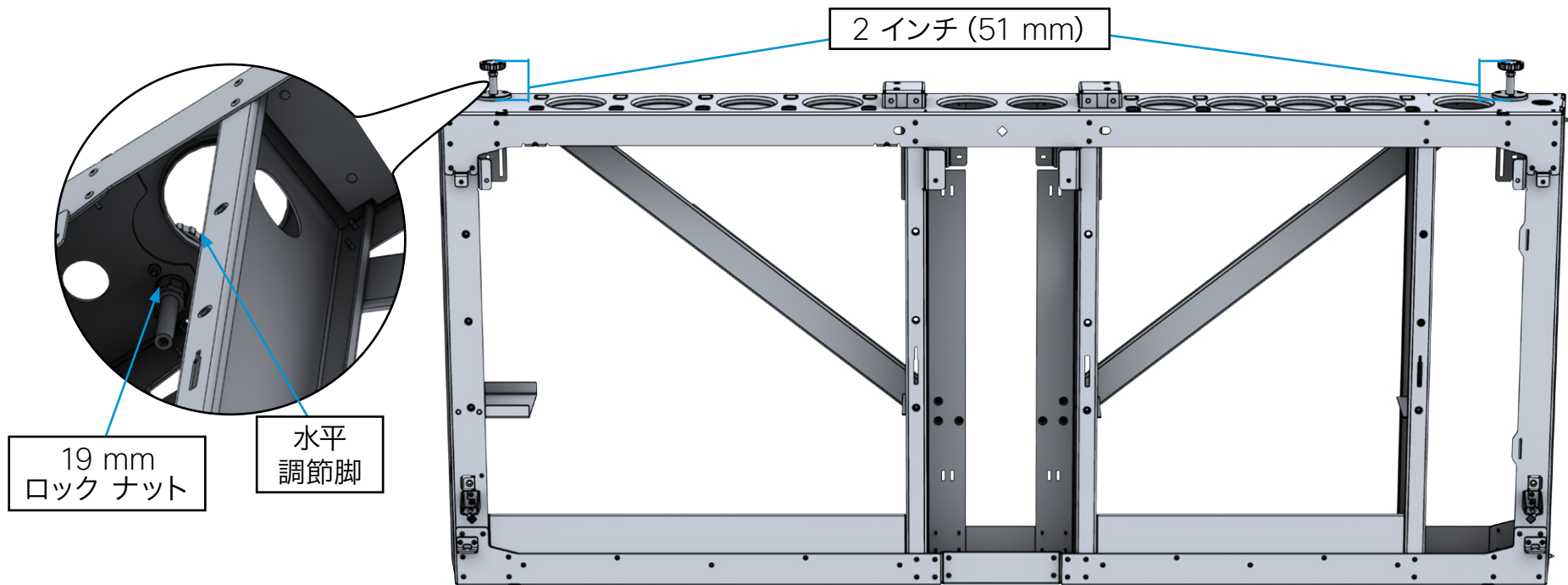
- 1x ずつ左、中央、右下ディスプレイ フレーム (800-40923-xx、800-40920-xx、800-40928-xx)
- 1x ずつ左、中央、右上ディスプレイ フレーム (800-40934-xx、800-40948-xx、800-40941-xx)
- 2x タイ バー 700-43084-xx
- 56x 黒 M8 x 16 mm ネジ 48-3012-xx
- 1x 準拠ラベル 47-27415-xx

必要な工具

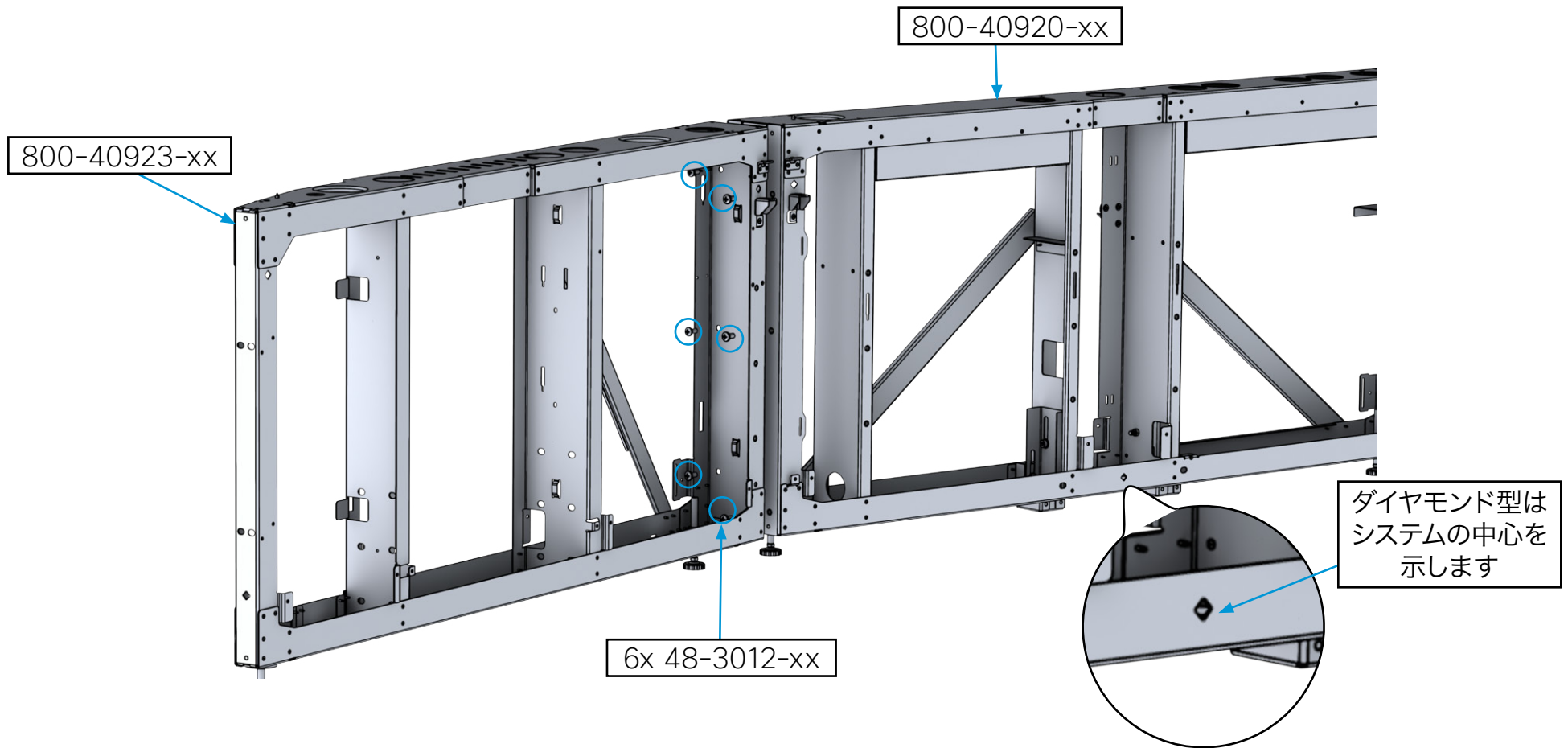
- #3 プラス ドライバ
- 13 mm レンチまたはモンキー レンチ
- 19 mm の 12 ポイント ラチェット式ボックスエンド レンチ
- メジャー
- アルコール水準器
- レーザー レベル



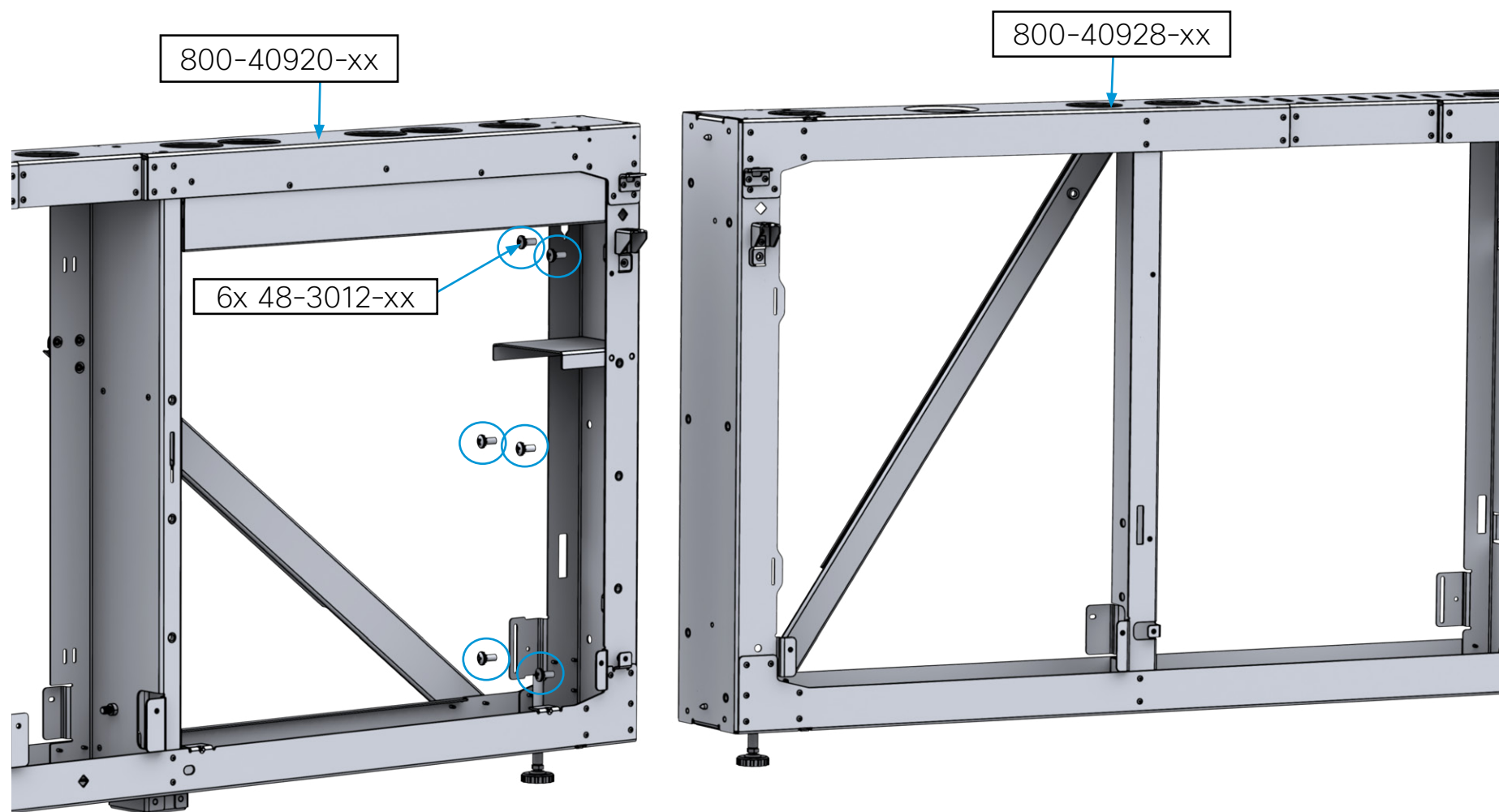
- 1 左、中央、右下のディスプレイ フレーム (800-40923-xx 左、800-40920-xx 中央、800-40928-xx 右) を床に上下逆にして置き、フレームの下から脚の底面まで 2 インチ (51 mm) あることを確認します。調整が必要な場合は、19 mm のロック ナットを緩めます。



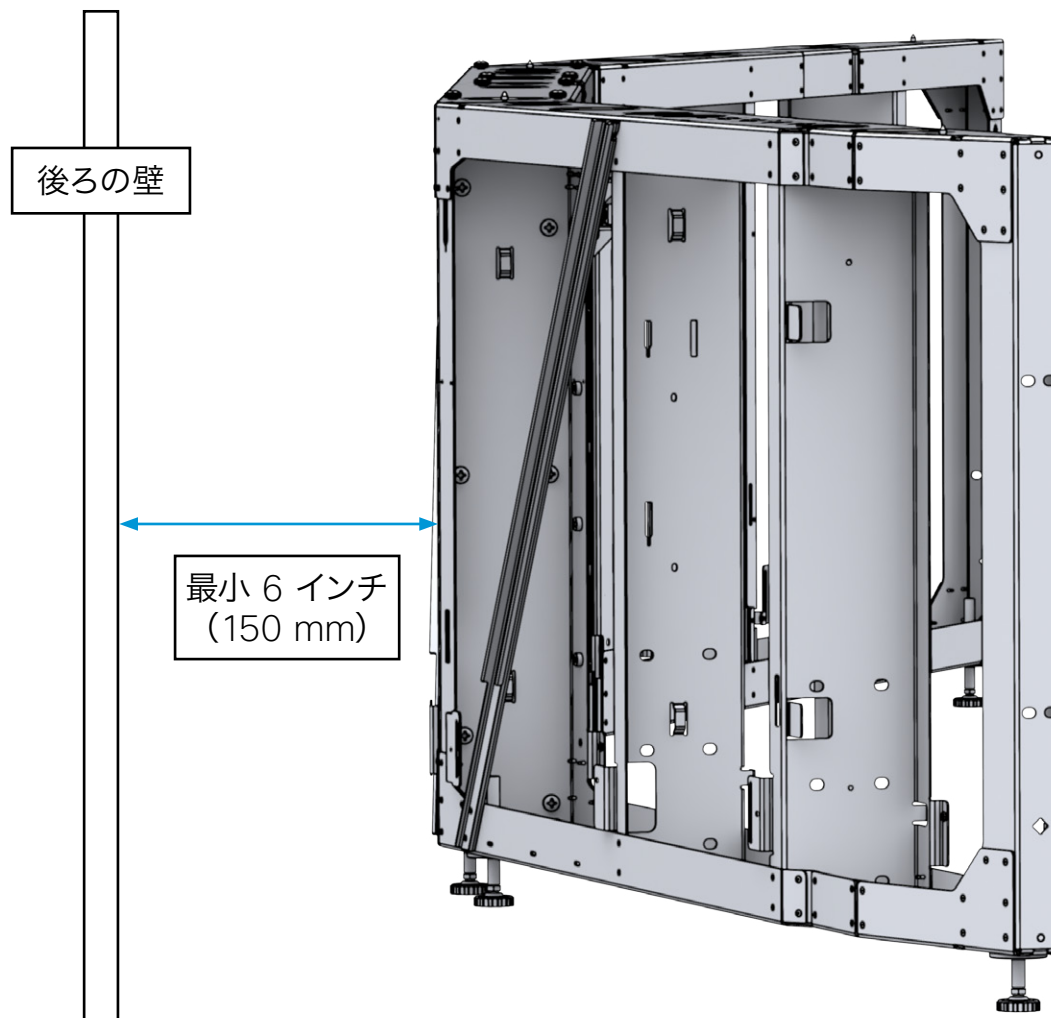
2 システムの中心にする場所に中央フレームを配置します。中央フレームの中心には、この目的でダイヤモンド型が付いています。左下フレーム 800-40923-xx を中央下フレーム 800-40920-xx に取り付けます。800-40920-xx 側面のピンを穴に合わせ、800-40923-xx 側面のスロットに差し込みます。6x 黒 M8 x 16 mm ネジ 48-3012-xx を設置し、#3 プラス ドライバで締めます。



- 3 右下フレーム 800-40928-xx をディスプレイ構造に装着します。800-40928-xx 側面のピンを穴に合わせ、800-40920-xx 側面のスロットに差し込みます。6x 黒 M8 x 16 mm ネジ 48-3012-xx を設置し、#3 プラス ドライバで締めます。

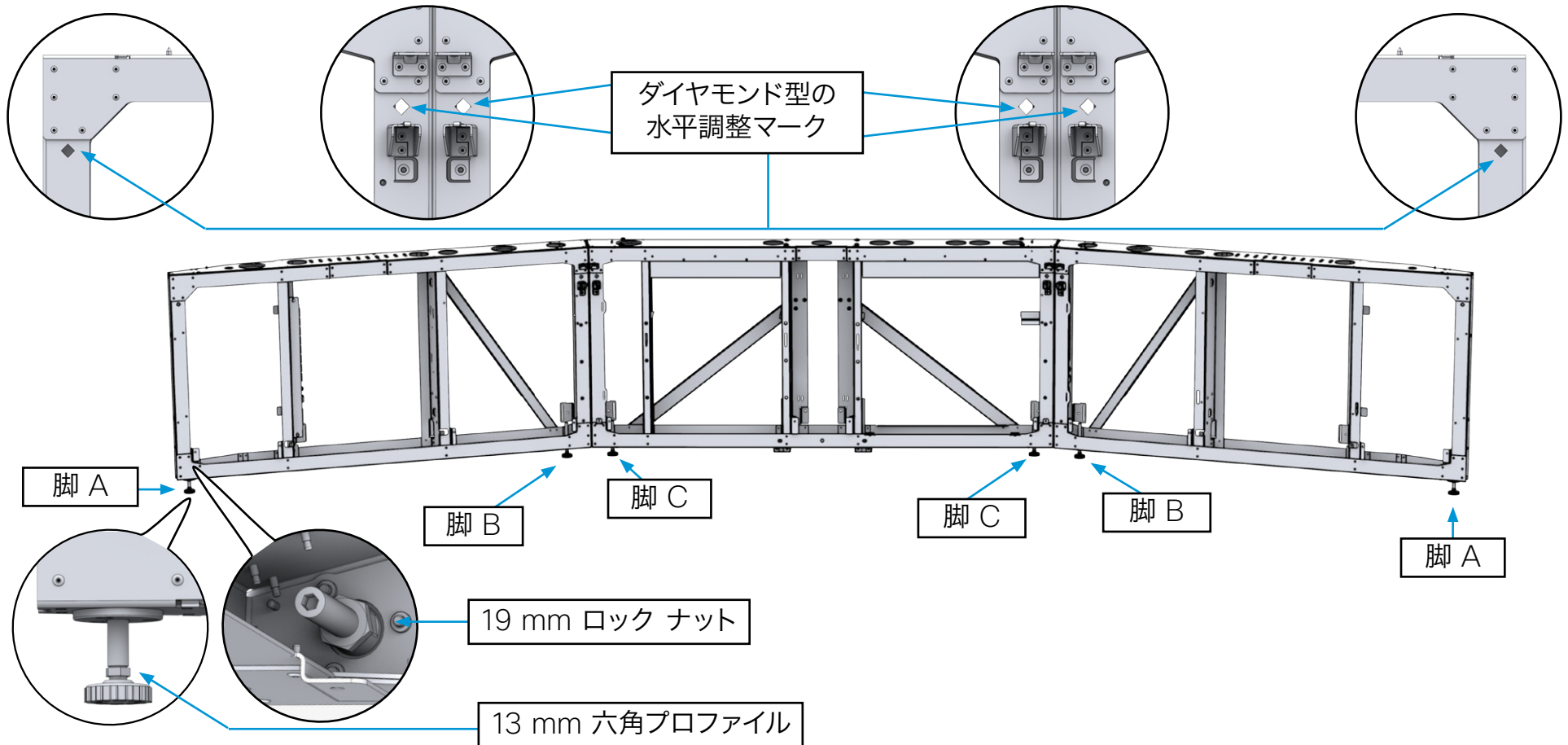


- 4 後の壁からフレームの位置を設定します。フレームの背面から壁までの距離は最低 150 mm (6 インチ) である必要があります。フレームが後ろの壁と平行であることを確認するために 2 カ所 (中央フレームの左側と右側) を測定します。

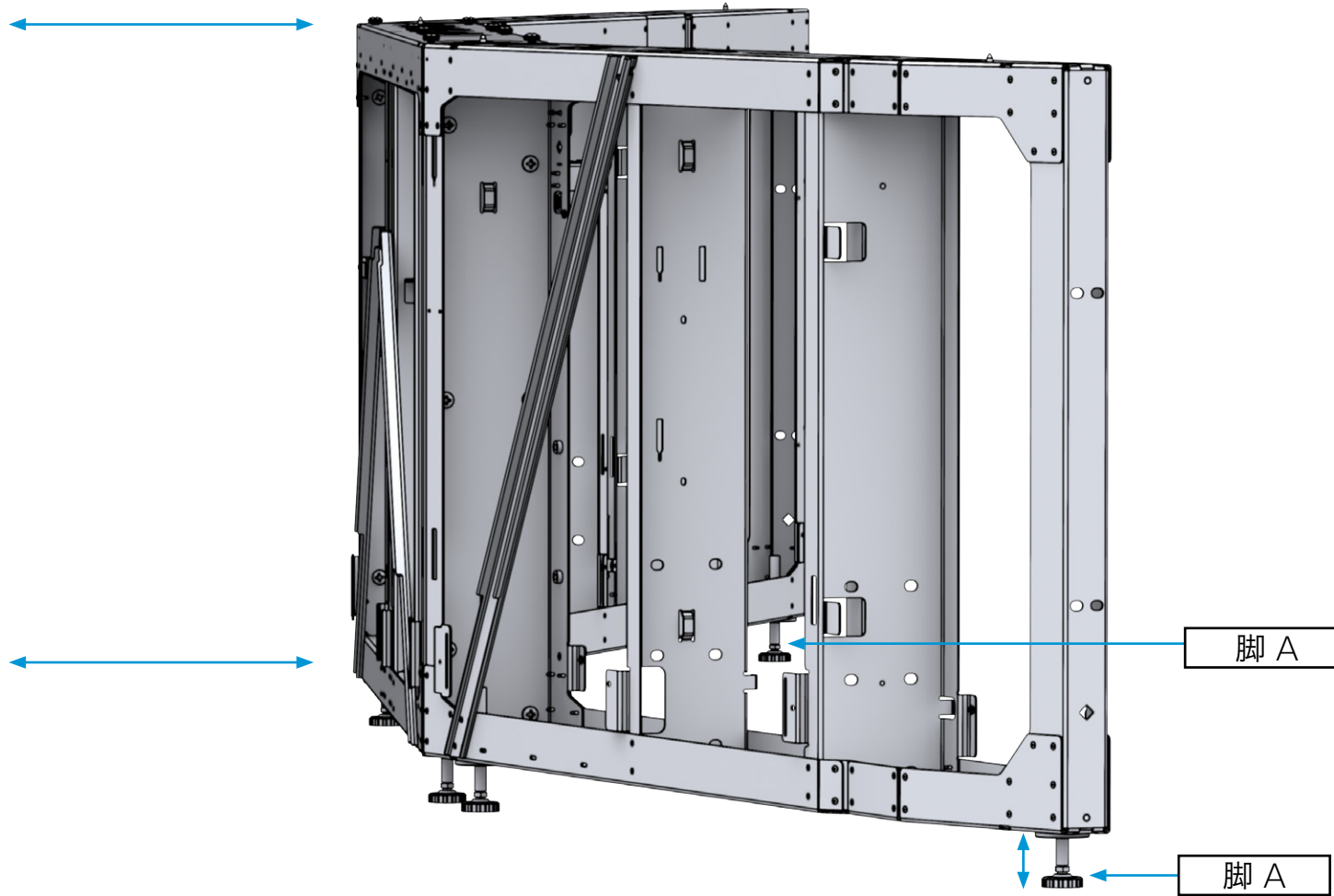


5 レーザー レベルを使用してシステムの端から端までを水平調整します。水平レベルの参考としてダイヤモンド型の水平調整マークを使用します。注: システムを水平調整する際は、2 つの外側のディスプレイ フレーム (図の脚 A) の外側の脚と、中央ディスプレイ フレーム (図の脚 C) の両方の脚を使用します。水平調整する脚の 19 mm のロック ナットを緩め、各脚の上で 13 mm の六角プロファイルを使用し、脚を調整します。

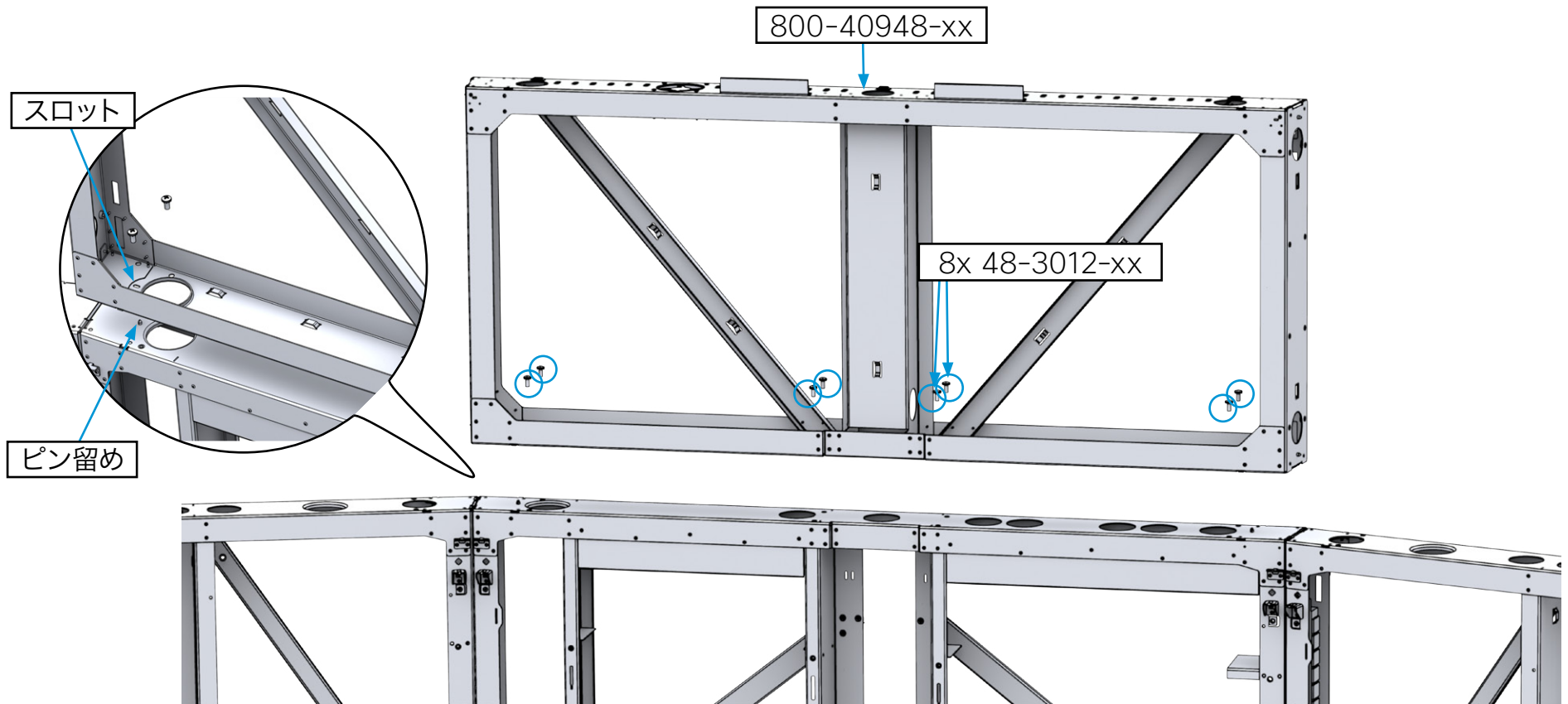
耐震ブラケットを使用するシステムのみ: フレームを測定して中央に配置し、フレームの下に耐震ブラケットを置いて、ドリル穴をマークします。詳細については、「耐震ブラケットの取り付け」、ページ 173 を参照してください。



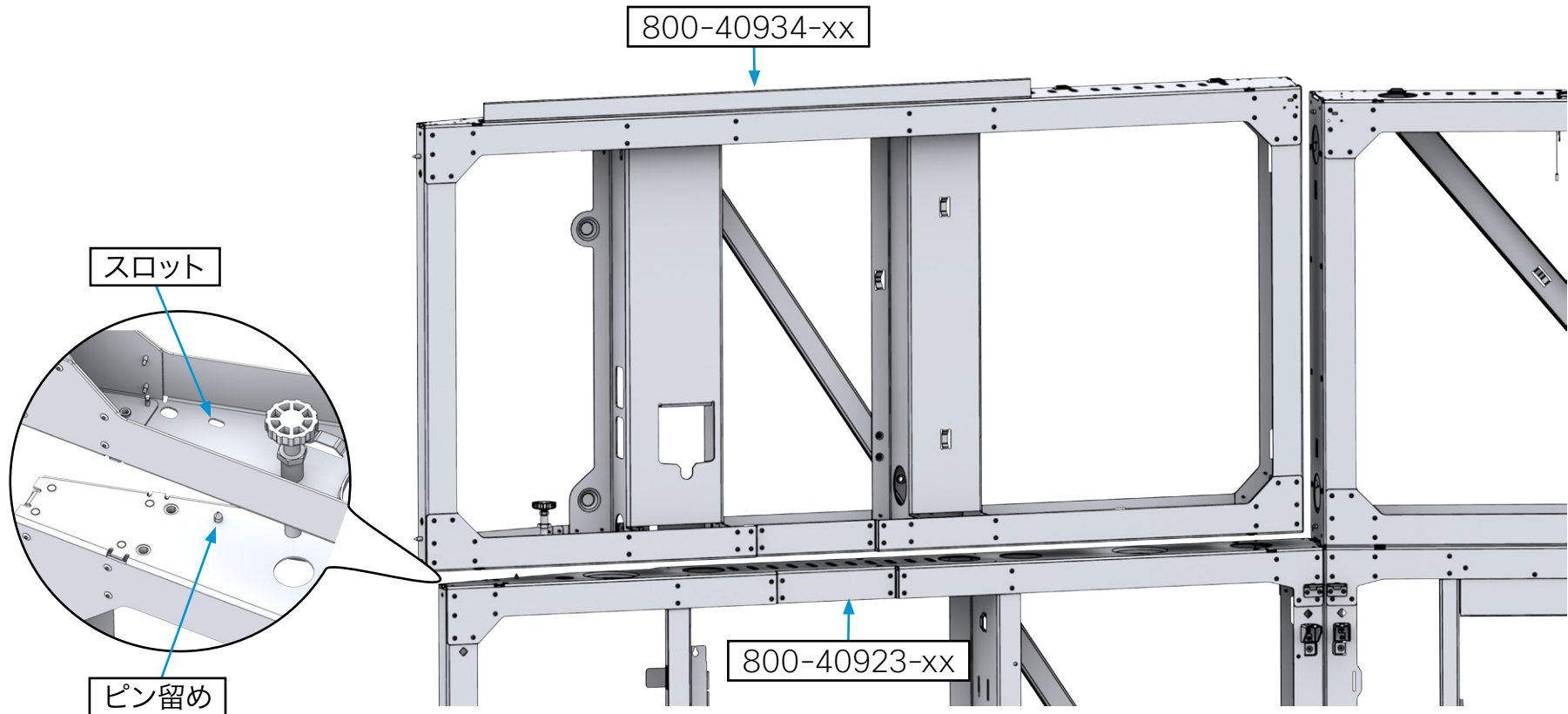
- 6 水準器で垂直を確認する際に、同じ量で「A」とマークされた 2 本の外側の脚を上下に動かすことによって、システムの垂直（左右の）を調整します。



7 中央下フレーム 800-40948-xx を中央下フレーム 800-40920-xx に取り付けます。下側のフレームのピンを上側のフレームのスロットと穴に合わせます (上側のフレームの左側のスロットと、右側の穴)。8x 黒 M8 x 16 mm ネジ 48-3012-xx を設置し、#3 プラス ドライバで締めます。

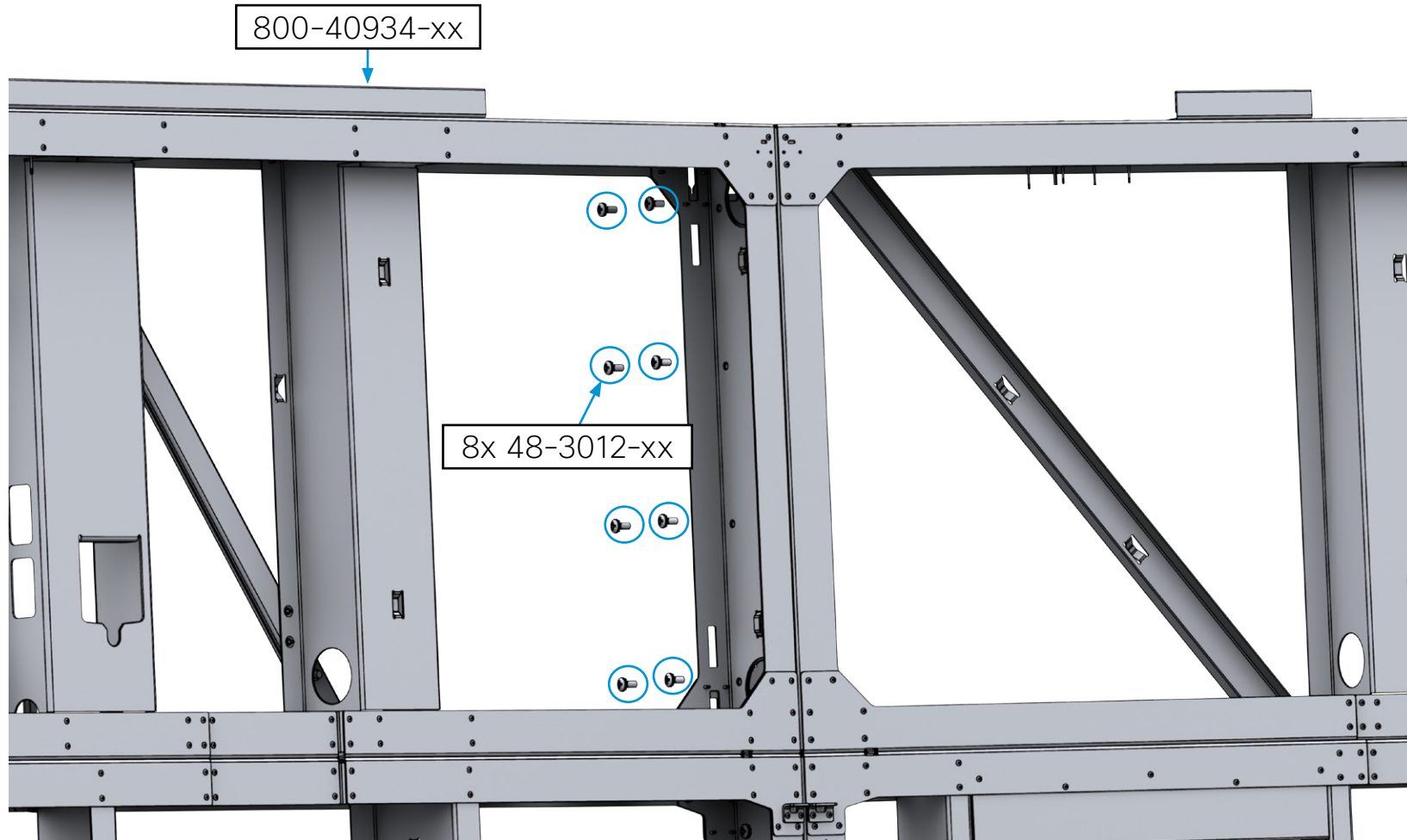


8a 左上フレーム 800-40934-xx をディスプレイ構造に装着します。垂直ビームのスロットとピンを調整して、上側のフレームを下側のフレームに配置し、水平ビームでピンとスロットを合わせます。



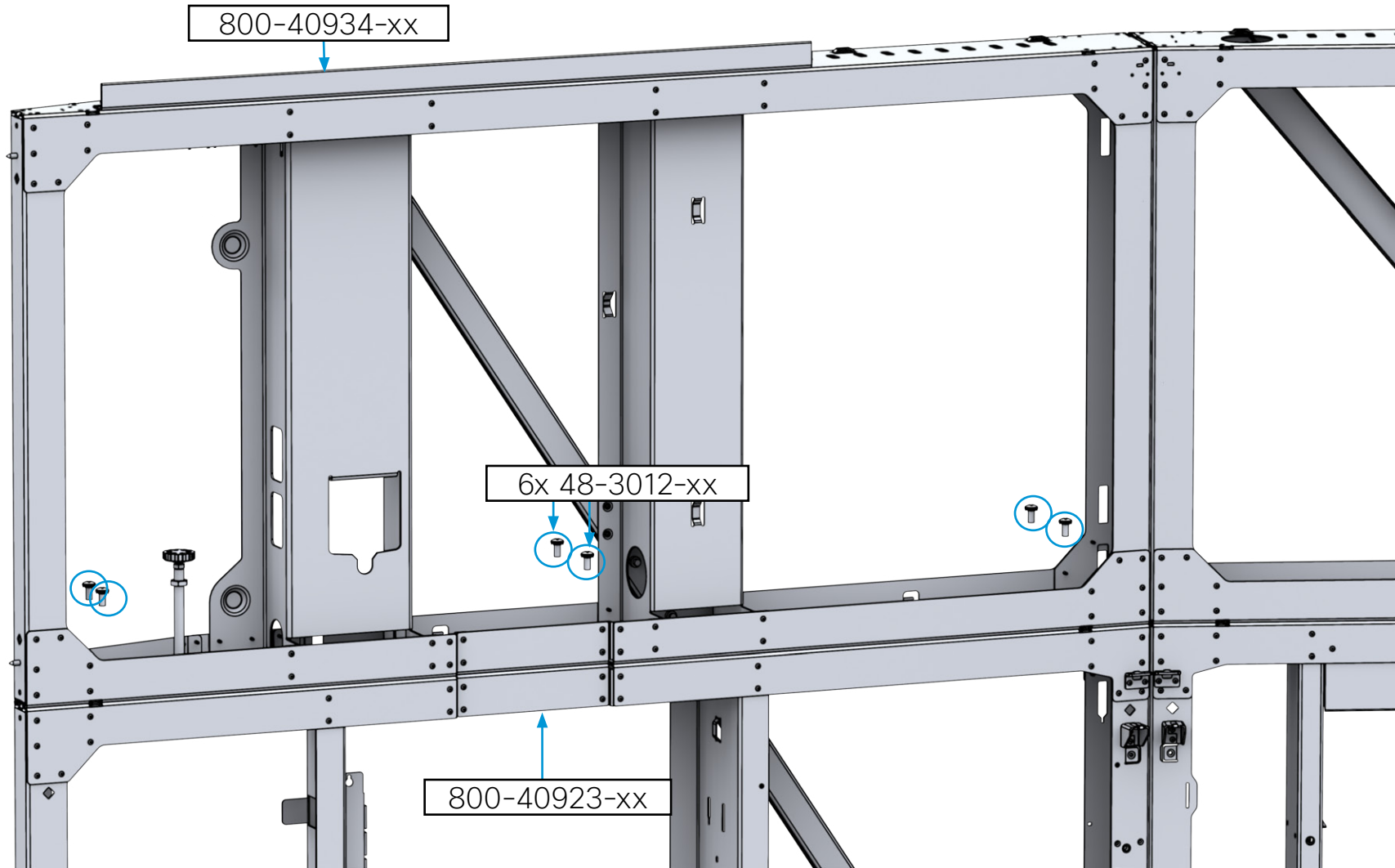
8b

垂直カラムに 8x 黒 M8 x 16 mm ネジ 48-3012-xx を設置し、#3 プラス ドライバで締めます。水平ビームにネジを取り付ける前に、これらのネジを差し込んで締めます。

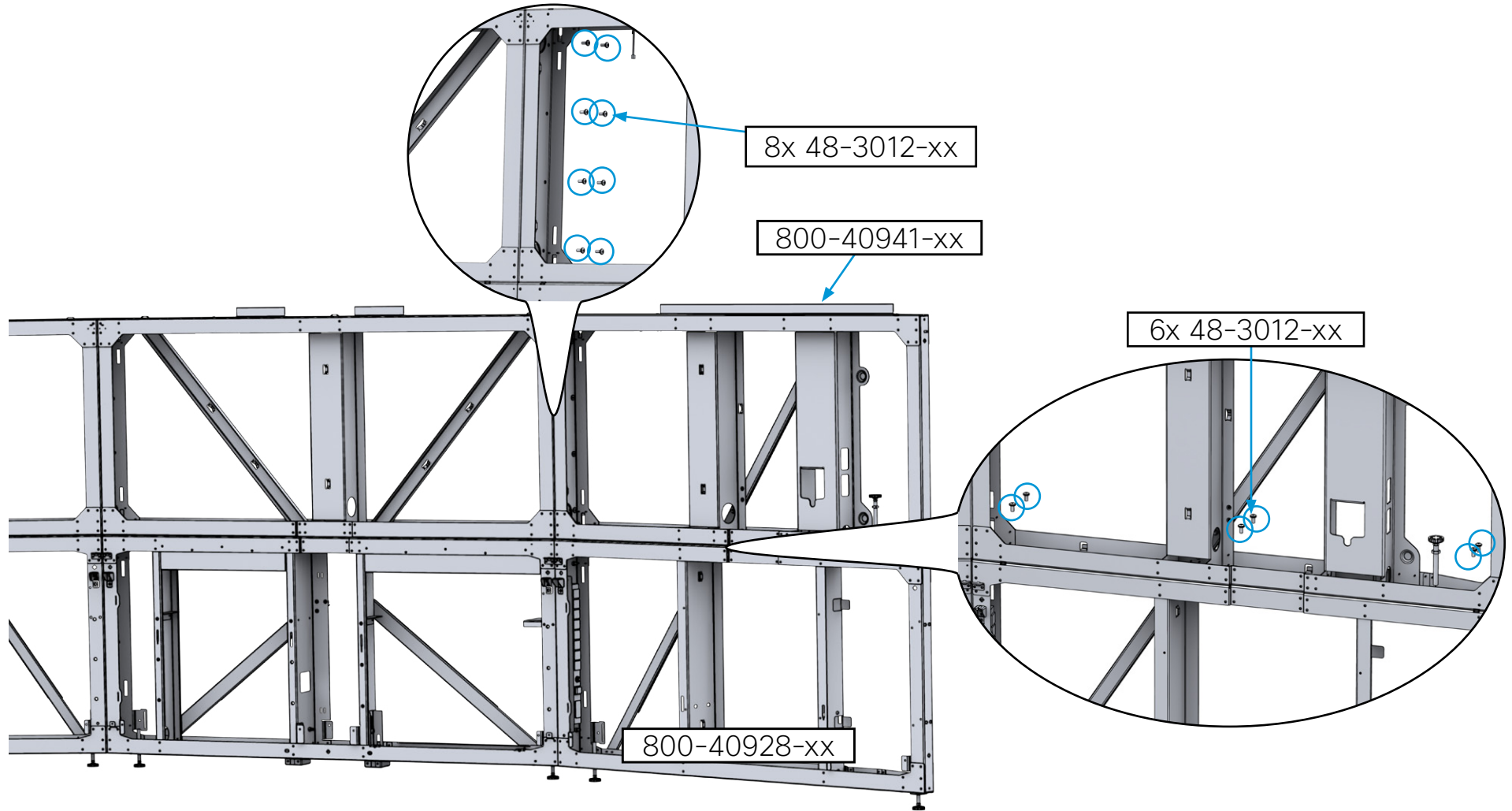


8c

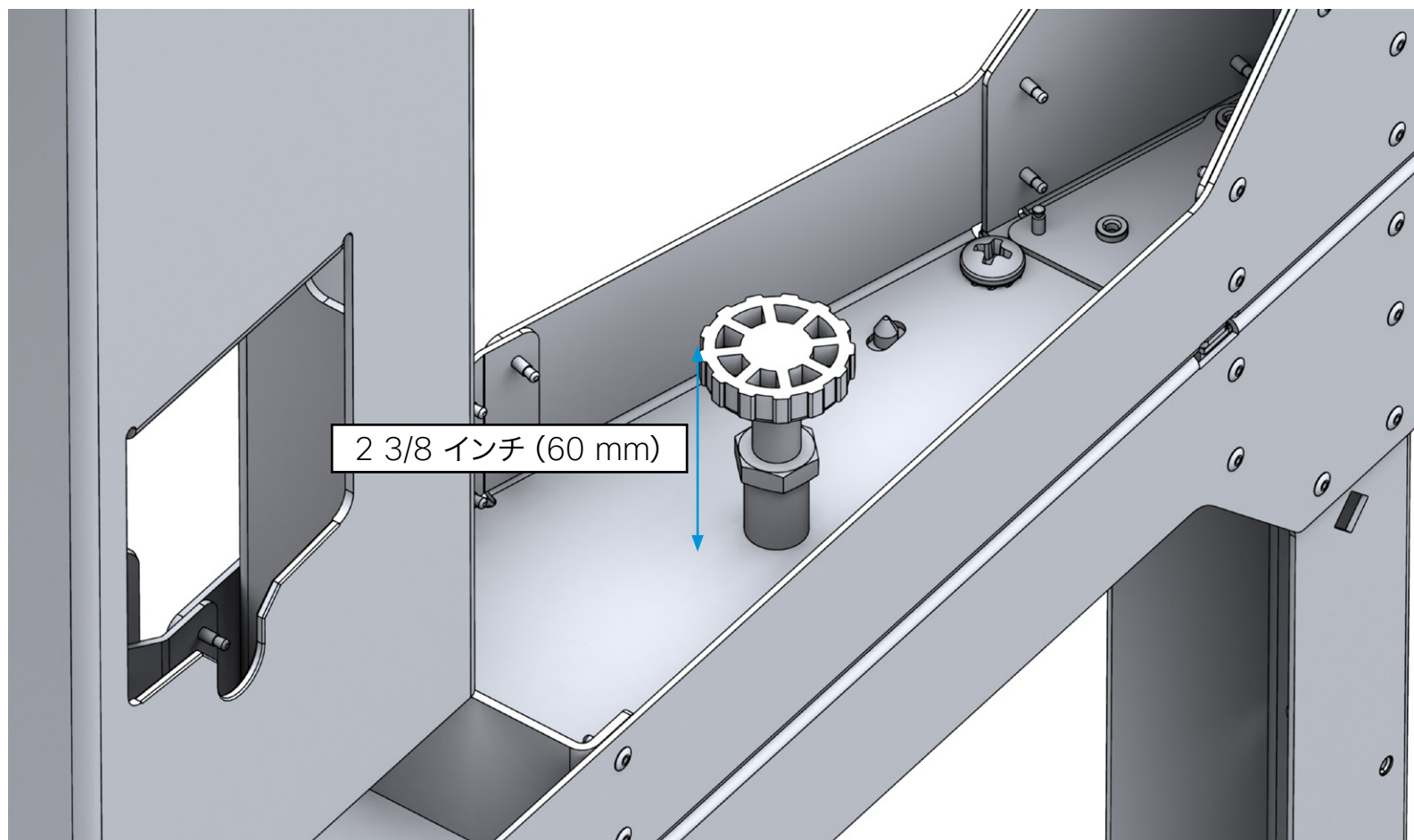
水平ビームに 6x 黒 M8 x 16 mm ネジ 48-3012-xx を設置し、#3 プラス ドライバで締めます。



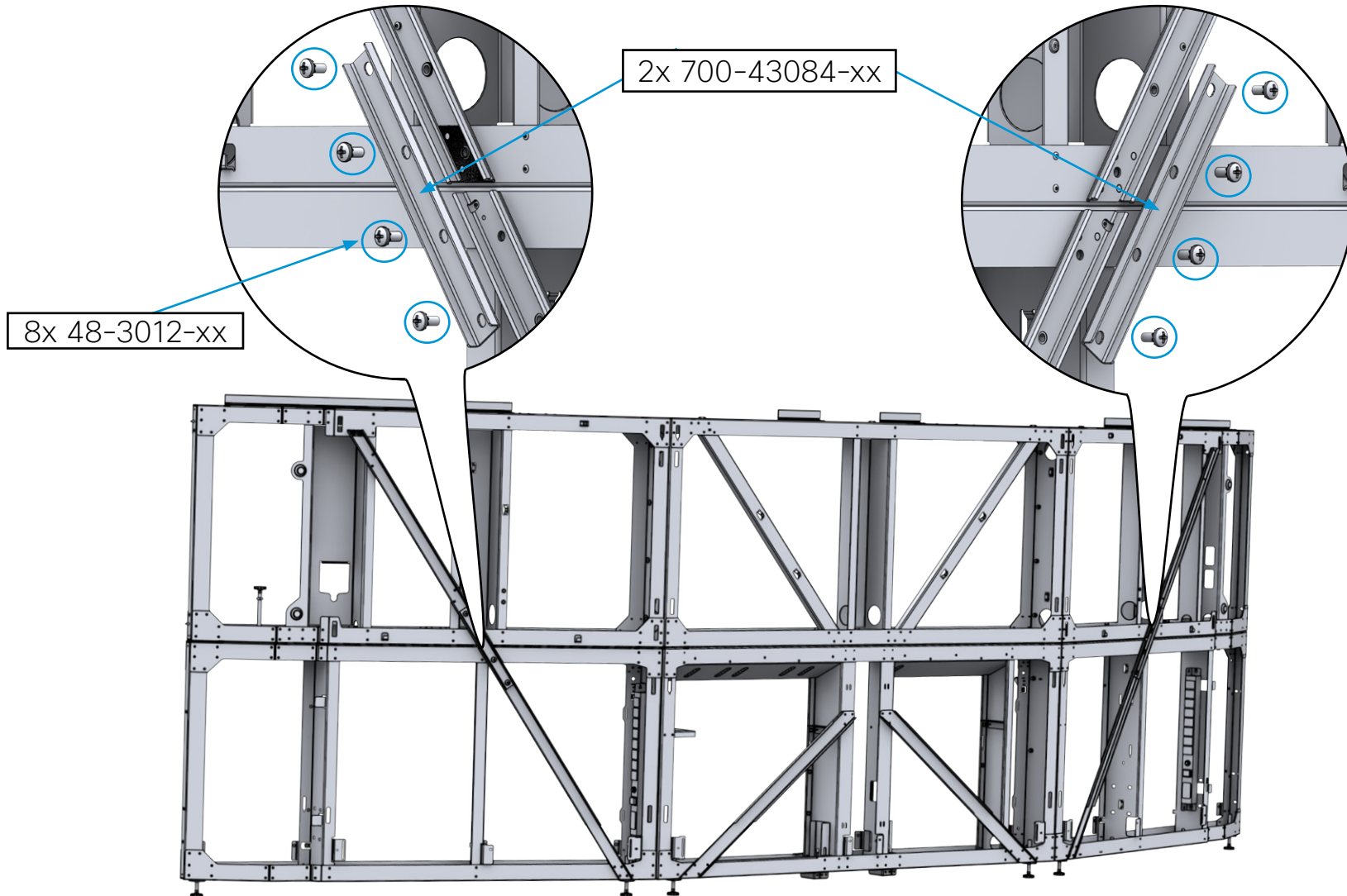
- 9 14x 黒 M8 x 16 mm 48-3012-xx ネジを使用して、左上のフレームと同じ手順に従ってディスプレイ構造に右上のフレーム 800-40941-xx を取り付けます。最初に側面のネジを差し込んで締めます。



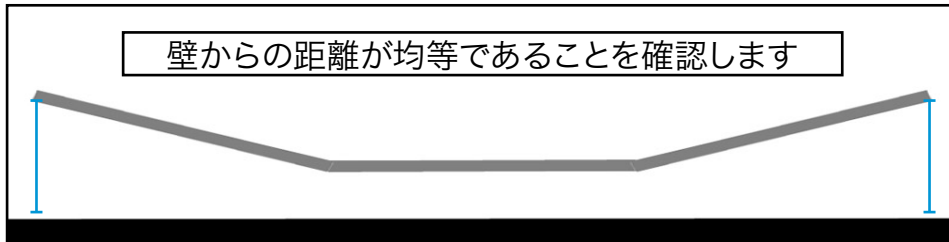
- 10** 上側のフレームで 2 つの水準器 (図に 1 つの水準器を示します) の高さを、ビームの表面と水準器パッド上部の間で 2 3/8 インチ (60 mm) に設定します。水準器の高さを調整する前に、13 mm レンチまたはモンキー レンチを使用してロック ナットを緩めます。ロック ナットを締め直さないでください。
-



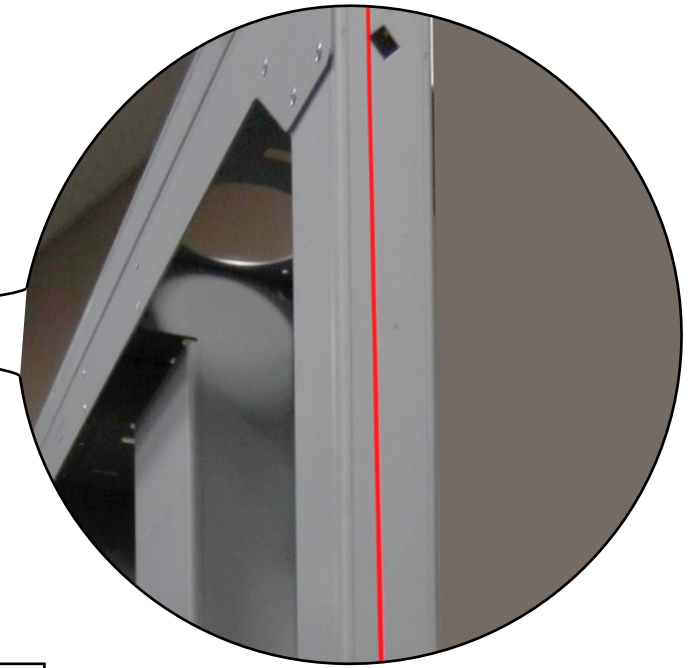
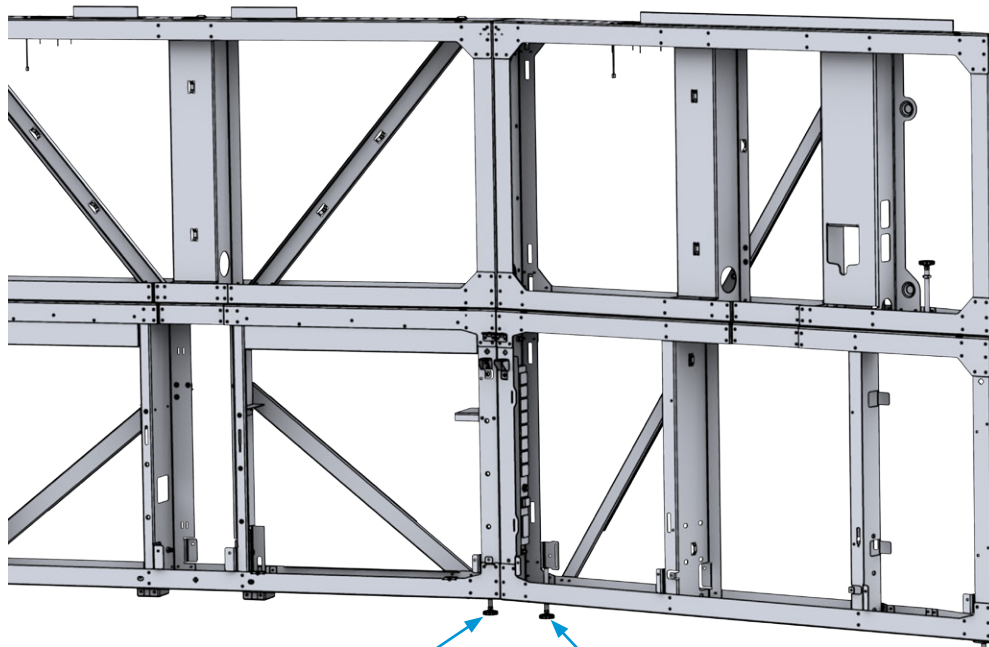
- 11 8x 黒 M8 x 16 mm ネジ 48-3012-xx を使用して、2x タイバー 700-43084-xx をフレーム背面の左右両側に組み立てます。



12 構造の外角が壁から均等な距離であることを確認し、2x 脚 A および 2x 脚 C を使用して、ディスプレイ フレームの水平と垂直（水平方向と垂直方向）を調整します。水平をとった後、すべての脚が床に触れることを確認します。注：壁に向けて構造を少し傾けます（後方）。ディスプレイを取り付けると構造は若干前方に傾くので、水平に戻します。



レーザー水準器はダイヤモンド型の左の点に合わせます

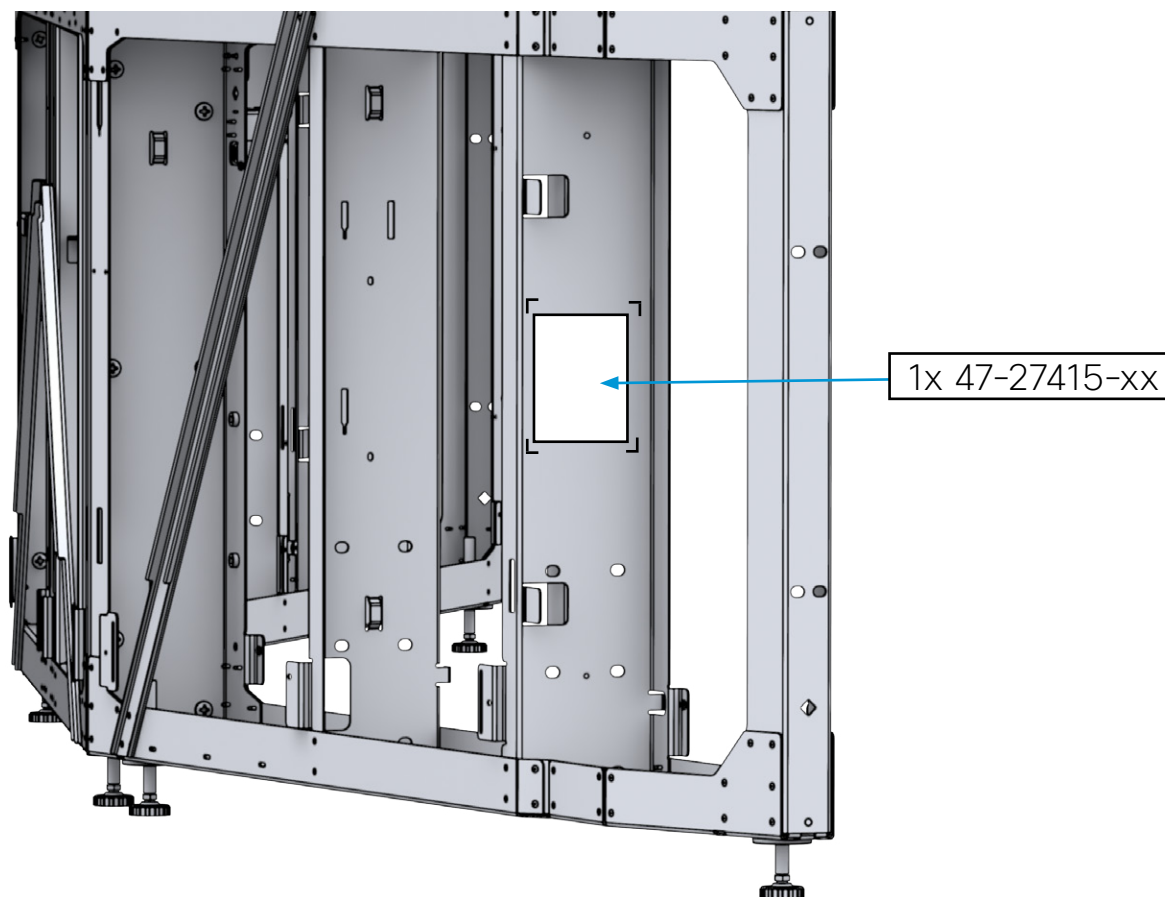


脚 C

脚 B

脚 A

- 13 準拠ラベル 47-27415-xx を左下ディスプレイ フレームの左側の柱に貼ります。フレームの 4 カ所のマークを使用して正しい位置を確認します。



ケーブル ランナーの取り付け

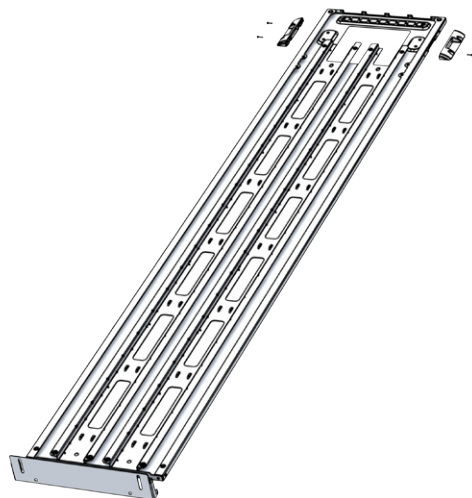
必要な部品

必要な部品:

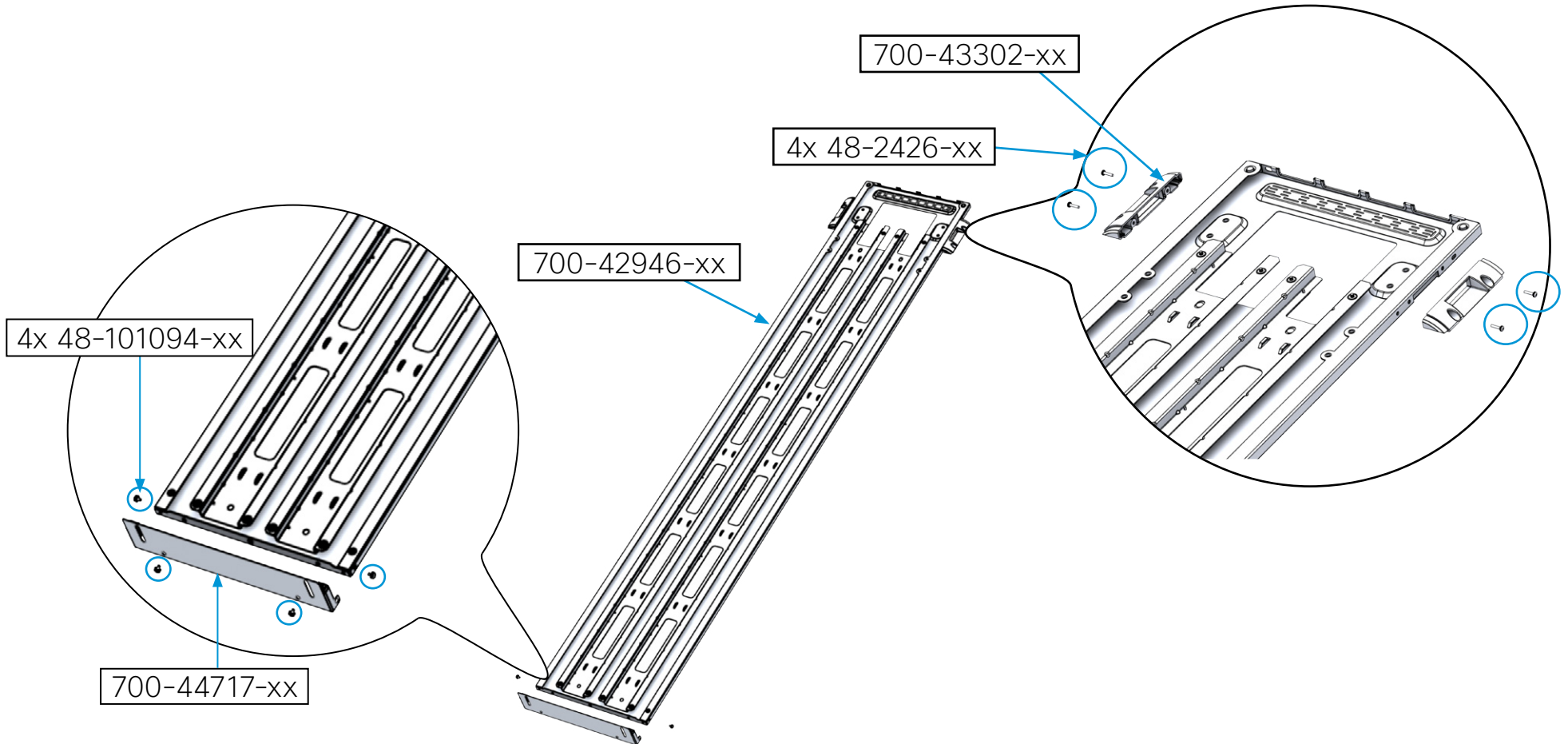
- 1x ケーブル ランナー 700-42946-xx
- 2x ケーブル ランナー ブリッジ 700-43302-xx
- 外部ロック ワッシャ 48-2426-xx 付き 4x 黒 M4 x 12 mm 長ネジ
- 1x ケーブル ランナー プレート 700-44717-xx
- 4x M6x10 mm ネジ 48-101094-xx

必要な工具

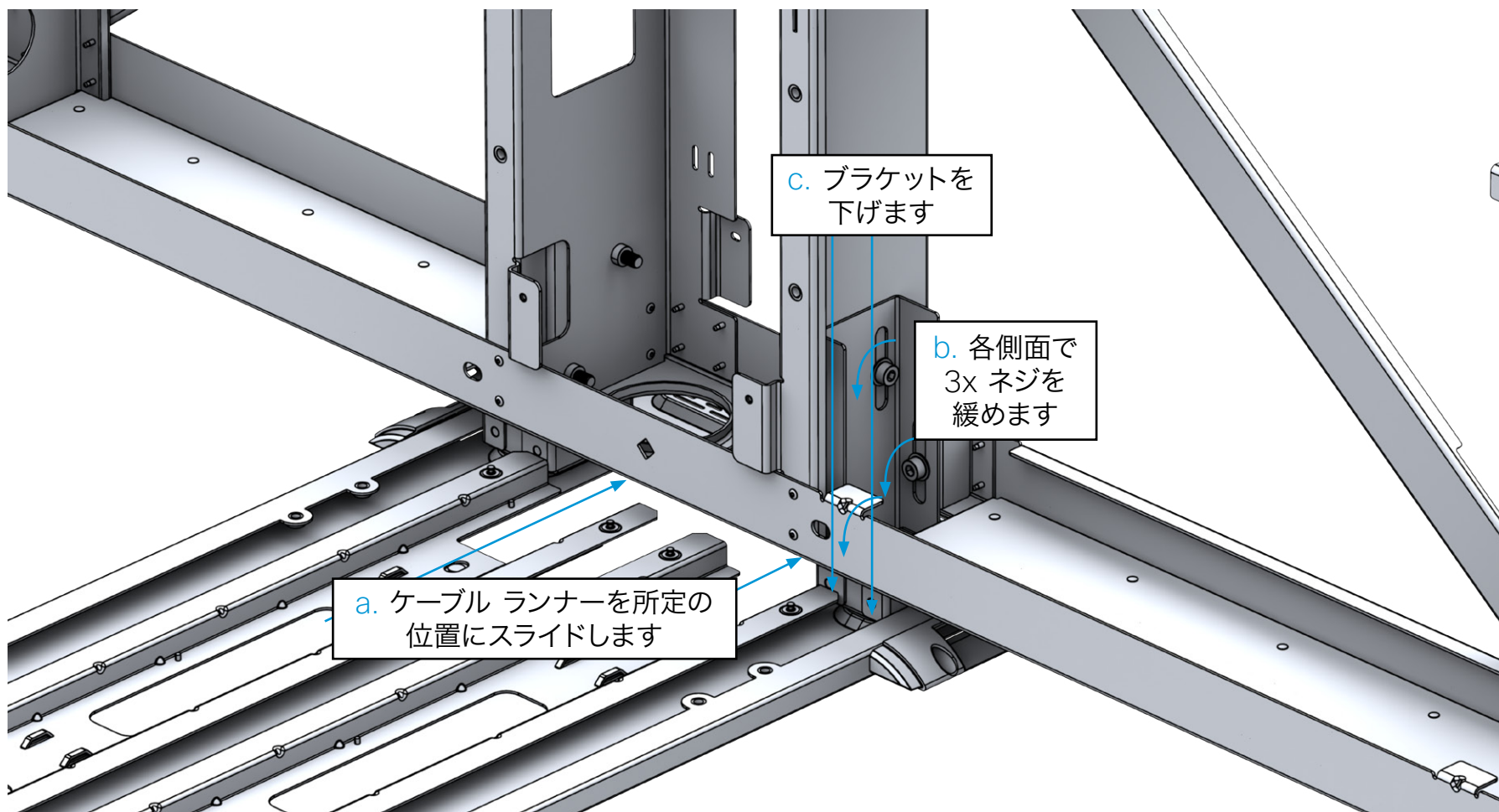
- #2 および #3 プラス ドライバ
- 6 mm T 型ハンドル六角ドライバ



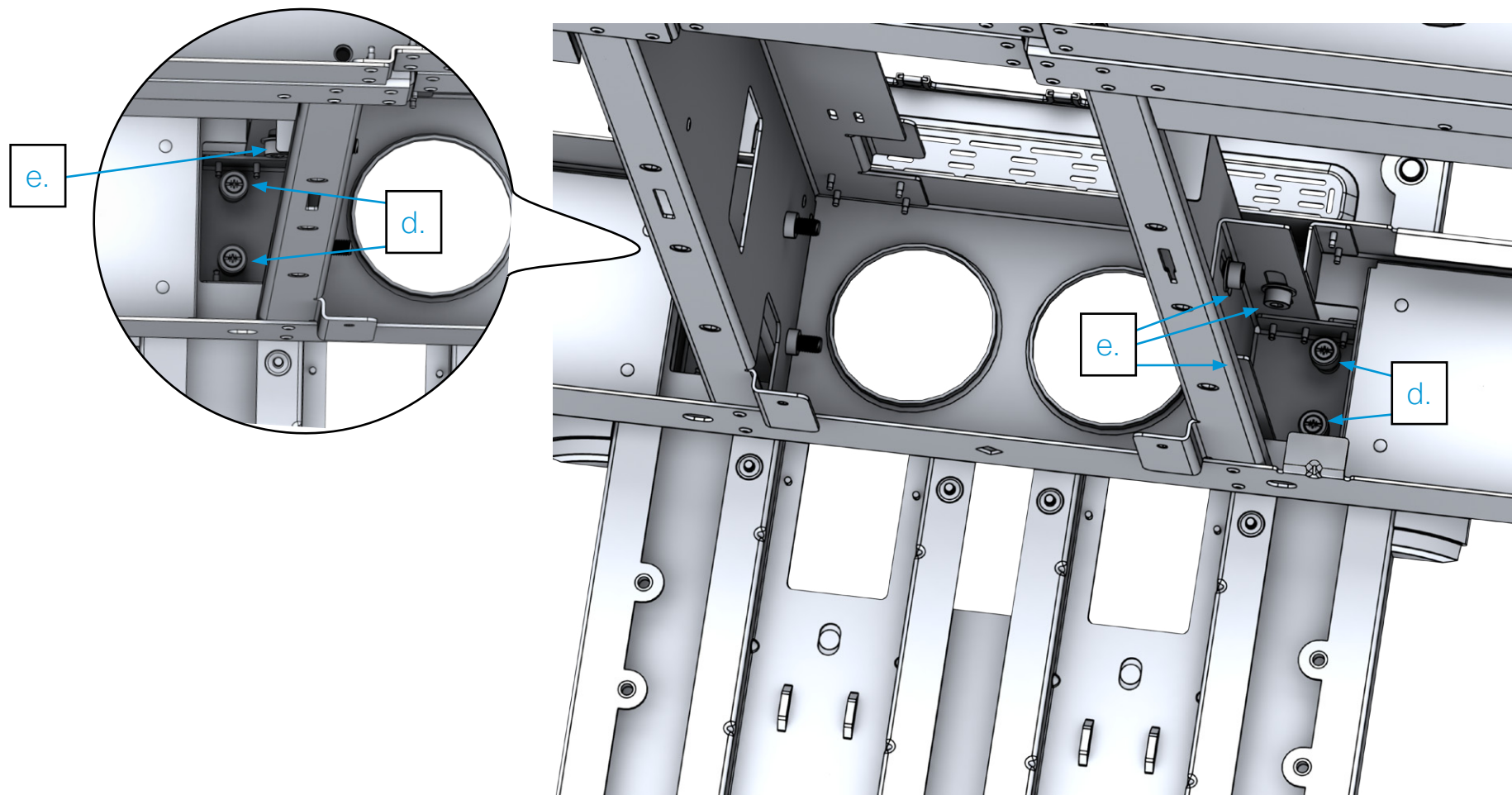
- 1 a. #2 プラス ドライバを使用して、4x 黒 M4x12 mm ネジ 48-2426-xx でケーブル ランナー ベース 700-42946-xx に 2x ケーブル ランナー ブリッジ 700-43302-xx を取り付けます。 b. 4x M6x10 mm ネジ 48-101094-xx でケーブル ランナー 700-42946-xx にケーブル ランナー プレート 700-44717-xx を取り付けます。



- 2 a. ケーブル ランナー ベースを下側の中央フレーム下で所定の位置にスライドします。 b. 6 mm T 型ハンドル六角ドライバを使用して、6x 六角ネジ (ケーブル ランナー ブラケットごとに 3x) を緩めます。必要に応じて、六角ドライバをフレーム ビームのアクセス穴に置きます。 c. 両方のブラケットがランナー下部に収まるまで、ランナーのカットアウトを通してランナー ブラケットを下げます (肋材の上ではなく)。



- 3 d. ケーブル ランナー上の 4x キャプティブ ファスナー (ブラケットごとに 2x ファスナー) をディスプレイ フレームに装着します。 e. 六角ドライバで両方のブラケットの 6x M8 ネジを締め直します。



支柱、クロスバー、背面キックプレート/タワー キャップの設置

必要な部品

支柱:

- 4x 700-43514-xx (内側、外側、中央 x 2)
- 2x 700-43515-xx (遠隔中央右および中央左)
- 2x 700-43516-xx (近接中央右および中央左)
- 外部ロック ワッシャ 48-2426-xx 付き 32x 黒 M4 x 12 mm 長ネジ

クロスバー:

- 3x クロスバー部品 (700-43519-xx 左、700-43517-xx 中央、700-43518-xx 右)
- 外部ロック ワッシャ 48-2426-xx 付き 16x 黒 M4 x 12 mm 長ネジ

背面キックプレート:

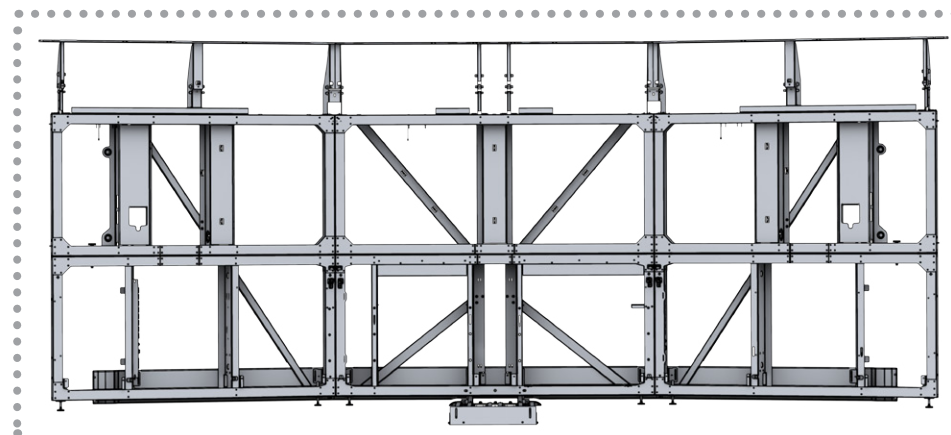
- 3x 中央、左、右の背面キックプレート (中央 700-43100-xx、左 700-43101-xx、右 700-43099-xx)
- ロック ワッシャ 49-0420-xx 付き 6x M4 ナット
- 1x 段ボール スペーサ (部品番号なし、ケーブルのランナー ベースに装着)

背面タワー キャップ:

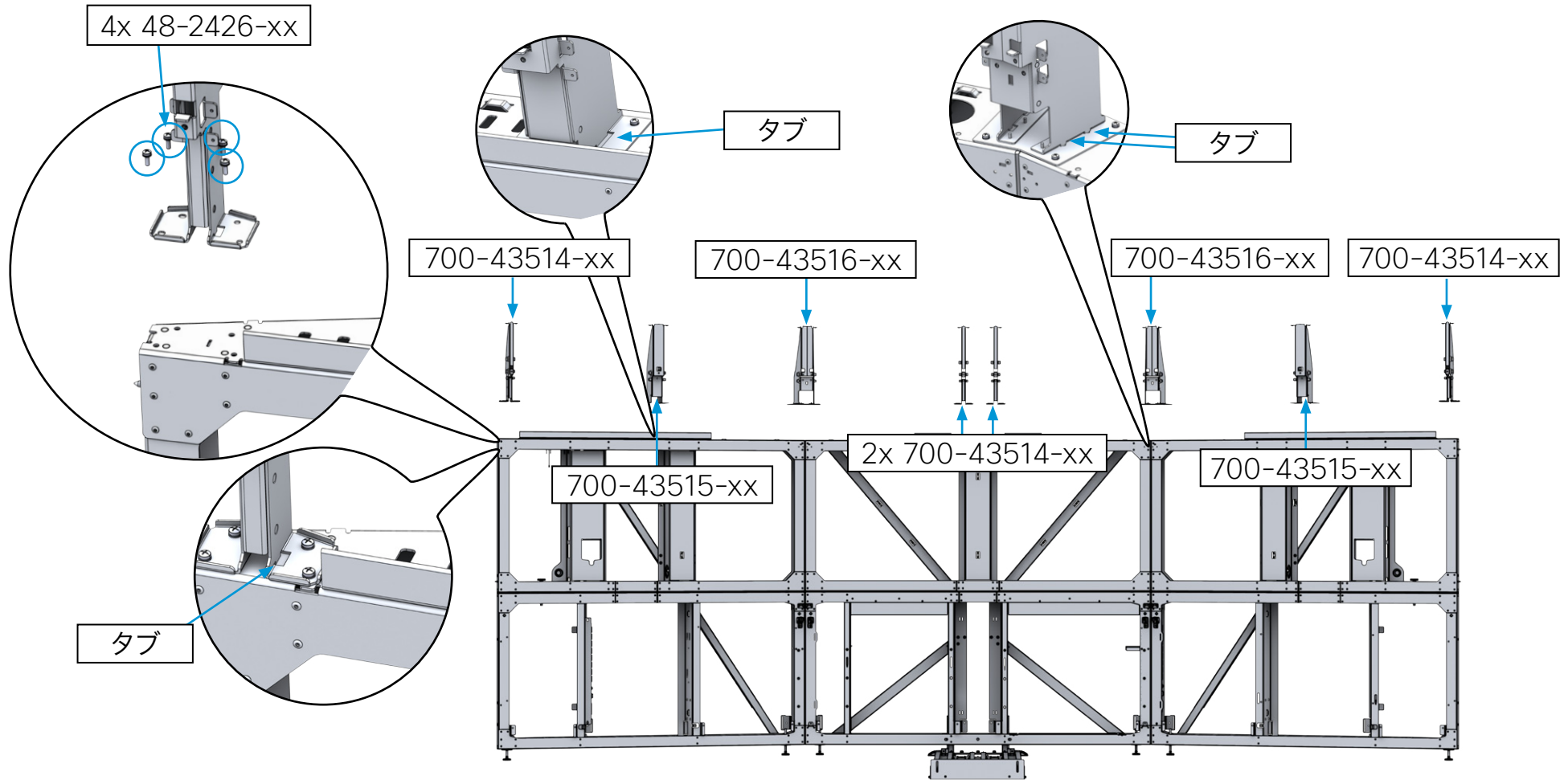
- 3x 中央、左、右のタワー キャップ (中央 700-43094-xx、左 700-43095-xx、右 700-43093-xx)
- ロック ワッシャ 49-0420-xx 付き 10x M4 ナット

必要な工具

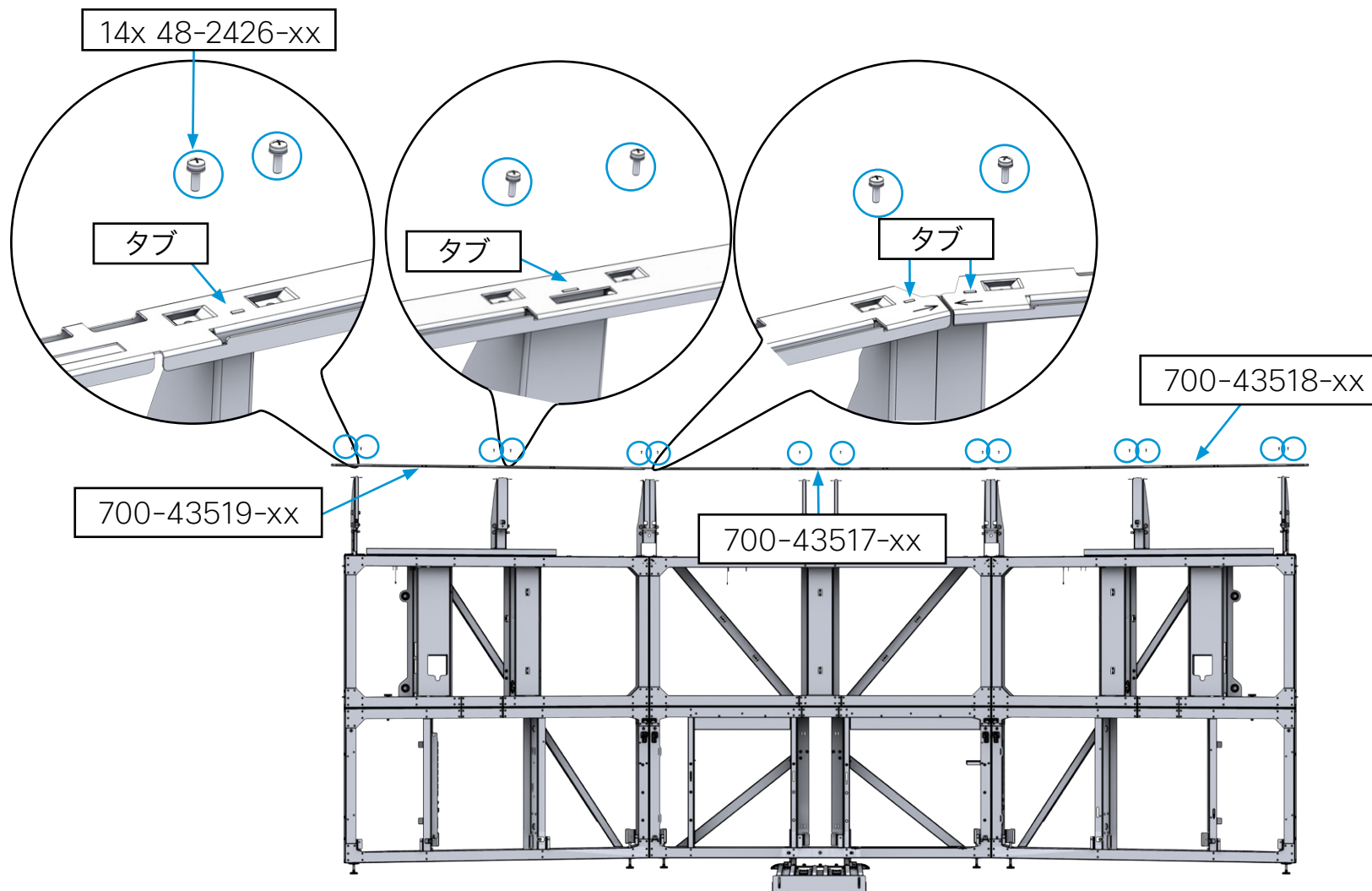
- **クロスバー:** 2# プラス ドライバ
- **キックプレートとタワー キャップ:** 7 mm 六角ドライバ
- **キックプレートのみ:** 段ボール スペーサ



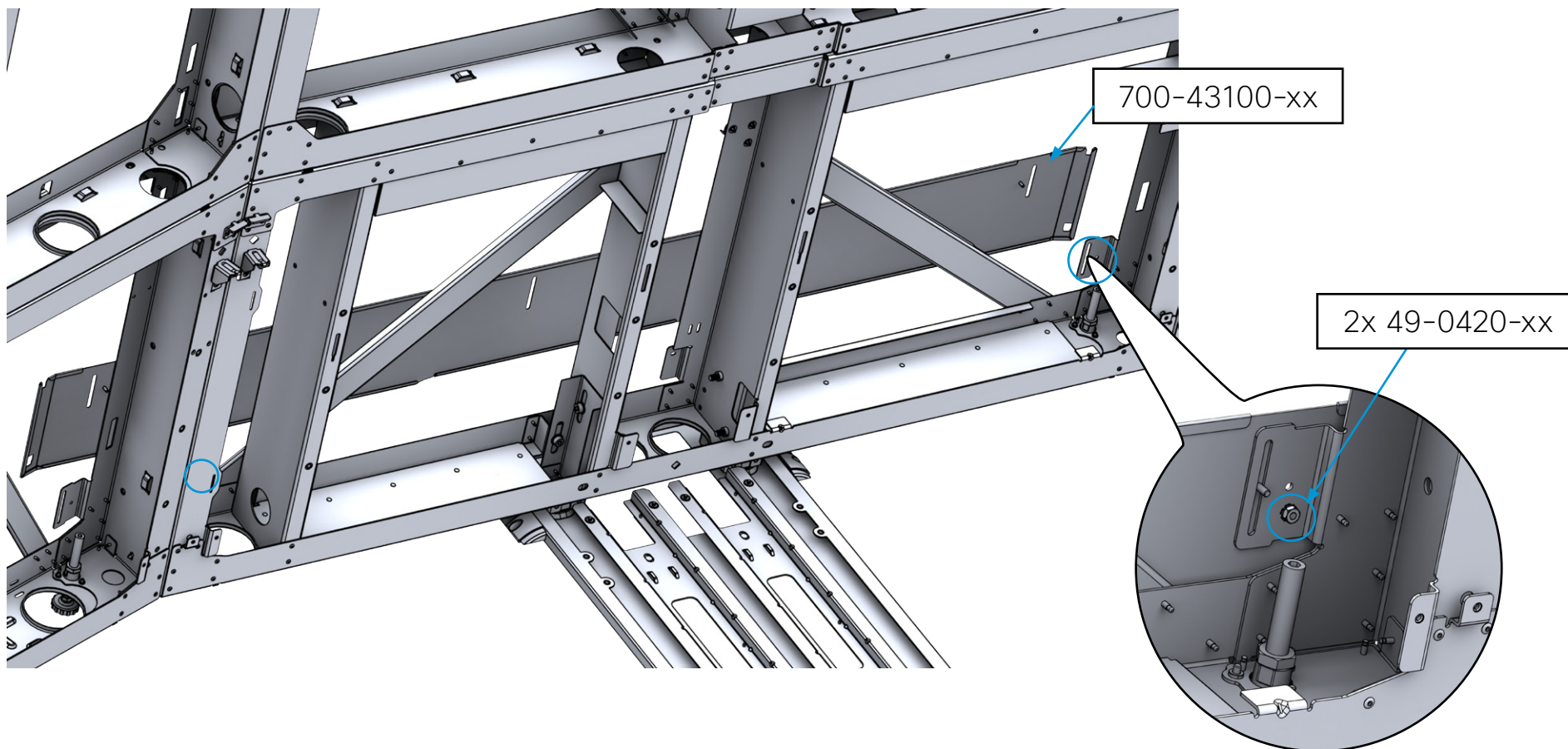
- 1 支柱のタブをフレームのスロットに合わせて、フレームに支柱 (4x 700-43514-xx、2x 700-43515-xx、2x 700-43516-xx) を設置します。#2 のプラス ドライバを使用して、32x M4 x 12 mm ネジ 48-2426-xx (支柱あたり 4x) でフレームに支柱を装着します。



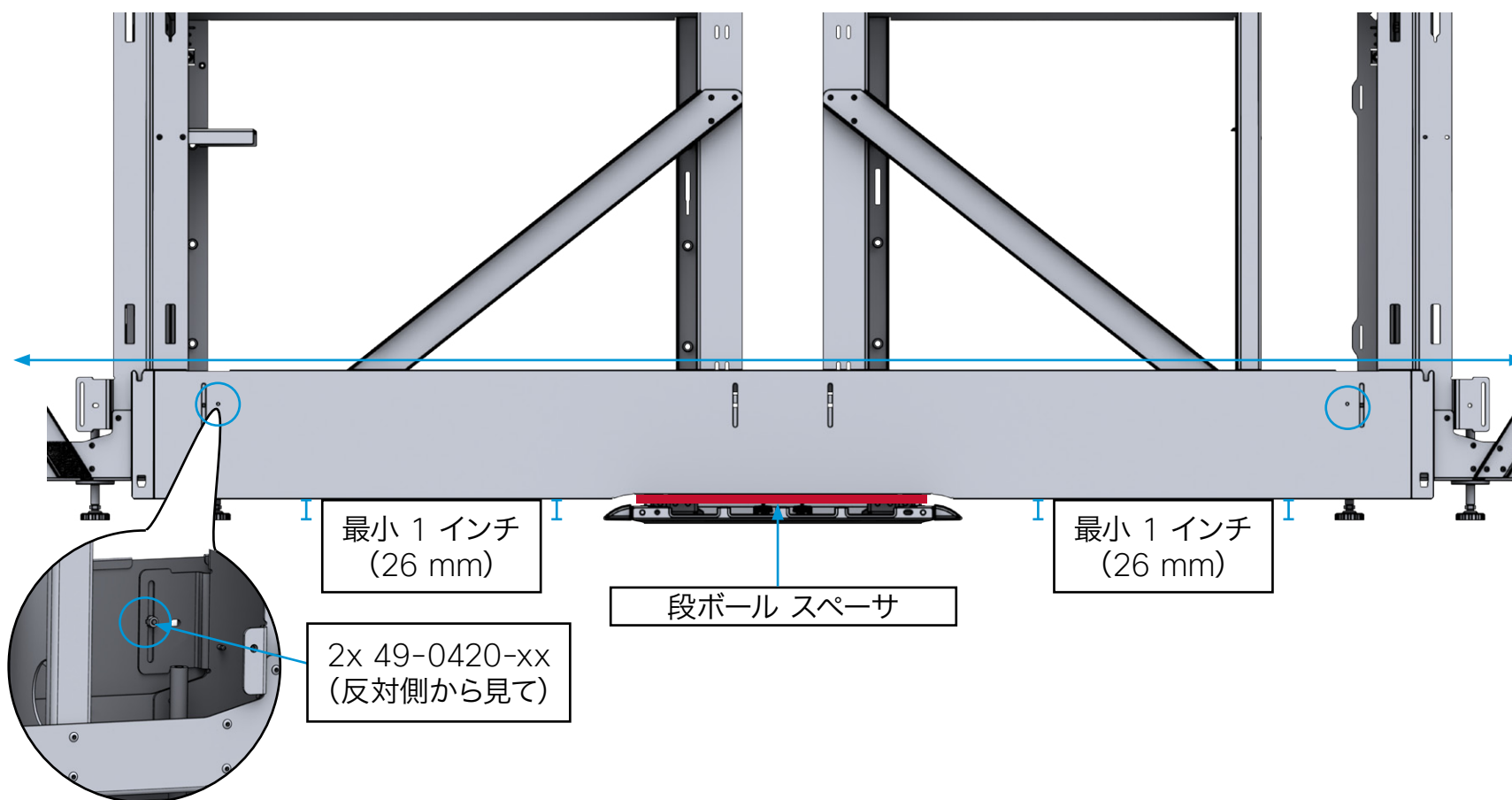
2 水平クロスバー (700-43519-xx 左、700-43517-xx 中央、700-43518-xx 右) を支柱に置き、#2 ドライバを使用して 14x 黒 M4 X 12 mm のネジ 48-2426-xx を締め付けます。



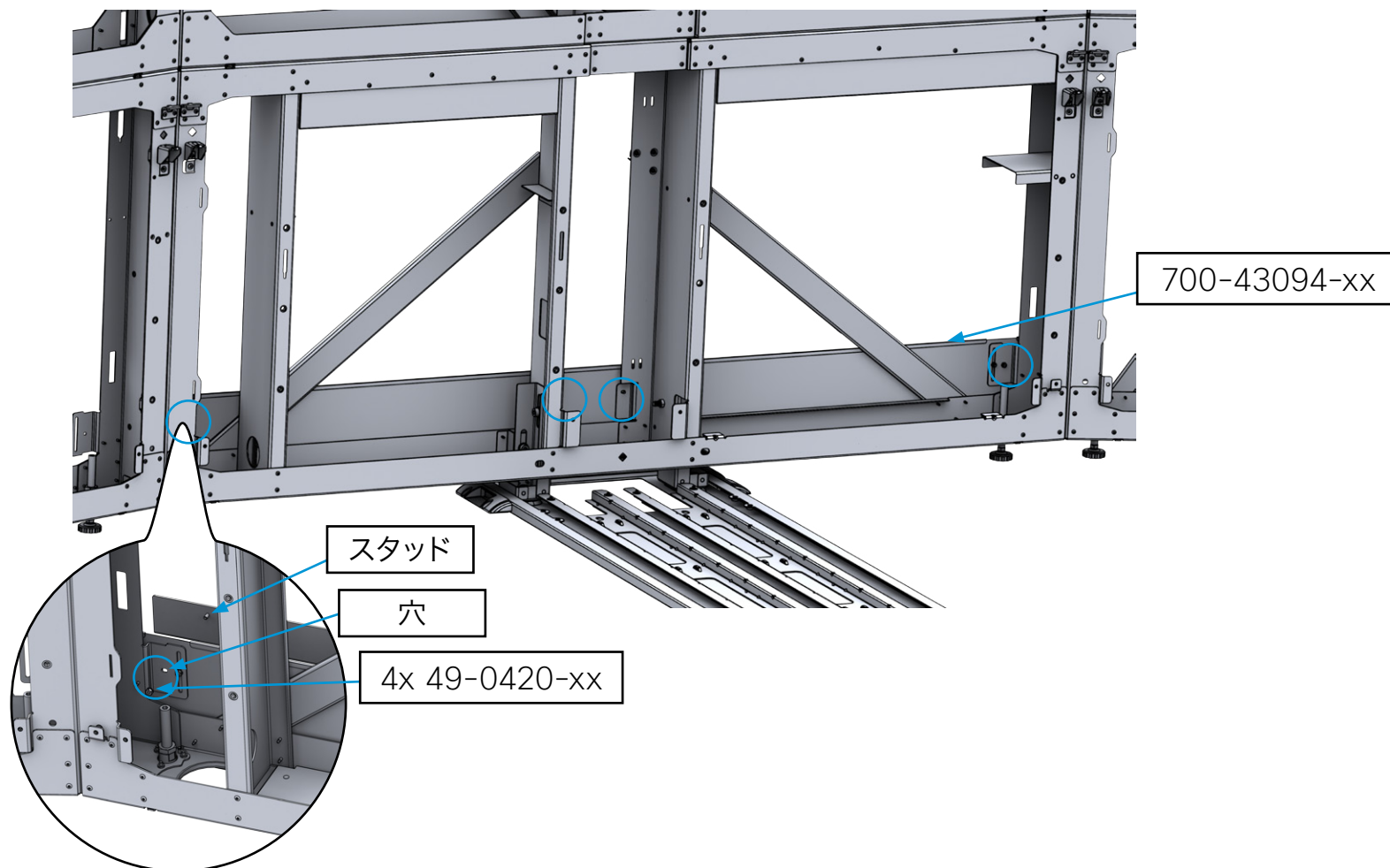
- 3 下側の背面キックプレート 700-43100-xx をエンドポイント構造に装着します。ねじ付き溶接スタッドをディスプレイスタンドのスロットに合わせ、2x M4 ナット 49-0420-xx を使用してゆるく取り付けます (完全に締め付けしないでください)。



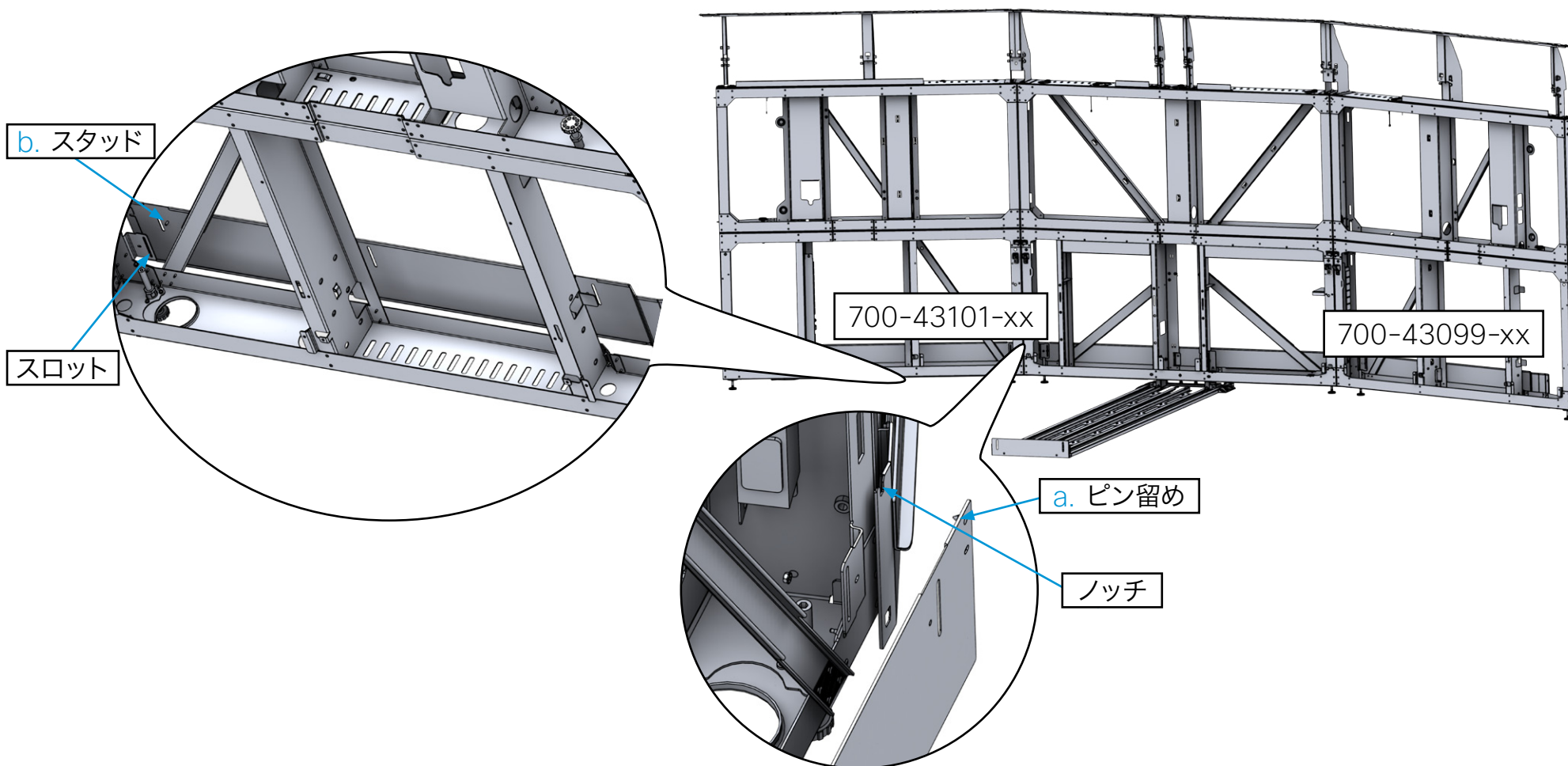
4 段ボールスペーサ (ケーブル ランナー ベースに装着された) をケーブル ランナー 700-42946-xx と背面キックプレート 700-43100-xx との間に配置します。アルコール水準器で背面キックプレートの水平を調節します。キックプレートがフロアの最も高い位置から少なくとも 26 mm (1 インチ) あることを確認してから (キックプレートの左右両方で測定)、ステップ 3 で装着した 2x M4 ナットで固定します。スペーサを保管しておきます。これは、前面キックプレートを設置するときを使用します。



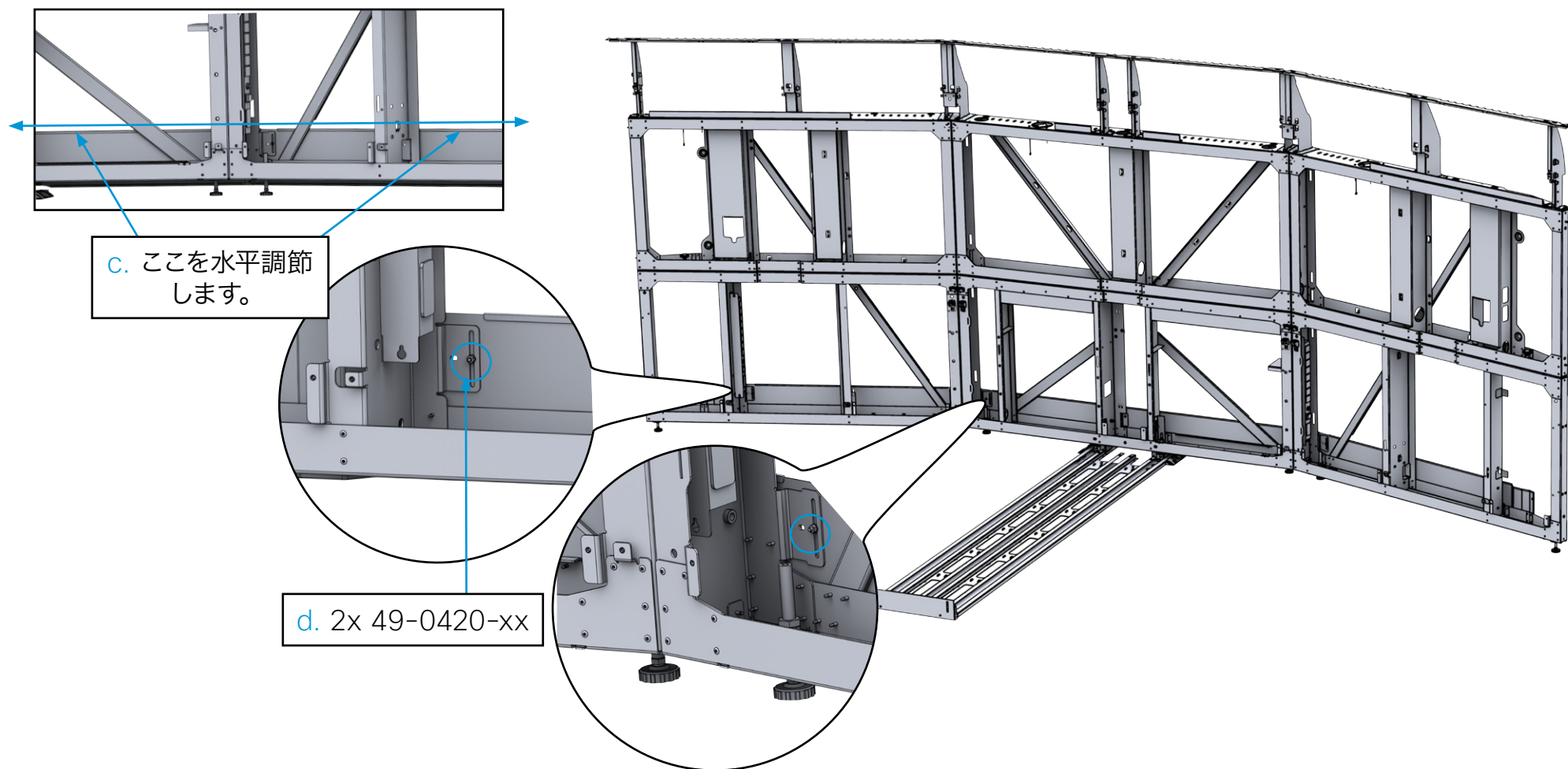
- 5 ねじ付き溶接スタッドをディスプレイ スタンドの穴に合わせ、4x M4 ナット 49-0420-xx を取り付けて固定し、背面中央トゥー キャップ 700-43094-xx をキック プレートに設置します。



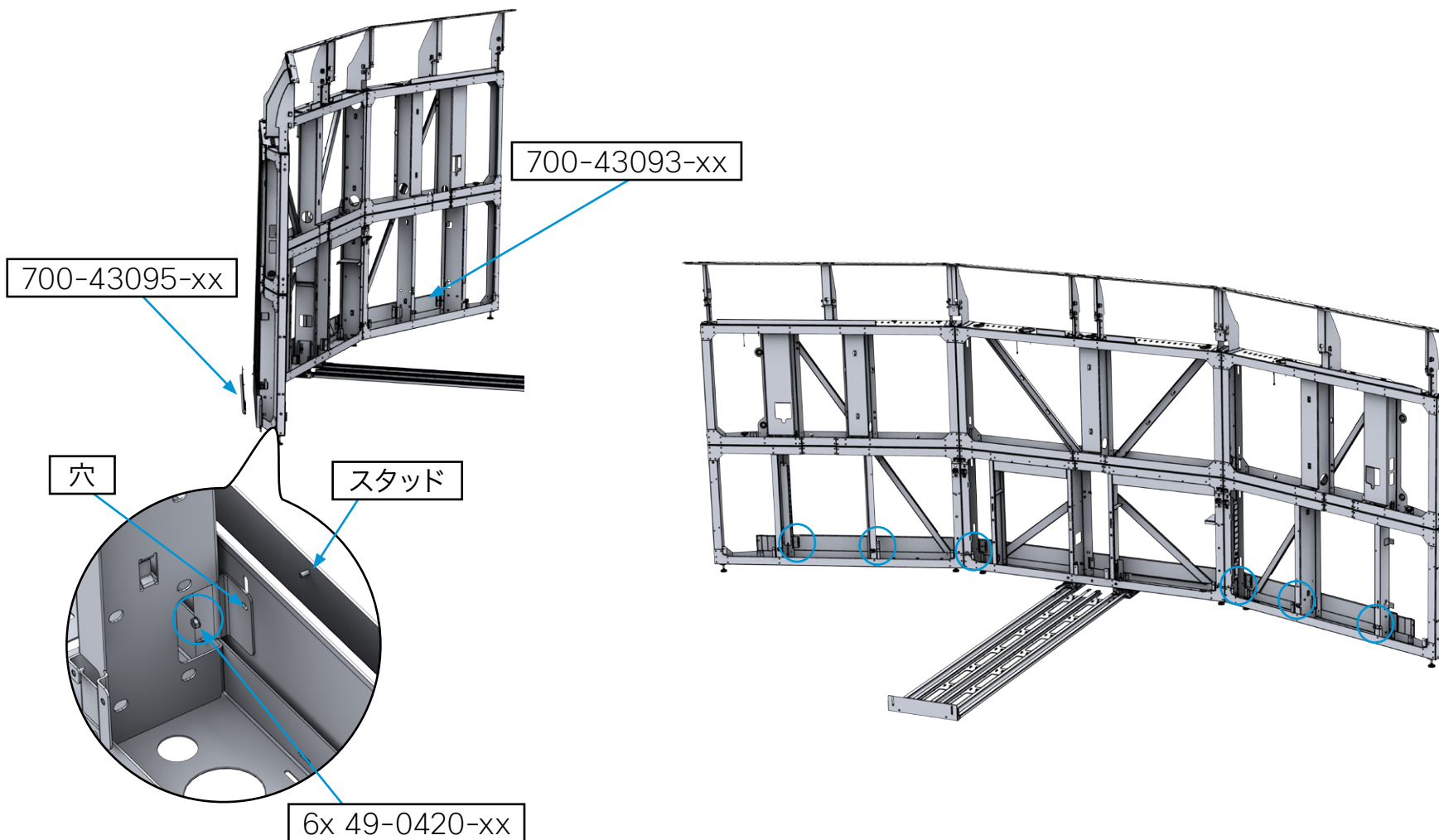
6a 左と右の背面キック プレートを装着します (左 700-43101-xx、右 700-43099-xx) a. 背面サイド キック プレートのピンを背面中央キック プレートのノッチに引っ掛けます。 b. フレームのスロットにスタッド (各キック プレートあたり 1 個) を設置します。



6b c. レベルを使用して、背面サイド キック プレートを背面中央キック プレートで水平調節します。 d. ロック ワッシャ 49-0420-xx 付き x2 M4 ナットを各プレートのスタッドに装着し、7 mm 六角ドライバで締めます。



7 側面トゥー キャップ(左 700-43095-xx、右 700-43093-xx)を設置します。左トゥー キャップ 700-43095-xx にスタッドを置き、フレームの穴に設置します。ロック ワッシャ 49-0420-xx 付き x3 M4 ナットをスタッドに装着し、7 mm 六角ドライバで締めます。右トゥー キャップについても繰り返します。



コーデック、PDU、およびオプションの LAN スイッチの設置

必要な部品

コーデック : (Codecs:)

- 1x エンコーダ / デコーダ コーデック 800-39337-xx
- 1x 各エンコーダ / デコーダ コーデック取り付けブラケット 700-43404-xx 左、700-44771-xx 右
- 1x ホスト CPU コーデック 800-41502-xx
- 1x 各ホスト CPU コーデック取り付けブラケット 700-43404-xx 左、700-43573-xx 右
- 12x 黒 M8 x 16 mm ネジと外部歯付きロック ワッシャ 48-3012-xx
- 16x 黒 M4 x 12 mm ネジと外部歯付きロック ワッシャ 48-2426-xx

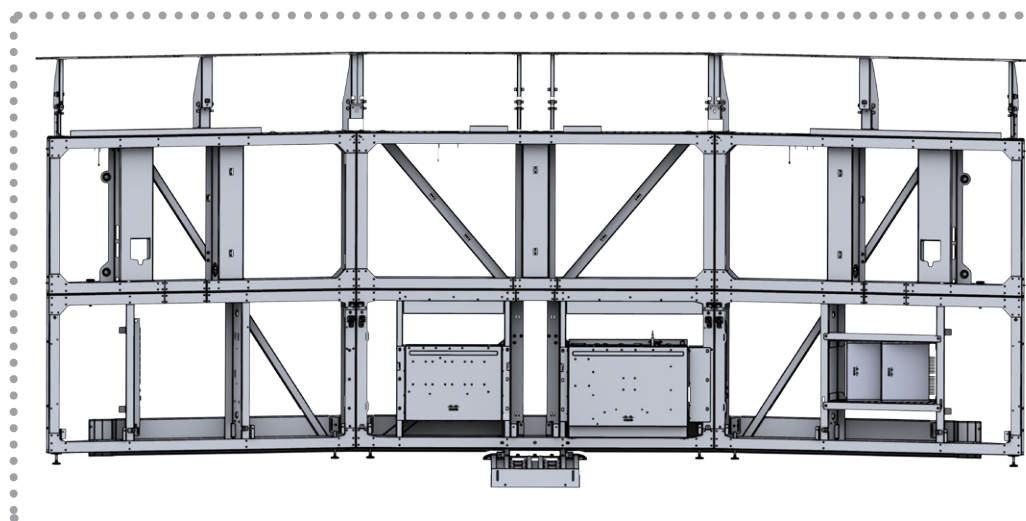
オプションの LAN スイッチ:

注: エンドポイント構造のスイッチはテーブル脚からイーサネット接続モジュールに使用できるオプションのアイテムです。スイッチは、Touch 10 デバイス用のテーブル アセンブリに後の手順で設置する際に必要になります。

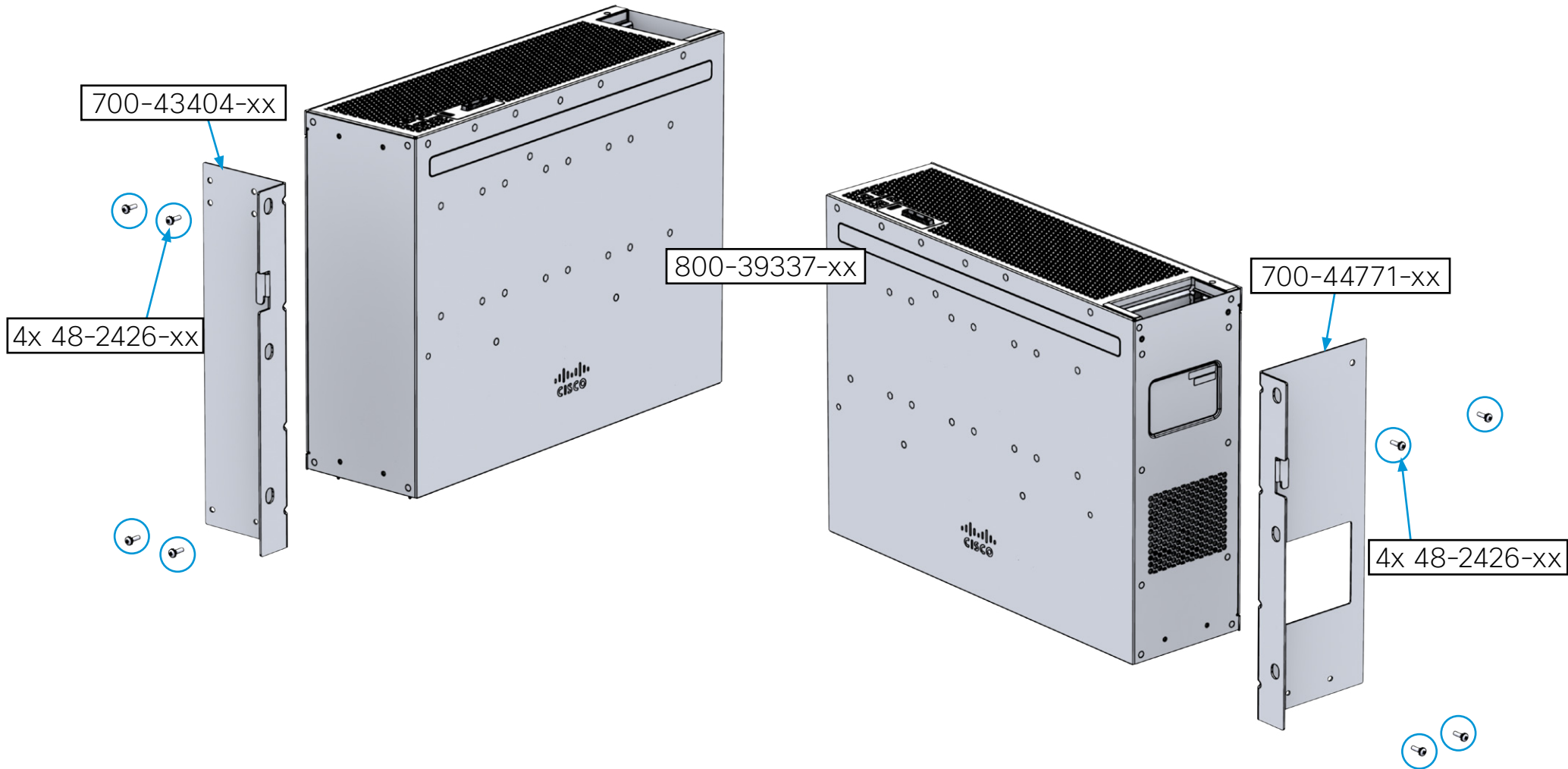
- 2x WS-C2960C-12PC-L スイッチ
- 上側および下側のスイッチ ブラケット (700-43091-xx 上)、700-43090-xx 下)
- 4x 10-32x10 mm ネジと外部歯付きロック ワッシャ 48-2047-xx (スイッチ ブラケットに付属)
- 4x 黒 M4 x 12 mm ネジと外部歯付きロック ワッシャ 48-2426-xx

必要な工具

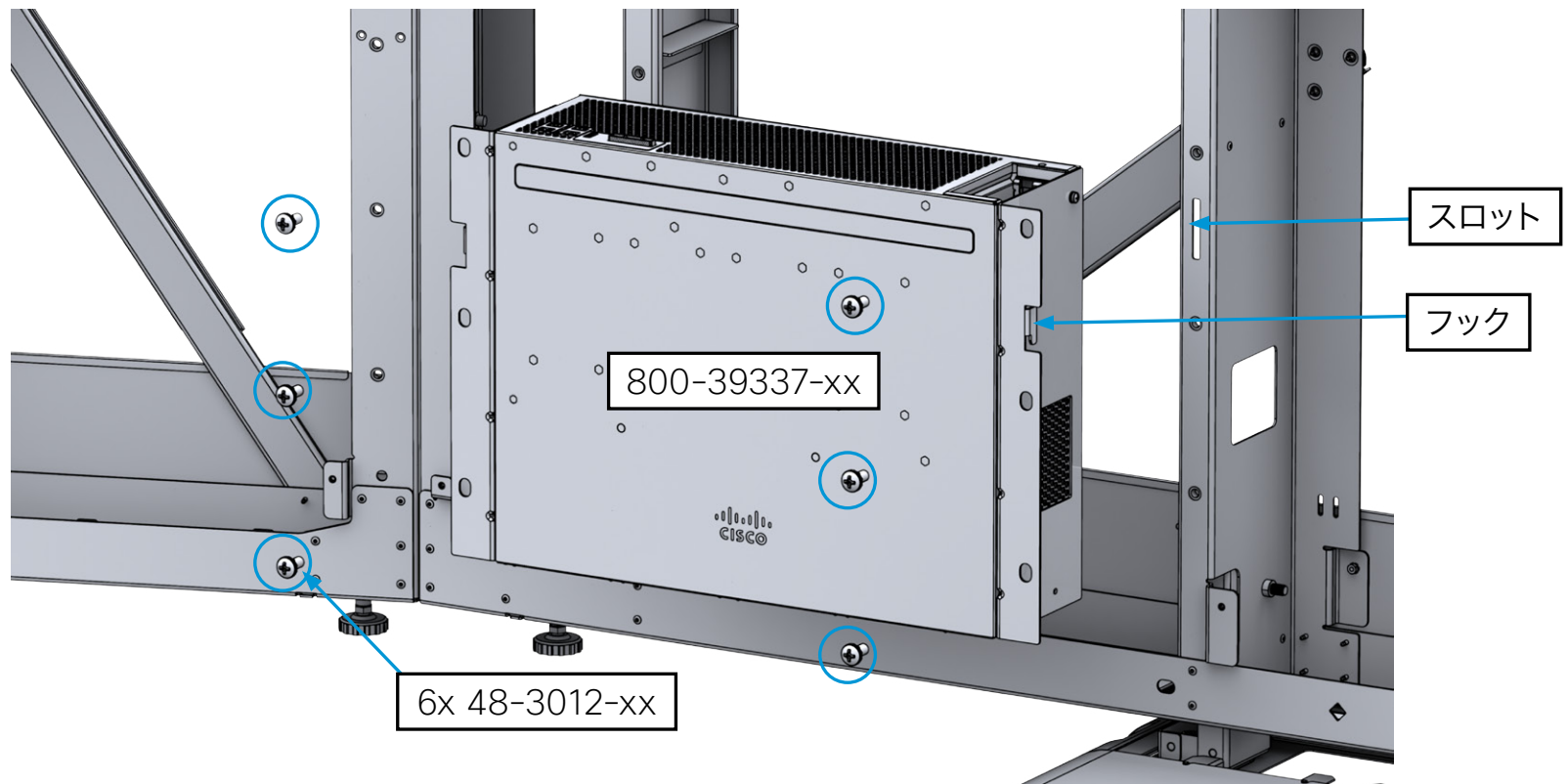
#2 および #3 プラス ドライバ



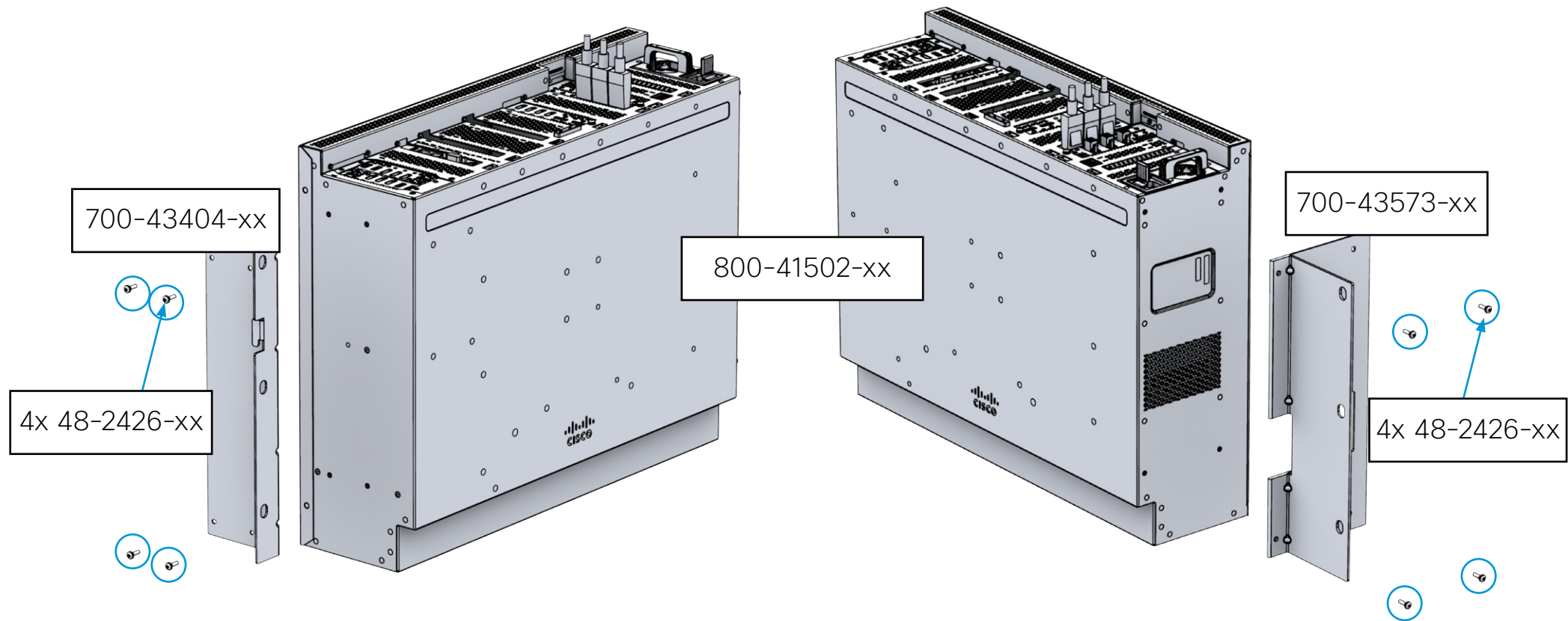
- 1 8x 黒 M4x12 mm ネジ 48-2426-x を使用して、ブラケット (700-43404-xx 左、700-44771-xx 右) をエンコーダ / デコーダ コーデック 800-39337-xx 側に組み立てます。#2 プラス ドライバで締めます。



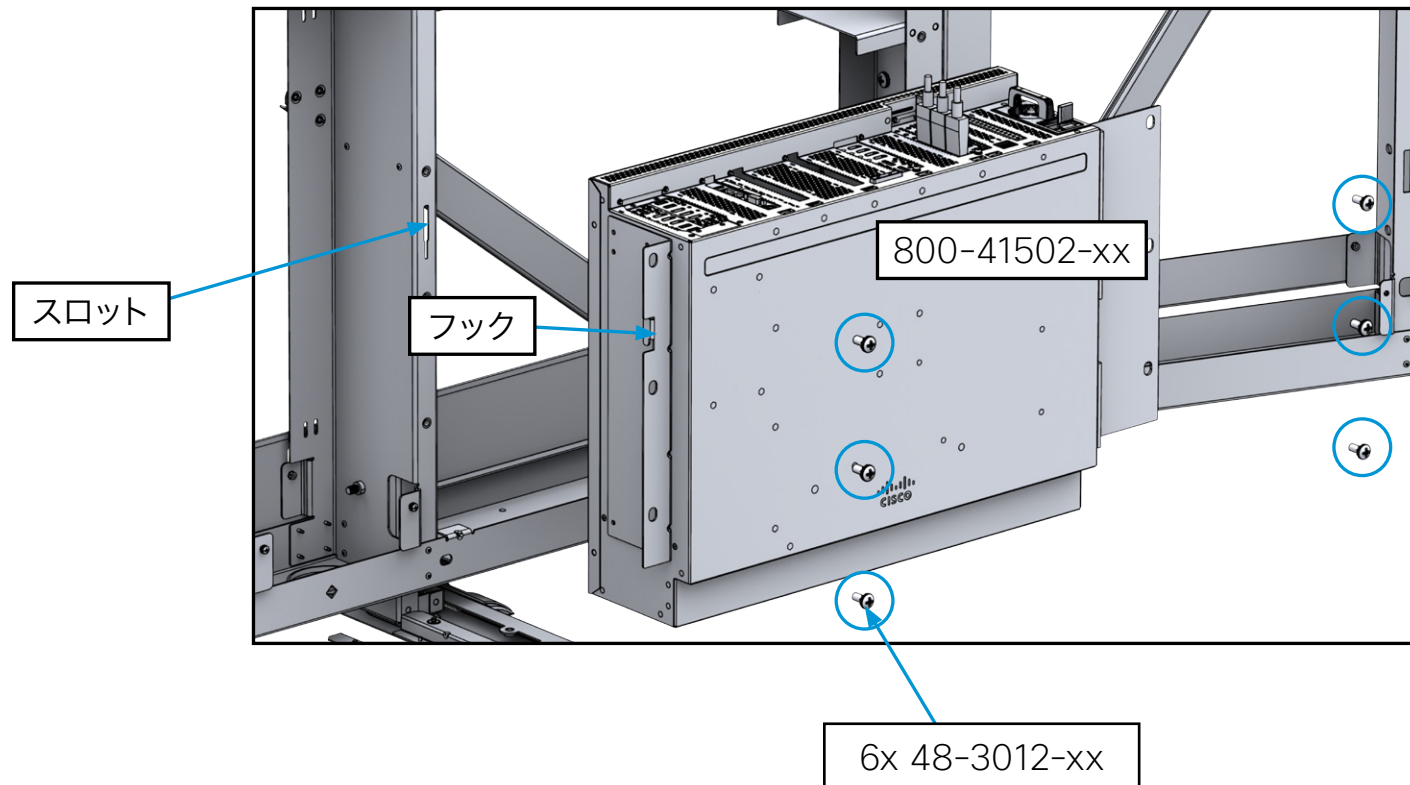
2 スロットのあるブラケットのフックをフレームに合わせ、フックがスロットの底に収まるまでボックスを下げて、下側中央のフレームにエンコーダ/デコーダ コーデックを組み立てます。6x 黒 M8x16 mm ネジ 48-3012-xx を設置し、#3 プラスドライバーで締めます。



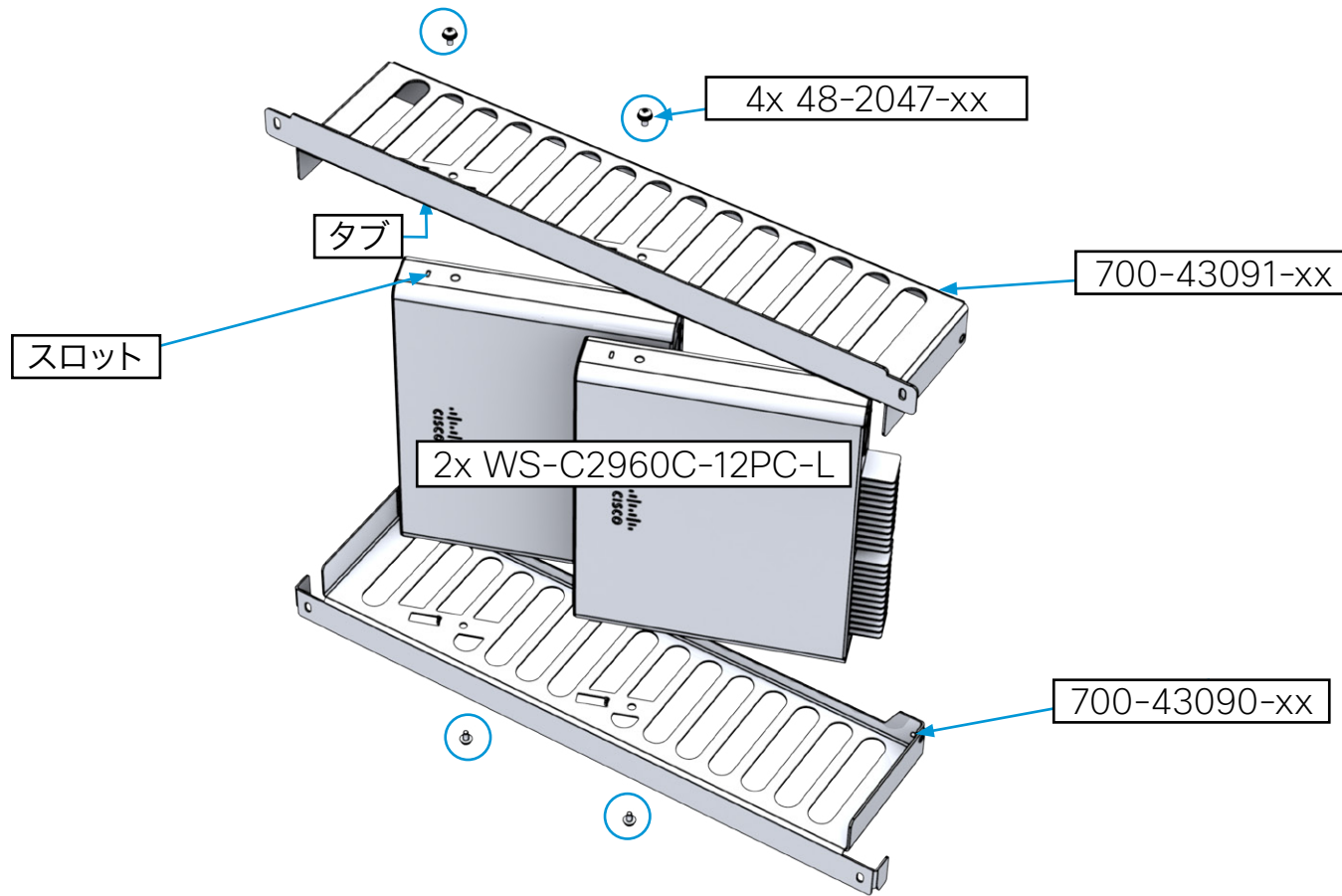
- 3 8x 黒 M4x12 mm ネジ 48-2426-x を使用して、ブラケット (700-43404-xx 左、700-43573-xx 右) をホスト CPU コーデック 800-41502-xx 側に組み立てます。#2 プラス ドライバで締めます。



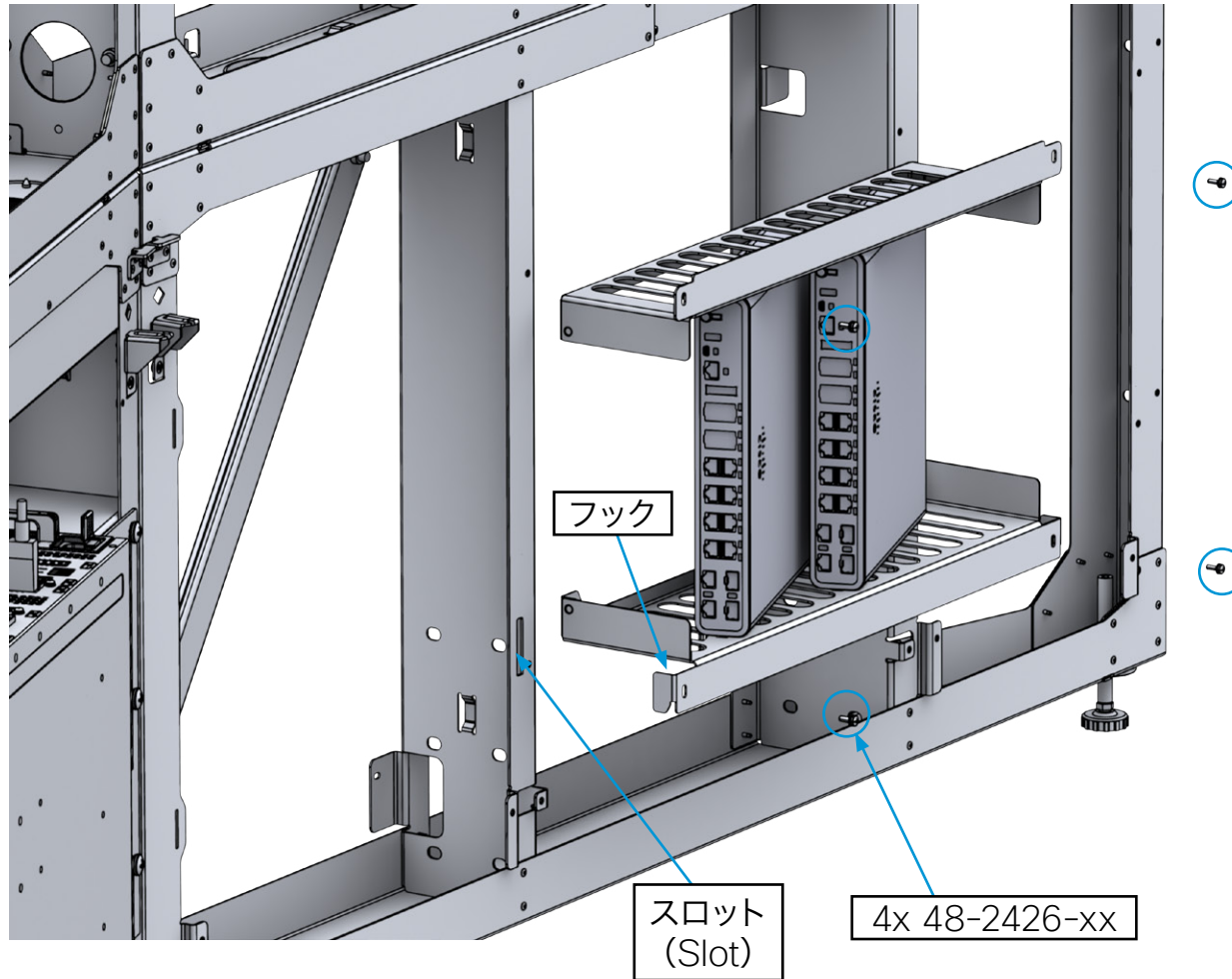
4 ボックスを下部ビームにはめ込んで所定の位置に回転およびスライドし、下部中央フレームにホスト CPU コーデックを組み立てます。フックをフレームでスロット付きの左ブラケットにはめ込みます。6x 黒 M8x16 mm ネジ 48-3012-xx を使用して設置し、#3 プラス ドライバで締めます。



5a オプション: LAN スイッチの設置: スイッチ WS-C2960C-12PC-L を下図の方向に配置し、x4 黒 10-32 X 10 mm ネジ 48-2047-xx (スイッチ ブラケットに付属) を使用してブラケット (700-43091-xx 上、700-43090-xx 下) を組み立てます。スイッチのロットでブラケットにタブをはめ込みます。#2 のプラス ドライバを使用して、ネジを締めます。



5b オプション: LAN スwitch の設置: フレームの スロット に 2 つの 下部フック をはめ込み、スイッチとブラケットを取り付けます。4x 黒 M4 x 12 mm ネジ 48-2426-xx を設置し、#2 プラス ドライバで締めます。



サブウーファーおよびスピーカーの設置

必要な部品

ウーファー:

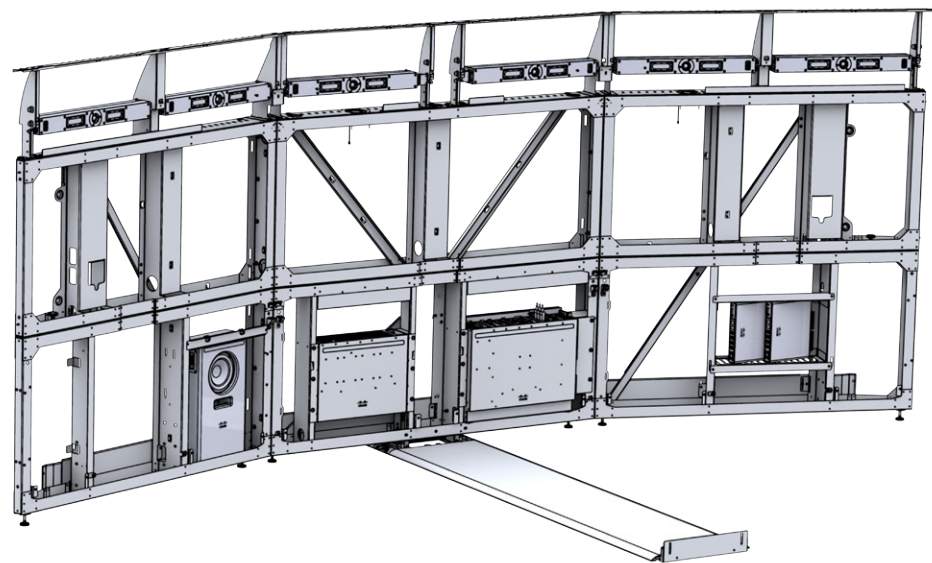
- 1x パワーアンプ 800-42333-xx
- 1x ウーファー 74-12848-xx
- 1x ウーファースのブラケット 700-43076-xx
- 1x 電源 341-0414-xx
- 8x 黒 M4 x12 mm ネジ 48-2426-xx
- 2x シルバー M4 ワッシャ 49-1127-xx
- ロック ワッシャ 49-0420-xx 付き 2x M4 ナット

スピーカー:

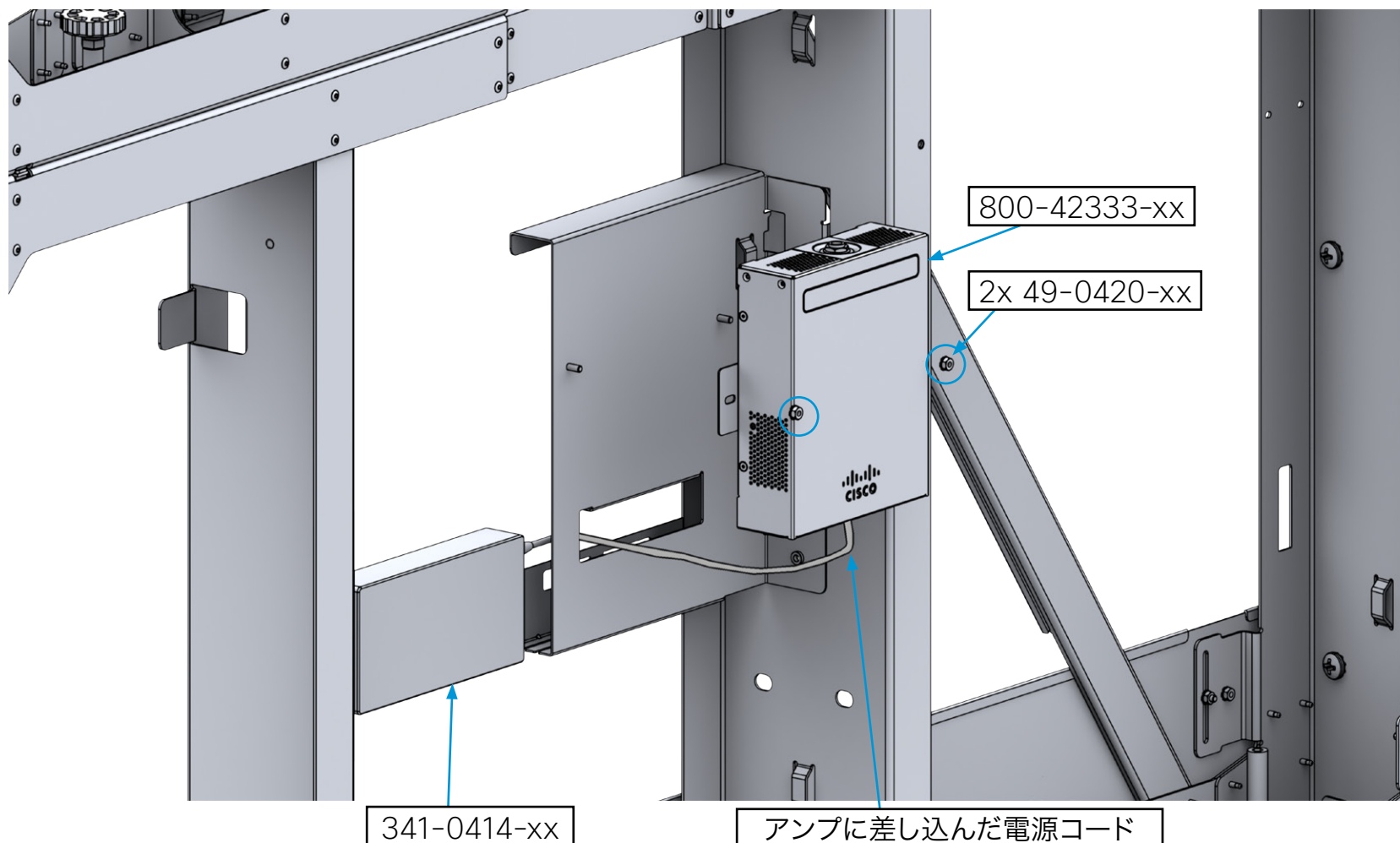
- 6x スピーカー 74-12204-xx
- 2x スピーカー取り付けブロック 700-47073-xx
- 48x 黒 M3 肩付きネジ 48-2692-xx

必要な工具

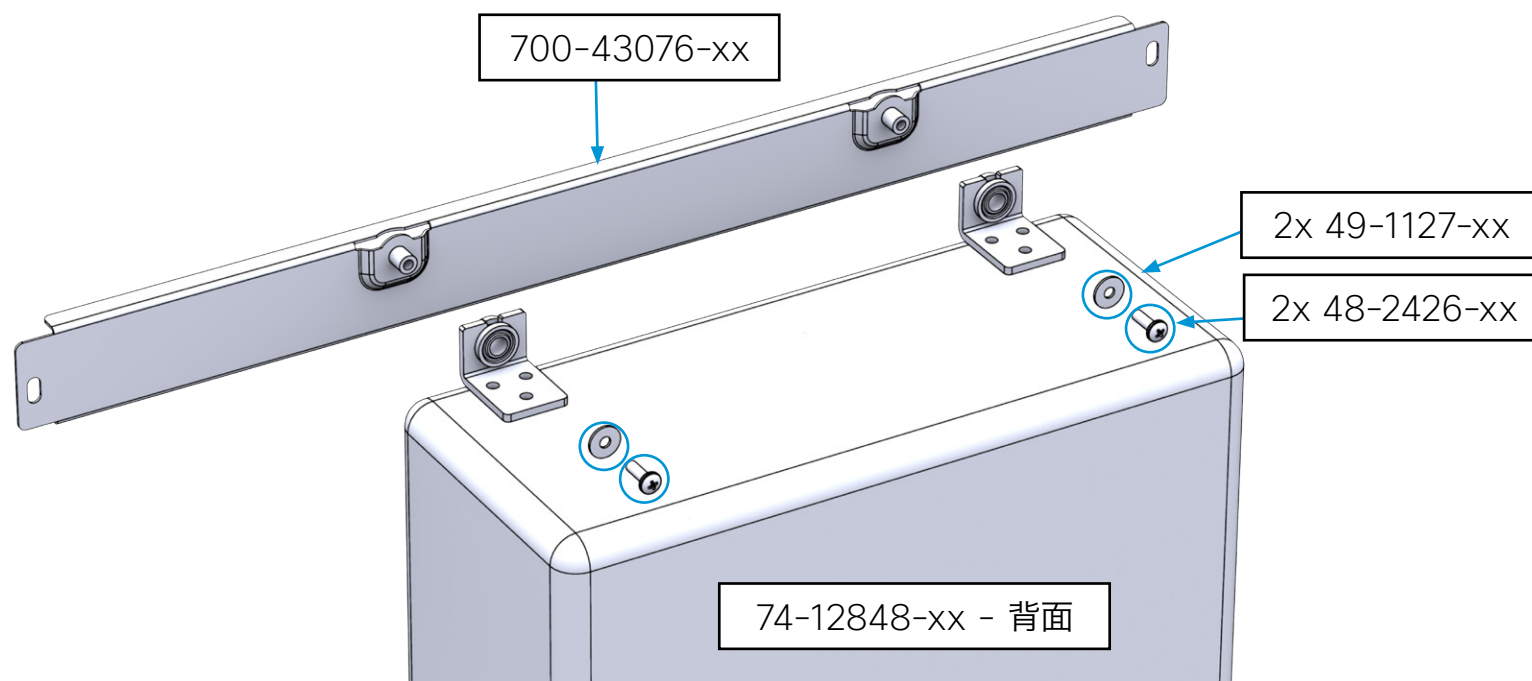
- #2 プラス ドライバ
- 7 mm 六角ソケット ドライバ



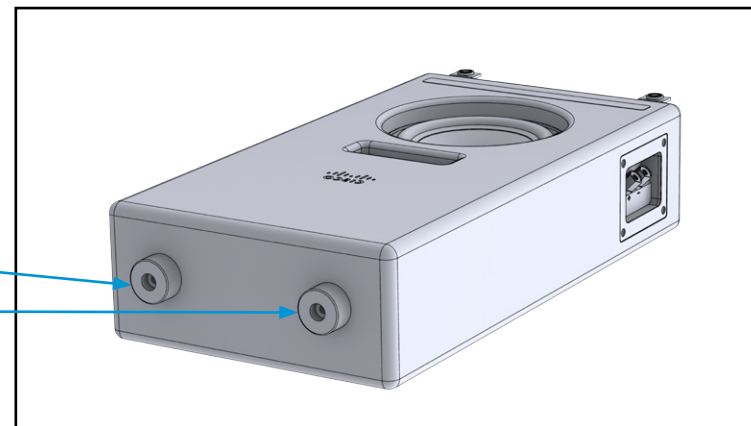
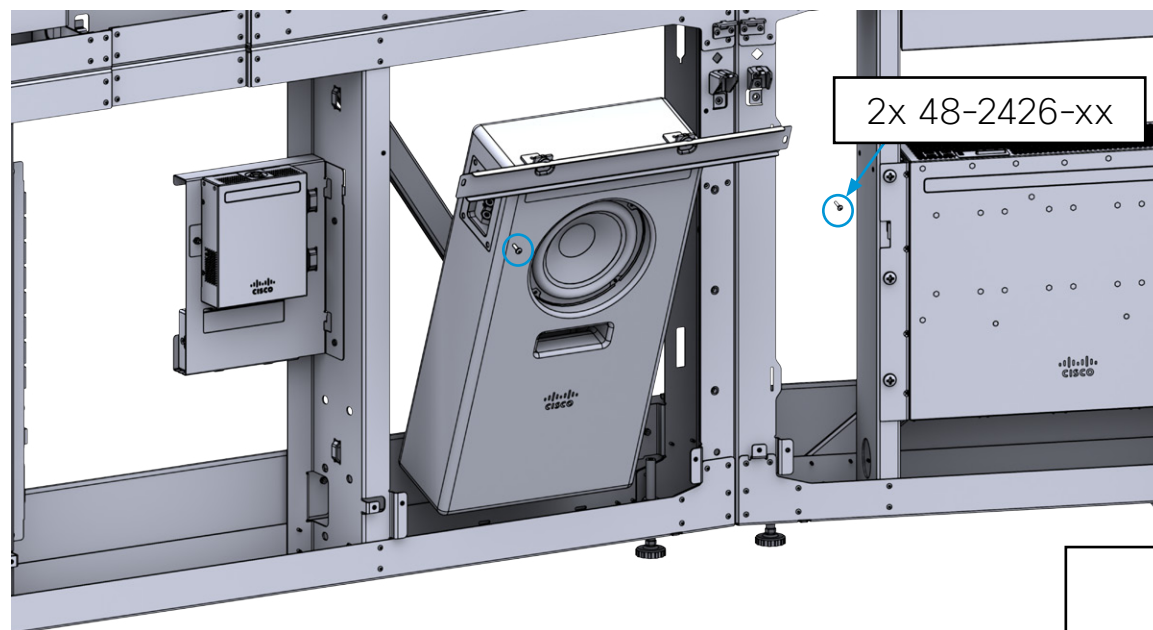
- 1 パワーアンプ 800-42333-xx をディスプレイ フレーム左側の電源ブラケットに取り付けます。2x M4 ナット 49-0420-xx をねじ付き溶接スタッドに取り付け、7 mm 六角ソケット ドライバで締めます。電源 341-0414-xx をブラケットの奥の溝に差し込み、アンプ下部に電源を接続します。



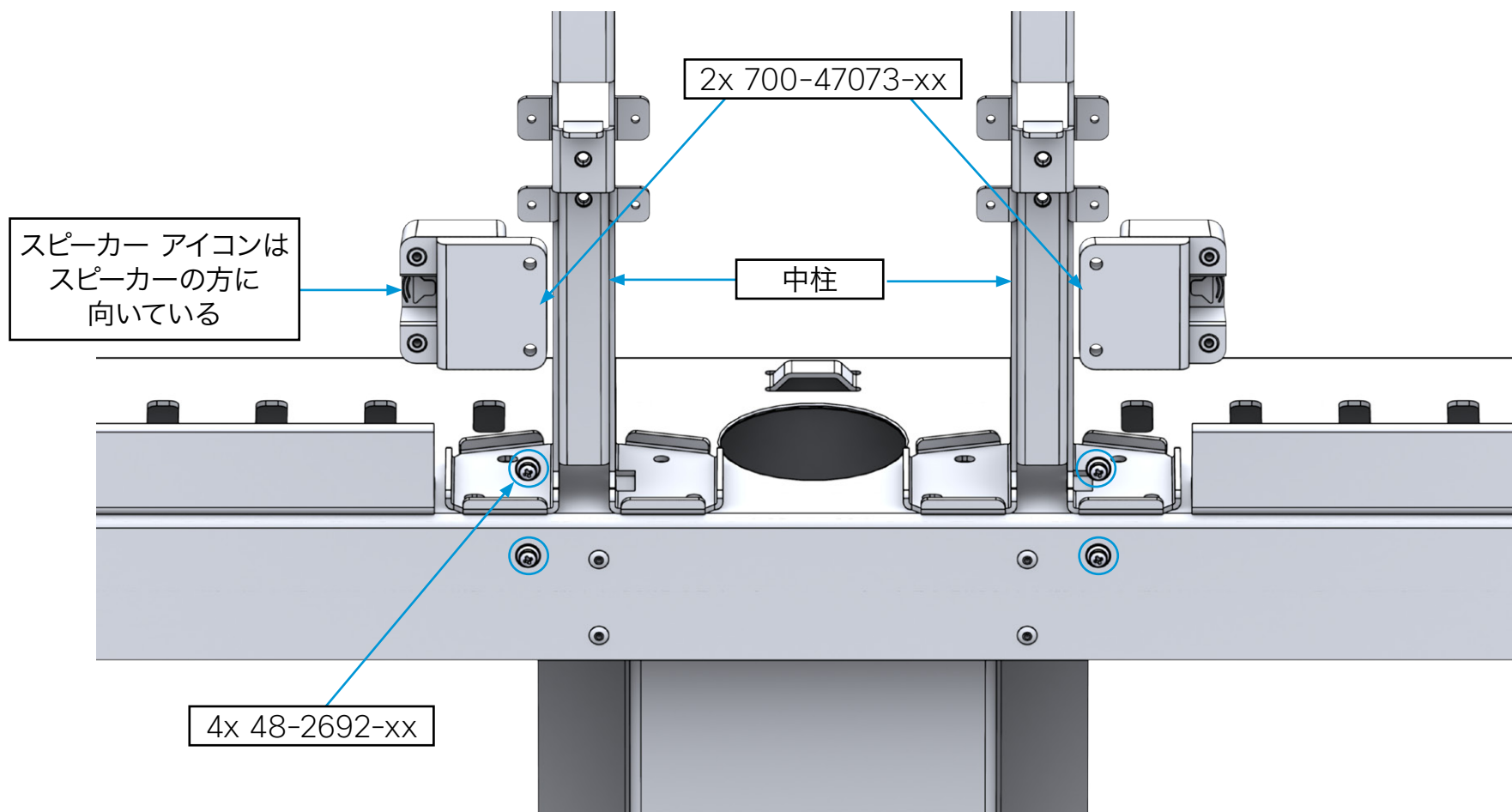
- 2 ブラケット 700-43076-xx をウーファー 74-12848-xx に組み立てます。ウーファーのゴム製グロメットにブラケットのスタンドオフを取り付けます。2x シルバー M4 ワッシャ 49-1127-xx を 2x M4 x 12 mm ネジ 48-2426-xx に取り付け、#2 プラス ドライバで締めます。



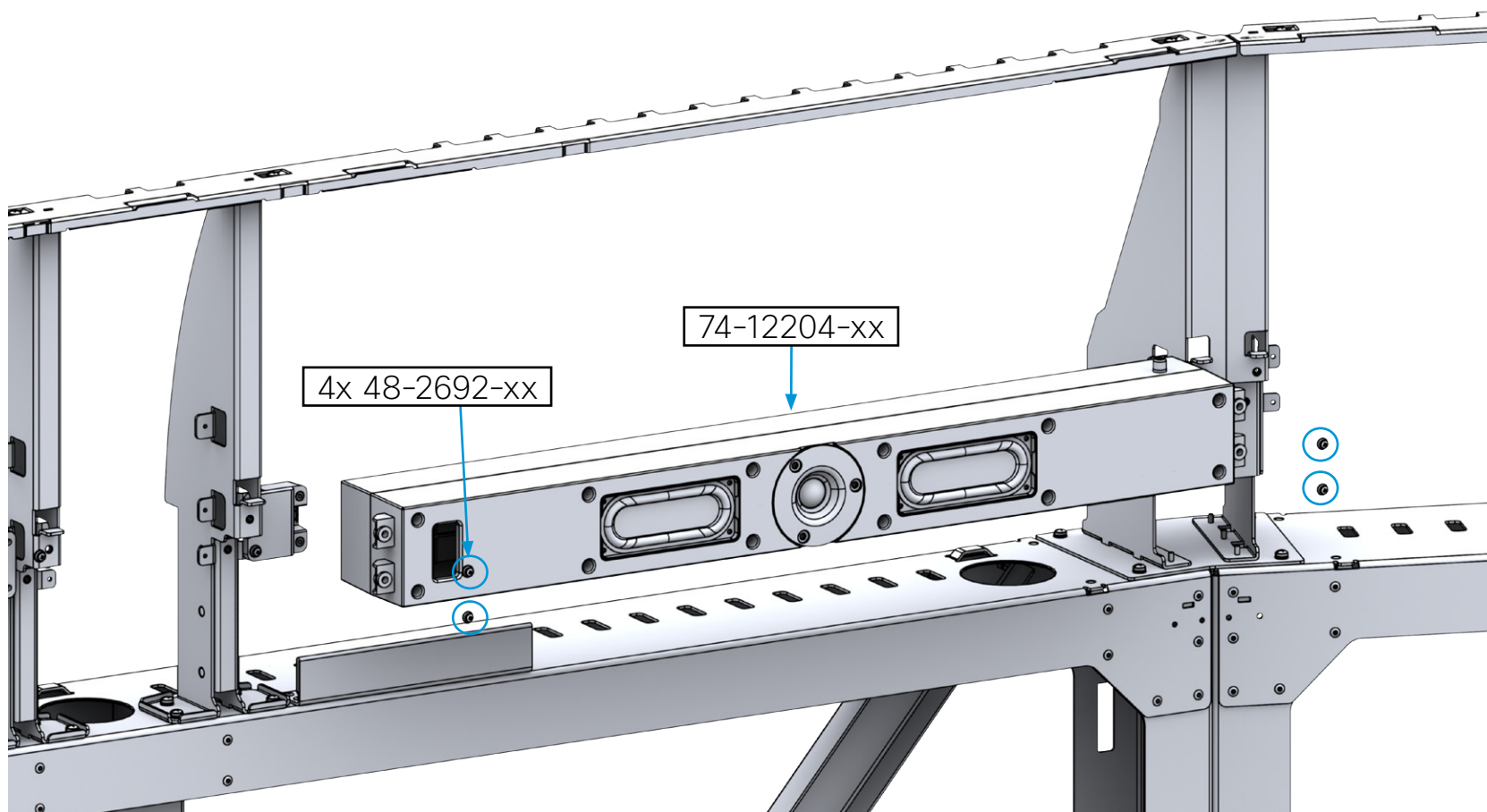
3 ウーファーを前方に回転し、左下のディスプレイ フレームに配置します。このとき、ウーファーの脚がフレームのシート メタル フォームに配置されていることを確認します。ウーファーを後ろ側に回転して、2x M4 x 12 mm ネジ 48-2426-xx を取り付け、#2 プラス ドライバで締めます。



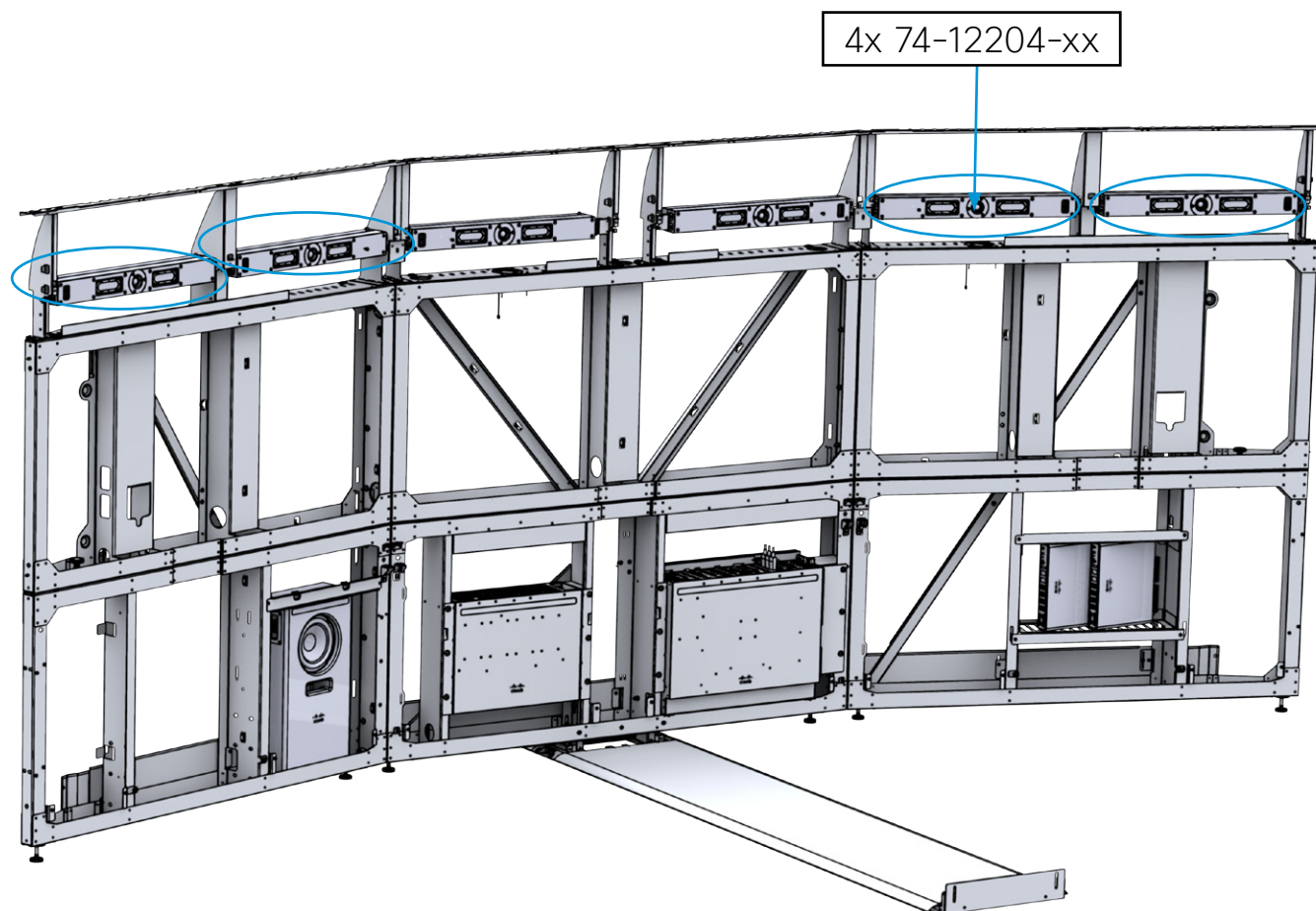
4a スピーカーを設置します。4x 黒 M3 肩付きネジ 48-2692-xx 付き(支柱あたり 2x)中柱に 2x スピーカー取り付けブロック 700-47073-xx を装着します。注：2 本の中央垂直支柱のみがこのブロックを使用します。設置後、スピーカーの方に向けたスピーカー アイコンに注意してください。



4b スピーカー 74-12204-xx をゴム製ブロックに取り付け、4x 黒 M3 肩付きネジ 48-2692-xx を使用してスピーカーごとに装着します。**スレッド インサートを損傷する可能性があるため、これらのネジに電動ドライバーを使用しないでください。**



- 5 スピーカーごとに 4x 黒 M3 肩付きネジ 48-2692-xx を使用して残りの 4 台のスピーカーを設置します。スレッド インサートの損傷を防ぐために、ネジを設置する際に電動ドライバーを使用しないでください。
-



第 1 列テーブルの設置とケーブル配線の開始

必要な部品

テーブル脚 (1x 左の内側テーブル脚 800-44195-xx、1x 右内側テーブル脚 800-41001-xx、外側テーブル脚 800-41002-xx 外)

イーサネット / 電源モジュール:

- 6x 電源 / イーサネット接続モジュール (部品は国によって異なる)
- 4x 電源 / イーサネット接続カバー 700-47772-xx
- 2x 電源 / イーサネット接続めくら板 700-45421-xx
- 20x 電源 / イーサネット接続ブラケット用 #4-40 ナット

1x 第 1 列ケーブル管理アセンブリ 800-40845-xx 49-0326-xx

14x M8x16 MM ネジ 48-3012-xx

6x M6 ナット 49-100235-xx

テーブル脚のコネクタ (700-44718-xx 右、700-44719-xx 左)

8x M6x10 mm ネジ 48-101094-xx

4x 脚の化粧ブラケット (700-46219-xx 右端、700-44754-xx 右中央、700-44755-xx 左中央、700-46218-xx 左端)

2x ジャンパ ケーブル 37-0833-xx

1x PoE スイッチ WS-C2960C-8PC-L

2x スイッチ ブラケット 700-44758-xx

2x #10-32 ネジ 48-2047-xx

1x TDM 800-40951-xx

必要に応じてベルクロ ケーブル 52-0449-xx

必要な工具

- #3 および #4 のプラス ドライバ
- 13 mm レンチまたはモンキー レンチ
- 19 mm の 12 ポイント ラチェット式ボックスエンド レンチ
- メジャーまたは定規
- アルコール水準器
- レーザー レベル
- 1/4 インチのナット ドライバまたはレンチ(電源 / イーサネット ブラケット用)

ケーブル - 第 1 列テーブル

CTS-5K-CBL-R1-SW (69-2669-xx) には、1x 5 メートルのイーサネット ケーブル 37-1534-xx が含まれます。

CTS-5K-CBL-R1-LAP (69-2671-xx)、イーサネット接続モジュールには次が含まれます。

- 1x 5 メートルのイーサネット ケーブル 37-1561-xx EX1
- 6x 8 メートルのイーサネット ケーブル 37-1562-xx C1-C6

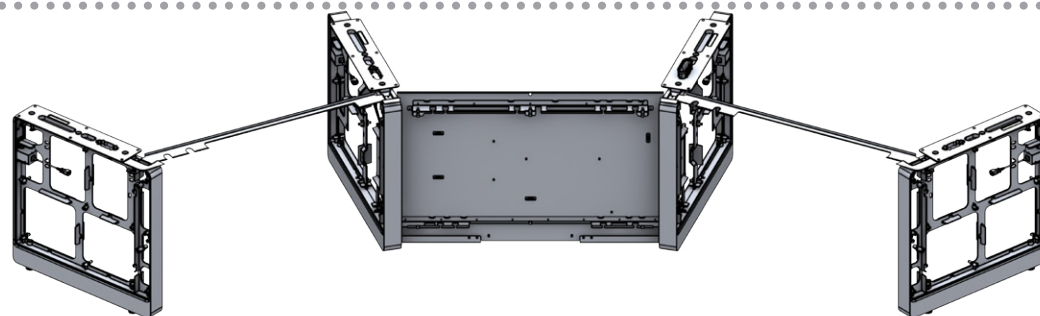
CTS-5K-CBL-R1-MIC (69-2674-xx) には、6x DisplayPort-to-DisplayPort ケーブル、2.6 メートル、37-1542-xx A1-A6 が含まれます。

CTS-5K-CBL-R1-AC 69-2676-xx の電源コードには、次が含まれます。

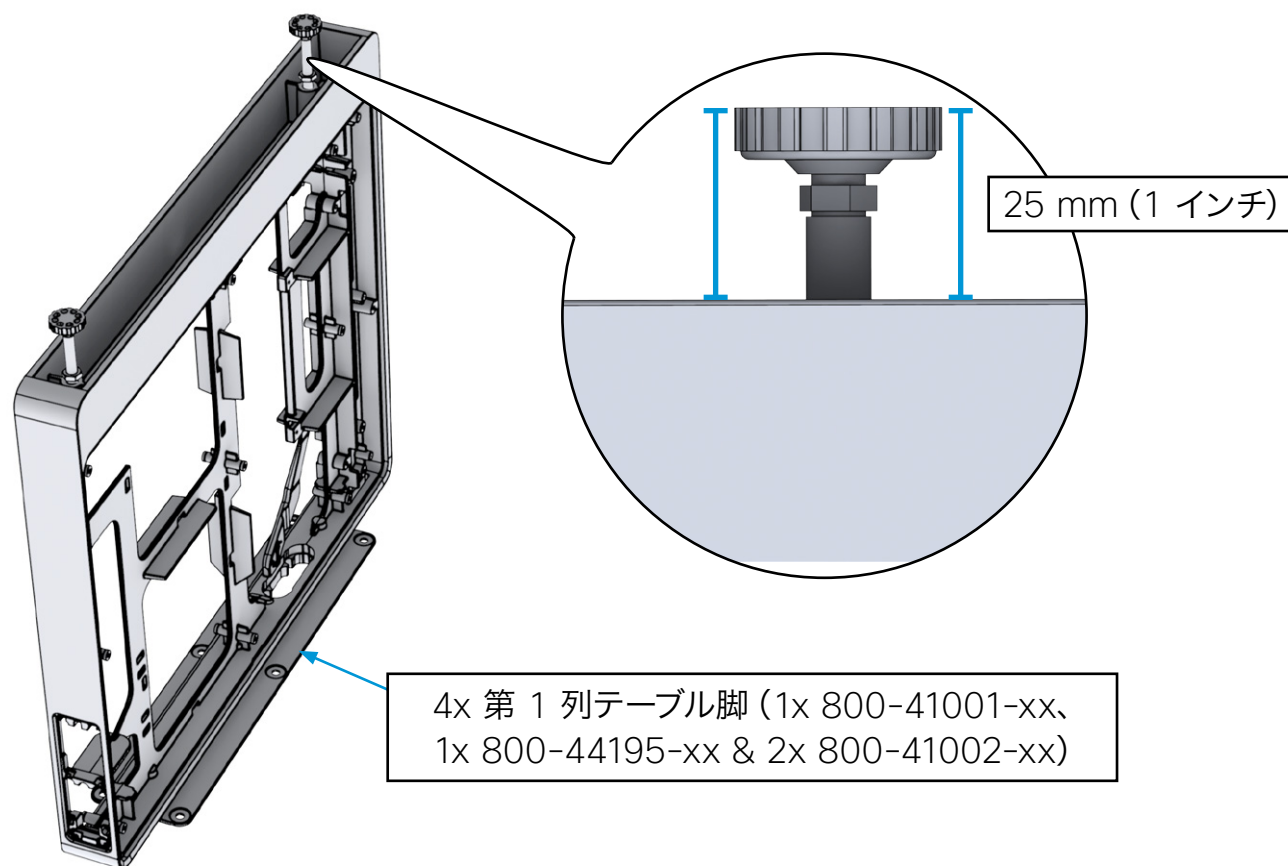
2x ジャンパ ケーブル、3 メートル、37-0833-xx D1 および D6

1x 電源コード、7 メートル、37-0847-xx、PDU3

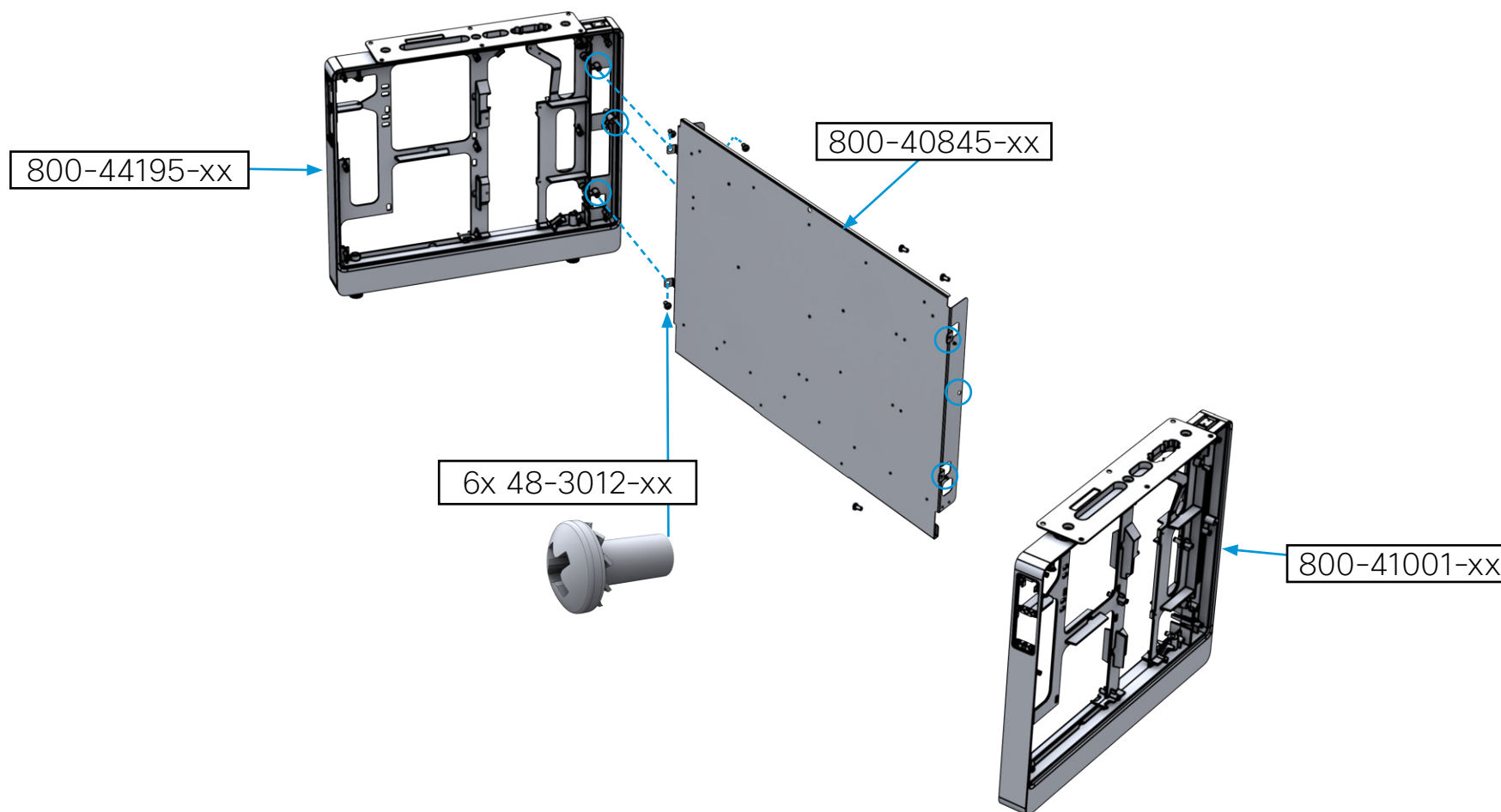
2x ジャンパ ケーブル、2 メートル、37-0994-xx 参照番号なし - 中間の脚用の追加ジャンパ ケーブル



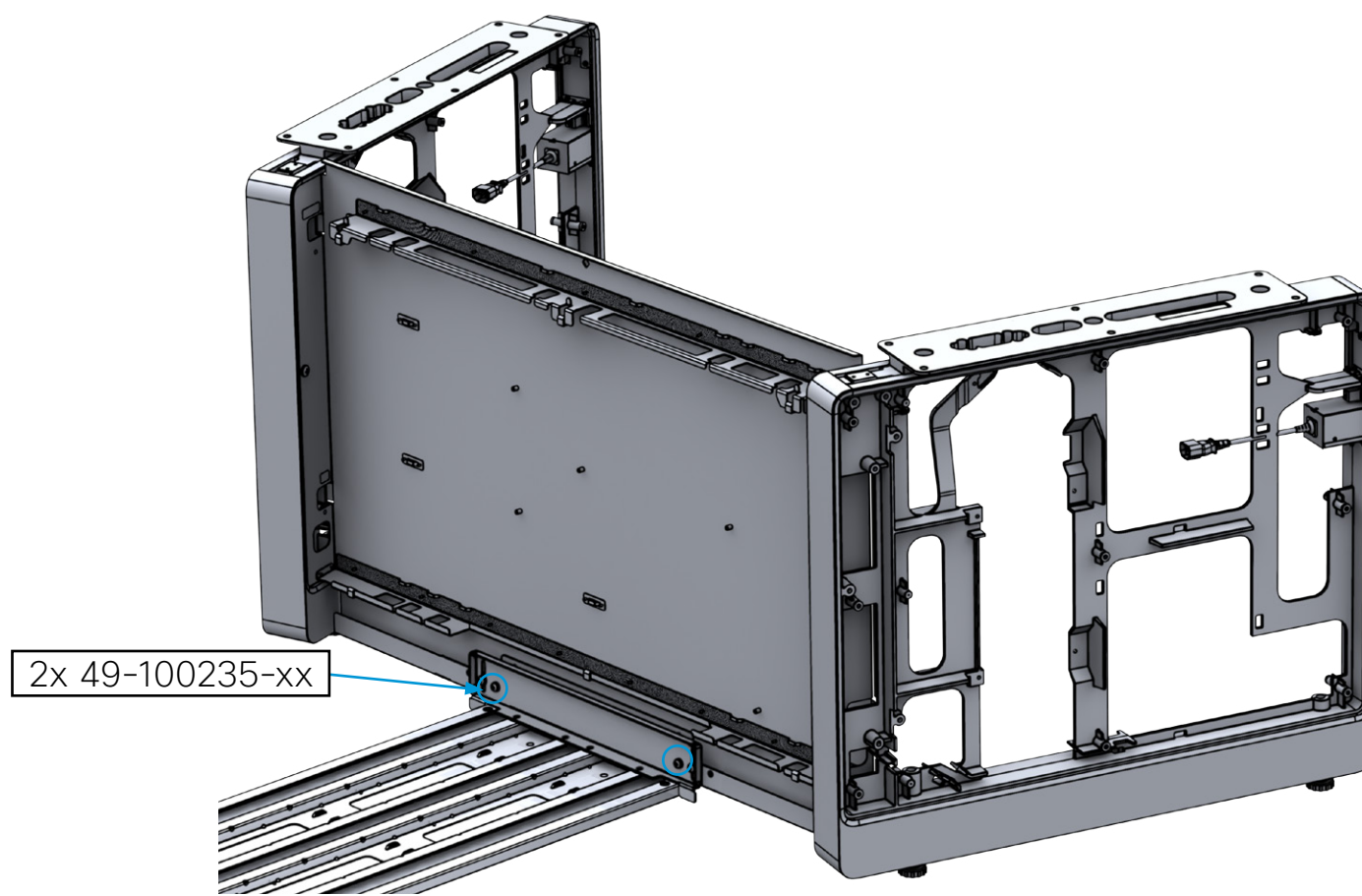
- 1 4x テーブル脚を (1x 各内側テーブル脚 800-41001-xx、800-44195-xx、2x 外側テーブル脚 800-41002-xx) 上下反対にします。脚の下端と脚のベースの間に 1 インチ (25 mm) のスペースができるまで、レベラーを調整します。



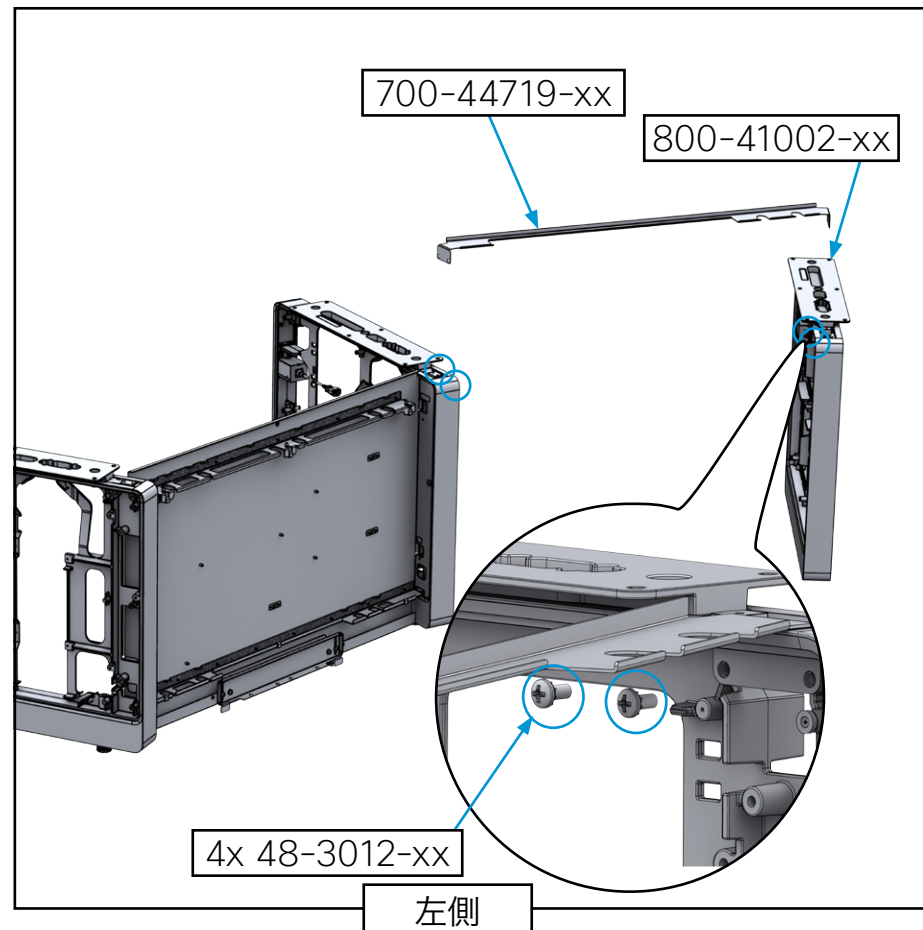
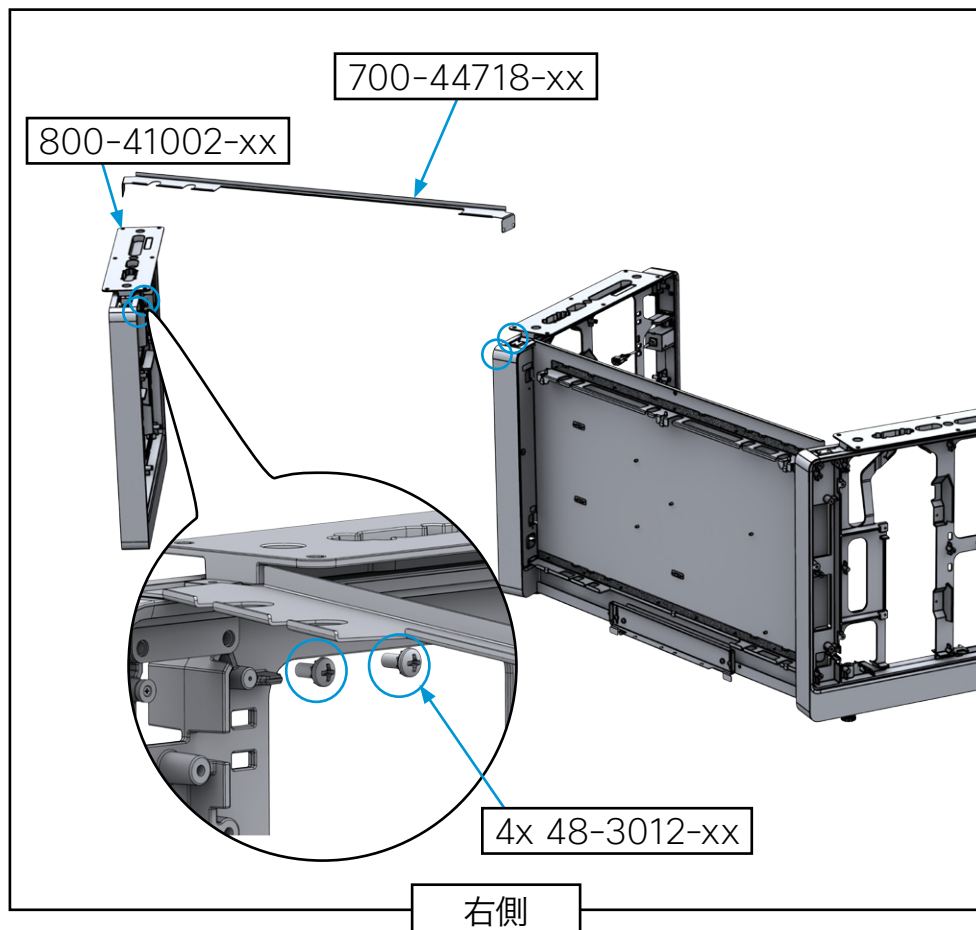
2 第 1 列ケーブル管理アセンブリ 800-40845-xx 上のピンを穴に合わせ、内側テーブル脚 (800-44195-xx 左、800-41001-xx 右) にスロットを付けます。次に、6x M8x16 mm のネジ 48-3012-xx (1 本あたり 3 個) を使用してアセンブリに脚を接続します。



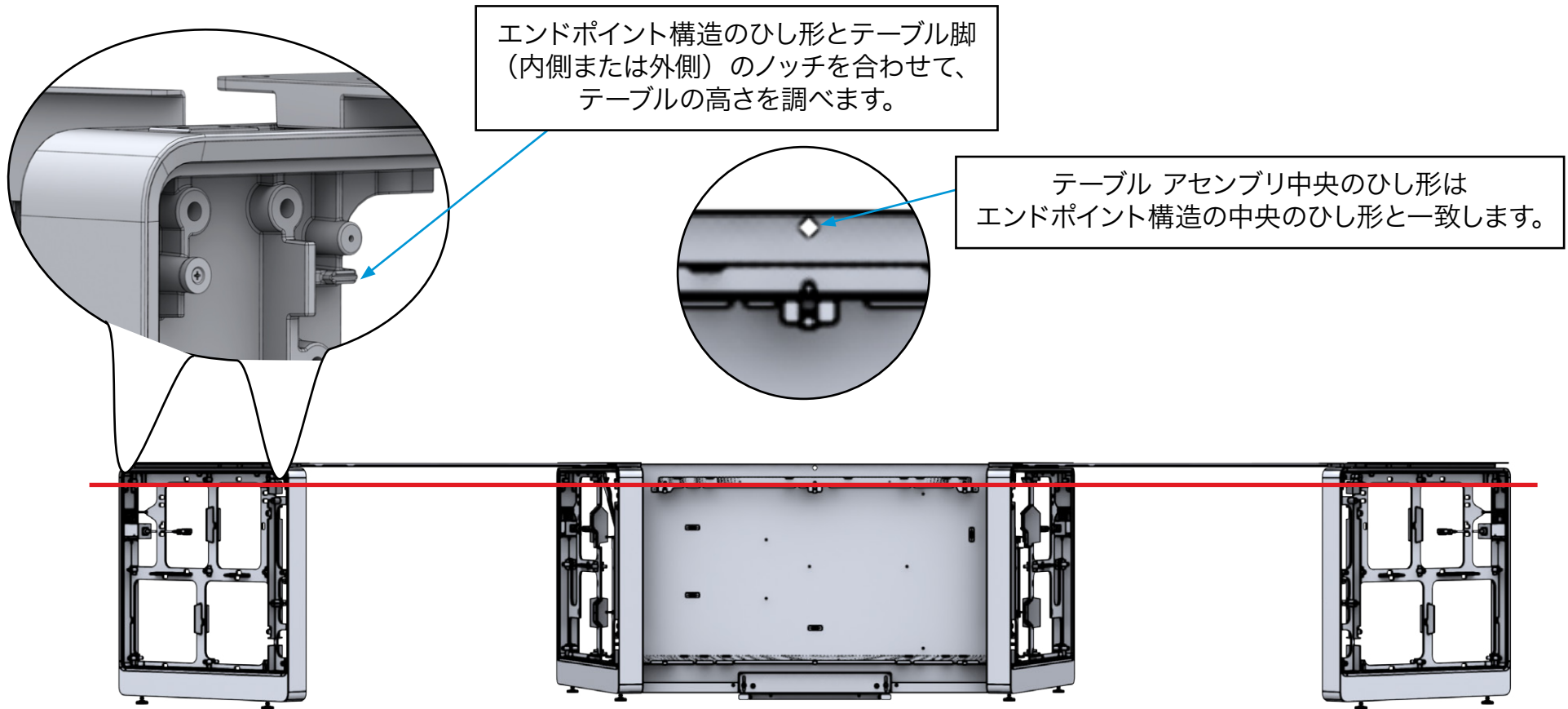
- 3 第 1 列ケーブル管理アセンブリにある 2 個の M6 スタッドにケーブル ランナー ブラケットの slots をスライドさせて、第 1 列アセンブリにケーブルのランナーのブラケットをゆるく取り付けます。2x M6 ナット 49-100235-xx を指でスタッドに固く取り付けます。
-



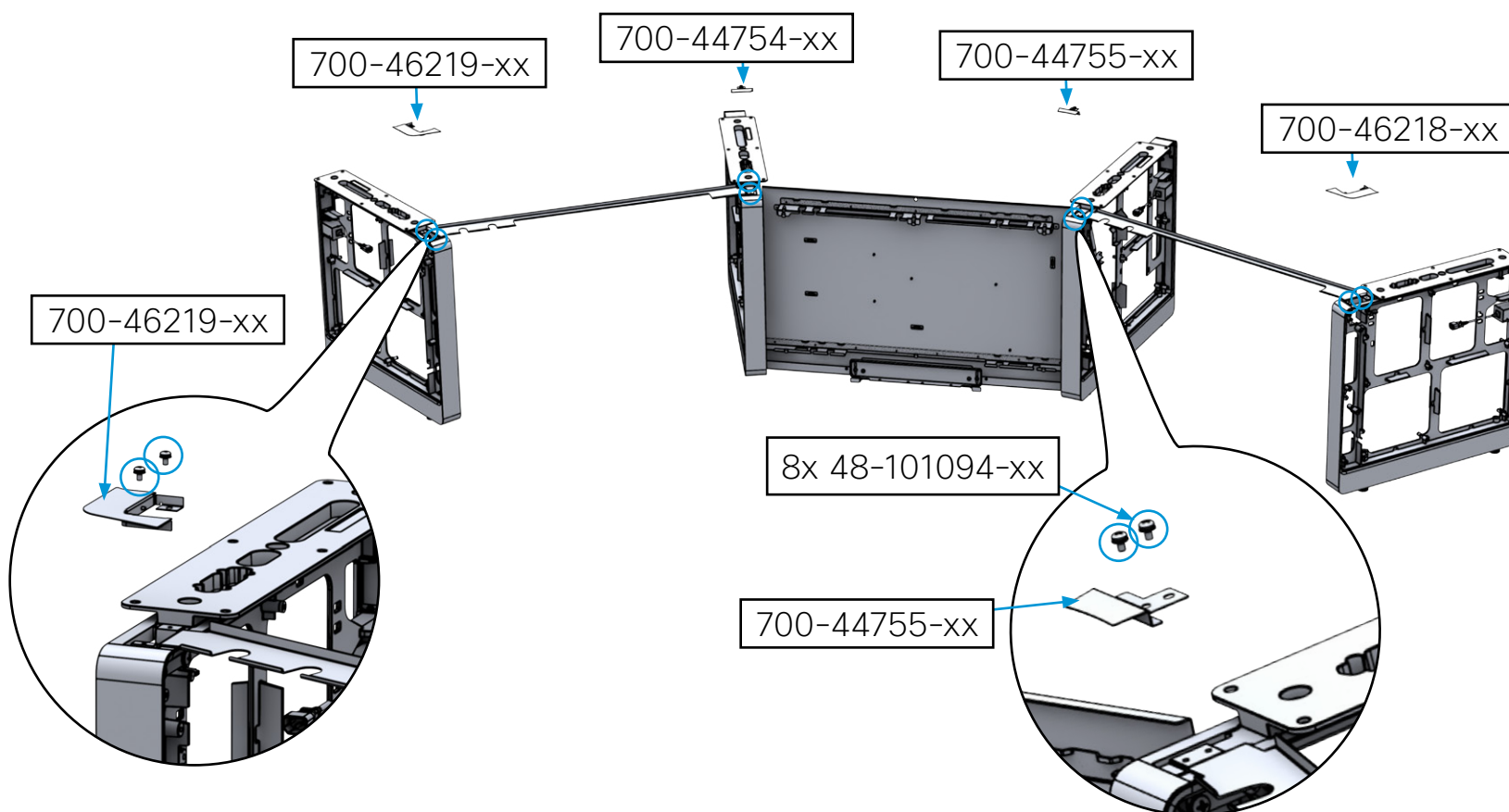
- 4 右側の外側テーブル脚 800-41002-xx を持ち、右側のテーブル脚コネクタ 700-44718-xx をテーブル脚に装着します。4x M8x16 mm のネジ 48-3012-xx を使用して、テーブル脚にブラケットを取り付けます。700-44719-xx 左コネクタと、4x M8x16 mm のネジ 48-3012-xx を使用して、同じ手順で左テーブル脚 800-41002-xx を接続します。



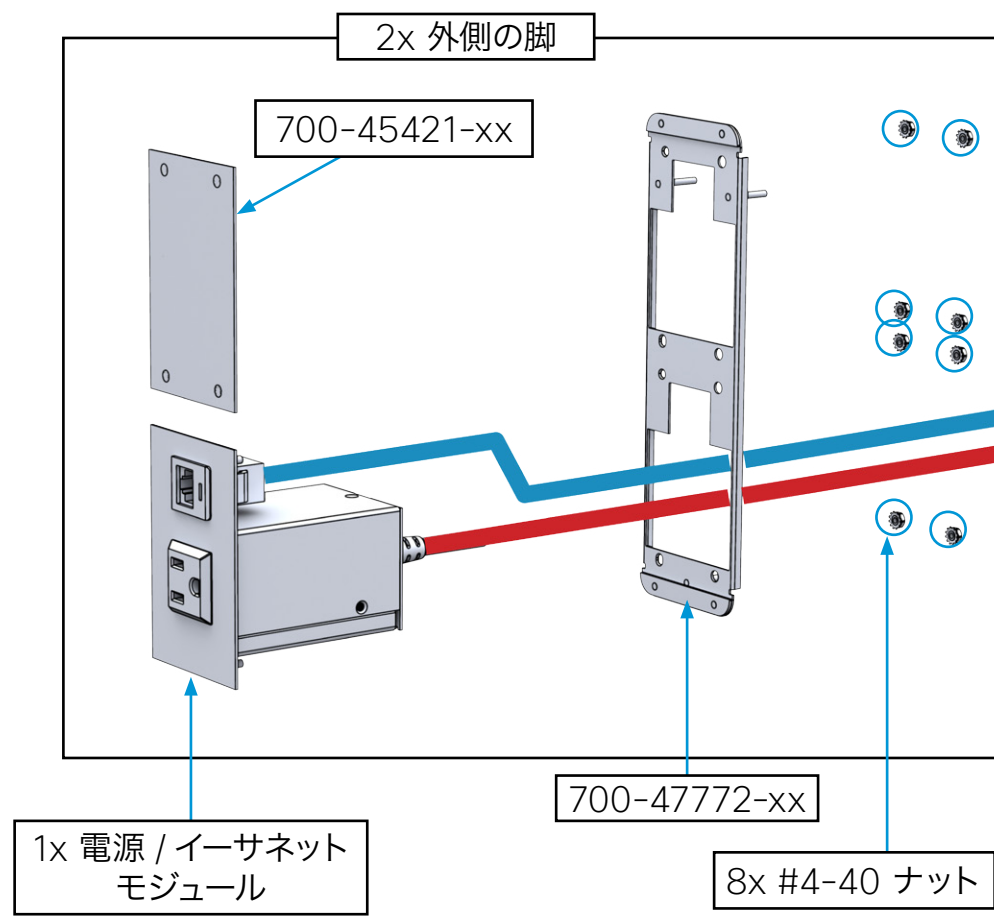
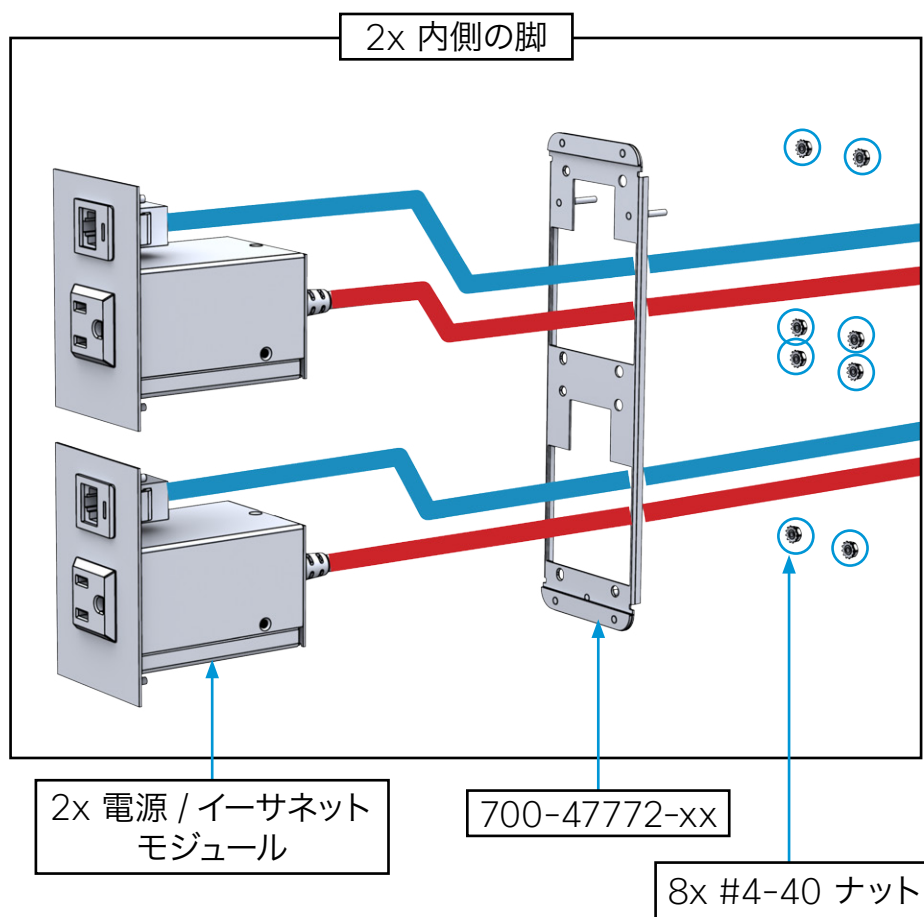
5 外側のテーブル脚が内側のテーブル脚に対して水平であることを、レーザー水準器を使用して確認します。



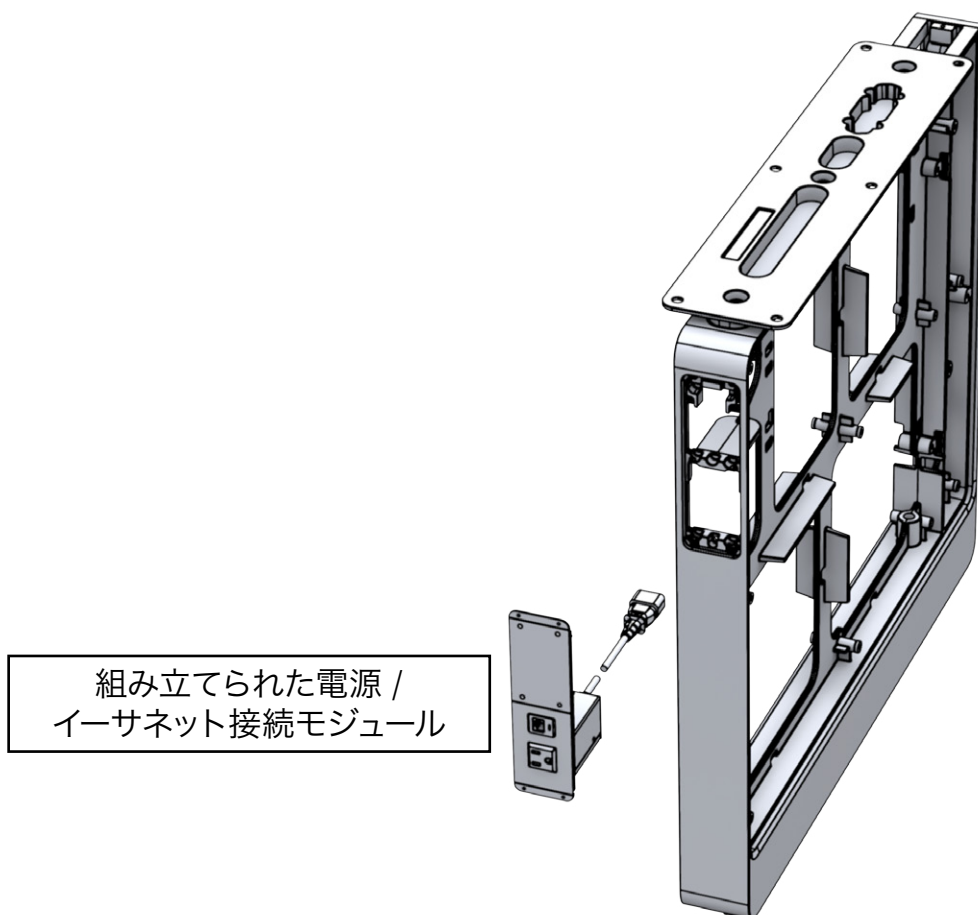
6 脚の化粧ブラケット (700-46219-xx 右端、700-44754-xx 右中央、700-44755-xx 左中央、700-46218-xx 左端) をテーブル脚に差し込みます。8x M6x10 mm 48-101094-xx ネジを使用してテーブル脚ブラケット (ブラケットごとにネジを 2 個) に装着します。



7 テーブル脚に取り付ける前に、コンセント カバーに電源コンセントを組み立てます。a. 6x 電源 / イーサネット接続モジュール (部品番号は国によって異なります) を取り、電源 / イーサネット接続モジュールに付属の #4-40 ナットを使用して 4x 電源 / イーサネット接続カバー 700-47772-xx に組み込みます。b. 下図のとおり、2 本の外側の脚にめくら板 700-45421-xx を用い、8x #4-40 ナット 49-0326-xx を使用して装着します。ヒント：カバーを平らに押さえ、設置しやすいようにナット ドライバを使用し、下からナットを取り付けます。

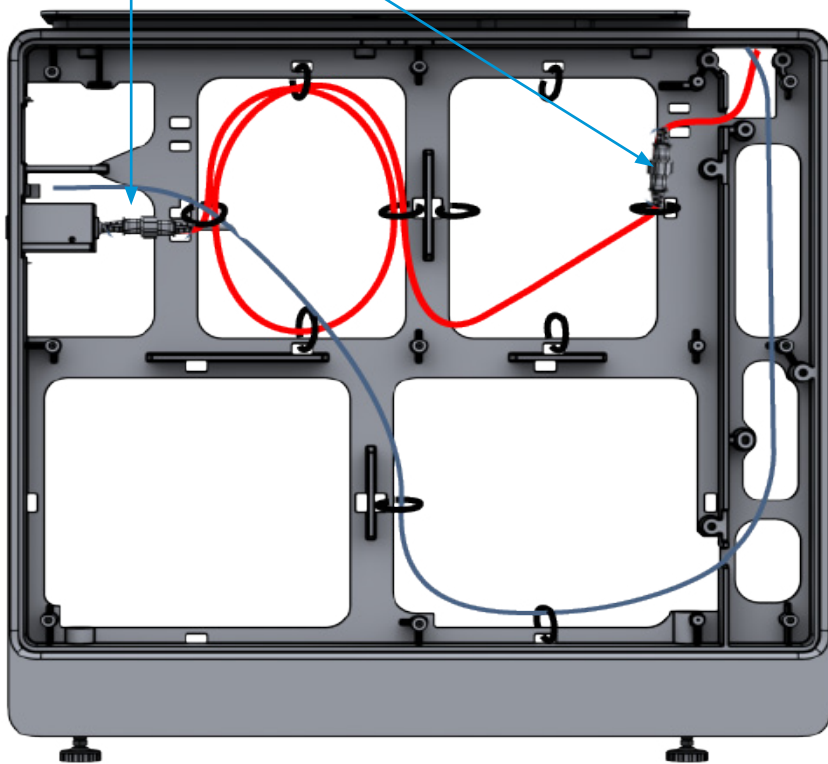


- 8 4x 電源 / イーサネット接続モジュールをテーブル脚に設置します。3x #4-40 ナット 49-0326-xx をスタッドに取り付けて、ナットを締めます。2 個のコンセントが付いたモジュールを 2x 内側のテーブル脚に差し込み、1 個のコンセントが付いたモジュールと、1 枚のめくら板を 2x 外側のテーブル脚に差し込みます。
-

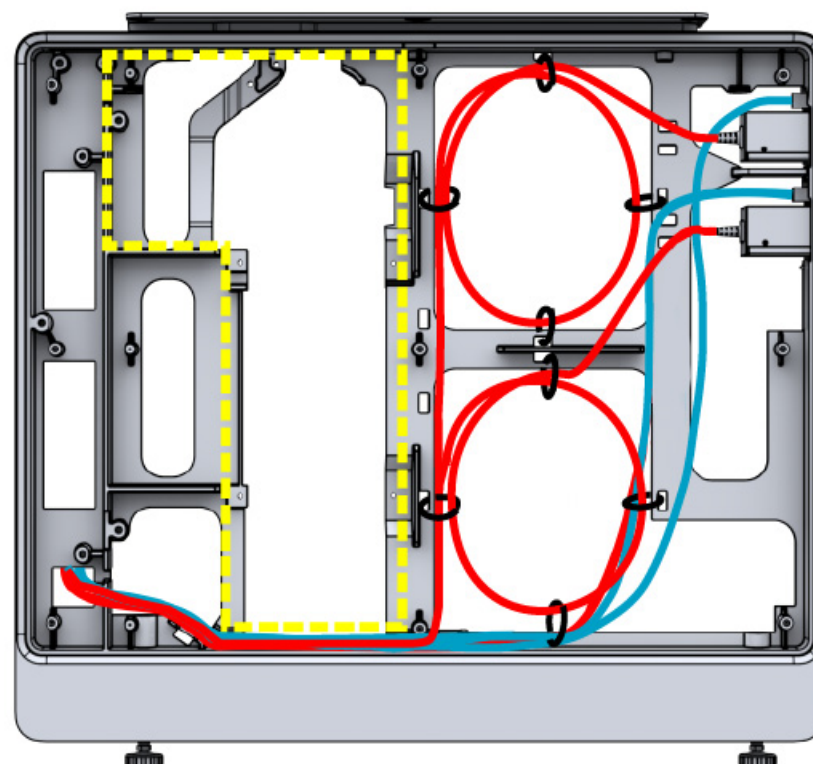


9 テーブル脚の電源とイーサネット ケーブルを配線します。左の図に示すように、追加の電源 (ジャンパ) ケーブルを外側の脚に挿入し、内側の脚に、右の図の黄色い枠に示すとおりケーブルのレトラクター (後で設置する) 用のスペースがあることを確認します。注:追加のジャンパ ケーブルは、電源モジュールの障害時に使用されます。これにより、テーブルトップを外さなくてもこのモジュールを交換できます。

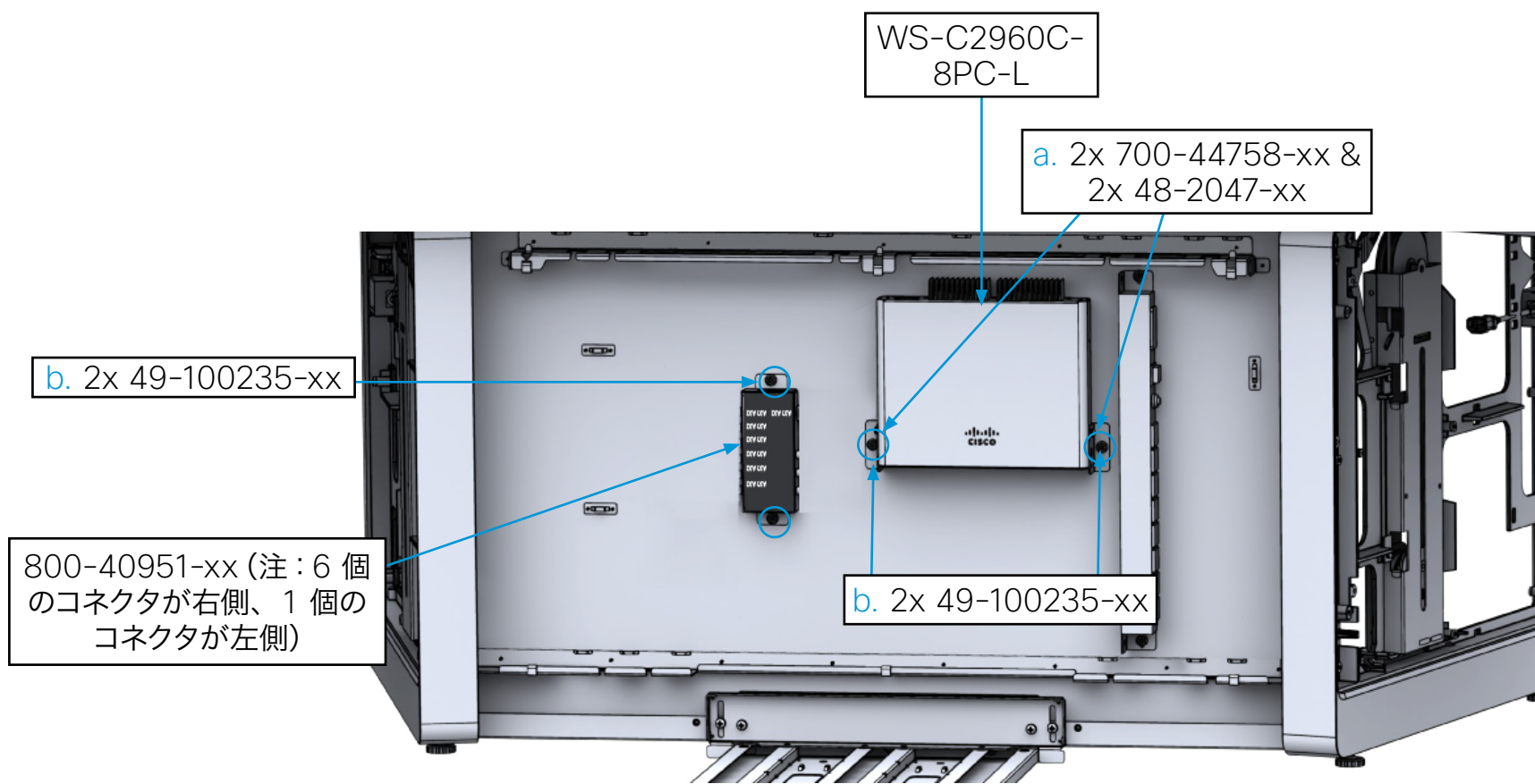
外側のテーブル脚 - 追加のジャンパ ケーブルを挿入し、電源コネクタの後ろで配線します。ジャンパの接続に注意してください。



内側のテーブル脚 - 下図に示す黄色い点線の領域にはケーブル配線がないことを確認します。内側の脚には追加のジャンパ ケーブルが引っかからないようにします。



10 TDM とスイッチをケーブル管理アセンブリに装着します。a. 2x スイッチ ブラケット 700-44758-xx を、2x #10-32 のネジ 48-2047-xx で POE スイッチ WS-C2960C-8PC-L に取り付けます。b. スイッチおよび TDM 800-40951-xx を 4x M6 ナット 49-100235-xx を使用してケーブル管理のスタッドに装着します。TDM の正しい方向は、単一コネクタが右側で、6 個のコネクタが左側です。



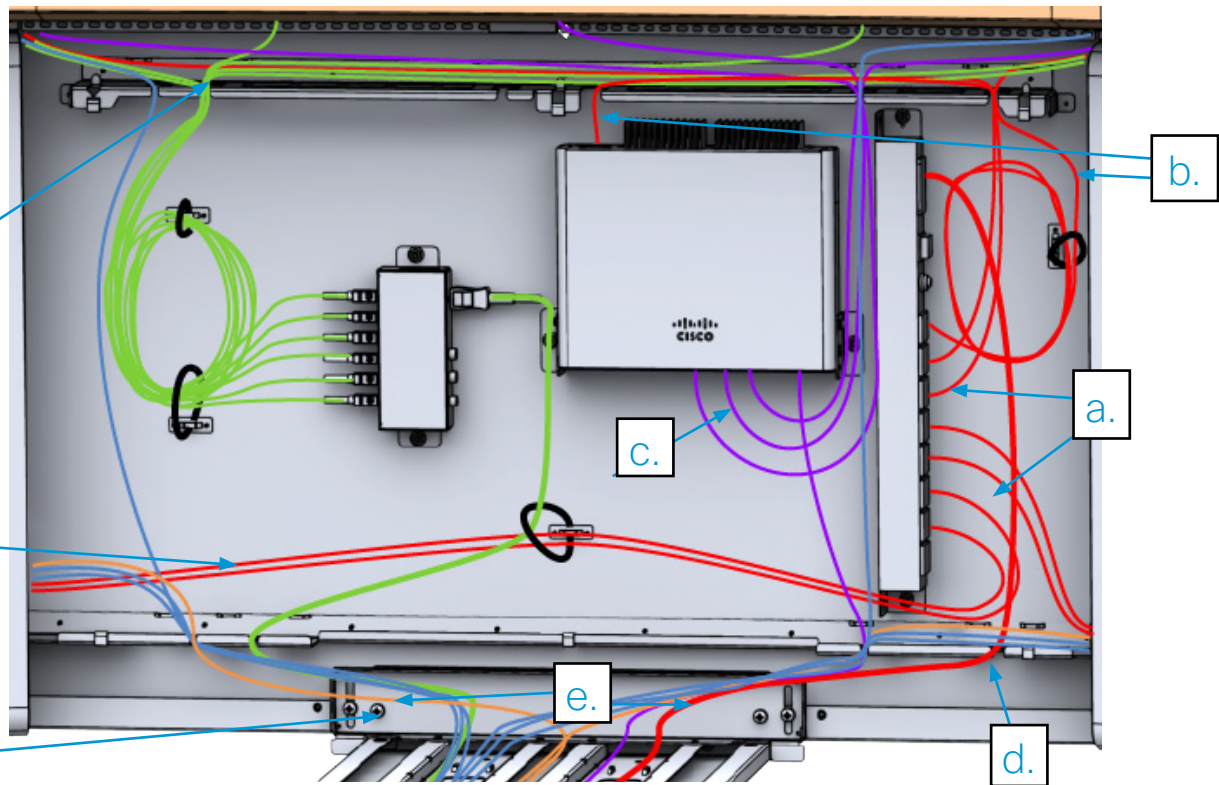
- 11** ケーブルを配線します。ケーブルの参照番号に注意し、ケーブル接続図で適切なケーブルを使用していることを確認します。
- 電源 / イーサネットのテーブル脚モジュールから PDU に 6x 電源ケーブルを配線します。配線にはケーブル管理アセンブリの slots を使用します。
 - PoE スイッチから PDU に 1x 電源ケーブルを配線します (赤色で表示)。ベルクロ ケーブル ラップ 52-0449-xx を、余剰なケーブルの収集に使用します。
 - イーサネット スイッチからテーブルの上に 1x-6x イーサネット ケーブルを配線します (1x - 6x Touch 10 コール制御デバイスに使用)。このスイッチは Touch 10 デバイス専用を使用します。テーブル脚のイーサネット接続にはこのスイッチを使用しないでください。
 - PDU からケーブル ランナーに 1x 電源ケーブルを配線します(赤色で表示)。
 - 電源 / イーサネットのテーブル脚モジュールからケーブル ランナーにイーサネット ケーブルを配線します。スイッチの上に換気用のスペースを残してください。
 - マイクのバーを TDM に接続し、ケーブル ランナーを通して主要 TDM ケーブルを配線します。注: マイクバーと Touch 10 デバイスは、後の手順で設置します。

- 凡例:
- ・ 緑 - TDM/マイク バー
 - ・ 赤 - 電源ケーブル
 - ・ 青 - イーサネット ケーブル
 - ・ オレンジ - プレゼンテーション ケーブル
 - ・ 紫 - スイッチ/Touch 10

すべてのマイク バーからの TDM ケーブルと、外側の 2 本の脚からの電源/イーサネット ケーブル (ケーブル管理スロットを通して配線)

内側の 2 本の脚からの電源/イーサネット ケーブルとプレゼンテーション ケーブル

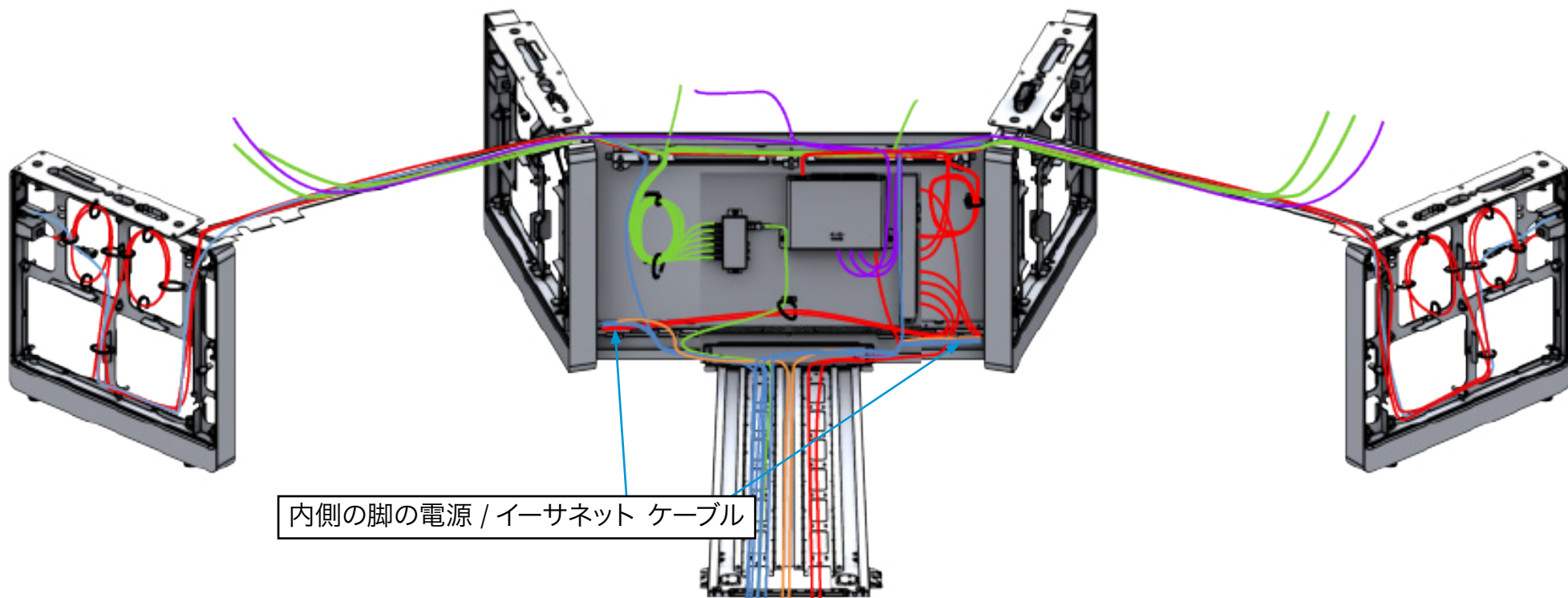
テーブル ランナーへのすべてのケーブル配線は側面から行う必要があります。上からの配線はケーブル ランナー キャップの設置を妨げる可能性があります



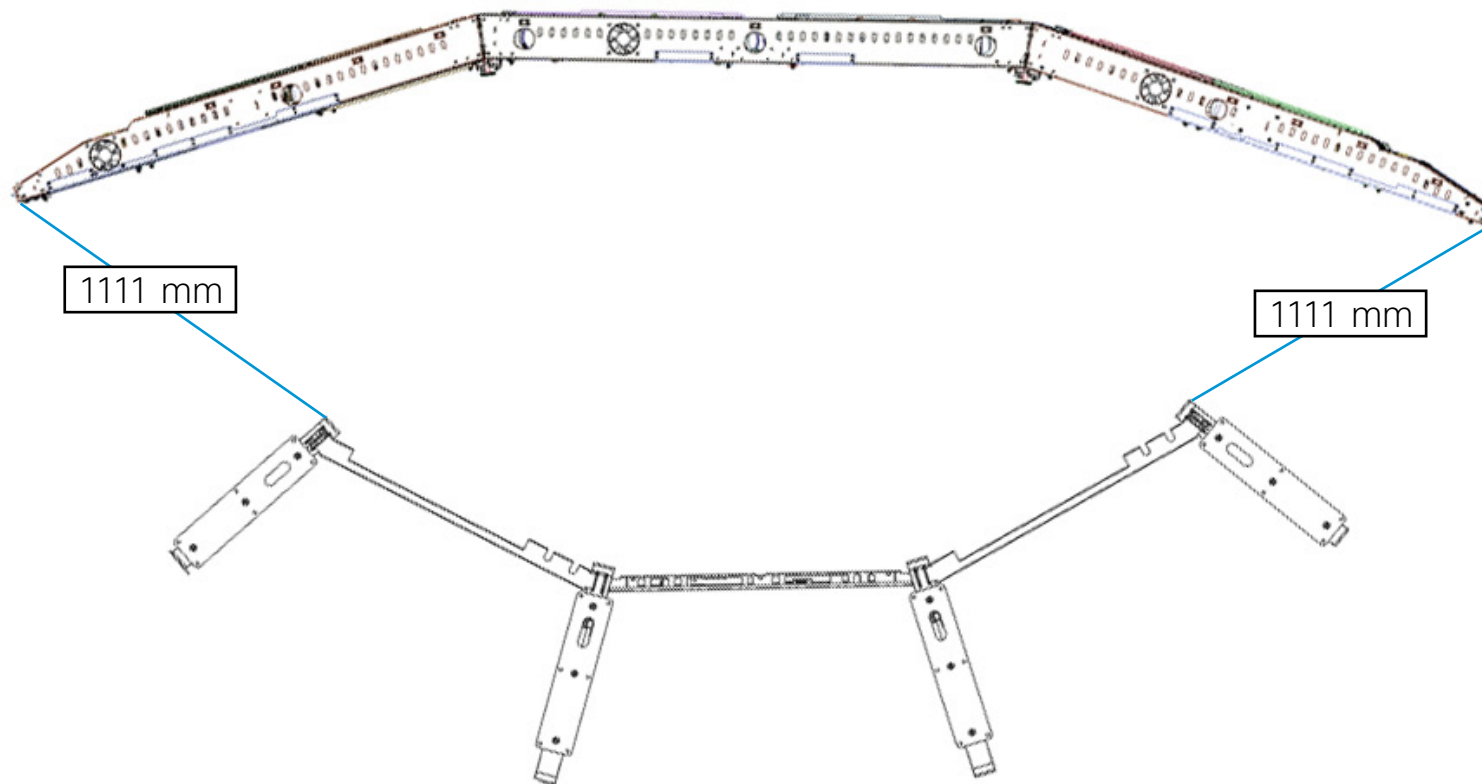
わかりやすくするために、追加のケーブル配線図を示します。Touch 10 ケーブルの数は Touch 10 デバイスの数に応じて異なることに注意してください (第 1 列に対して 1 ~ 6 本)。注意: ケーブル配線の方向に従わないと、部品が正しく装着されないか、電気インピーダンスの問題が発生する可能性があります。

凡例:

- ・ 緑 - TDM/マイク バー
- ・ 赤 - 電源ケーブル
- ・ 青 - イーサネット ケーブル
- ・ オレンジ - プレゼンテーション ケーブル
- ・ 紫 - スイッチ/Touch 10



12 システムを水平調節し、外側のテーブル脚と、エンドポイント構造のディスプレイ スタンドの端の間の距離を測定します。



ケーブル配線およびケーブル図

ケーブル - コーデック

Titanium コーデックのケーブル キット 69-2702-xx:

- 2x DisplayPort-to-DisplayPort ケーブル 37-1536-xx、DP2 および DP3
- 1x DisplayPort-to-DisplayPort ケーブル、4 メートル、37-1544-xx AX1
- 1x イーサネット ケーブル、37-1546-xx、EX1
- 1x 電源コード、2 メートル、37-0994-xx、D22

プラチナ コーデックのケーブル キット 69-2704-xx:

- 1x USB-to-USB ケーブル、2 メートル、37-1538-xx USB1
- 1x 電源コード、2 メートル、37-0994-xx、D24

スピーカー - ケーブル、カメラ、および照明

スピーカー、照明、カメラ ケーブル キット、69-2668-xx:

- 3x 照明バー ケーブル、37-100748-xx、L1、L2、L3
- スピーカー 37-1557-xx L4、L4 R&L、L5、L5 R&L、L6、L6 R&L 用 3x RCA Y ケーブル
- 2x 電源コード、7 メートル、37-0847-xx、DX8 および DX9
- 1x DisplayPort-to-DisplayPort ケーブル、2 メートル、37-1547-xx DP1

ケーブル - ウーファー

ウーファー ケーブル キット 69-2673-xx には次が含まれます。

- 電源コード、37-1331-xx、D21
- 3.5 mm ステレオ ジャック ケーブル、37-1539-xx、A28
- USB ケーブル、37-1538-xx、USB2

1 コーデック、PDU、照明、スピーカー、ウーファースのケーブルを取り付けます。以降の数ページに、ケーブル配線を示します。

ケーブル接続については、この項のケーブル配線図を参照してください。ケーブルの端の横にある色分けされた参照番号は (L1、L2、L3 など) 前ページに記載されており、電気単位 (コーデック、PDU、照明、スピーカー、ウーファース) の接続に対応します。

注意: PDU に IX5000 または IX5200 システムの一部ではない追加の機器を差し込まないでください。

注: 照明バーとカメラはまだ設置されていないため、次の手順でこれらのコードを設置用に用意してください。

- ・ スピーカーの上に照明ケーブルを置きます (エンドポイント構造の左、右、中央)。
- ・ スピーカー間のエンドポイント構造の中央にカメラ ケーブルを直接置きます。

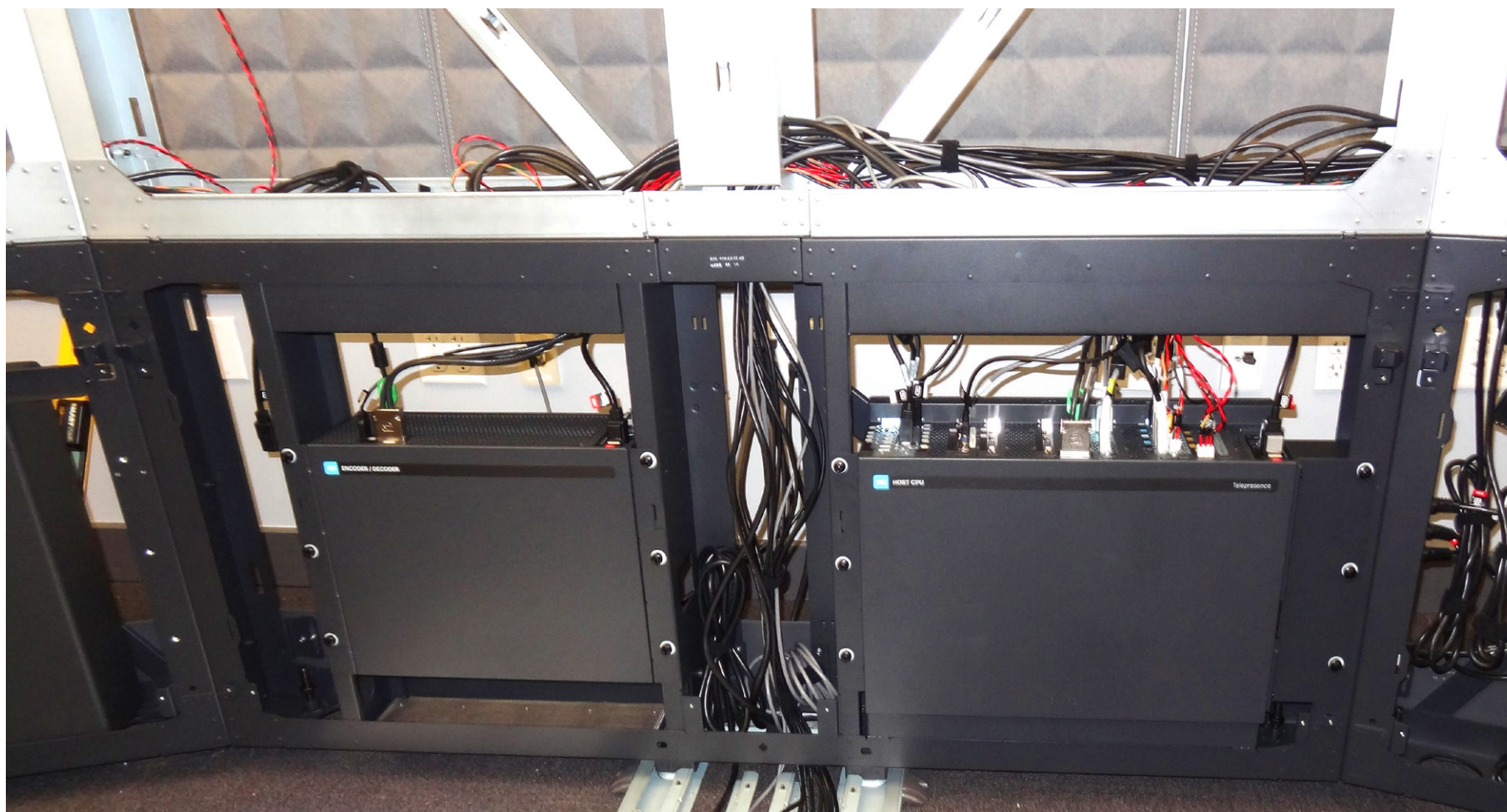


左 PDU およびウーファー

スピーカー



コーデック ケーブル配線 (エンコーダ/デコーダおよびホスト CPU 間の iPass ケーブル)。
必要に応じてベルクロ ケーブルを使用します。

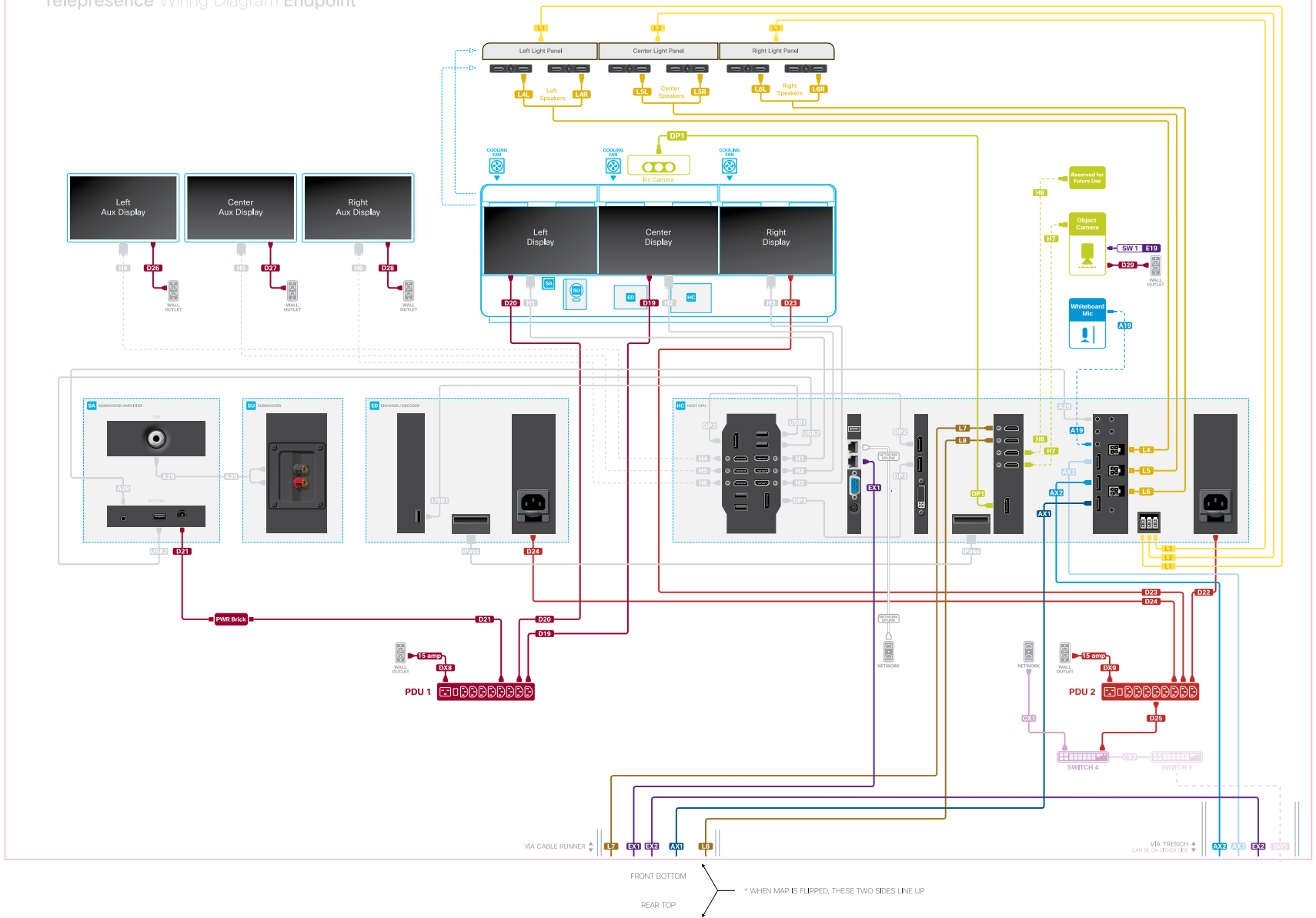


コーデックおよびケーブル ランナー

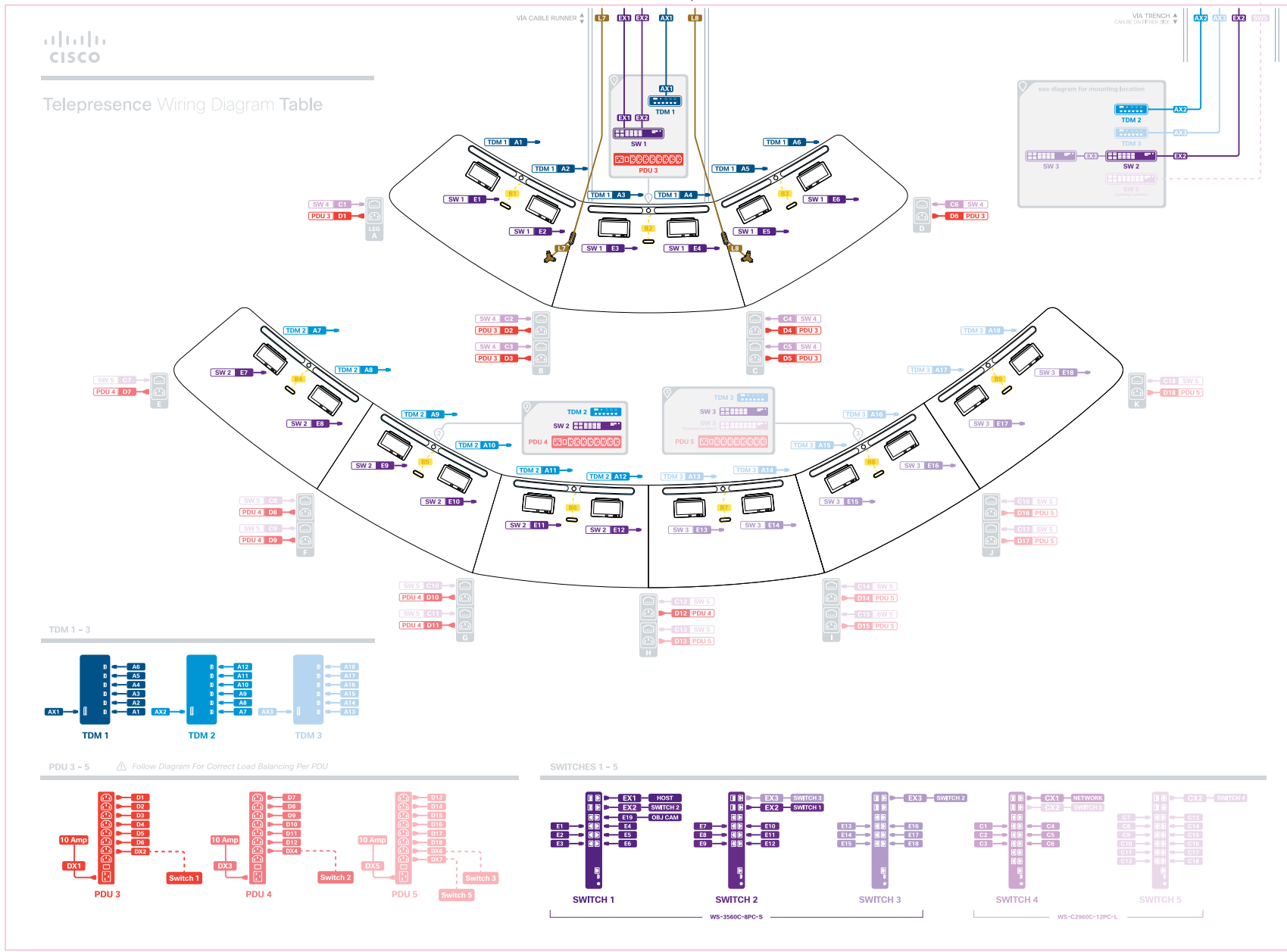


エンドポイント構造ケーブルの取り付け

Telepresence Wiring Diagram Endpoint



エンドポイント構造ケーブルの取り付け



REAR BOTTOM

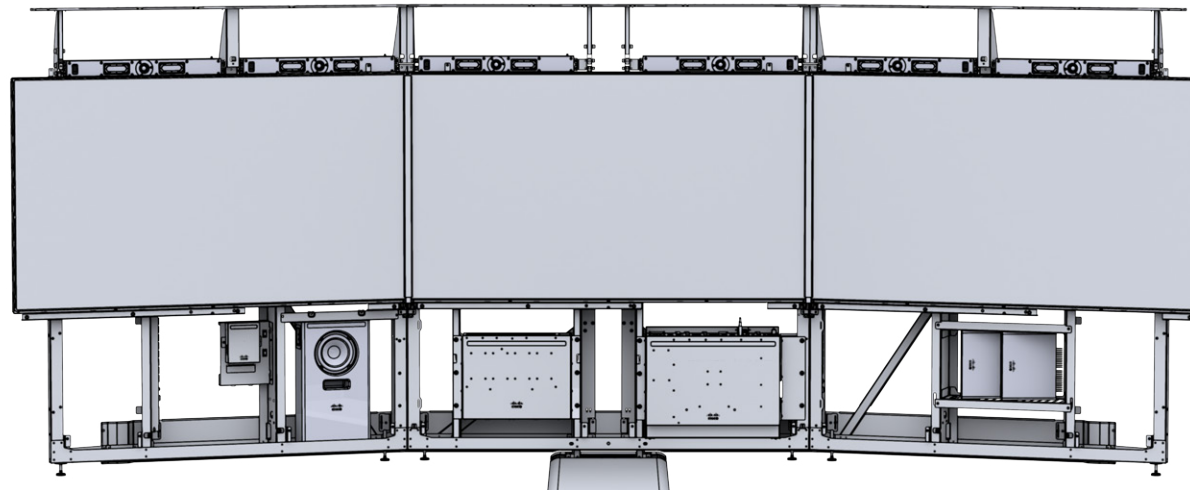
ディスプレイの設置とケーブル配線

必要な部品

- 3x ディスプレイ 74-12597-xx
 - 6x ディスプレイ Z クリップ 3x 700-46232-xx および 3x 700-46233-xx
 - 2x ディスプレイ取り付けスプール 69-2625-xx
 - 2x シルバー M8 ねじ付き溶接スタッド 69-2625-xx
 - 2x シルバー M8 外部歯付きロック ワッシャ 69-2625-xx
 - 2x ディスプレイ ブラケット (部品番号なし、ディスプレイに同梱)
 - 10x M6 ディスプレイ ブラケット ネジ (ディスプレイに同梱)
 - 2x 垂直ベゼル押出材 800-41842-xx
 - 10x M4 x 12 mm ネジ 48-2426-xx
 - 6x M4 x 6 mm ネジ、黒、48-0468-xx
- ディスプレイ ケーブル キット、69-2678-xx には次のケーブルが含まれます。
- 3x 電源コード、3 メートル、37-0833-xx
 - 3x HDMI-to-DVI-D パッチ コード、3 メートル、37-1387-xx

必要な工具

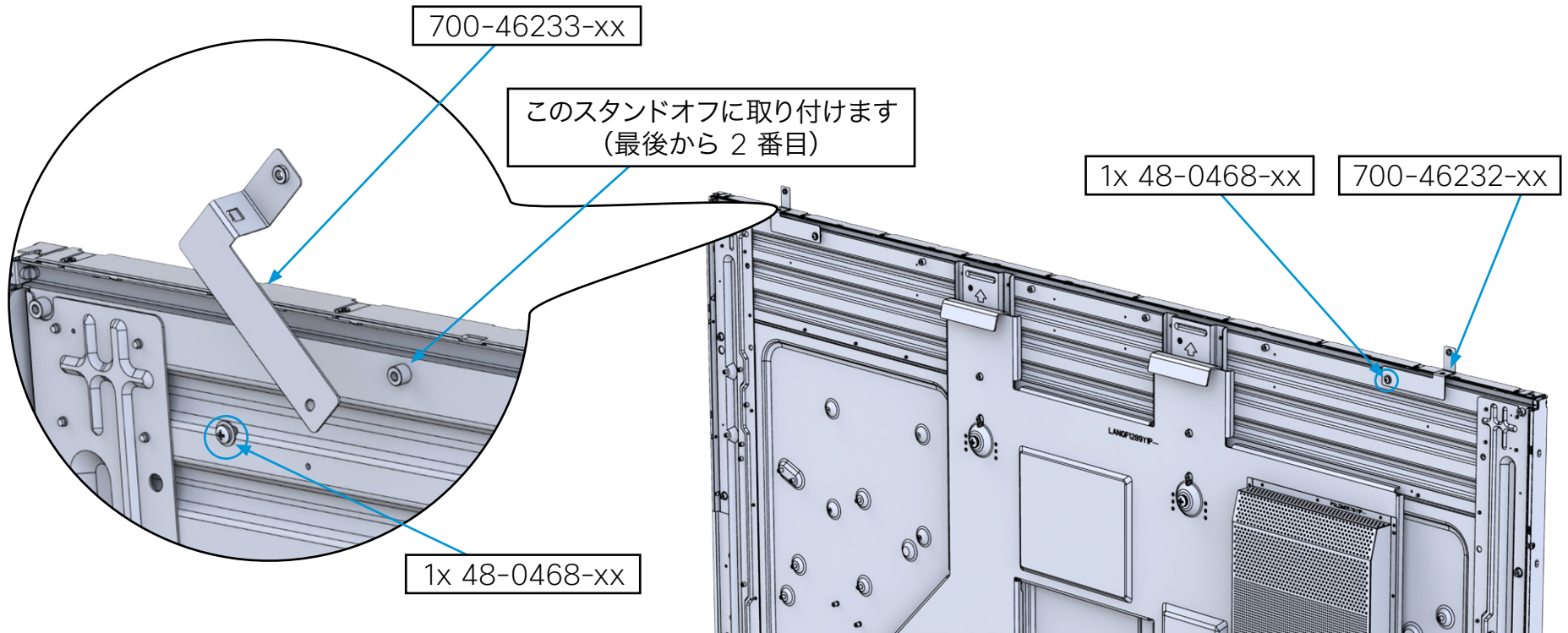
- ・ #2 プラス ドライバ
- ・ #3 プラス ドライバ
- ・ 13 mm レンチまたはモンキー レンチ
- ・ 19 mm ラチェット式ボックスエンド レンチ
- ・ アルコール水準器またはデジタル レベル
- ・ 手袋 (ディスプレイの垂直方向の端には鋭いエッジがあるため、ディスプレイの取り付けに使用することが推奨されます)
- ・ 6 mm T 型ハンドル六角ドライバ



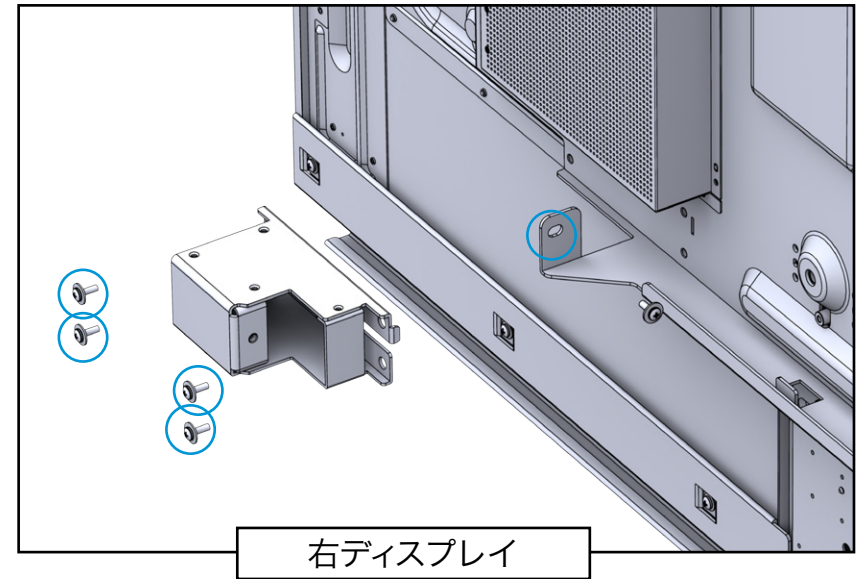
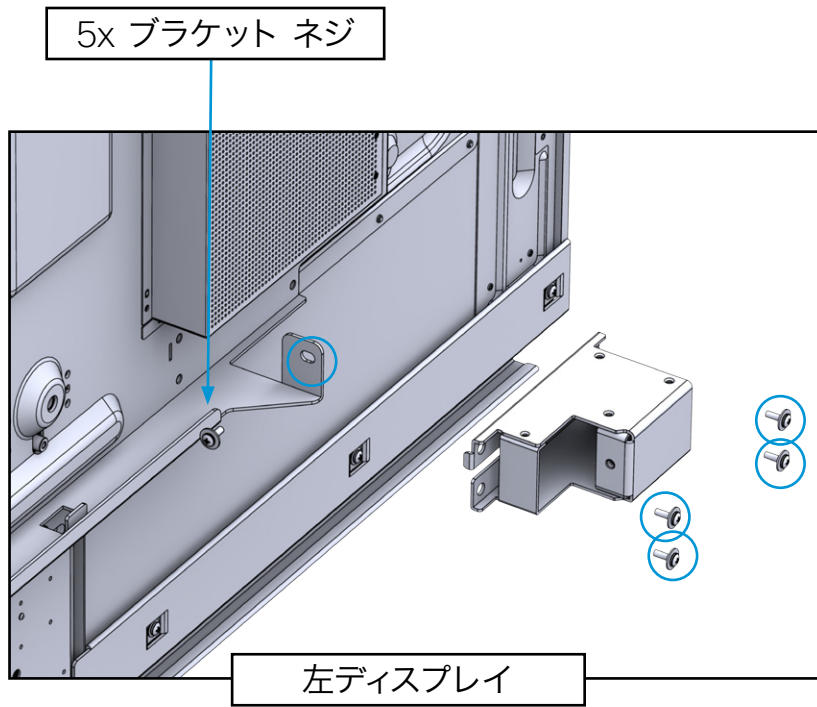
1 注意：ディスプレイを取り付ける際は慎重に行い、手袋を着用してください。ディスプレイ外側の垂直方向の端には鋭いエッジがあるため、ディスプレイが手で滑るとけがをする可能性があります。

注：ディスプレイ アセンブリは、TX または CTS のイマーシブ システムとは異なります。設置する前にこの項をよく読み、すべての手順に正しい順序で従ってください。

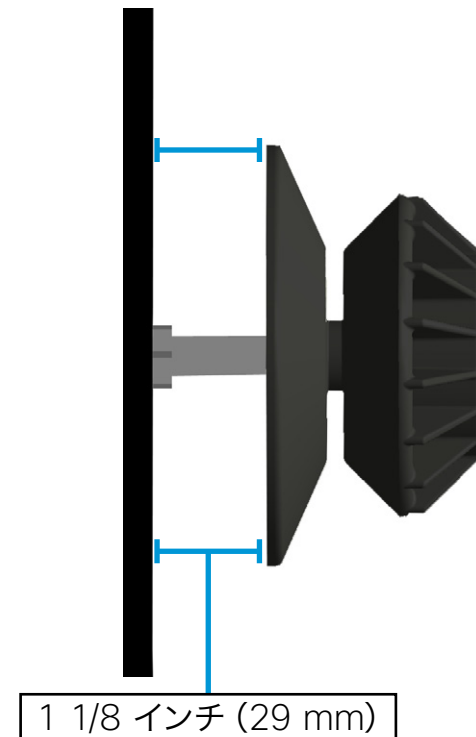
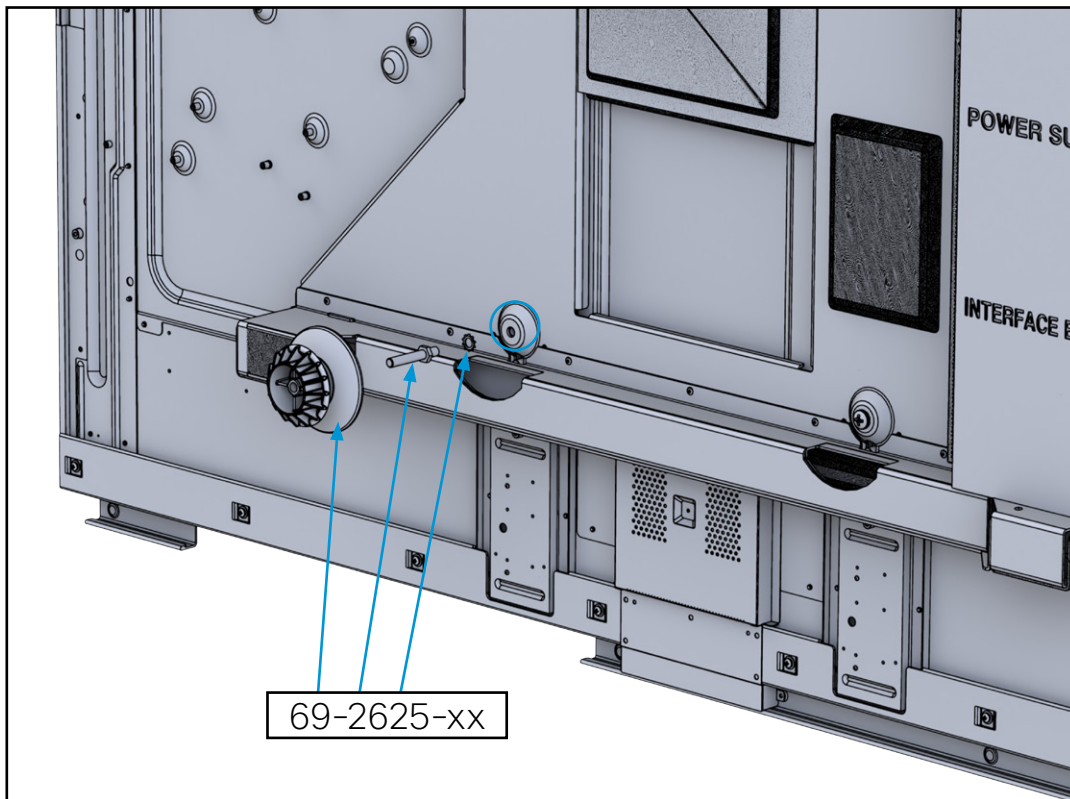
ディスプレイの上部に Z クリップを装着します。700-46232-xx は左側（ディスプレイの正面から見た場合）、700-46233-xx は右側です。a) 1x M4 X 6 mm ネジ 48-0468-xx を指でブラケットに固く差し込みます。b) ブラケットを補助する粘着テープをはがします。c) ブラケットをディスプレイに押し込みます。d) #2 プラス ドライバを使用して 48-0468-xx ネジを締めます。e) 3 台のディスプレイすべてについて繰り返します



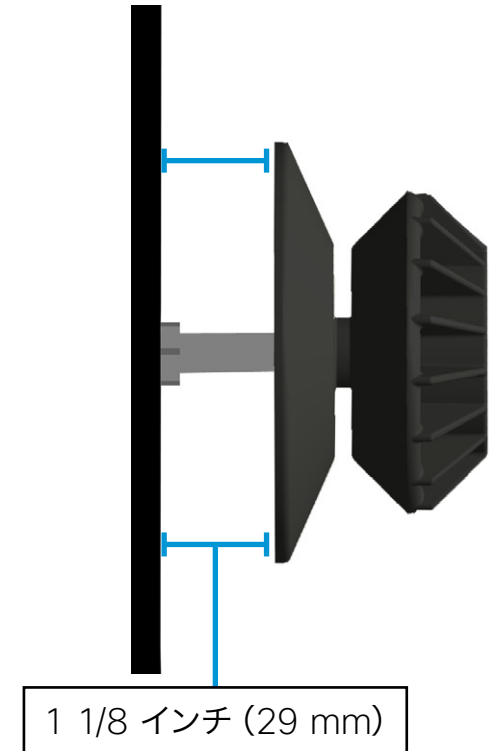
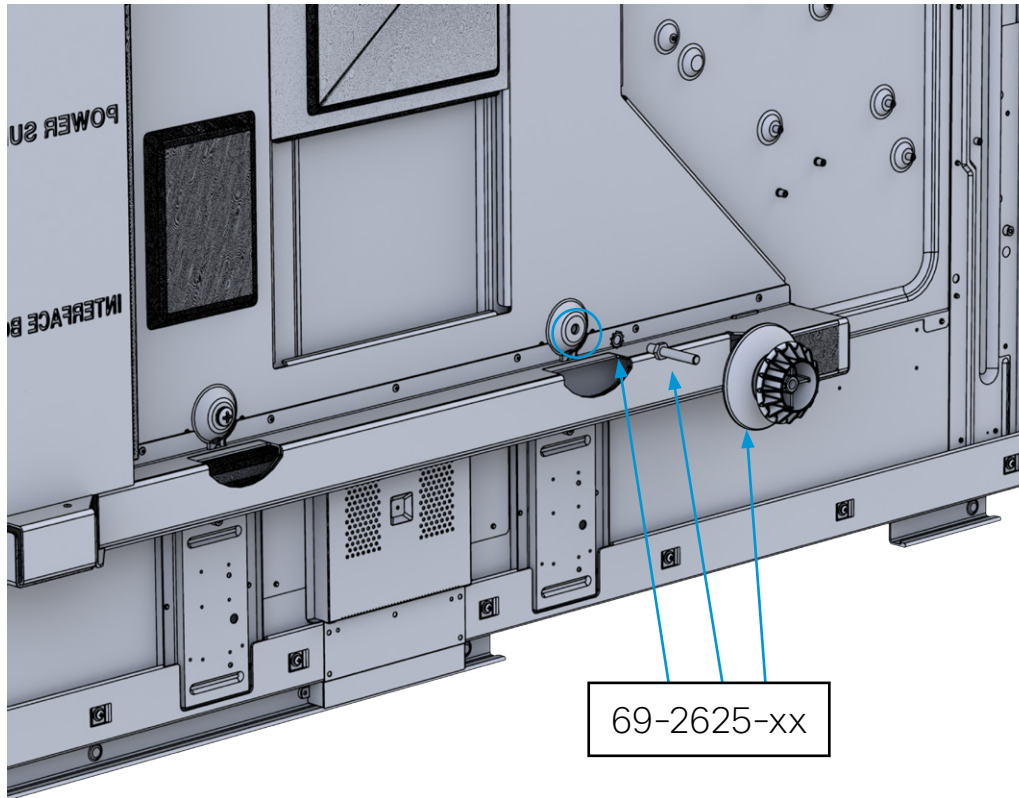
2 #2 プラス ドライバを使用して、ブラケットに付属する 10 M6 ネジで左右のディスプレイにディスプレイ ブラケット (ディスプレイに同梱) を取り付けます。ブラケットは、左ディスプレイの左側と右ディスプレイの右側に取り付けます。注:このマニュアルでは、左右はシステムの正面から見た方向なので、左右を逆にしてください。



3 右ディスプレイにスプールを挿入します。a. #3 プラス ドライバを使用して、ディスプレイの右下 (正面から見た場合) にある 1 本の M8 ネジを外します。b. シルバー M8 ロック ワッシャ(69-2625-xx の一部) および M8 スタッド(69-2625-xx の一部) を取り付けます。c. 13 mm レンチでスタッドを締めます。d. ねじ付き溶接スタッドにスプール (69-2625-xx の一部) を取り付けます。d. スプールとディスプレイ背面との間に 1 1/8 インチ (29 mm) の間隔があることを確認してください。そうでない場合、ディスプレイを取り付けられません。

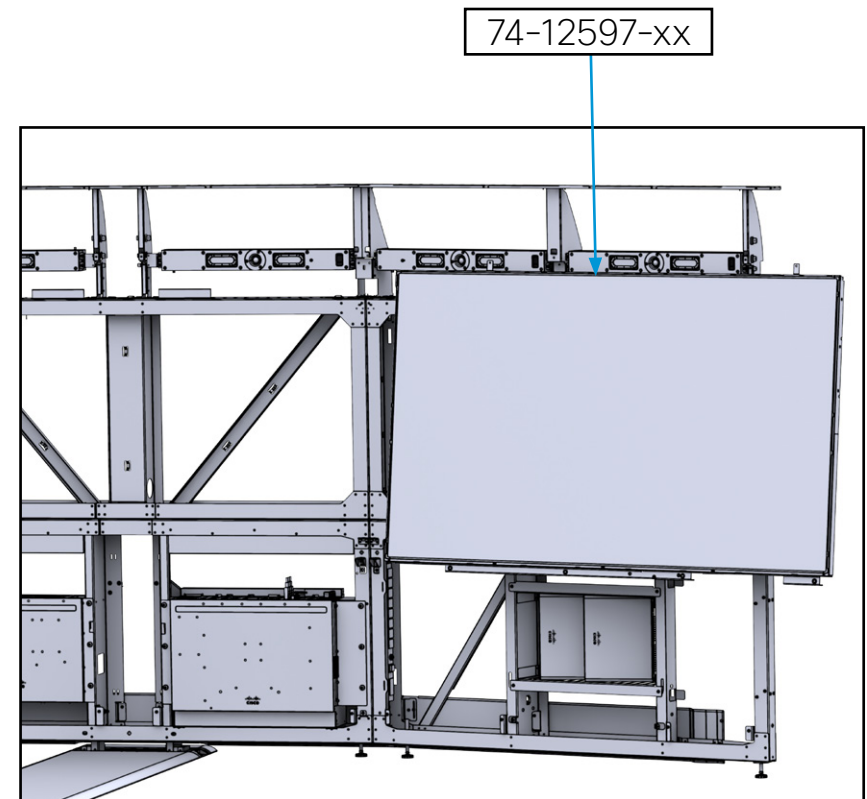
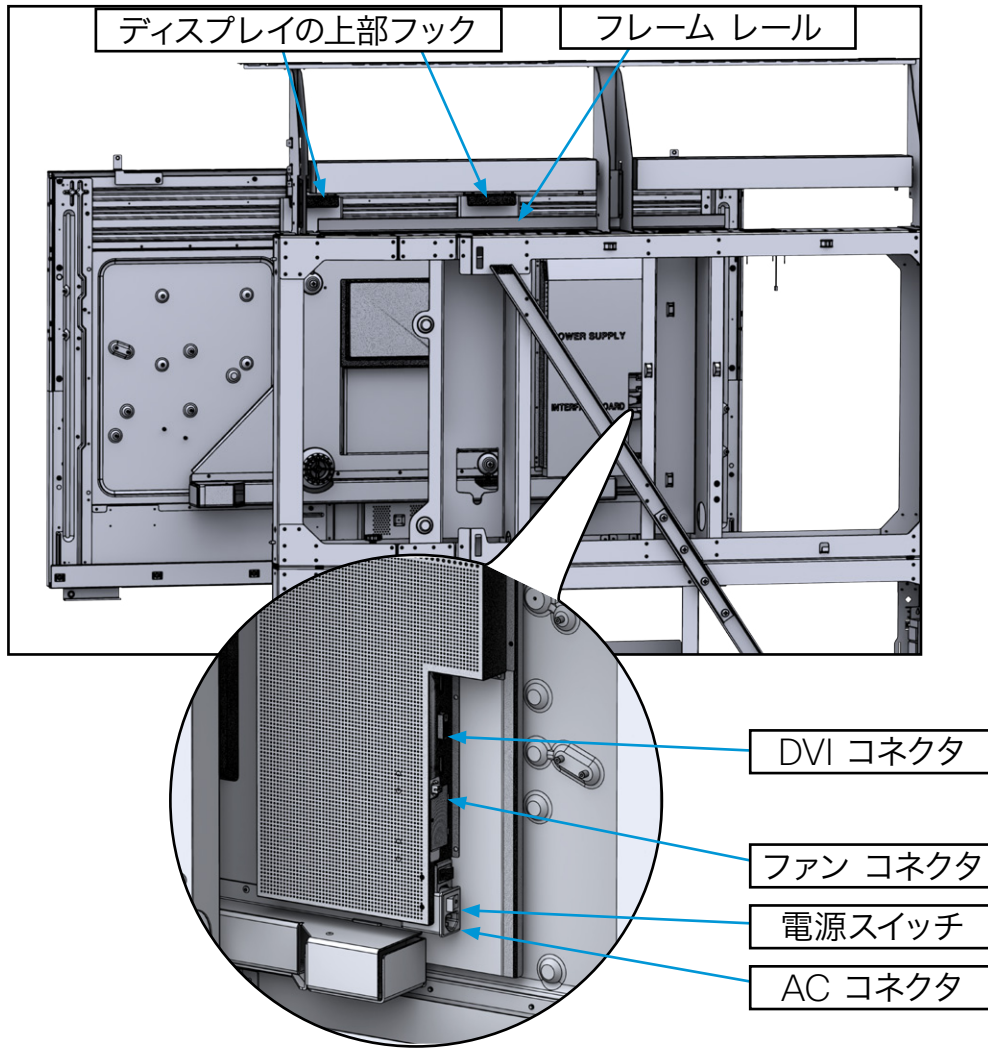


- 4** 左ディスプレイにスプールを挿入します。右側のディスプレイにスプールを取り付ける手順と同じですが、スプールはディスプレイ下の左側(正面から見た場合)に配置します。右下ではありません。ディスプレイを正しく取り付けるために、スプールとディスプレイ背面との間に 1 1/8 インチ (29 mm) の間隔があることを確認してください。

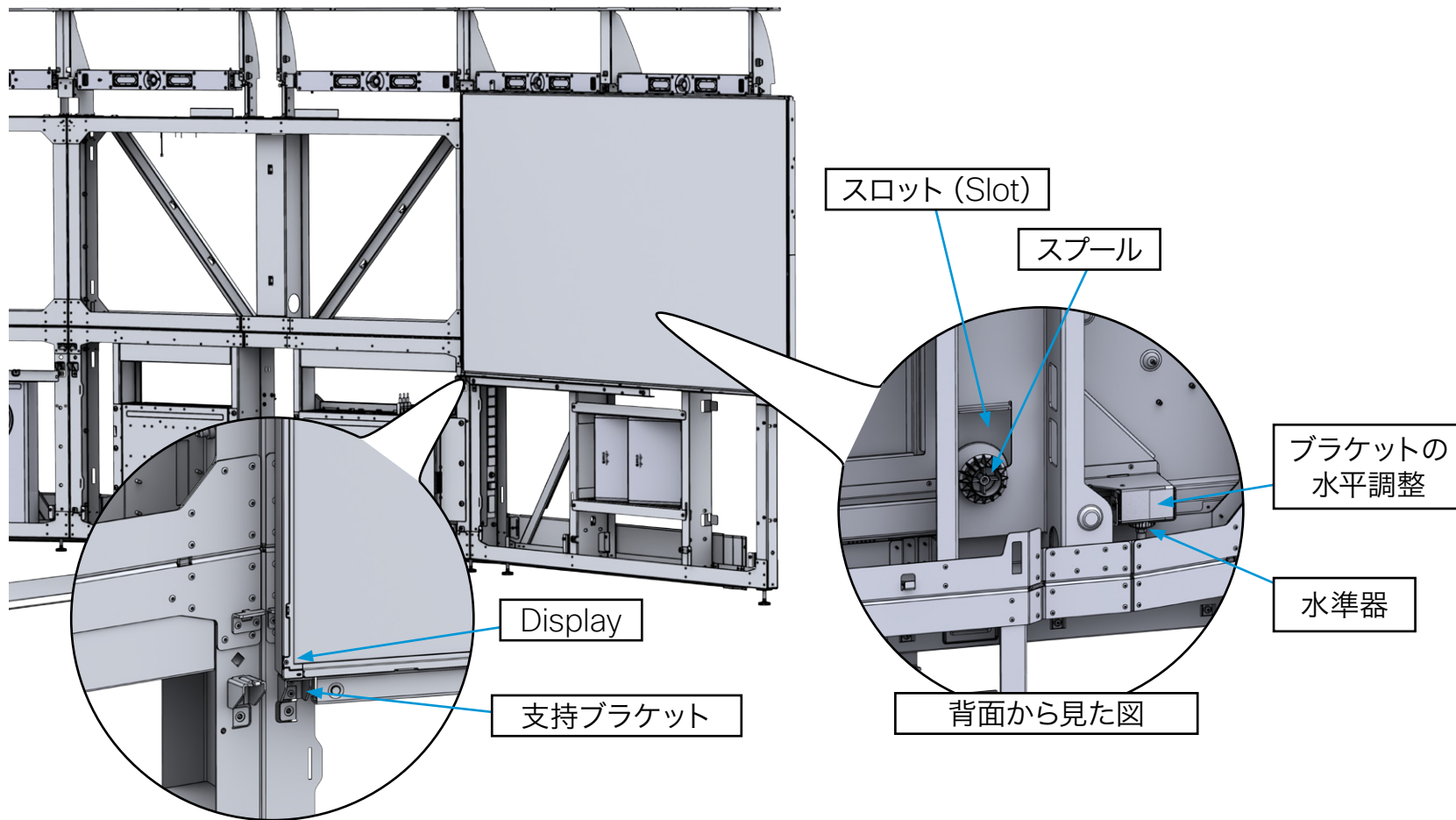


5a

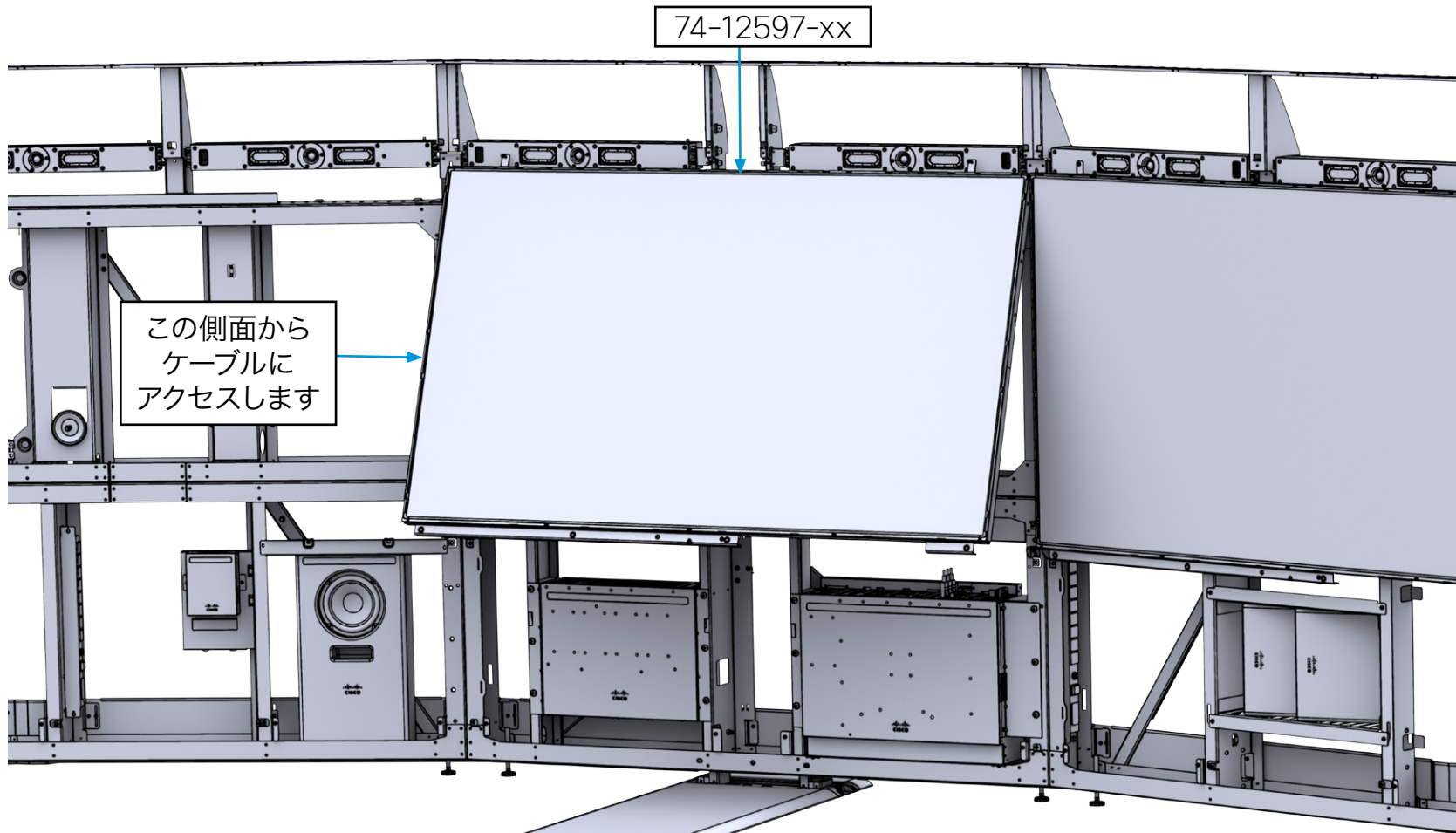
上部フックを使用して、右側のディスプレイを構造のフレーム レールに一時的にひっかけます。電源、DVI、ファン ケーブルを接続します。ディスプレイの電源スイッチをオンの位置にします。



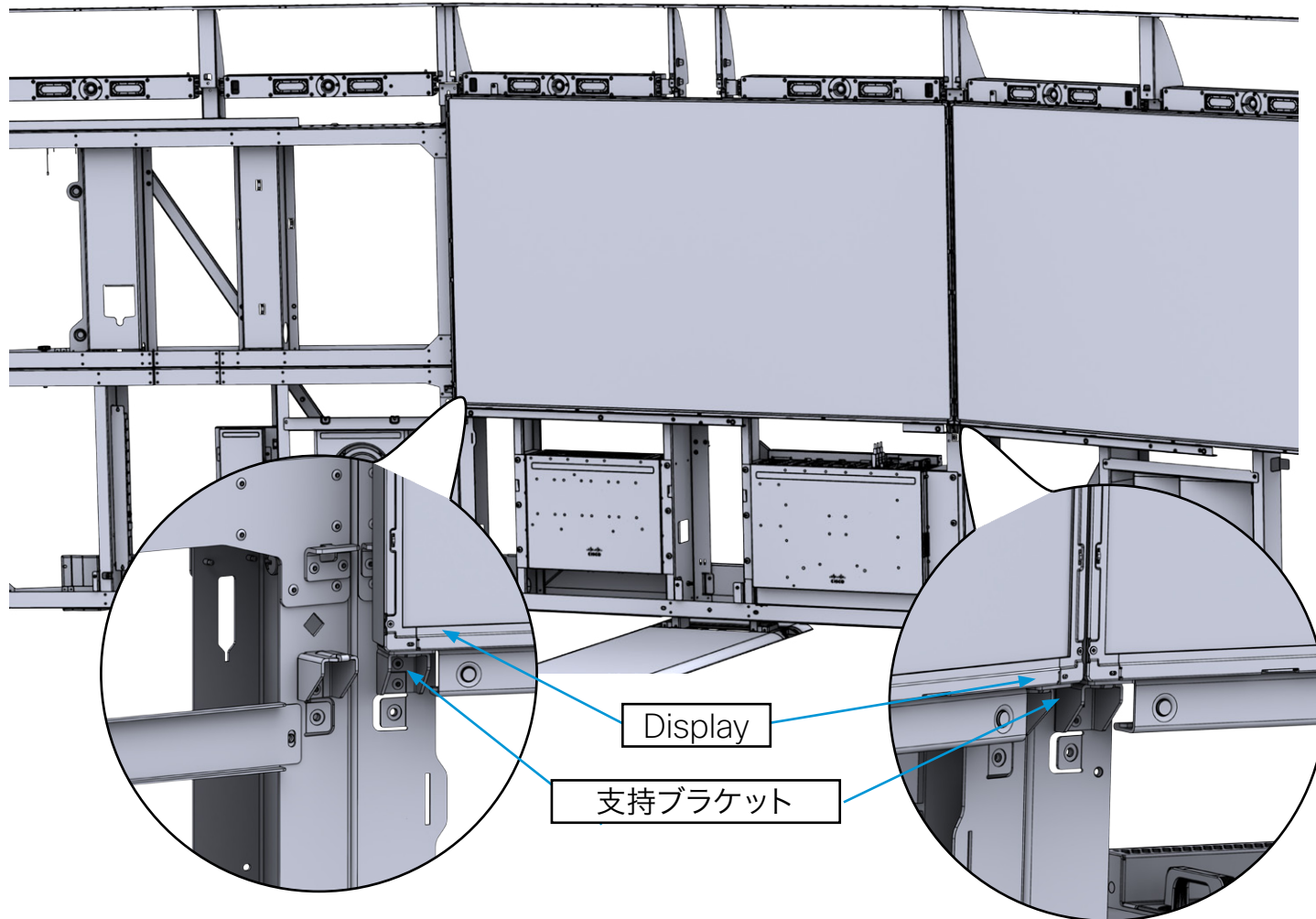
5b 右側のディスプレイを取り付け位置に移動します。スプールをフレームのスロットにはめ込み、支持ブラケットにディスプレイの内側の角を配置し、水準器に水平調節ブラケットを置きます。ディスプレイがフレーム レール上の上部フックでサポートされていないことに注意してください。**注意：ディスプレイと支持ブラケット間に手を挟まないようにしてください。**



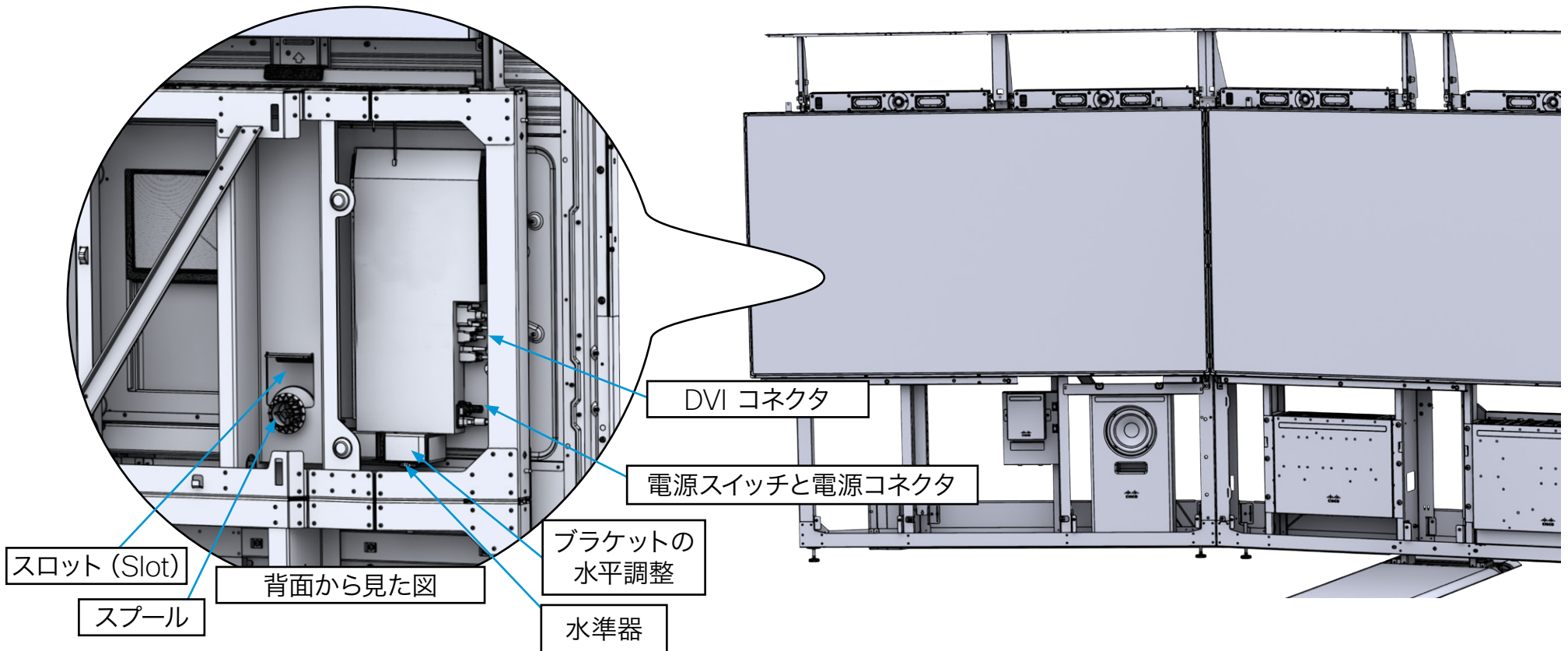
6a 上部フックとフレーム レールを使用して、中央のディスプレイを一時的にひっかけ、フレームを外側に回転して電源、DVI、およびファン ケーブルに接続します。ディスプレイのスイッチをオンの位置にします。



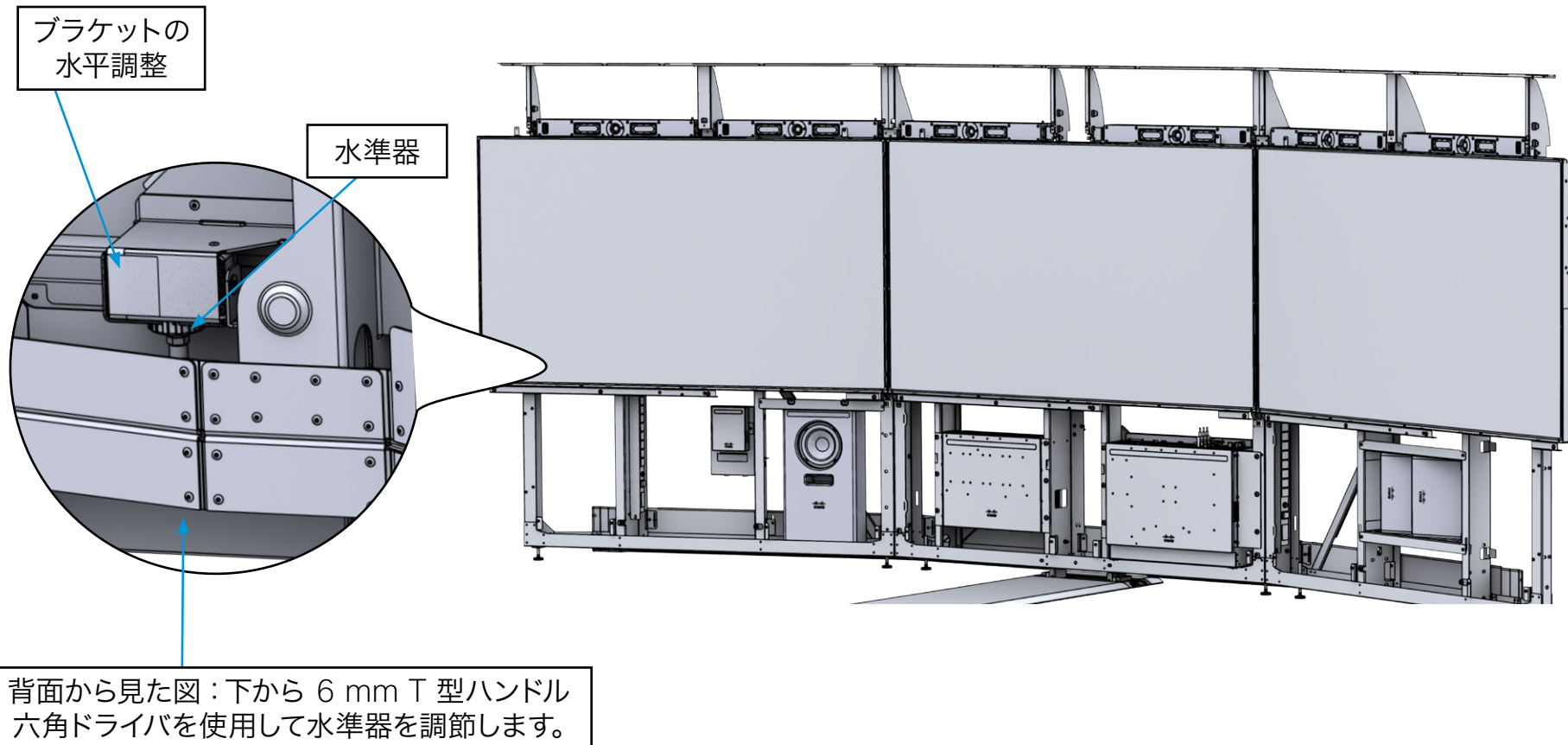
6b 中央ディスプレイをディスプレイ フレームに移動します。注意：ディスプレイと支持ブラケット間に手を挟まないようにしてください。



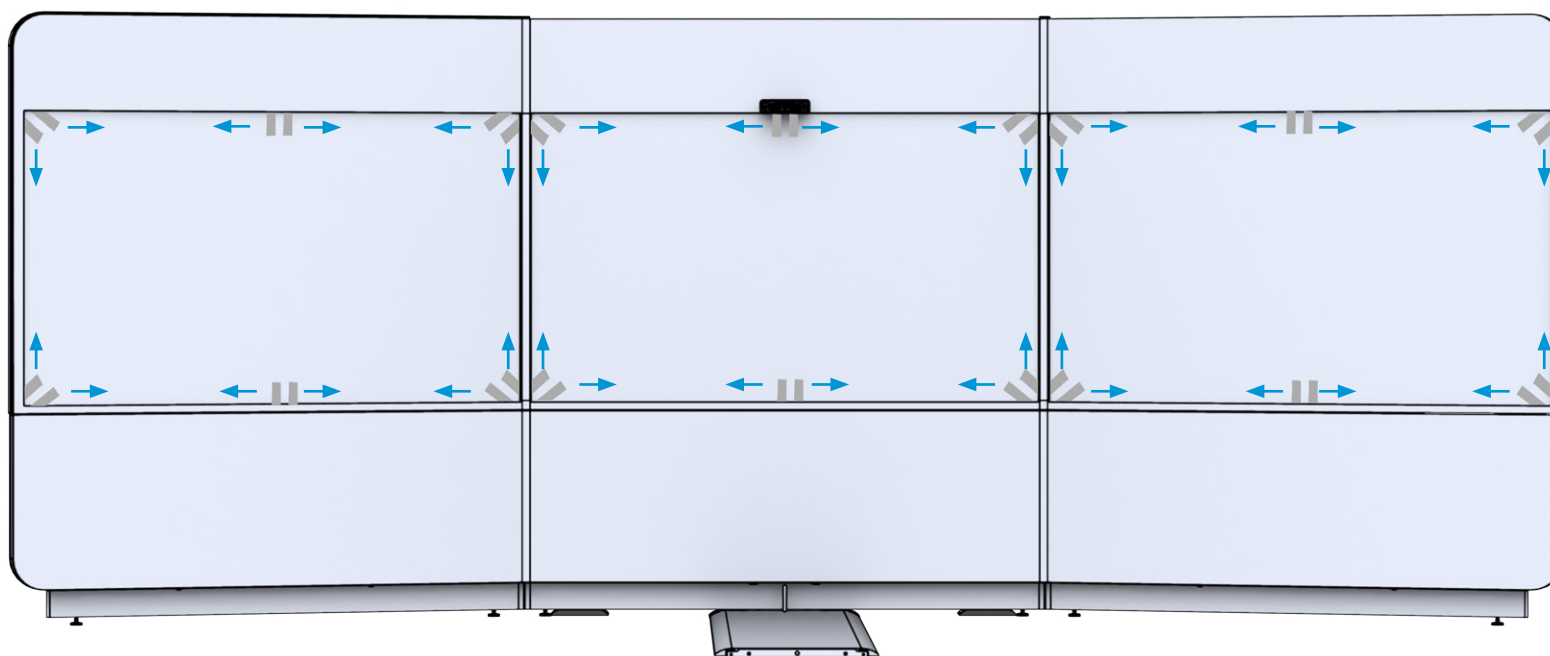
7 左側のディスプレイを取り付け位置に移動し、ディスプレイ背面の電源、DVI、およびファン ケーブルに接続します。ディスプレイのスイッチをオンの位置にします。**注意：ディスプレイと支持ブラケット間に手を挟まないようにしてください。**



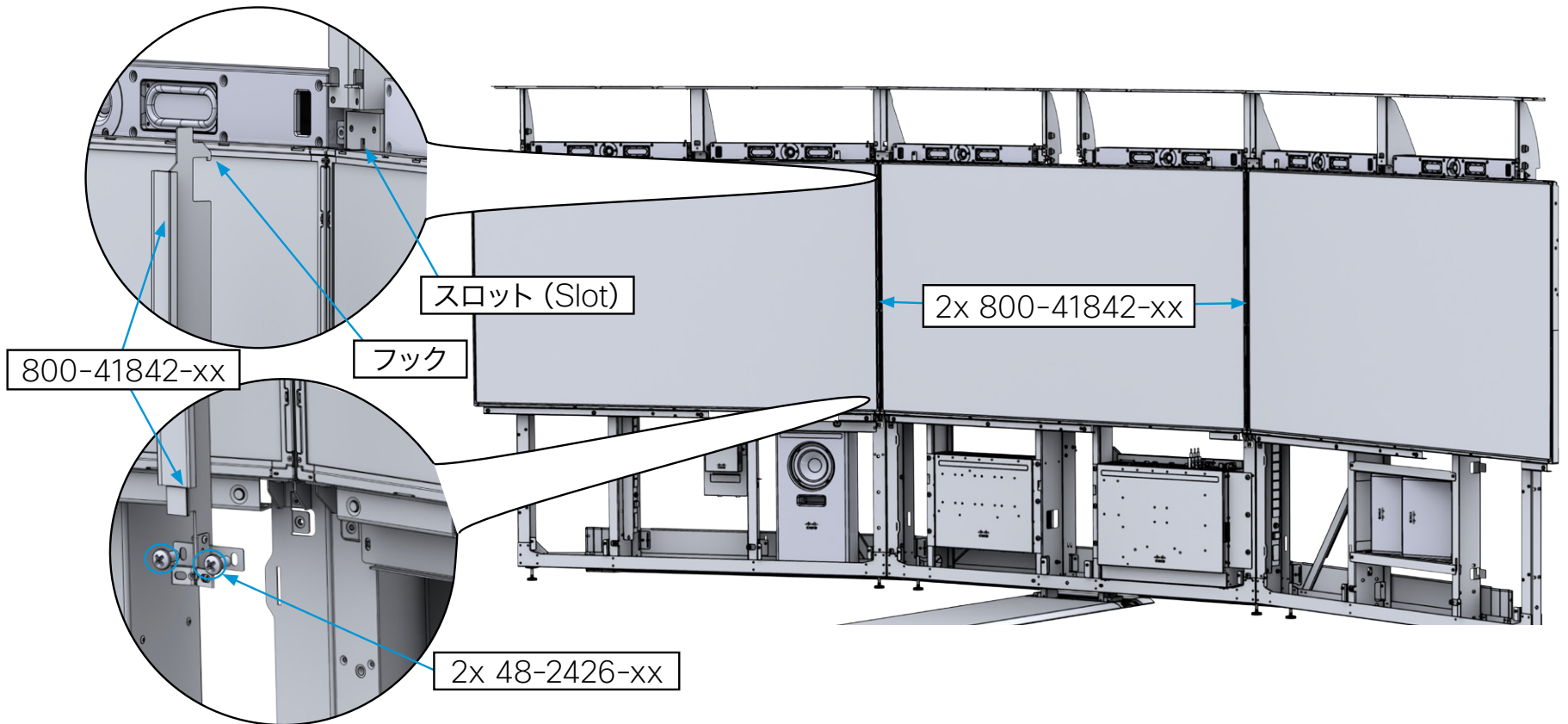
8 ディ스플레이の水平調整をし、左右のディスプレイと中央のディスプレイを垂直方向で水平に揃えます。左右の水準器を使用して、左と中央、中央と右の各ディスプレイの間に均等な隙間を作ります。6 mm T 型ハンドル六角ドライバを使用して、下から水準器を回します (ねじ付き溶接スタッドの端にソケットがあります)。水平調節が完了したら、水準器のロック ナットを締めます。



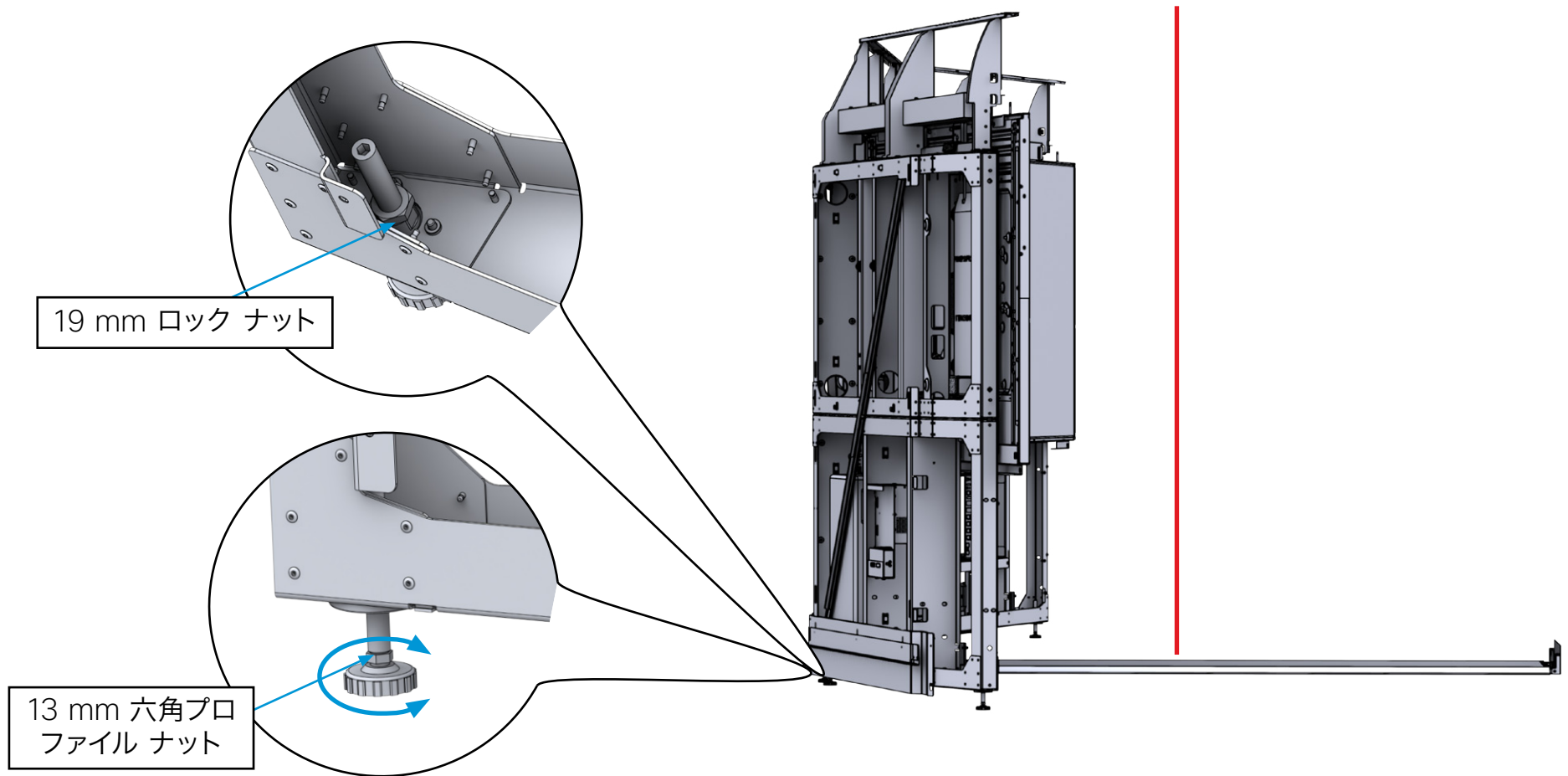
9 矢印で示す方向にテープを引き、ディスプレイから保護フィルムを取り除きます。



10 ディスプレイの間に 2x 800-41842-xx の垂直ベゼル押出材を取り付けます。a. 押出材の中央の肋材を左と中央のディスプレイの間に差し込み、フックを中央の支柱に挿入します。b. 4x M4x12 ネジ 48-2426-xx を押出材の下部 (押出材ごとに 2x) に挿入し、#2 プラス ドライバを使用してネジを締めます。電動ドライバーはこの手順には使用しないでください。また、締めすぎないようにしてください。c. 左右のディスプレイを側面から中央に向けて押出材に対して押し、隙間を埋めます。ディスプレイの前面のフィルムは残しておきます。



11 アルコール水準器またはデジタル レベルを使用して、システムの垂直を確認します。脚のベース上で六角プロファイルで 13 mm のオープンエンド レンチまたはモンキー レンチを使用し、必要に応じて外側の 2 本の脚を調整します。**6 本の脚すべてが床に触れていることを確認し、19 mm ラチェット ボックス レンチを使用してすべての 6 本の脚でロック ナットを締め付けます。**



カメラおよび照明パネルの取り付け

必要な部品

カメラ:

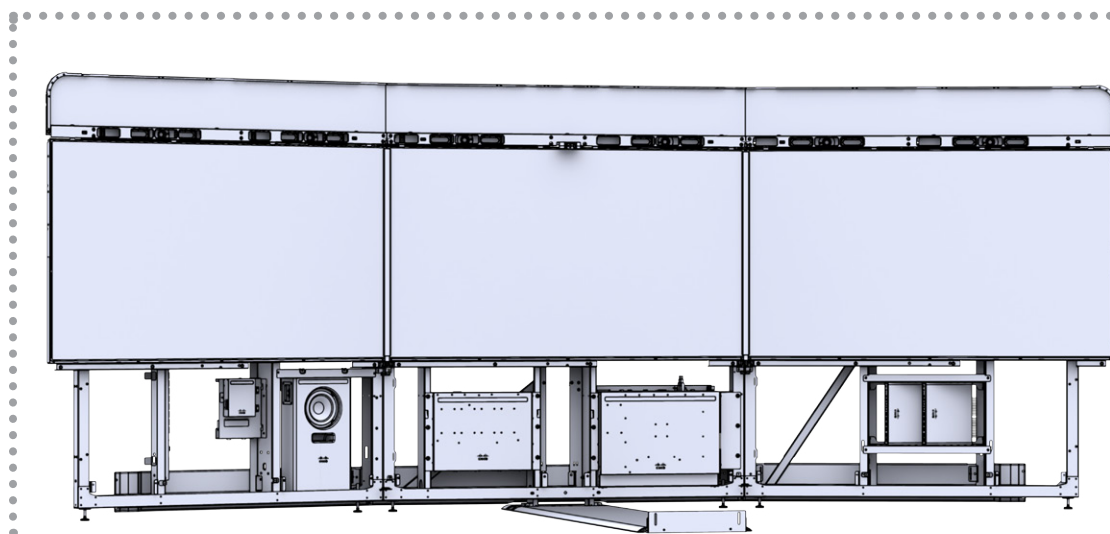
- ・ 1x カメラ 74-12203-xx

照明バー:

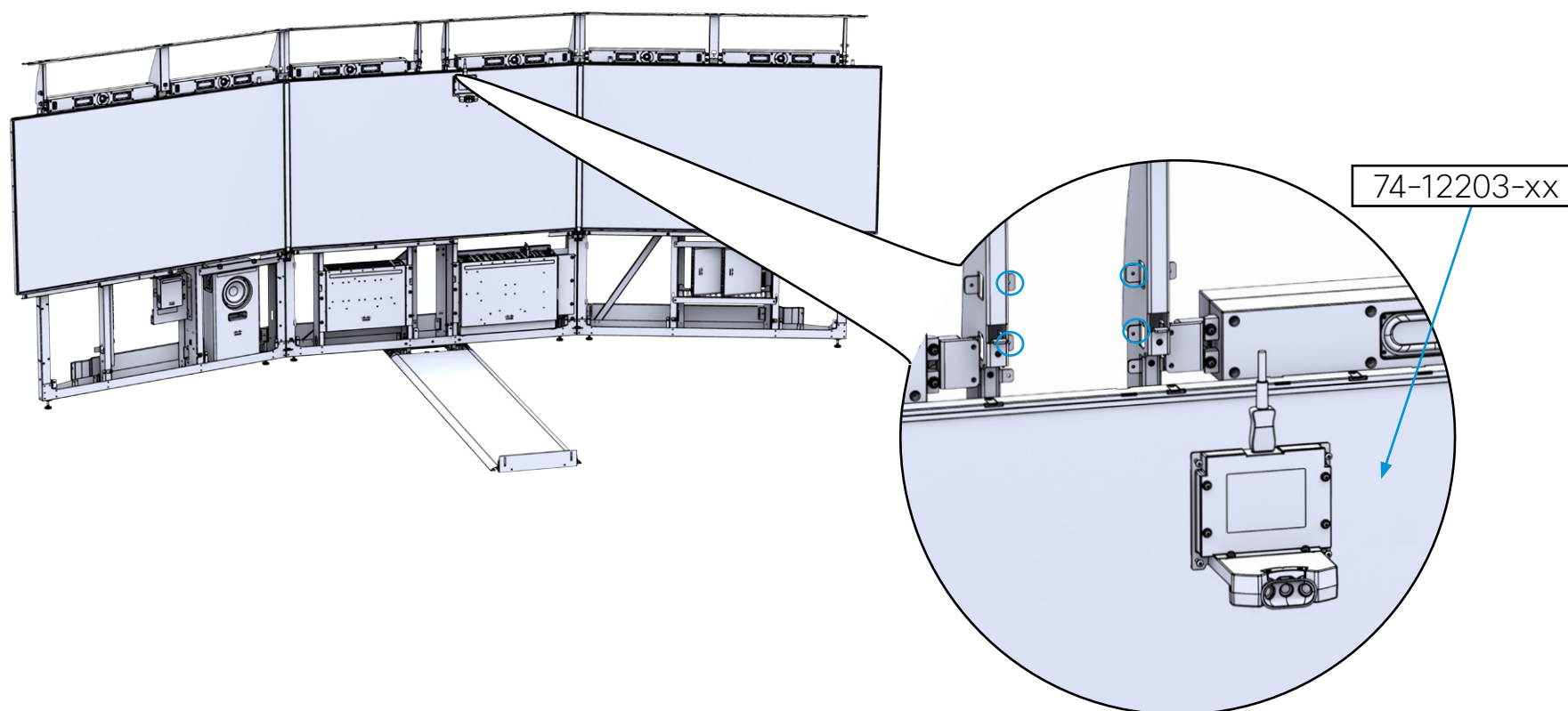
- ・ 1x ずつ左、中央、右の照明パネル (3x 74-12235-xx)
- ・ 1x ずつ左、中央、右のスピーカー カバー (それぞれ 700-46597-xx、700-46596-xx、700-46595-xx)
- ・ 1x ずつ左および右ファスキア角の留め具 (700-46598-xx 左、700-46594-xx 右)
- ・ 外部ロック ワッシャ 48-2426-xx 付き 8x 黒 M4 x 12 mm ネジ

必要な工具

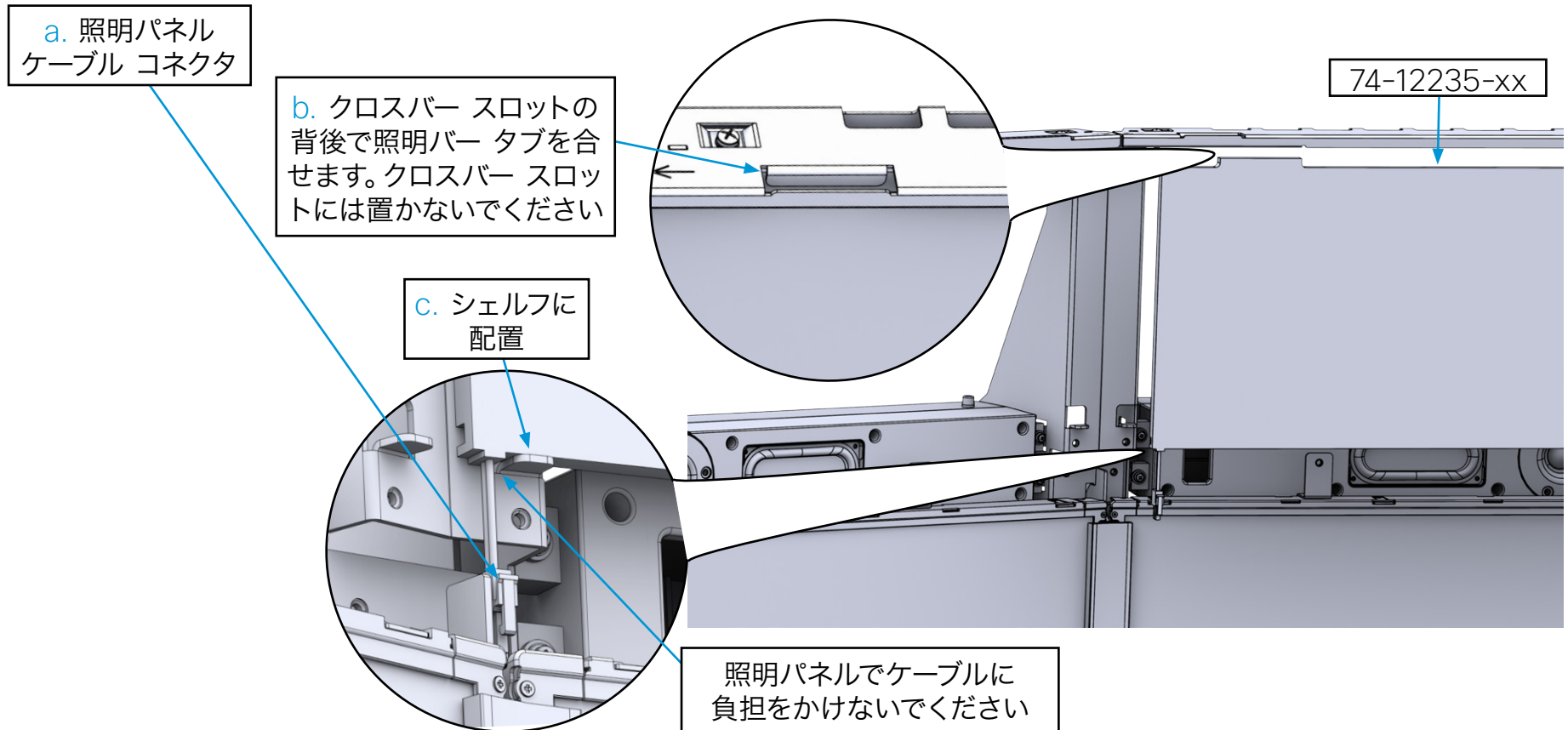
- ・ #2 プラス ドライバ



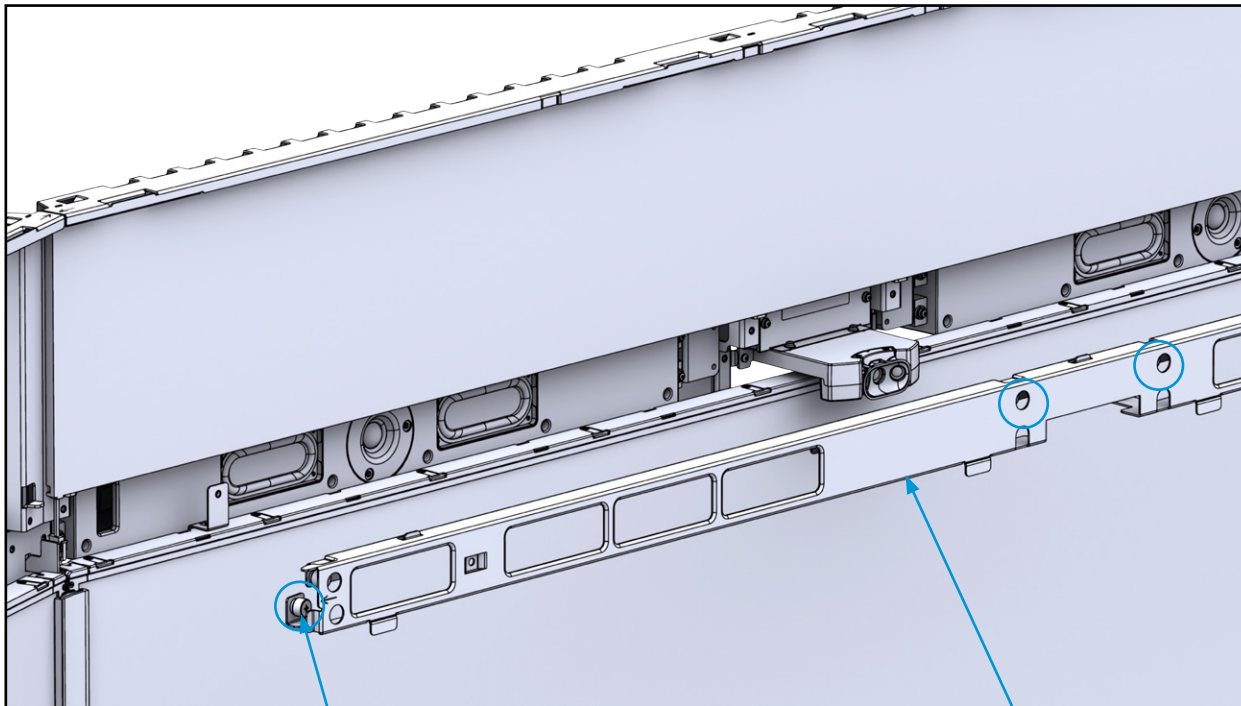
- 1 a. エンドポイント構造の垂直構造の支えに 74-12203-xx カメラを装着します。ネジはカメラに事前に装着されています。
b. カメラハウジングの上部に DisplayPort ケーブルを装着します。



2 照明パネルを装着します。a. 中央の証明パネル間のケーブル コネクタ (74-12235-xx の一部) および照明バーとコーデックの間にケーブルを接続します (すでにエンドポイント構造に設置されています)。照明バー内側の接続を切断する可能性があるため、ケーブル配線にストレスを与えないでください。b. パネルを持ち上げ、中央の水平クロスバーのタブ背後の照明パネル上部にタブを合せます。クロスバーのスロットに照明バー タブを置かないでください。c. 照明パネルの下部を内側に回転し、支柱の小さなシェルフに配置されるようにします。視覚的にフレームに照明パネルを置きます。この手順を行う際にパネルを落とさないでください。

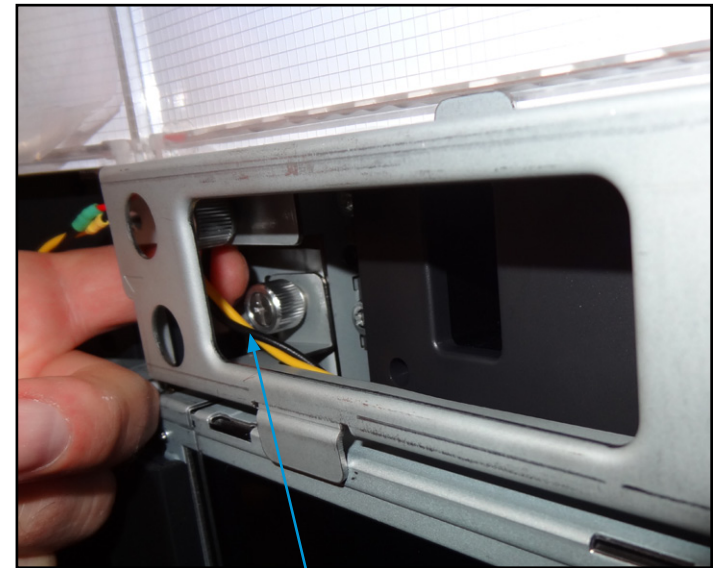


- 3 中央スピーカー カバー 700-46596-xx を取り付け、4x 非脱落型ネジを使用してカバーをエンドポイント構造に装着します。カバーは支柱の小さなシェルフの下に合わせます。下の図に示すように、照明ワイヤを挟まないように注意してください。



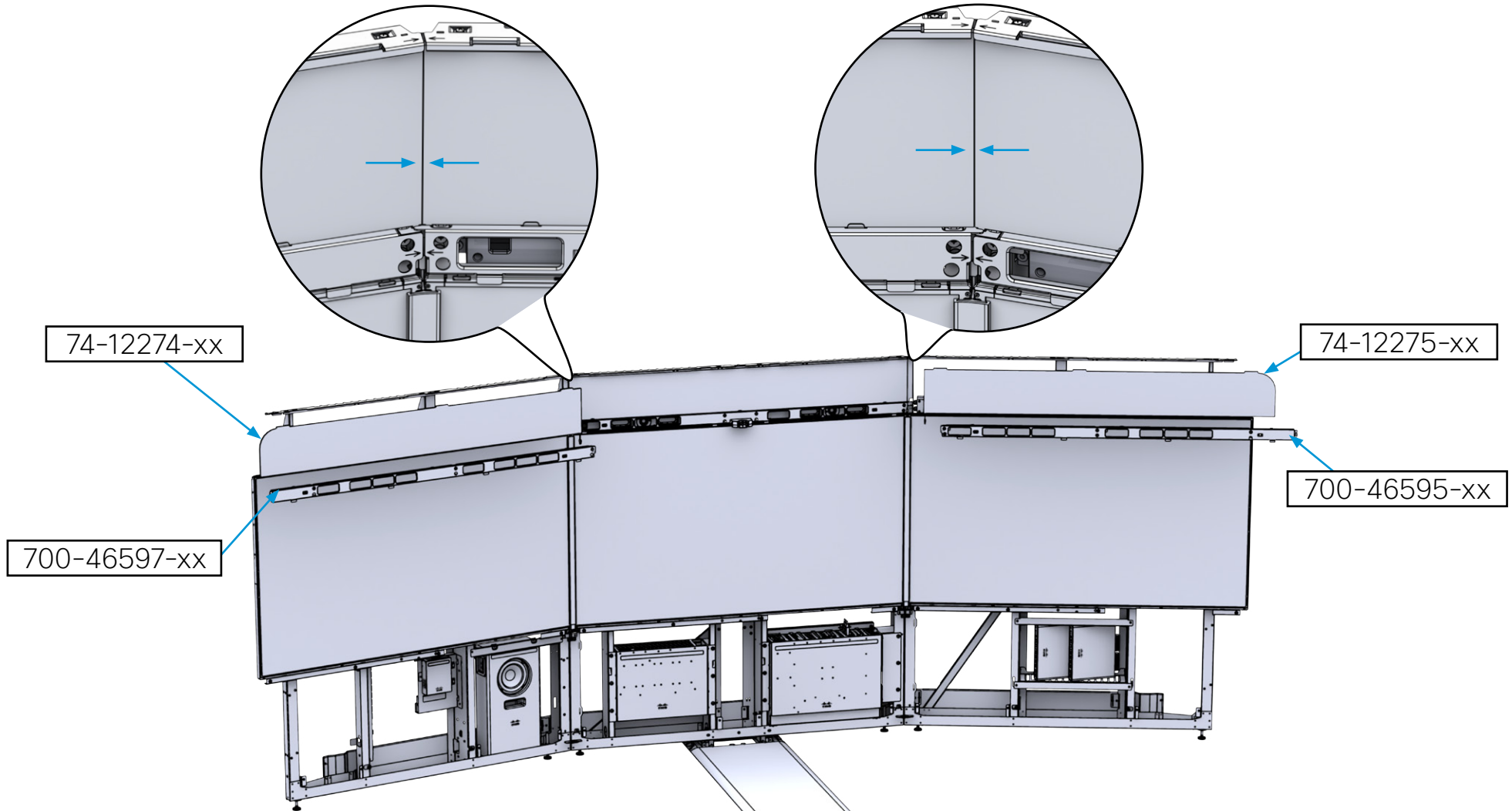
4x 非脱落型ネジ

700-46596-xx



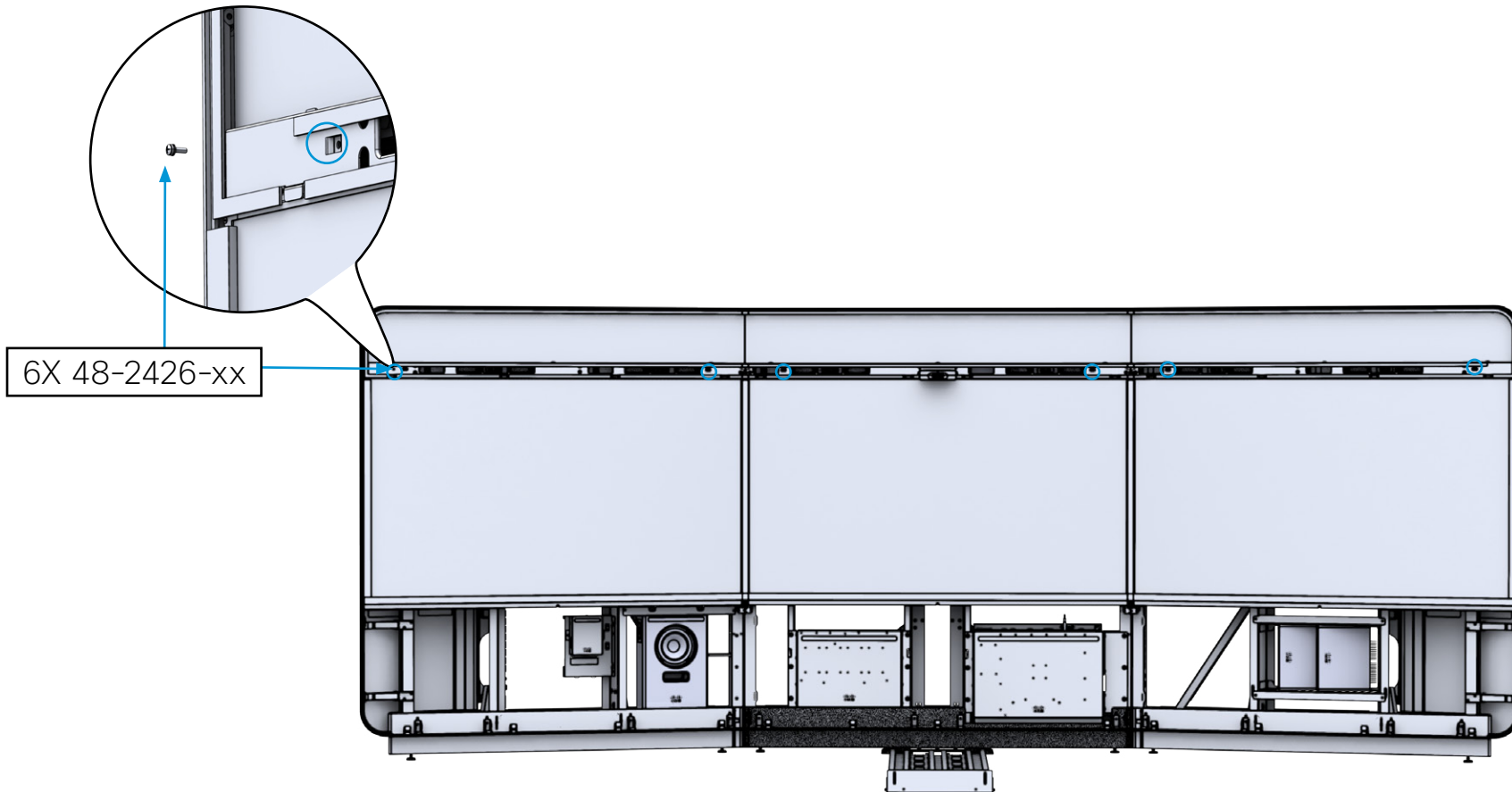
ケーブルを挟まないようにしてください

4 中央スピーカー カバーおよび照明パネルと同じ手順で、左の照明パネル (74-12235-xx の一部)、左スピーカー カバー 700-46597-xx、右の照明パネル(74-12235-xx の一部)、右スピーカー カバー 700-46595-xx を設置します。設置後に、パネル タッチの端を確認してください。

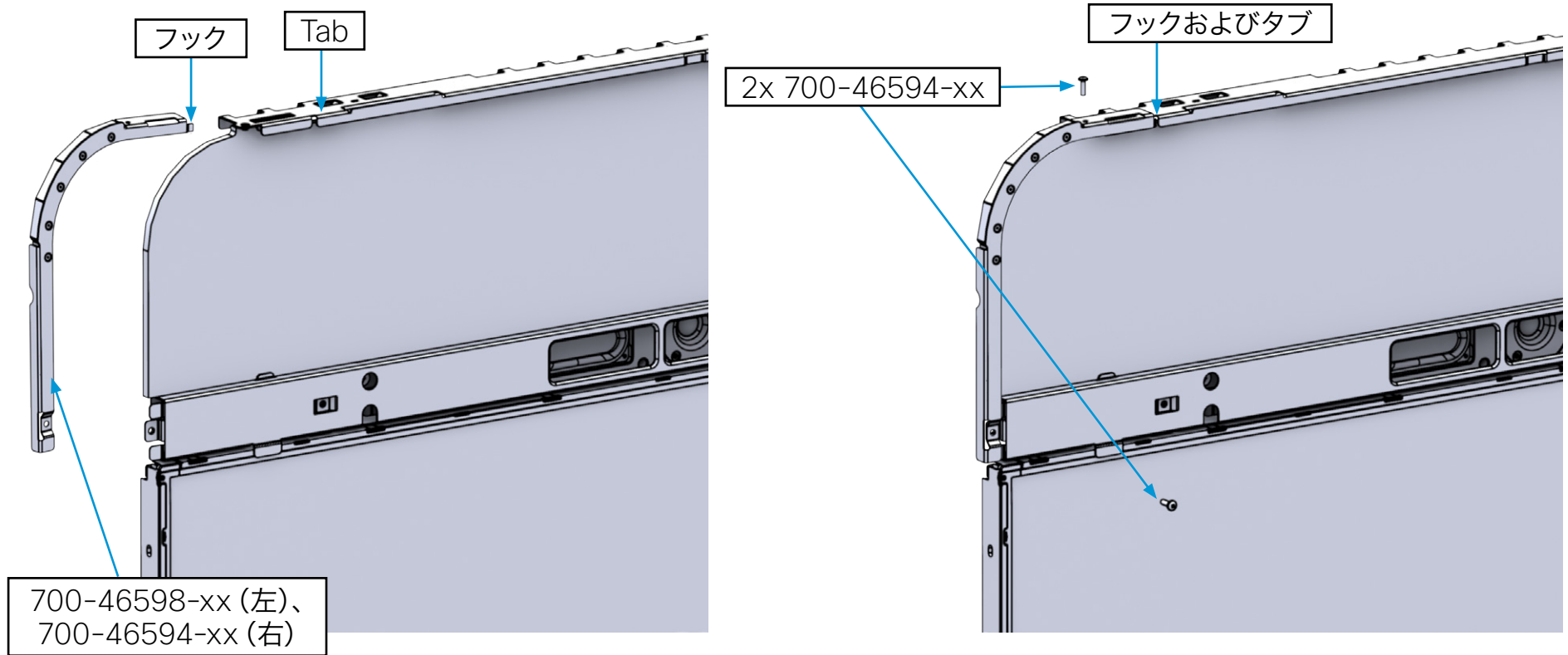


5 6x 黒 M4 X 12 mm ネジ 48-2426-xx をスピーカー カバーのくぼんだ穴に設置します。カバーの後ろのネジ穴にネジが取り付けられていることを確認します。左ディスプレイの 2x ネジを最初に取り付け、次に 2x 中央ネジ、その次に 2x 右を取り付けます。注：ネジがネジ穴に合わない場合、ドライバやその他のオブジェクトを穴に置いて合わせないでください。システムの背面からディスプレイ水準器を使用してディスプレイを上下に調節し、穴を合せます。

.....



6 左側ファスキアの角の留め具 700-46598-xx を水平クロスバーのタブに差し込み、2x M4 ネジ 48-2426-xx を使用して、所定の位置で留め具を回転させてエンドポイント構造に装着します。右ファスキアの角の留め具 700-46594-xx についても繰り返します。



前面キック プレートの取り付け

必要な部品

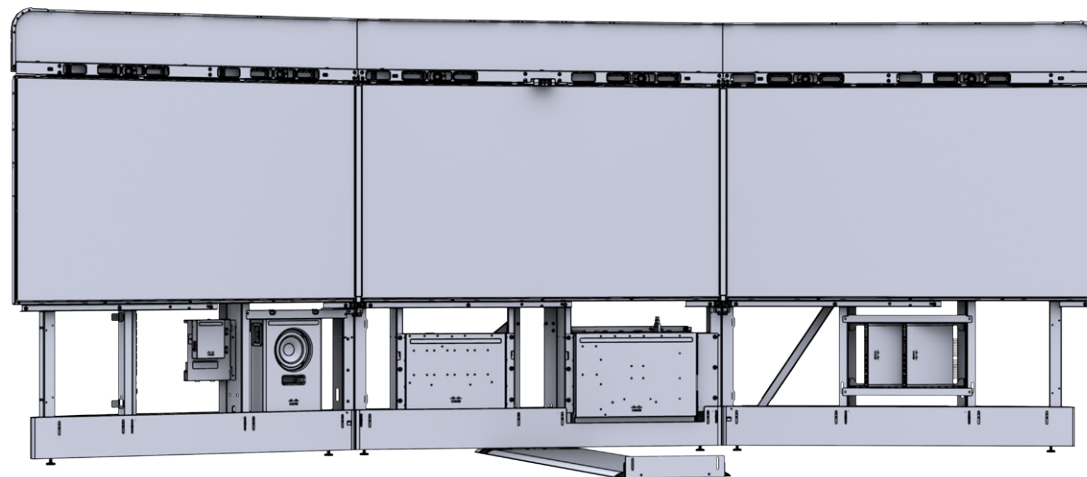
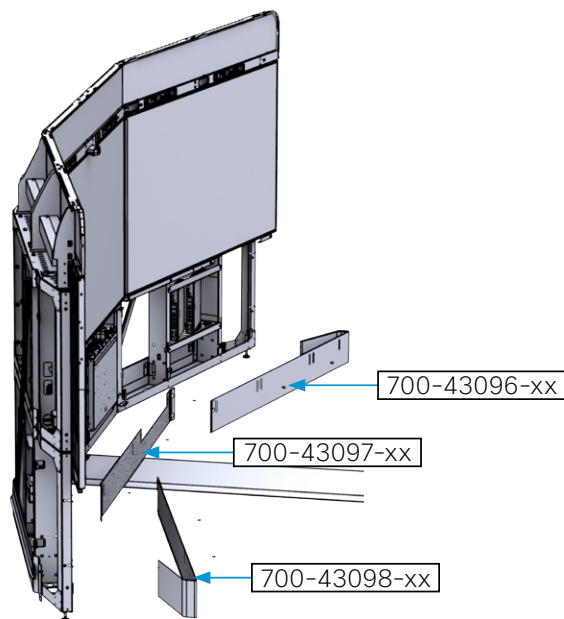
前面キック プレート:

- ・ 左、中央、および右の前面キック プレート (700-43097-xx 中央、700-43098-xx 左、700-43096-xx 右)
- ・ 1x 段ボール スペーサ (部品番号なし、ケーブル ランナー ベースに装着)
- ・ 5 x 黒 M4 x 12 mm ネジ 48-2426-xx

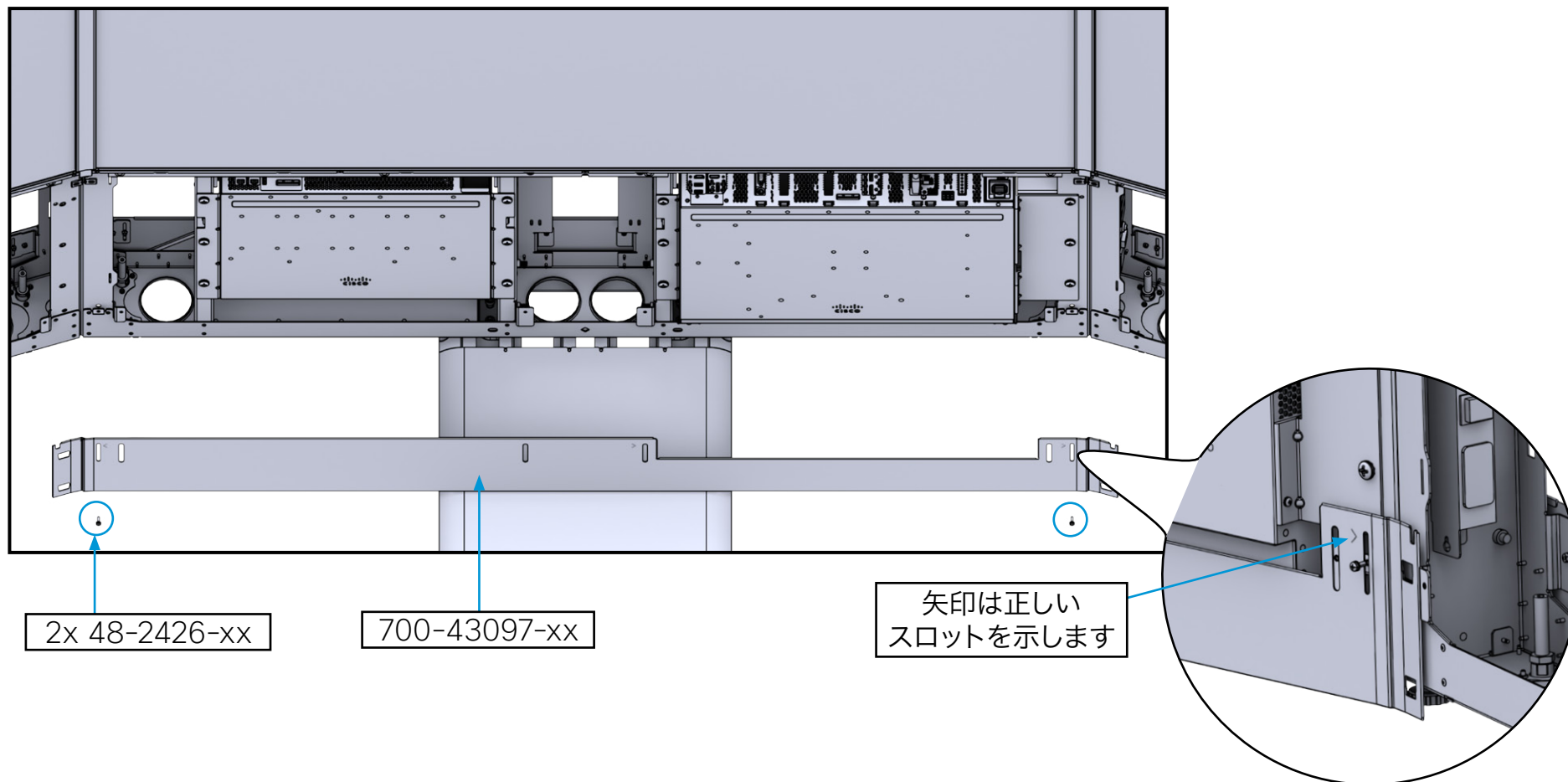
必要な工具

- ・ #2 プラス ドライバ

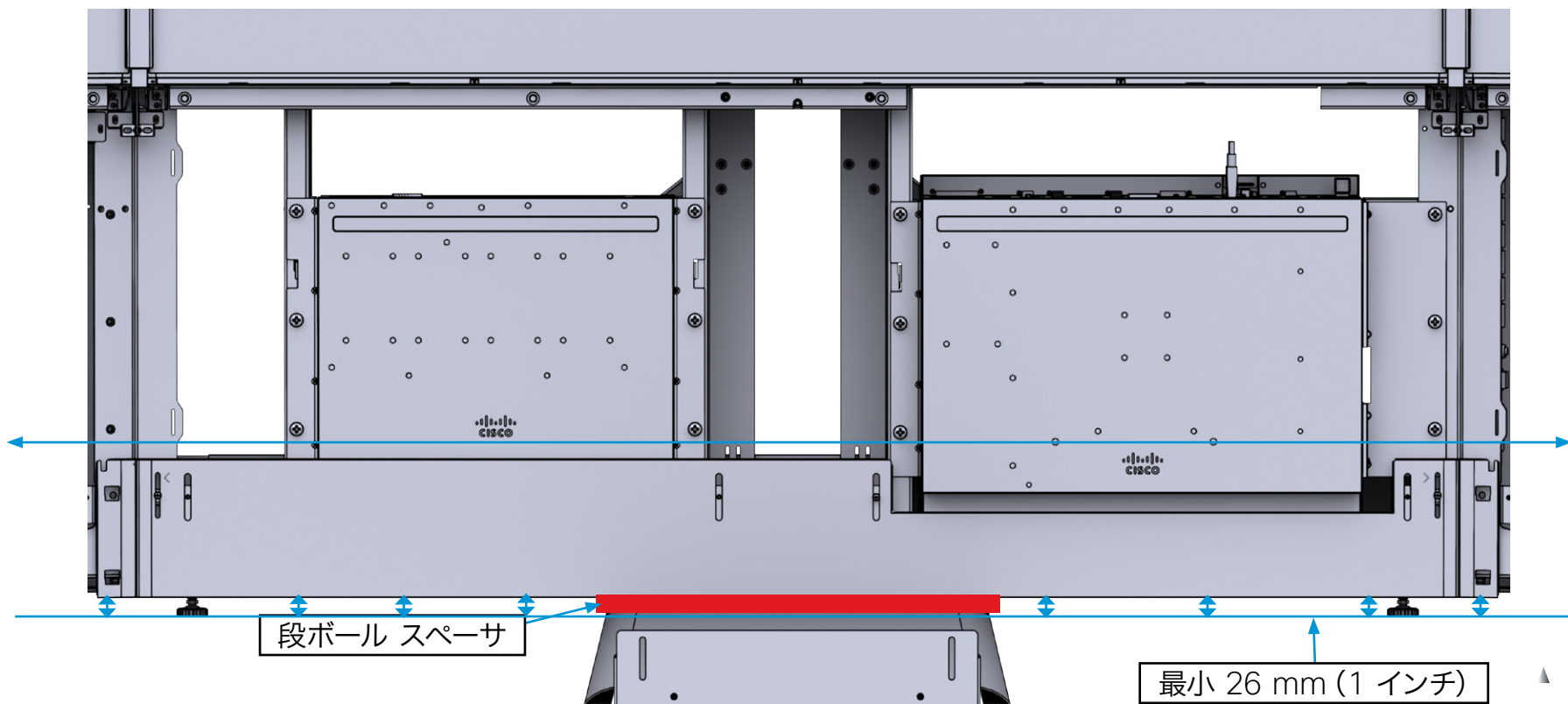
注：前面キック プレートを取り付ける前に、エンドポイントの構造と第 1 列ケーブルとの間のケーブル配線をすべて完了するようにします。



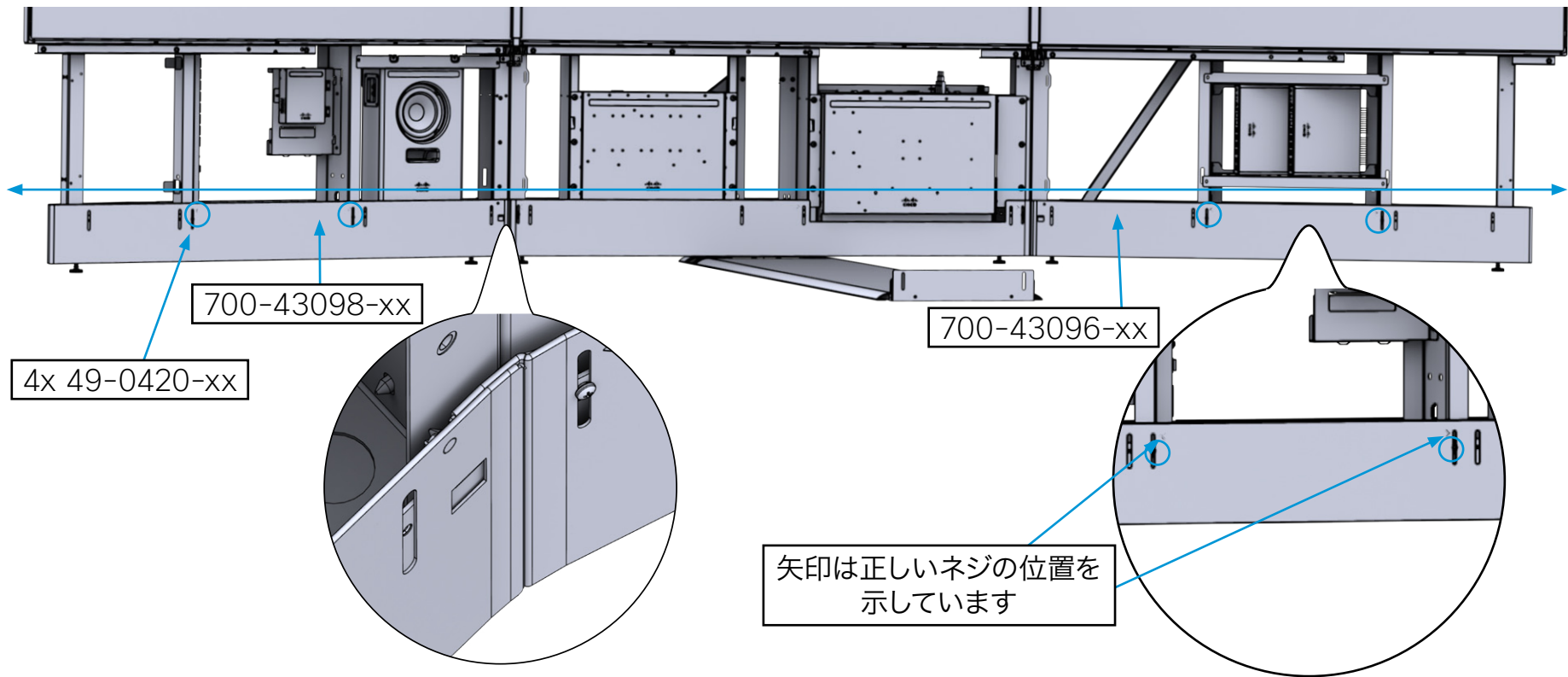
1a 前面中央のキック プレート 700-43097-xx を取り付けます。a. 段ボール スペースを下に配置し、フレームに中央のキック プレートを合わせます。b. スロットの中央に 2x 黒 M4x12 mm ネジ 48-2426-xx を装着しますが、締め付けしないでください。ネジに対する正しいスロットを示す矢印に注意してください。



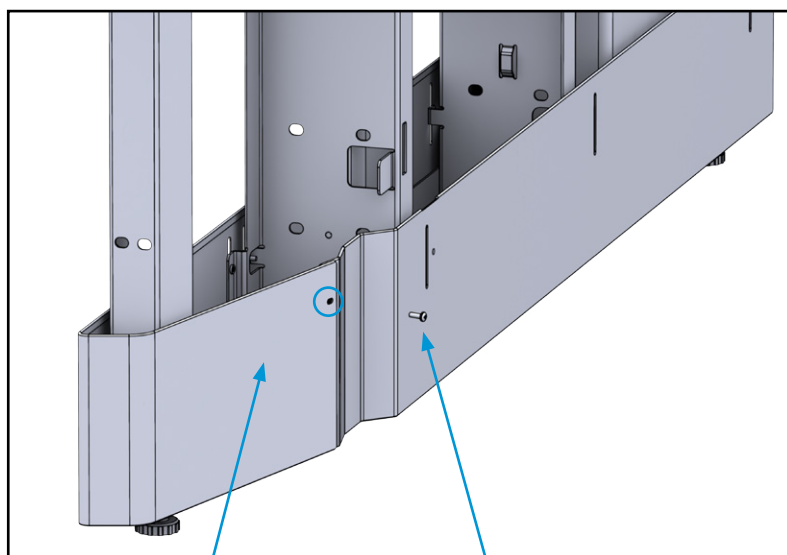
1b c. 段ボール スペースをケーブル ランナーと前面キック プレートとの間に置き、アルコール水準器を使用して前面キック プレートを水平調節します。前面キック プレートが床から最も高い位置より最低 26 mm であることを確認します (左右のいずれか)。d. 2x 黒 M4 x 12 mm ネジ 48-2426-xx を締めて、スペースを取り除き、最低 26 mm の隙間があることを再確認します。



2a 左と右の前面キック プレート 700-43098-xx および 700-43096-xx を装着します。a. 側面キック プレートのピンを前面中央のキック プレートにあるキック アライメント ノッチにひっかけ、中央のキック プレートの保持スロットに側面のキック プレートのフックを接続します。残りのネジを取り付けるまで、固定されていないもう一方の端を押さえます。b. アルコール水準器を使用して、前面左のキック プレート(700-43098-xx)の外側の端を、中央の前面キック プレートに対して水平調節します。c. 4x 黒 M4 x 12 mm ネジ 49-0420-xx (各キック プレートに 2 ずつ) を差し込んで締めます。キック プレートの矢印が正しいネジの位置を示していることに注意してください。

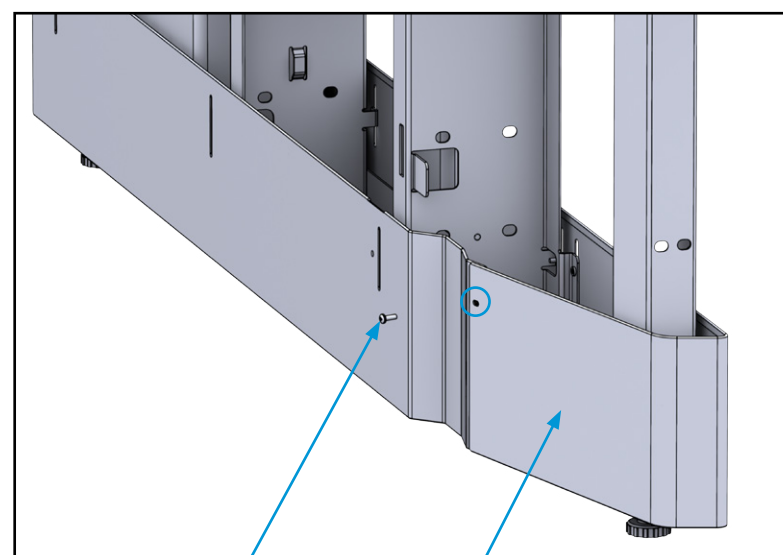


2b 前面左キック パネル 700-43098-xx を背面キック プレートに 1x 黒 M4x12 mm ネジ 48-2426-xx を取り付けて締めます。背面キック プレートを必要に応じて調整し、ネジ穴に合わせます。右側の前面キック プレート 700-43096-xx についても繰り返します。



700-43096-xx

48-2426-xx



48-2426-xx

700-43098-xx

第 1 列テーブルトップの設置

必要な部品

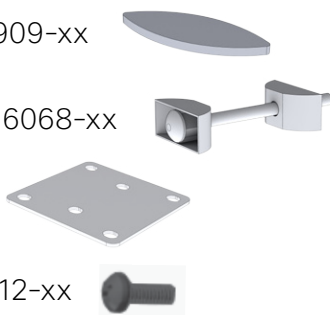
1x ずつテーブルトップ A、B、C (700-42477-xx、700-42476-xx、700-42478-xx)

8x ビスケット ジョイナー、700-23909-xx

4x 半月ボルト、M6 x 80 mm、51-6068-xx

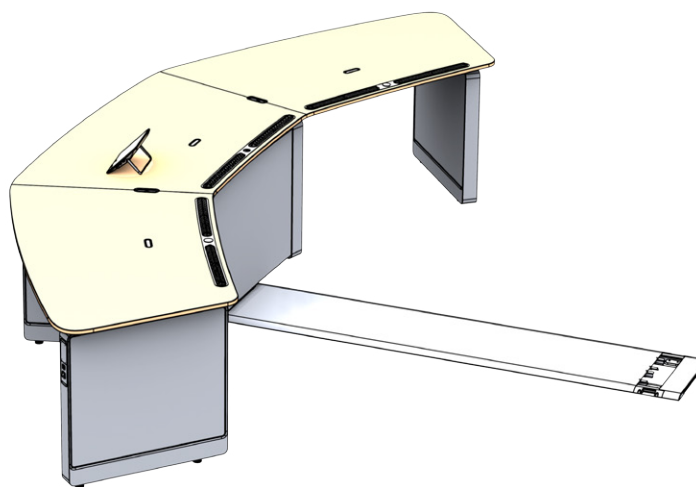
4x 連結プレート、700-23345-xx

48x M8 x 16 mm ネジ、黒 48-3012-xx

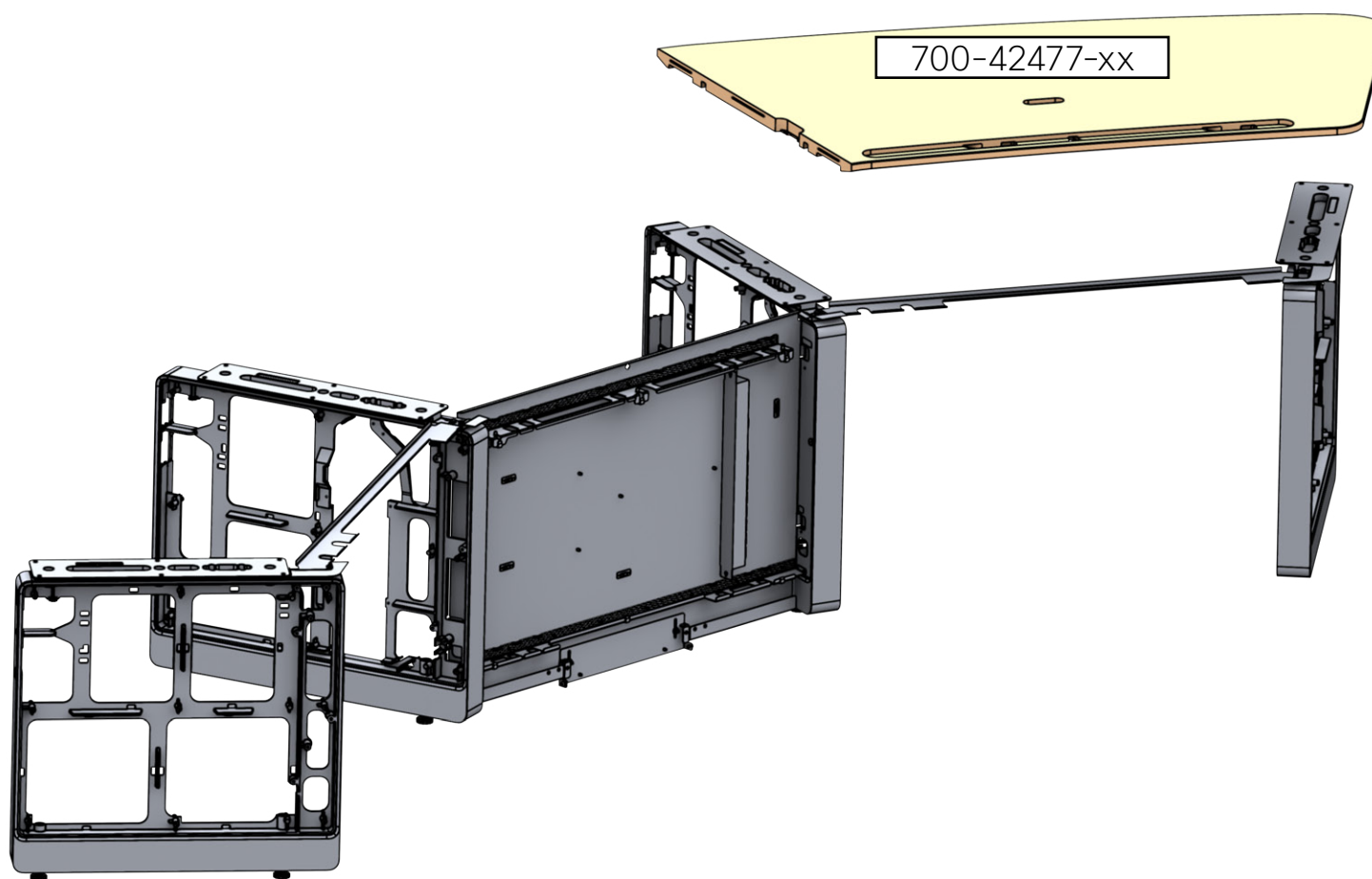


必要な工具

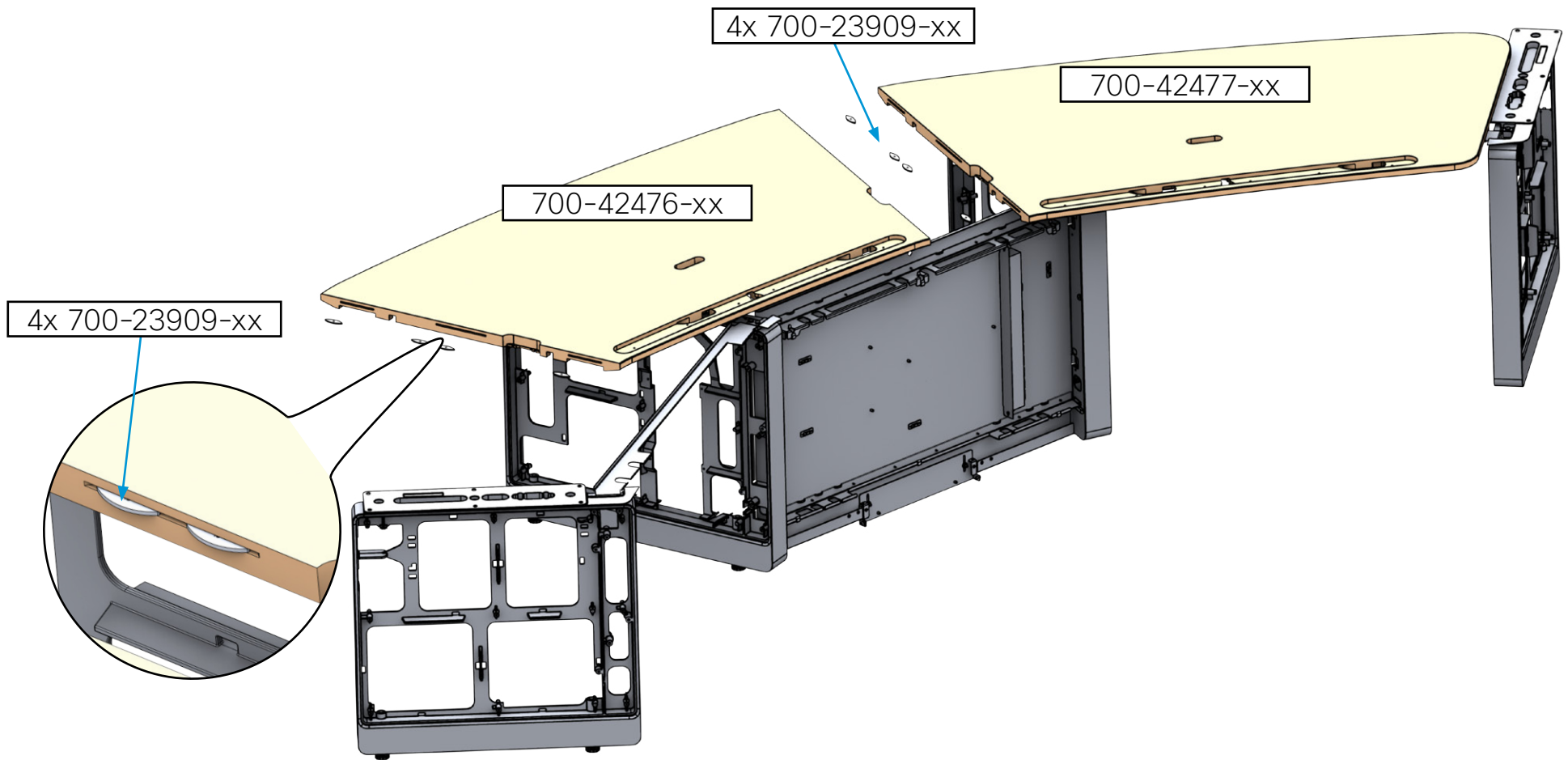
- ・ #4 プラス ドライバ
- ・ 10 mm 開放端またはラチェット レンチ



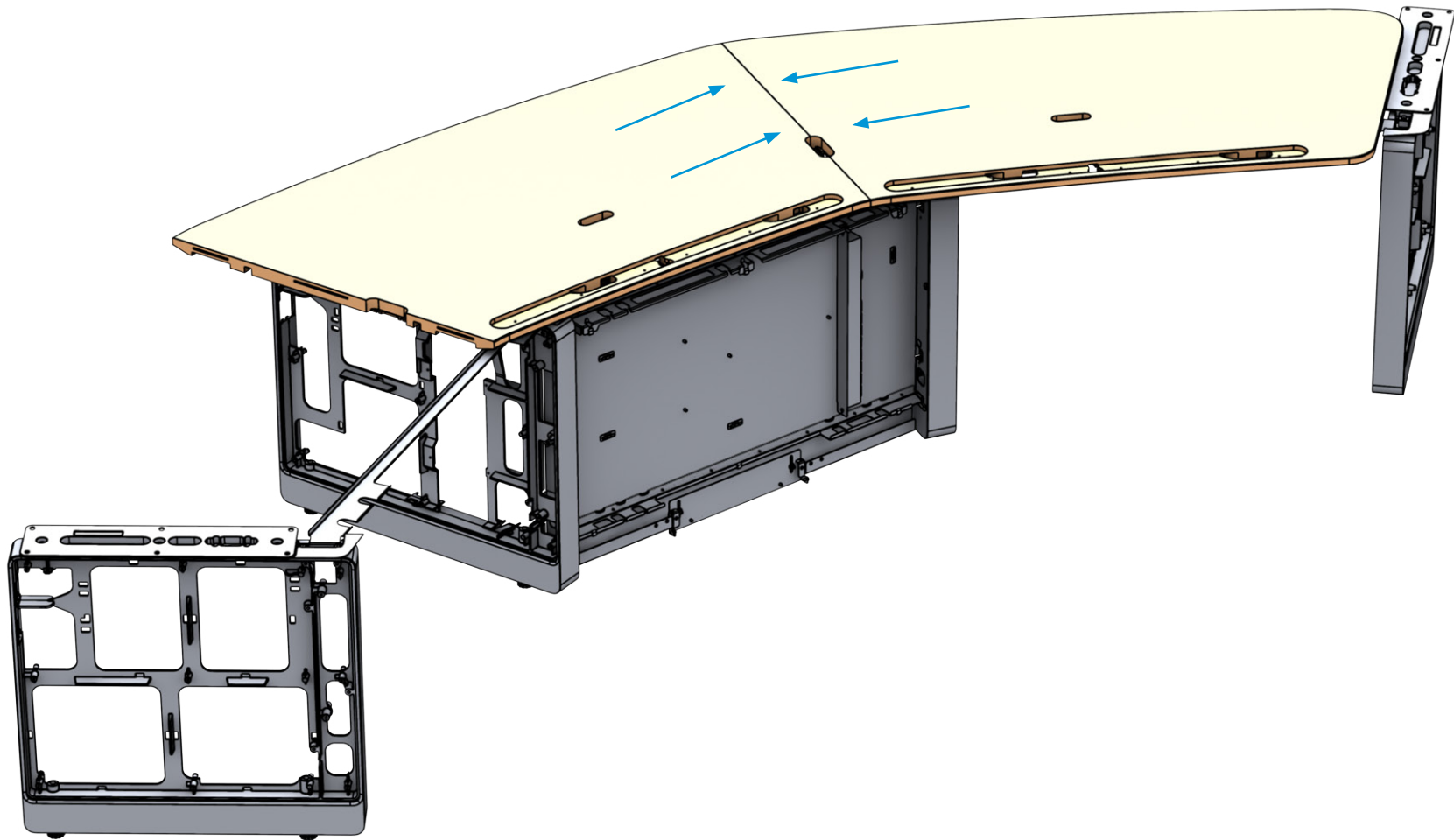
- 1 テーブルトップ アセンブリ A 700-42477-xx をテーブル脚アセンブリの上を下ろします。この時点では、まだ脚にテーブルを固定しないでください。テーブル トップ B 700-42476-xx でもこの手順を繰り返します。



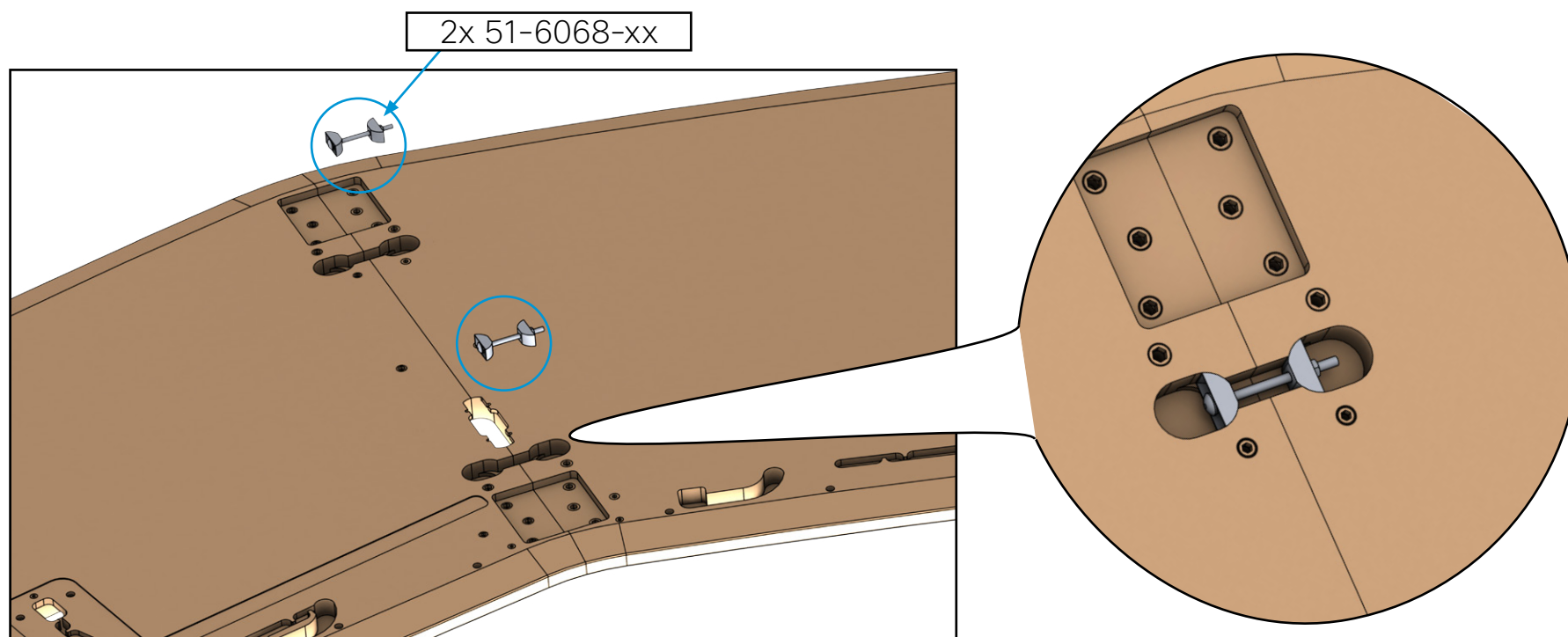
- 2 脚アセンブリにテーブルトップ A&B を配置した状態で、x8 ビスケット ジョイナー 700-23909-xx (継ぎ目ごとに 4x) を取り付けます。ビスケット ジョイナーが各スロットに完全に装着されていることを確認します。
-



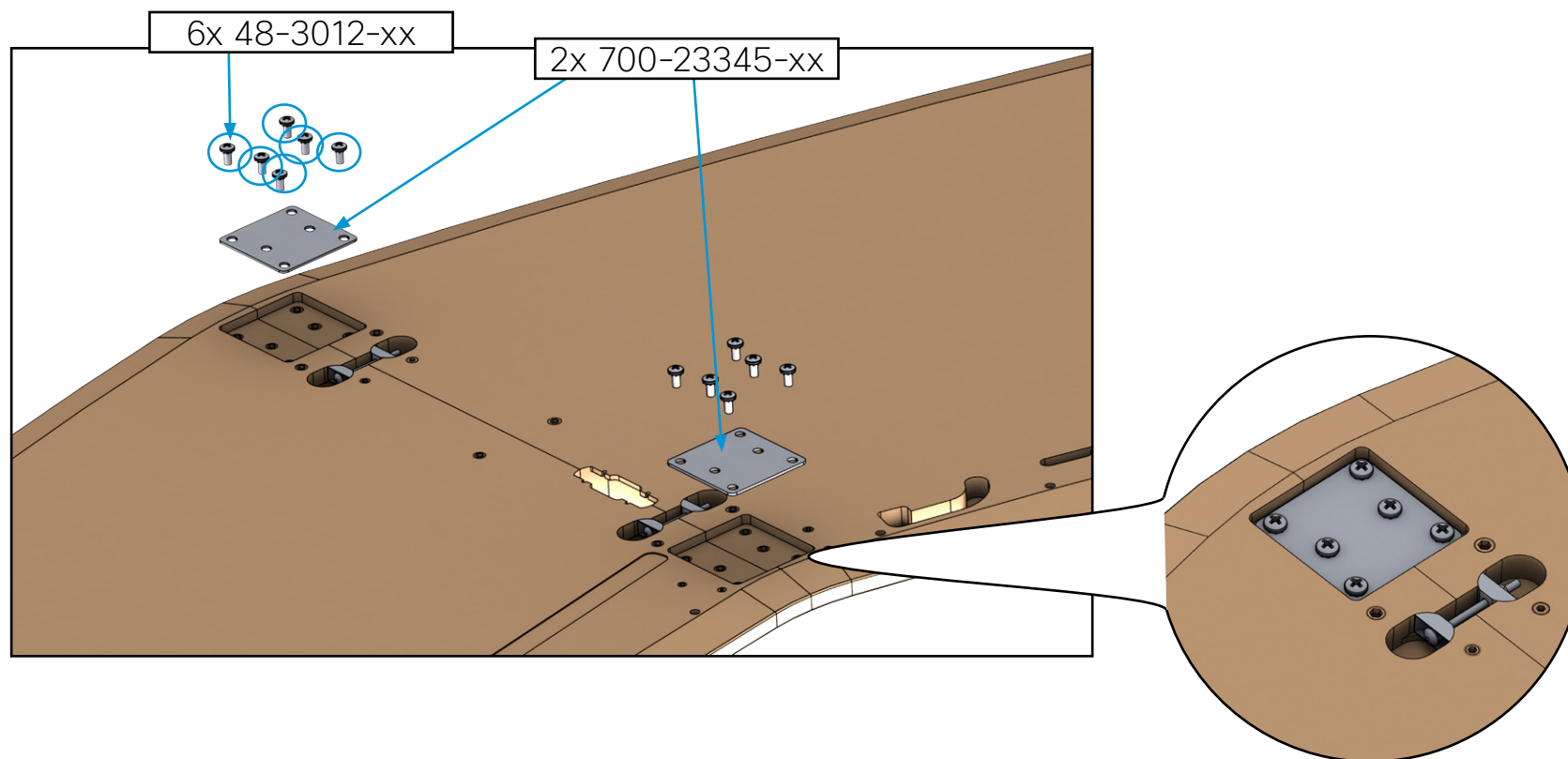
- 3 テーブルトップ アセンブリ A&B を一緒にスライドさせ、テーブルトップを左右にわずかにスライドさせながら、下からテーブルトップのハードウェアを取り付けるだけの十分なスペースを確保します。トップがテーブル脚に固定され、落下しないことを確認してください。
-



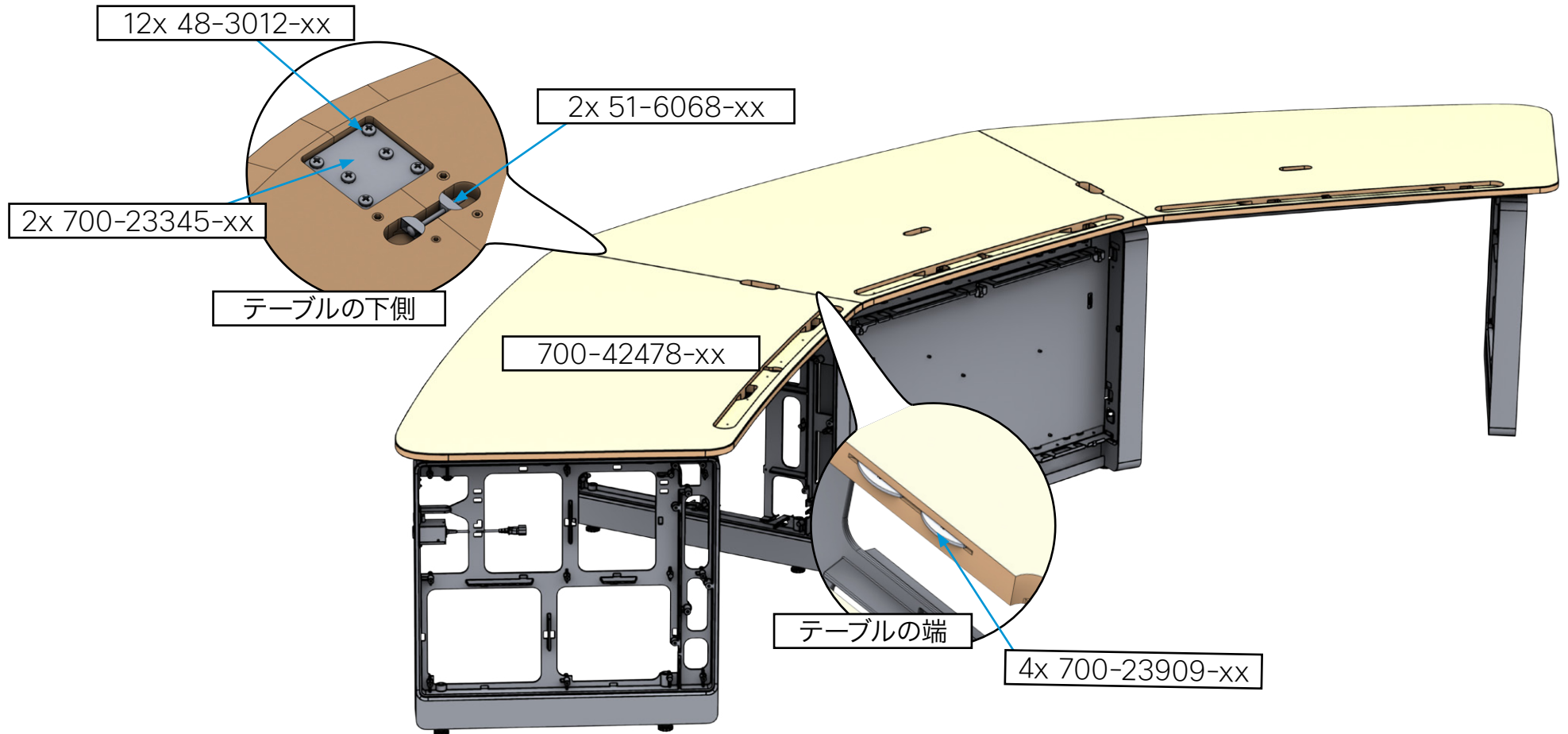
- 4 テーブルトップ アセンブリ A&B の下部にあるスロットに、2x 半月ボルト アセンブリ (51-6068-xx) を取り付けます。10 mm 開放端またはラチェット レンチを使用してナットを締め、テーブル セクションを合わせて固定します。固定する前に、前面と背面の端が一致していることと、半月ボルトのアセンブリがテーブルの埋め込みの奥まで差し込まれていることを確認します。
-



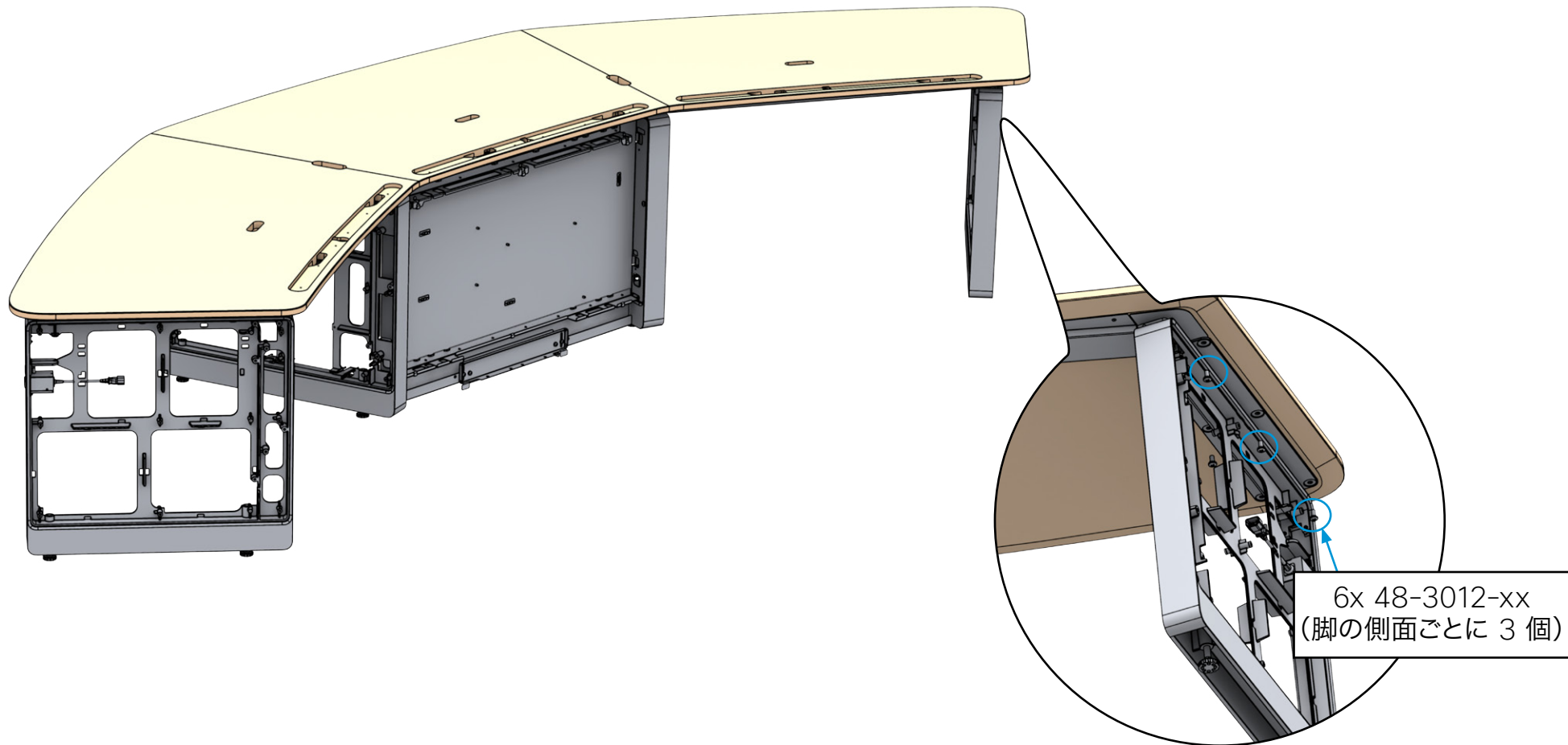
- 5 継ぎ板 2x 700-23345-xx を、継ぎ板ごとに 6x 48-3012-xx ネジを差し込んで、テーブルトップ アセンブリ A&B (700-42477-xx および 700-42476-xx) の下部に取り付けます。



6 テーブルトップ A&B の結合に使用したときとまったく同じ部品、工具、結合手順を使用して、テーブルトップ C 700-42478-xx をテーブルトップ A&B に装着します。



- 7 テーブルトップ アセンブリを正しい位置にスライドさせたら、24x M8x16 mm ネジ (48-3012-xx) をテーブル脚ごとに 6x のネジを使用してテーブル脚に固定します。内側の脚から始めて、外側に移動します。



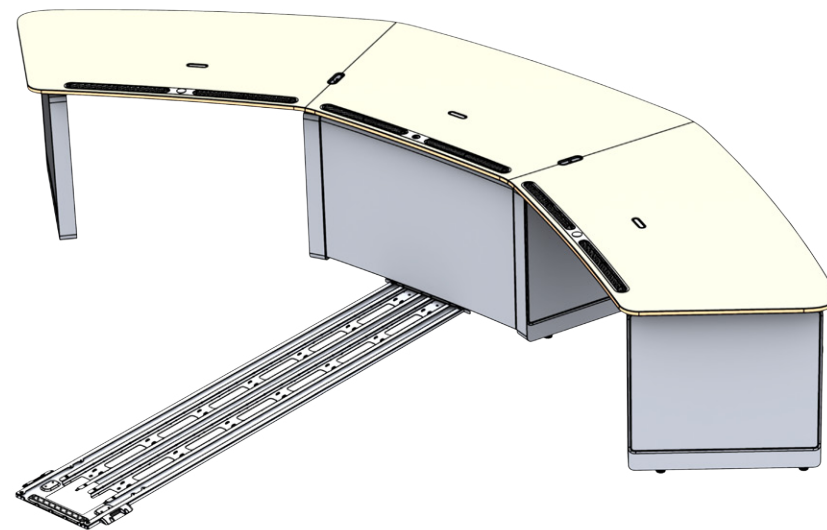
第 1 列テーブルの設置の完了

必要な部品

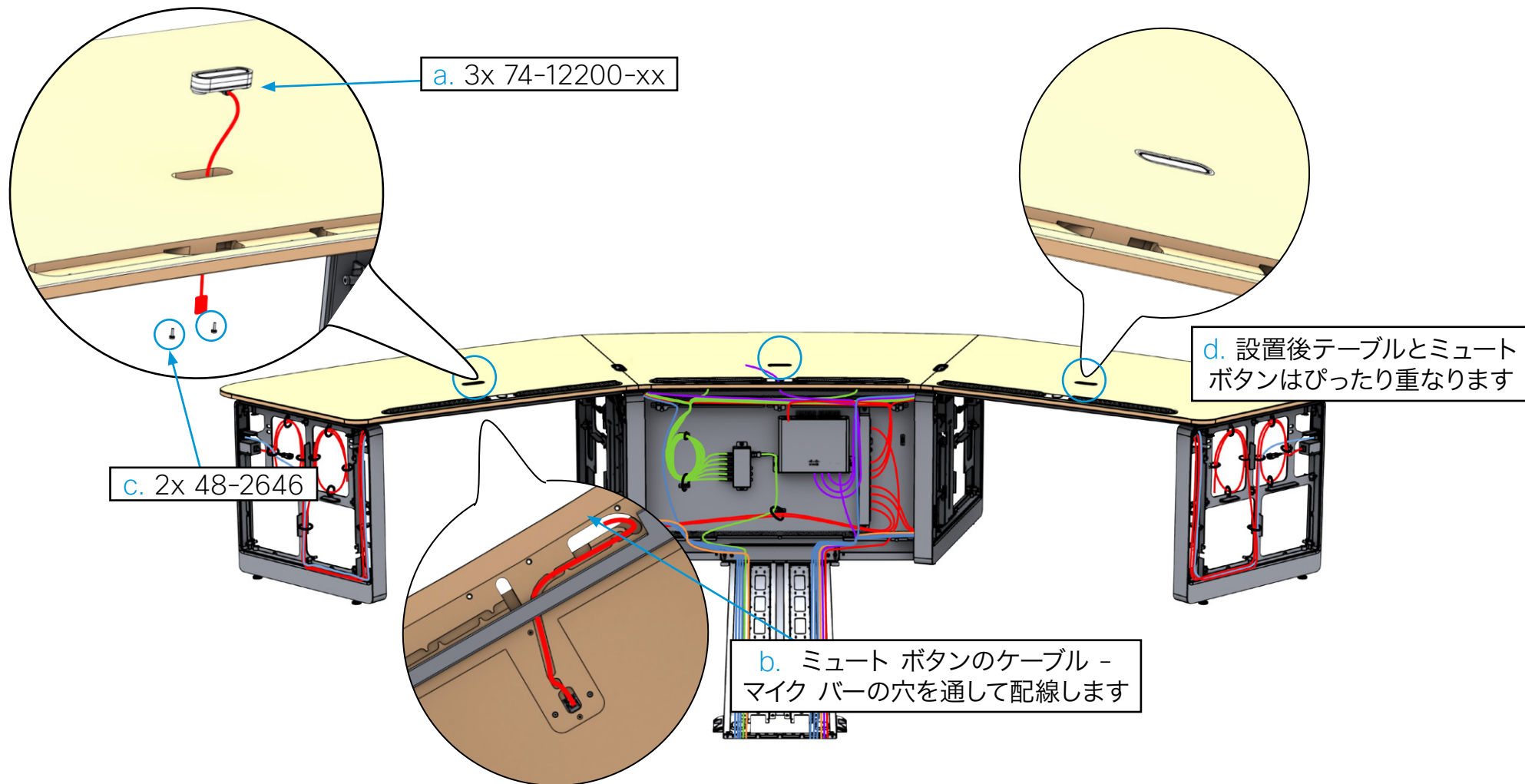
- 3x ミュート ボタン 74-12200-xx
- 3x マイク バー 74-12199-xx (マイク バーおよびマイク バー センター キャップが含まれます)
- 24x M4x12 mm ネジ 48-2426-xx
- 6x M3x6 mm ネジ
- 6x Mini-DisplayPort ケーブル
- 必要に応じてベルクロ ストラップ 52-0449-xx
- 2x プレゼンテーション カップ 800-43264-xx
- 8x つまみネジ SE2587
- 12x M3x12 mm ネジ SR6213
- 12x M3 ネジ 48-0873-xx
- 2x ケーブル レトラクター 800-42888-xx
- 8x M3x12 mm ケーブル レトラクター用のネジ 48-2091-xx
- 1x ケーブル ランナーの保持具 700-44724-xx
- 6x M6x10 mm ネジ 48-2392-xx
- 1x ケーブル ランナー カバー 700-42945-xx
- 側面パネルおよび前面パネルカバー：
 - 2x 700-43422-xx - 中央左および中央右の脚の外側
 - 2x 700-43004-xx - 外側の脚の内側
 - 2x 700-43424-xx - 外側のテーブル脚の外側
 - 2x 700-43423-xx - 内側の脚の内側
 - 1x 700-43425-xx - 前面 (プライバシー) パネル
- 3x ケーブルのミュート ボタン カバー (1x 右 700-44726-xx、2x 左と中央 700-44727-xx)
- 13x M4x10 mm 黒ネジ 48-2491-xx

必要な工具

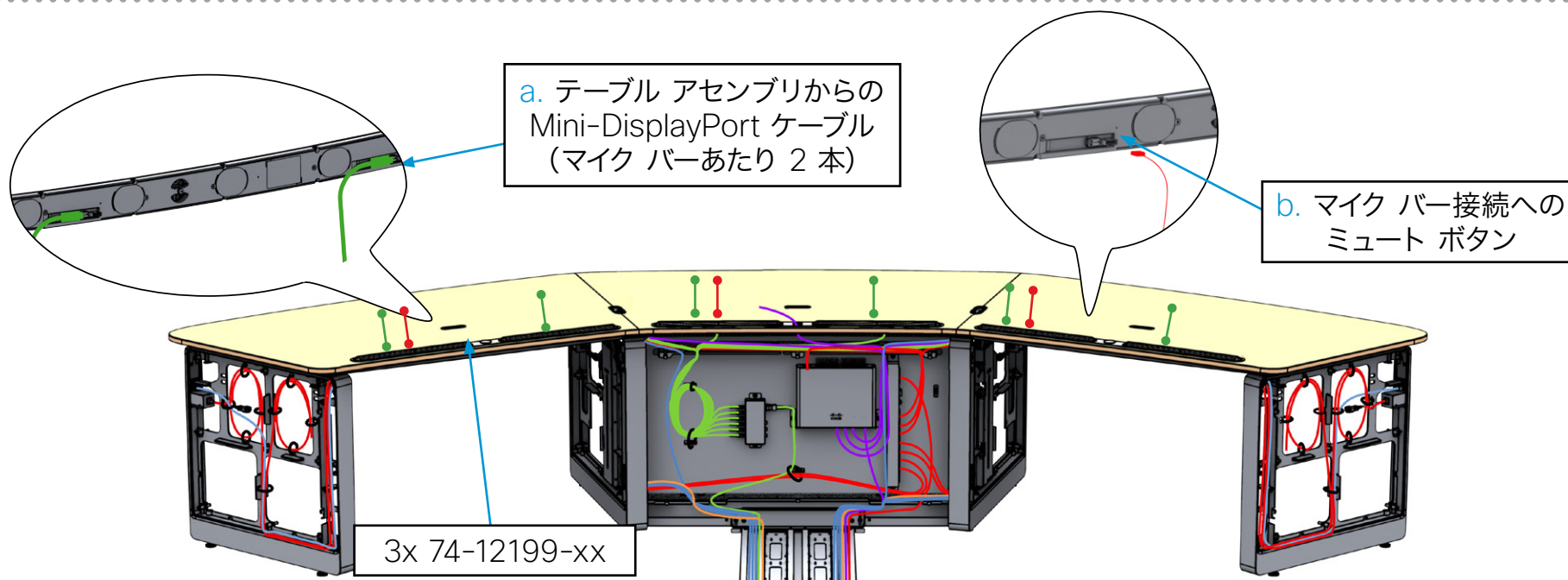
- ・ #4 のプラス ドライバ
- ・ 10 mm ソケット レンチまたはラチェット レンチ
- ・ フラット ファイルまたは Dremel (ケーブル レトラクター設置時のテーブル脚の場合)
- ・ 白い手袋 (アクセサリ キットに付属)



- 1 a. テーブルトップ アセンブリのミュート ボタンの穴にミュート ボタンのアセンブリ 74-12200-xx を下ろします。 b. テーブルトップ下の開口部を通してマイク バーの穴にミュート ボタン ケーブルを配線します。 c. 2x M4 x 12 mm ネジ 48-2426-xx を使用してミュート ボタンのアセンブリを固定します。 d. ミュート ボタンがテーブルトップ アセンブリの表面とぴったり合うようにネジを調整します。 e. 各ミュート ボタン アセンブリについて繰り返します。
-



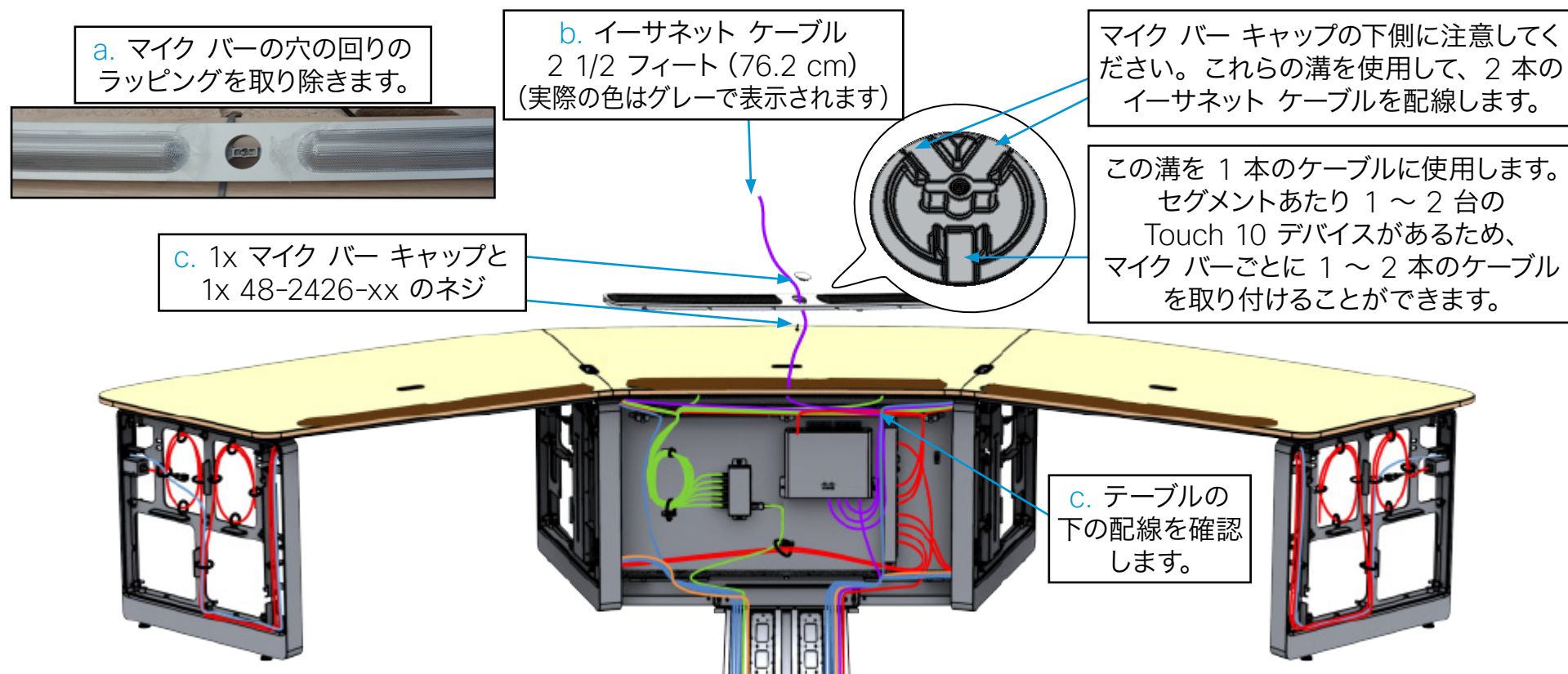
2 マイク (mic) バーのアセンブリを準備します。a. mini-DisplayPort ケーブル (各マイク バーに 2 本) をマイク バー 74-12199-xx の底面のコネクタに接続します。b. ミュート ボタンからマイク (mic) バーにケーブルを接続します。c. 接続されたマイク バーをゆっくりとテーブル上で逆さに配置します。d. 各マイク バー アセンブリに対してこの手順を繰り返します。e. 下図に示すように、ケーブル管理アセンブリで余剰なケーブルをまとめます。IX5200 システムのみに関する注意事項: 3 個のマイク バーには赤いプラスチック カバーがあり、下側に赤いシールがあります。これらは 2 列目に使用し、第 1 列には取り付けないでください。



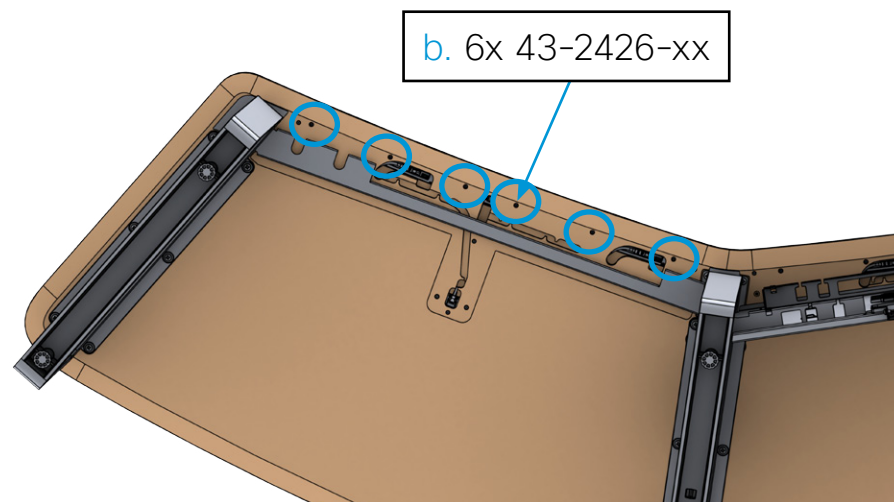
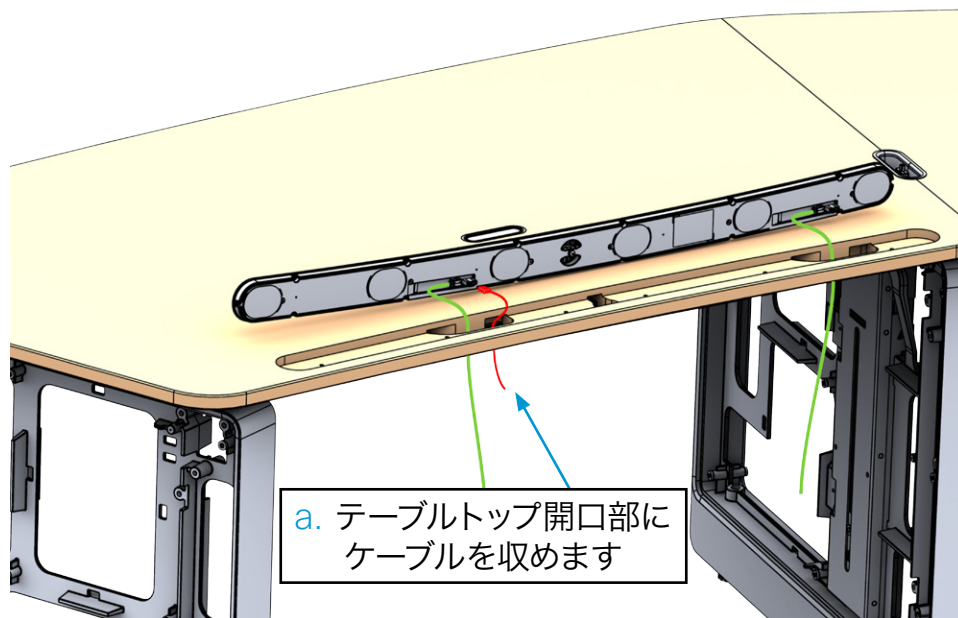
- マイク バー Mini-DisplayPort ケーブル (合計 6 本)
- ミュート ボタン ケーブル (合計 3 本)

IX5200 のみ: ターンアラウンド マイク (74-12552-xx) には下側に赤色のラベルが付いています。これは 2 列目専用です。第 1 列には**絶対**に使用しないでください。

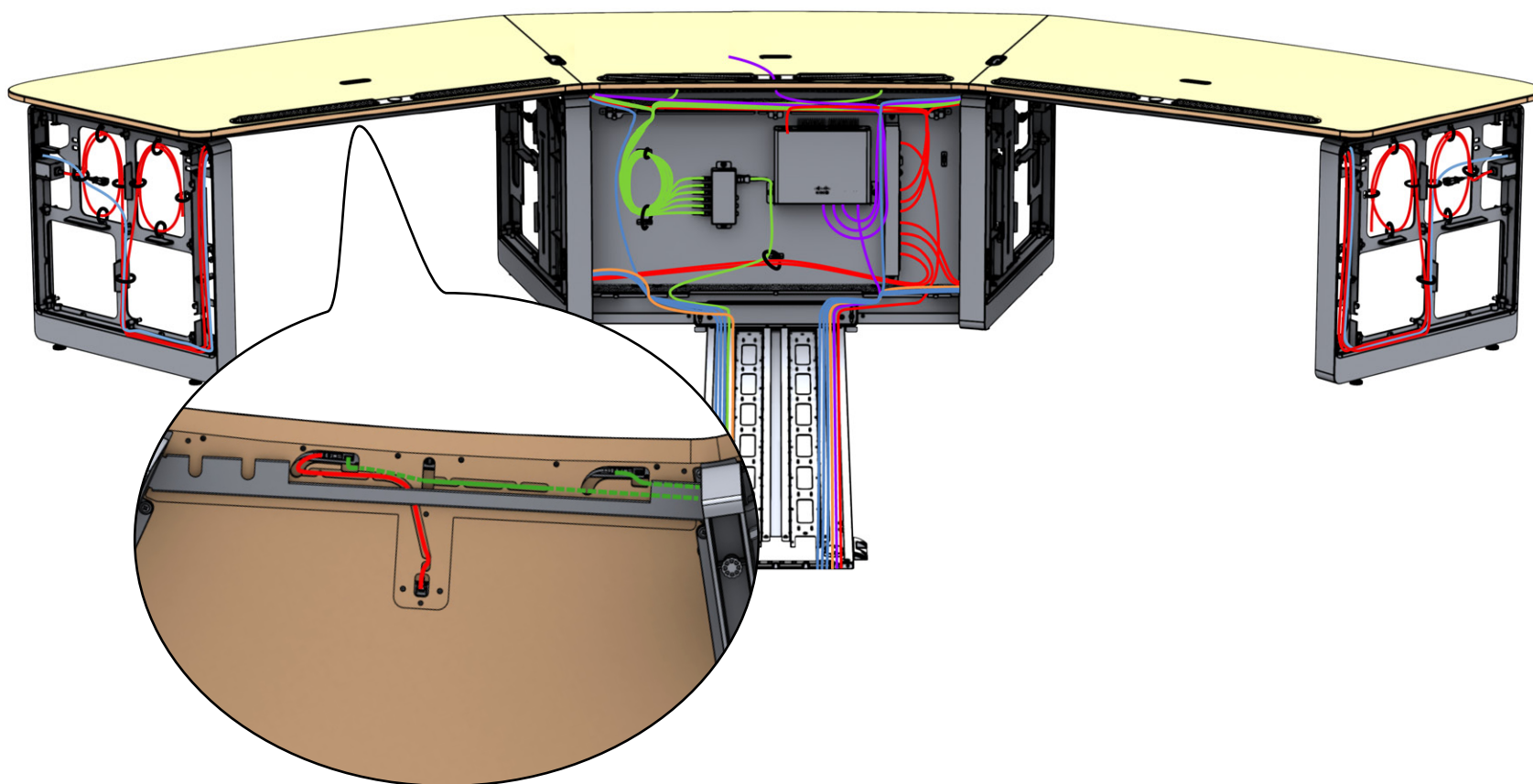
6a Touch 10 デバイス用にイーサネット ケーブルを準備します。a. マイク バーの中央の周りにある保護フィルムを取り除きます。b. 第 1 列テーブルの PoE スイッチからイーサネット ケーブルを取り (セグメントあたりの Touch 10 デバイスの数によってケーブル 1 本または 2 本)、マイク バーの穴からフリーのケーブルがおよそ 2 1/2 フィート (76.2 cm) になるまでマイク バー中央の穴を通して引き出します。c. 1x M4x12 mm のネジ 48-2426-xx を使用して、マイク バー プラグ (マイク バーに別途付属) をマイク バーに接続します。d. 化粧パネルを取り付ける際にケーブルが挟まれないよう、テーブルの下にケーブルを配線するようにしてください。必要に応じてベルクロ ストラップを使用します。e. システムで追加の Touch 10 デバイスを使用する場合は、ステップ a. ~ c を 左右のマイク バーに対して繰り返します。そうしない場合は、ケーブルを装着しないで左と右のマイク バーにキャップを装着します。



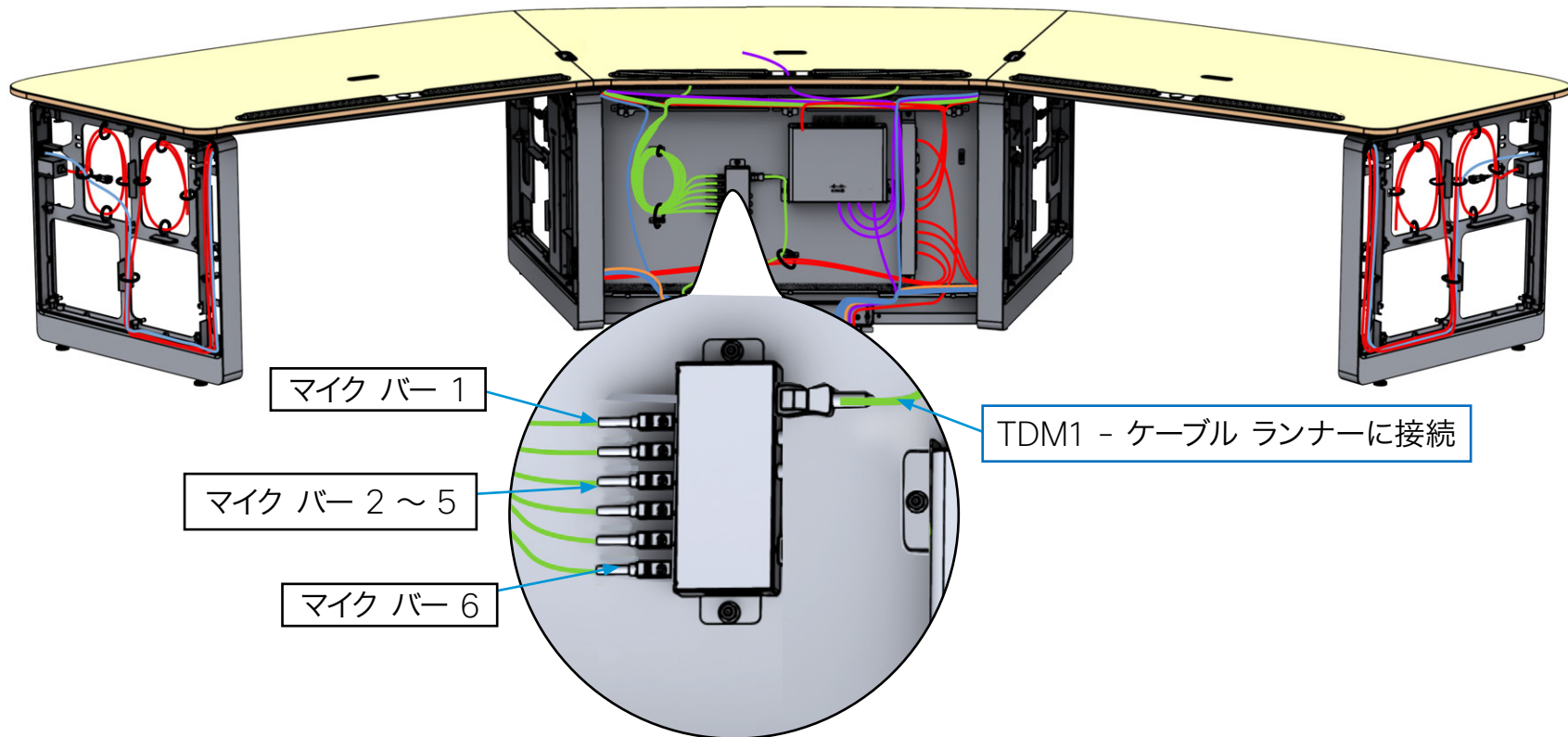
- 3** テーブルにマイク バーを取り付けます。a. テーブルトップの埋め込みにマイク バーのアセンブリを下げ、mini-DisplayPort ケーブルをテーブル トップ アセンブリの開口部を通します。マイク バーとミュート ボタン バーとの間のワイヤがステップ 1.b. に示すような配線を使用していることを確認します。b. テーブル トップ アセンブリの下側から 6x M4 12 mm ネジ 48-2426-xx を挿入して、テーブルトップ アセンブリにマイク バーのアセンブリを固定します。これらのネジの電動ドライバを使用しないでください。c. 各マイク バー アセンブリに対してこの手順を繰り返します。



4 テーブル下側で構造の中央に向けて Mini-DisplayPort ケーブルを配線します。



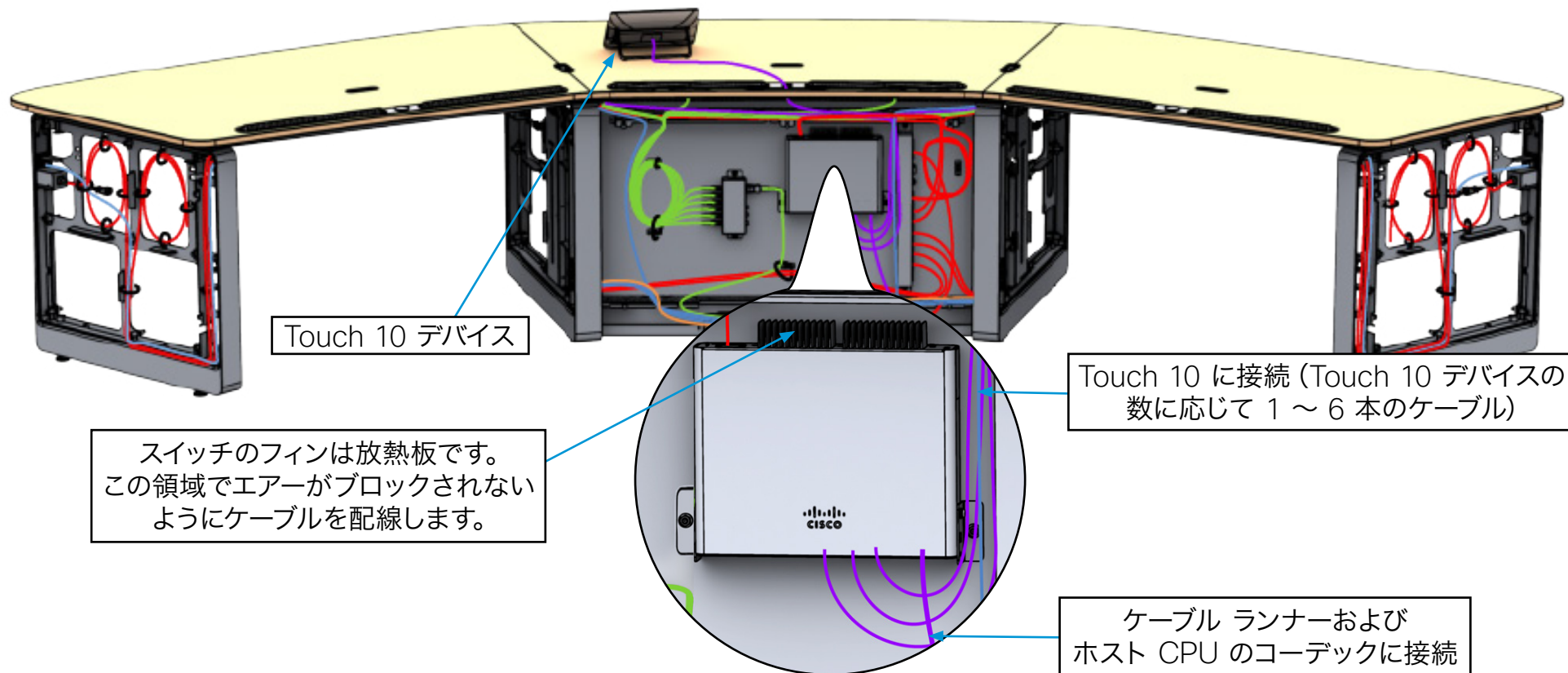
5 マイク バーと TDM の間の 6x mini-DisplayPort ケーブル接続を確認します。必要に応じて、ベルクロ ケーブル ラップを使用してケーブルを固定します。化粧パネルを取り付ける際にケーブルが挟まれないように、ケーブルが構造内に収まっていることを確認します。



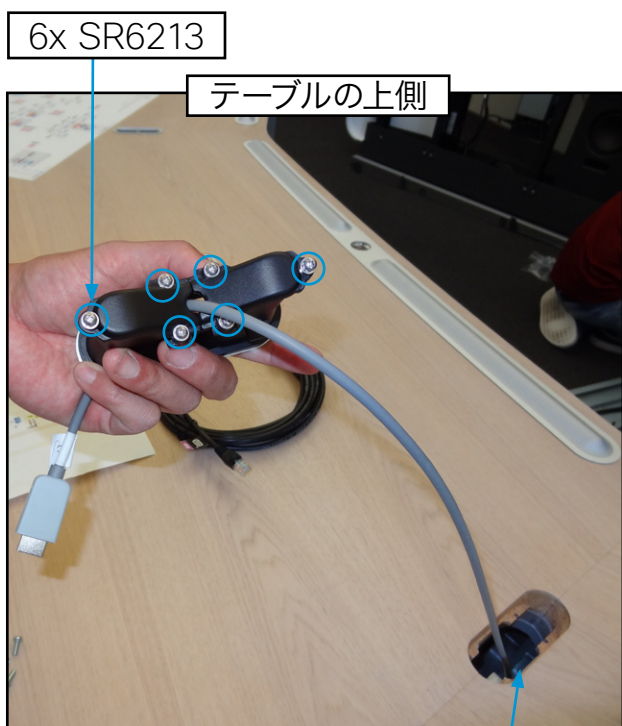
6b 第 1 列テーブルの PoE スイッチに Cisco TelePresence Touch 10 デバイスを接続します。必要に応じてベルクロケーブル ラップを使用してケーブルを固定し、化粧パネルを取り付ける際にケーブルが挟まれないように、ケーブルが構造内に収まっていることを確認します。

注:

- Touch 10 デバイスは最大 6 台まで設置できます (参加者につき 1 台)。
- 放熱板の周りで最小限の温風がブロックされるよう、スイッチ上にケーブルを配線します。



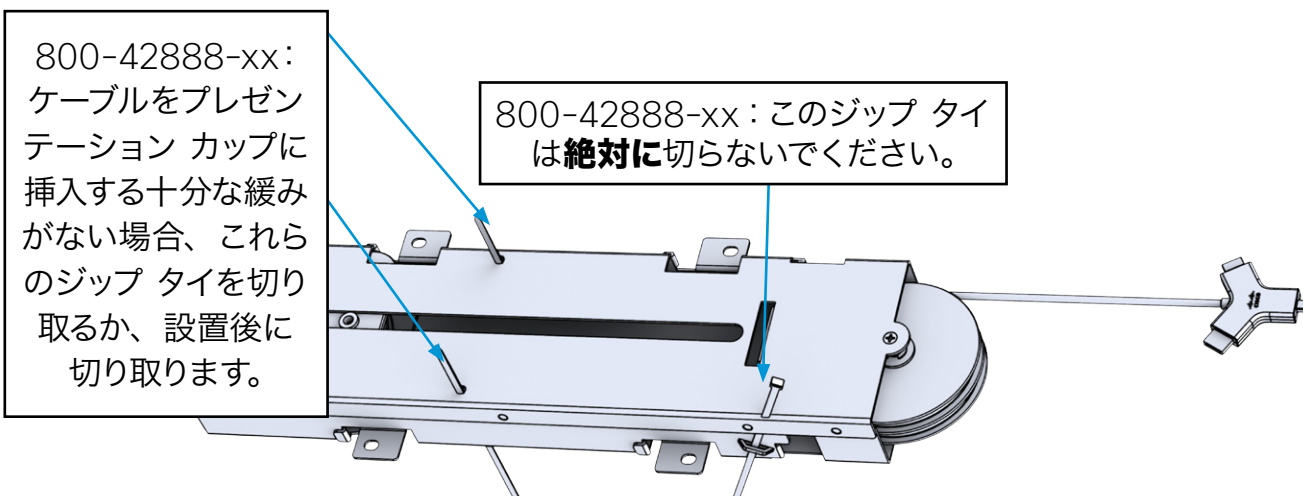
7 テーブルトップにプレゼンテーション カップを設置します。a. 2x ケーブル レトラクター 800-42888-xx を、内側のテーブル脚 2 本にそれぞれ 1 個ずつ立てかけます(テーブル脚にはまだ設置しないでください)。b. トリプルヘッド プレゼンテーション ケーブルをケーブル レトラクターからテーブルのプレゼンテーション用の穴を通して、カップ 800-43264-xx に差し込みます。6x M3 ネジ SR6213 を使用してカップ部品を接続します。注：ケーブルに十分なスペースがない場合、図のように 2 本のジップ タイ(これらのジップ タイのみ)を切断します。c. テーブルトップ アセンブリのカップ ベースにケーブルとカップを置きます。d. 4x M3 の取り付けネジ SE2587 を使用してテーブルにカップを固定します。e. 他のケーブル カップについてもこの手順を繰り返します。



6x SR6213

テーブルの上側

テーブルのプレゼンテーション用の穴



800-42888-xx: ケーブルをプレゼンテーション カップに挿入する十分な緩みがない場合、これらのジップ タイを切り取るか、設置後に切り取ります。

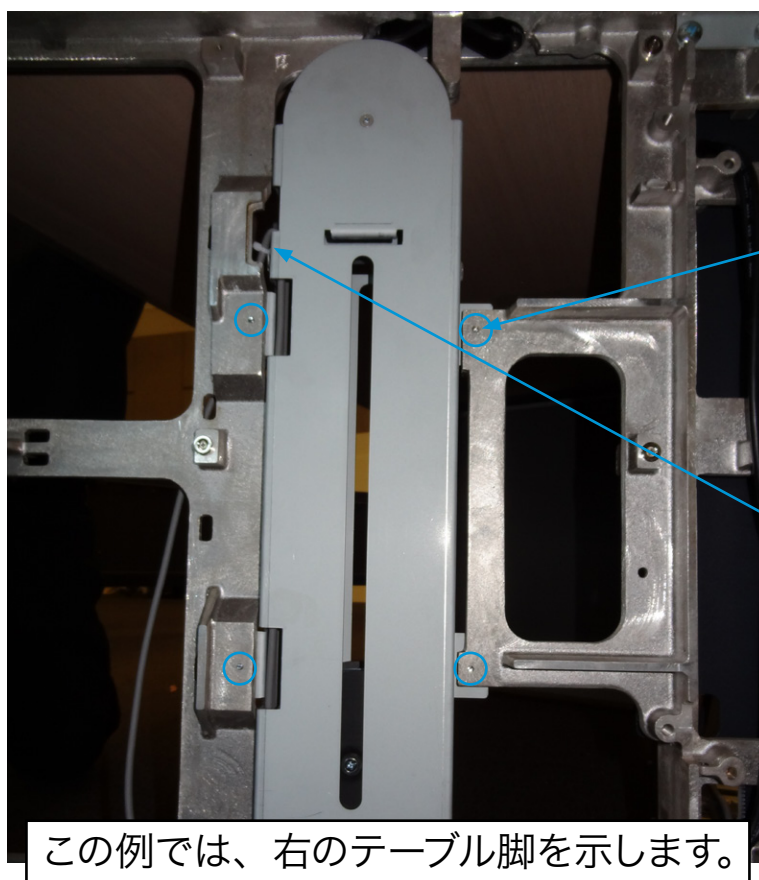
800-42888-xx: このジップ タイは**絶対に**切らないでください。



テーブルの下側

4x SE2587

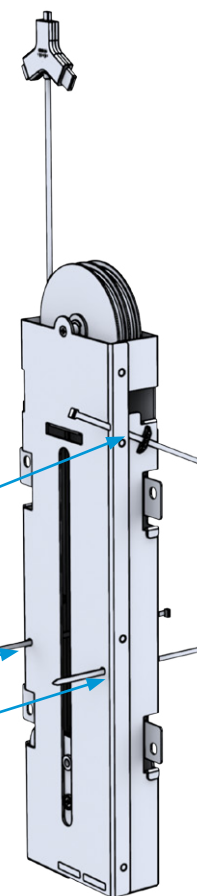
- 8 ケーブル レトラクターをテーブルに取り付けます。a. レトラクターを右中央テーブル脚の右側からテーブルに置き、4x M3x12 mm ネジ 48-2091-xx を使用して装着します。b. 4x M3x12 mm のネジを使用して、左のケーブル レトラクターの左側でも繰り返します。d. まだ行っていない場合は、ケーブル レトラクターの 2 本のジップ タイを切り取ります。ホスト CPU コードックにケーブル ランナーを通して他のプレゼンテーション ケーブルの端を配線します。



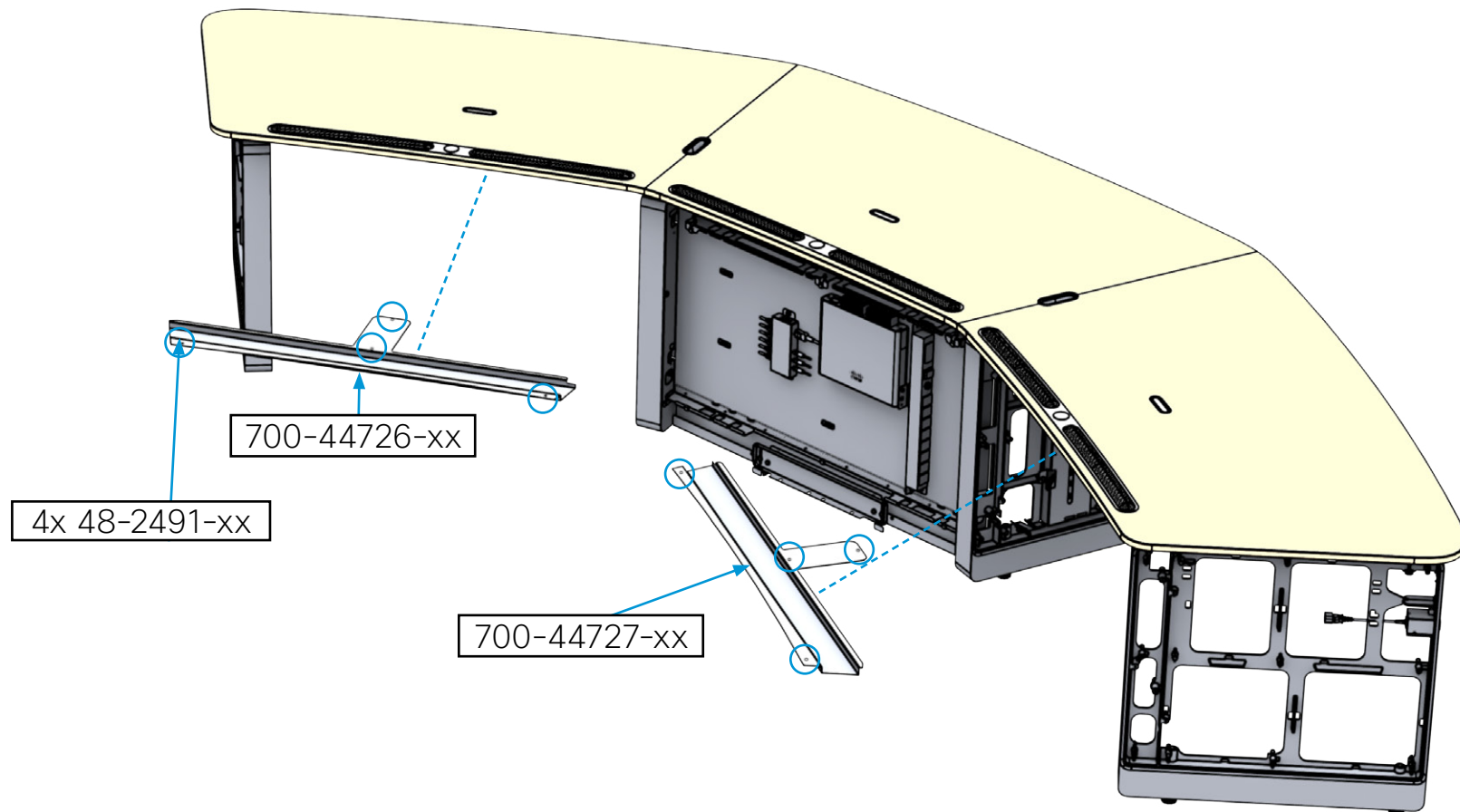
4x 48-2091-xx
(反対側から設置)

レトラクター：この
ジップ タイは**絶対に**
切らないでください。

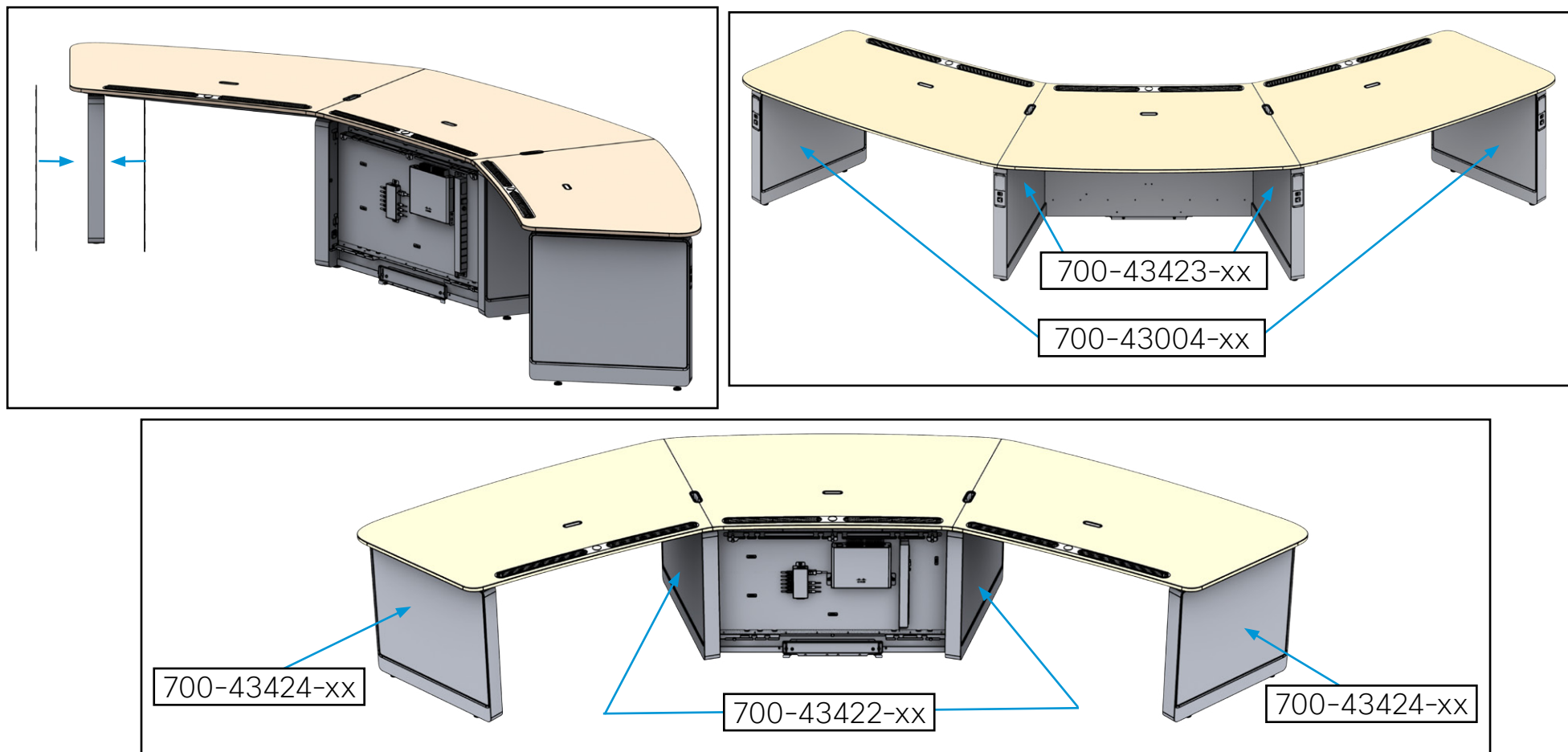
レトラクター：まだ切り取って
いない場合は、これらの
ジップ タイを切り取ります。



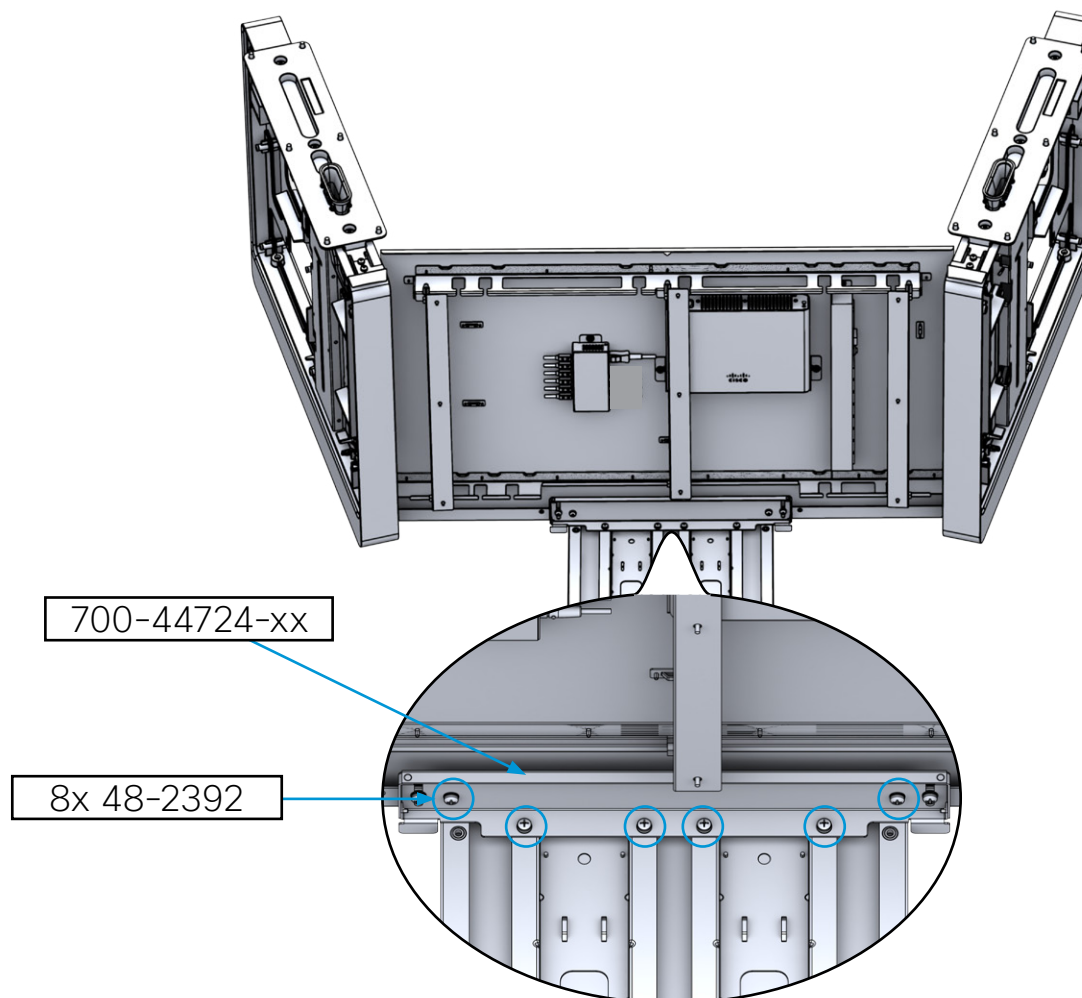
- 9 8x M4x10 mm の黒ネジ 48-2491-xx (各側面に 4 個ずつ) を使用してテーブルトップ アセンブリの下側に左右のケーブル側面 / ミュート ボタン カバー (右 700-44726-xx、左 700-44727-xx) を設置します。



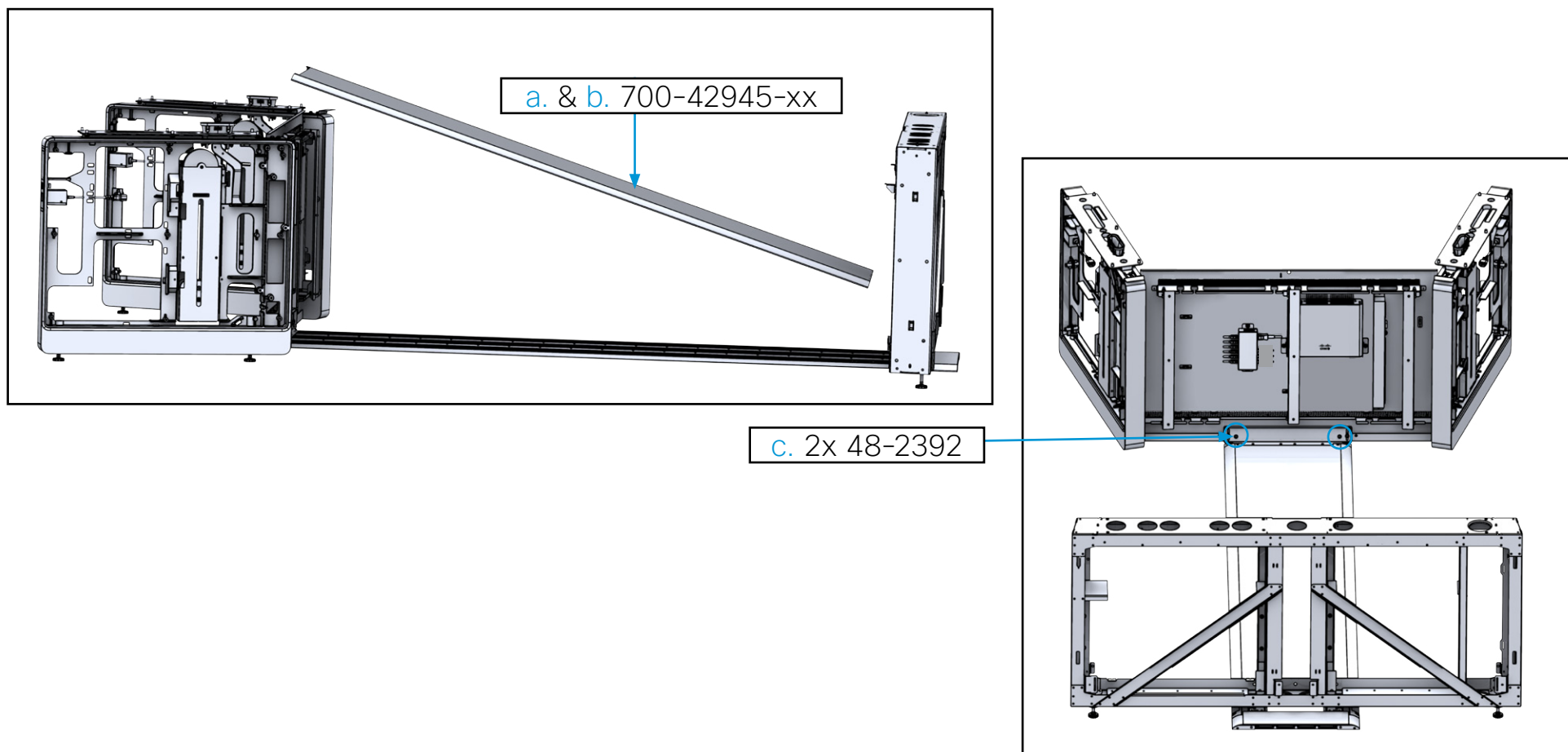
10 脚アセンブリに 8x 側面パネルを取り付けます。この手順ではアクセサリ キットに含まれる白い手袋を着用します。700-43422 01 - 中央左および中央右の脚の外側。700-43004-xx - 外側の脚の内側。700-43424-xx - 外側のテーブル脚の外側、700-43423-xx- 内側の脚の内側。この時点では、まだ中央パネル 700-43425-xx は設置しないでください。



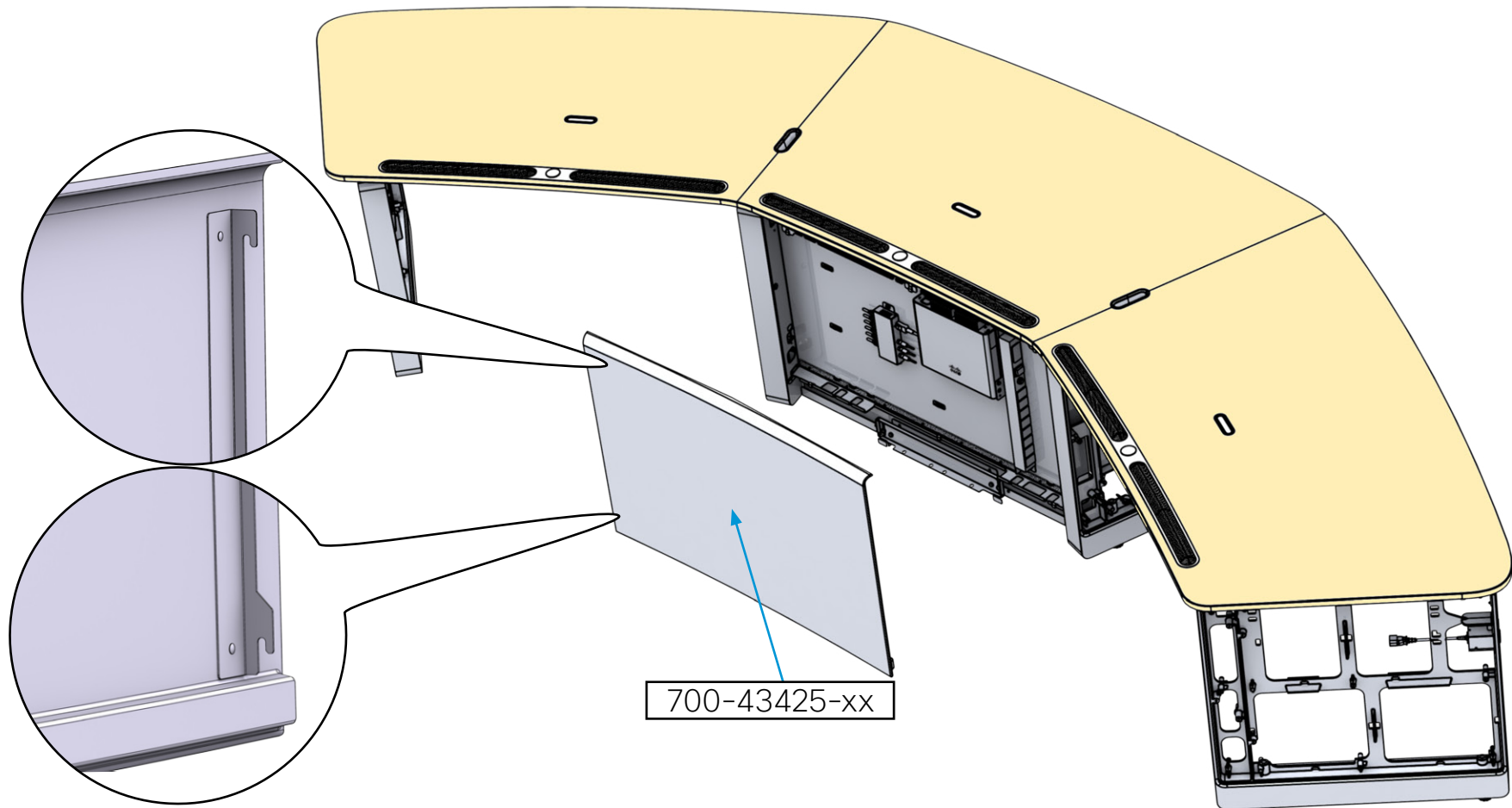
11 6 x M6x10 mm の黒ネジ 48-2392-xx を使用してケーブル ランナーの保持具 700-44724-xx を取り付けます。



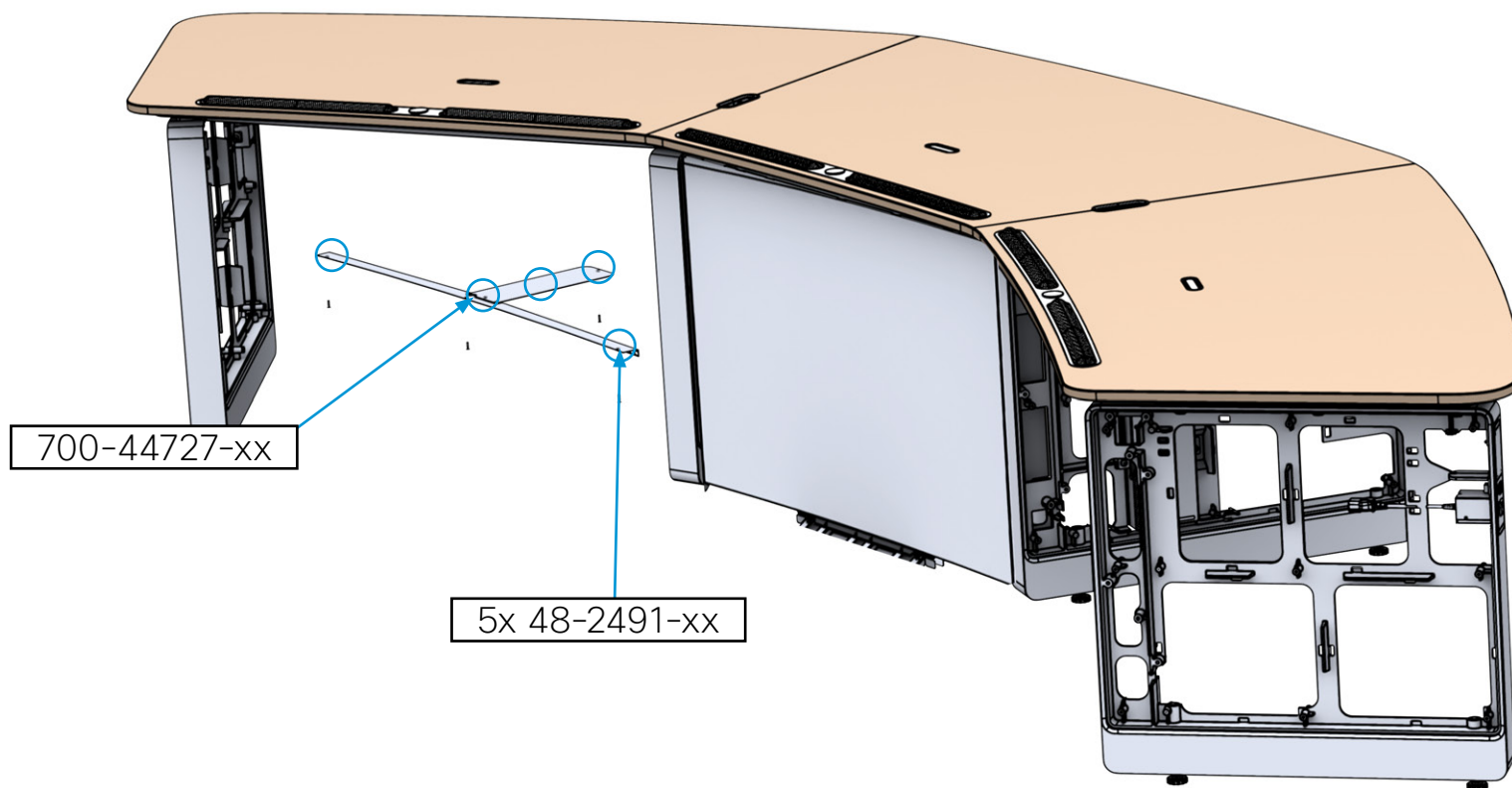
12 ケーブル ランナーのカバーを取り付けます。a. ケーブル ランナーのカバー 700-42945-xx の穴がテーブル脚の方を向くようにします。カバーの角度をエンドポイント構造に向け、ケーブル ランナー ベースのキーロック機能でカバーのノッチを装着します。b. ディスプレイ フレームまたは第 1 列テーブルトップを傷つけないように注意しながら、ケーブル ランナーにカバーを下ろします。c. 2x M6x10 mm ネジ 48-2392-xx を取り付け、ケーブル カバーにしっかりキャップを固定します。



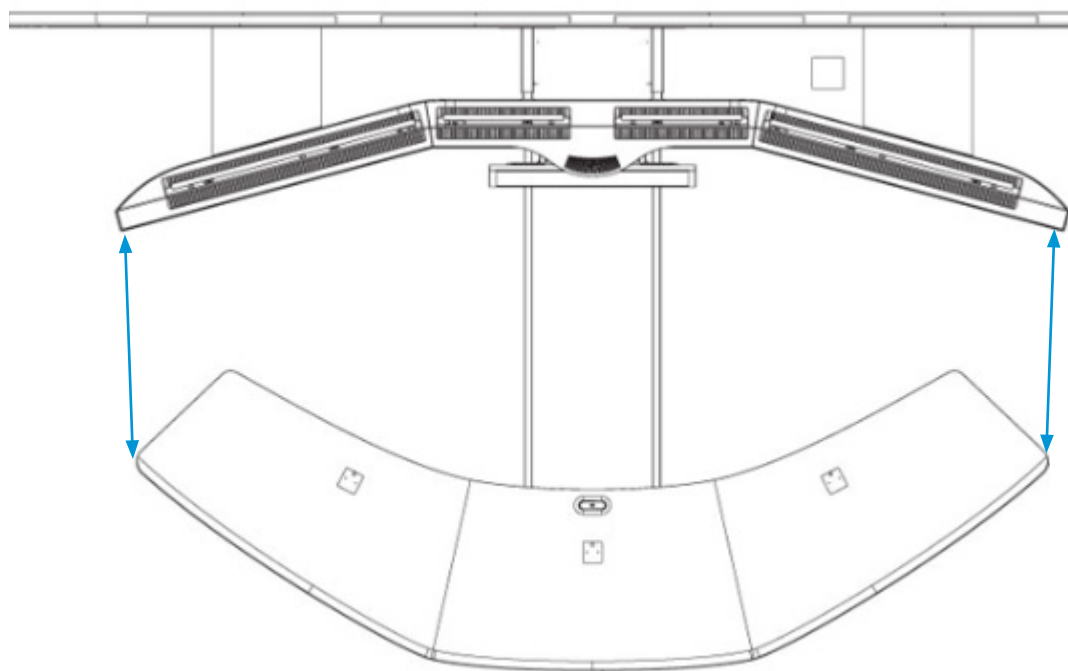
- 13 前面パネルを取り付けます。前面パネル 700-43425-xx の内側にある取り付けレールのタブを、前面ケーブル管理パネルにあるスロットに合わせます。脚の上でパネルを上にし、少し動かし、所定の位置に移動します。



14 5x M4x10 mm の黒ネジ (48-2491-xx) を使用して、テーブルトップ アセンブリの下側にあるケーブル センター / ミュート ボタン カバー 700-44727-xx を取り付けて、固定します。



15 テーブル側面からエンドポイント構造側面までの距離を測定します。両側を互いに合わせ、構造とも合わせます。



第 2 列テーブルの設置 (IX5200 のみ)

必要な部品

- 7x テーブル脚 (1x 左端の脚 800-44198-xx、1x 右端の脚 800-44197-xx、5x 内側の脚 800-44200-xx)
- 21x M8x16 mm 48-3012-xx ネジ
- 6x 後列の各ケーブル管理アセンブリ、左と右 (3x 800-42717-xx および 3x 800-42715-xx)
- 2x スイッチ WS-C2960C-8PC-L
- 4x スイッチ ブラケット 700-44758-xx
- 2x TDM 800-40951-xx
- 2x 配電ユニット (PDU) 74-8655-xx
- 12x M6 ナット 49-100235-xx
- 4x #10-32 なべ頭ネジ 48-2047-xx
- 7x 金属トリム部 (700-103477-xx 左隅、700-103476-xx 右隅、700-45431-xx 外側左、外側右、および中央、700-45430-xx 内側左と内側右)
- イーサネット / 電源モジュール:
 - 12x 電源 / イーサネット 接続モジュール (部品は国によって異なる)
 - 7x 電源 / イーサネット 接続カバー 700-47772-xx
 - 2x 電源 / イーサネット 接続めくら板 700-45421-xx
 - 28x 電源 / イーサネット 接続ブラケット用 #4-40 ナット
- 62x M4x12 mm ネジ 48-2426-xx
- 30x M4 皿ネジ 48-101111-xx
- 1x 縦樋キット (ショート ラウンド ピース 700-46612-xx ロング フラット ピース 700-46613-xx、3x M4x10 ネジ 48-101111-xx、および 3x M6x10 mm ネジ 48-101094-xx)
- 6x ミュート ボタン アセンブリ 74-12200-xx
- 3x マイク バー 74-12199-xx
- 3x ターンアラウンド マイク バー 74-12552-xx

必要な部品 (続き)

- テーブルトップ (700-45242-xx 右端、700-45239-xx 左端、700-103970-xx 右から 2 番目、700-103971-xx 左から 2 番目、700-45241-xx 右中央、700-45240-xx 左中央)
- 20x ビスケット ジョイナー、700-23909-xx
- 10x 半月ボルト、M6X80 mm、51-6068-xx
- 10x 連結プレート、700-23345-xx
- 102x M8x16 mm ネジ、黒 48-3012-xx
- ミュート ボタン カバー (3x 700-45426-xx、3x 700-45427-xx)
- 24x M4 x 10 mm 黒ネジ 48-2491-xx
- 14x 脚 PET パネル (2x 外側パネル 700-43424-xx、6x 右内側パネル 700-43426-xx、6x 左内側パネル 700-43427-xx)
- 6x 前面パネル カバー (3x 700-43502-xx、3x 700-43005-xx)
- 必要に応じてベルクロ ストラップ 52-xx49-xx

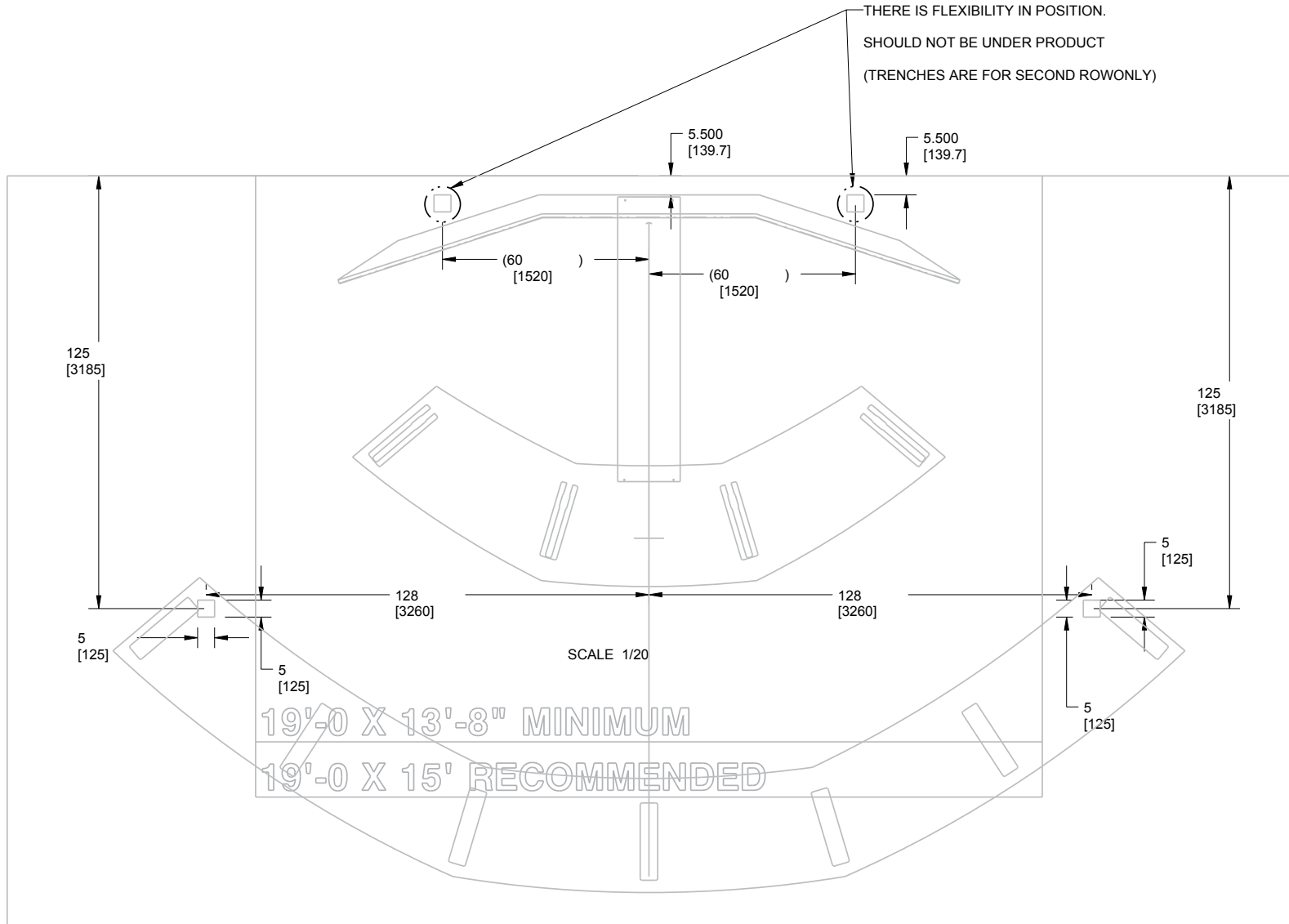
必要な工具

- #4 と #2 プラス ドライバ
- 7 mm & 10 mm ソケット
- 7 mm アレン ドライバまたはレンチ
- 10 mm ラチェット レンチまたはソケット
- レーザー レベル

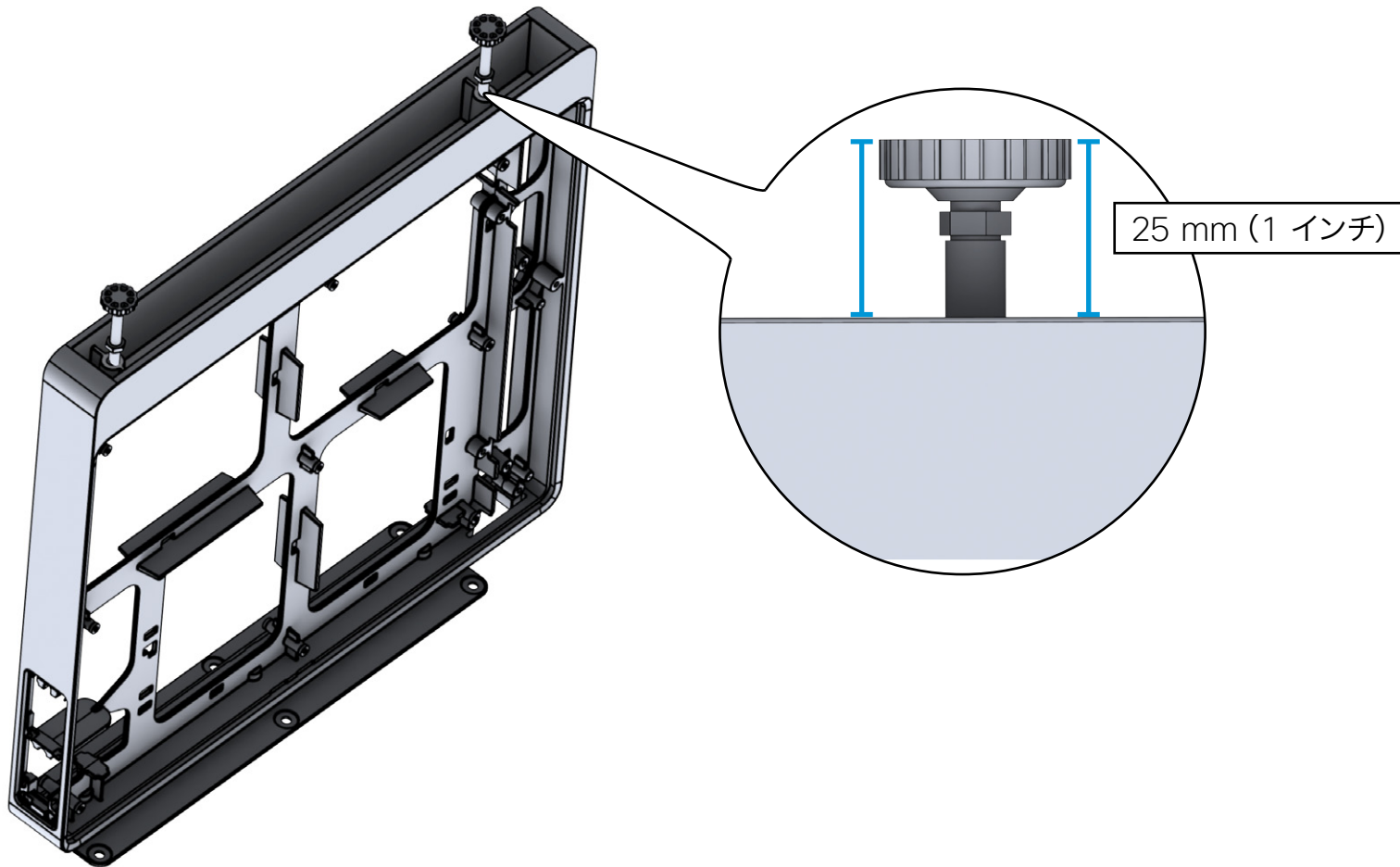
必要なケーブル

- 69-2833-xx ケーブル キットには、次のサブキットが含まれます: 69-2670-xx、2x イーサネット ケーブル **DVL に必要な長さ** 37-1558-xx および 37-1534-xx
- 69-2672-xx、13x イーサネット ケーブル **DVL に必要な長さ 1200MML が含まれます** 37-1558-xx

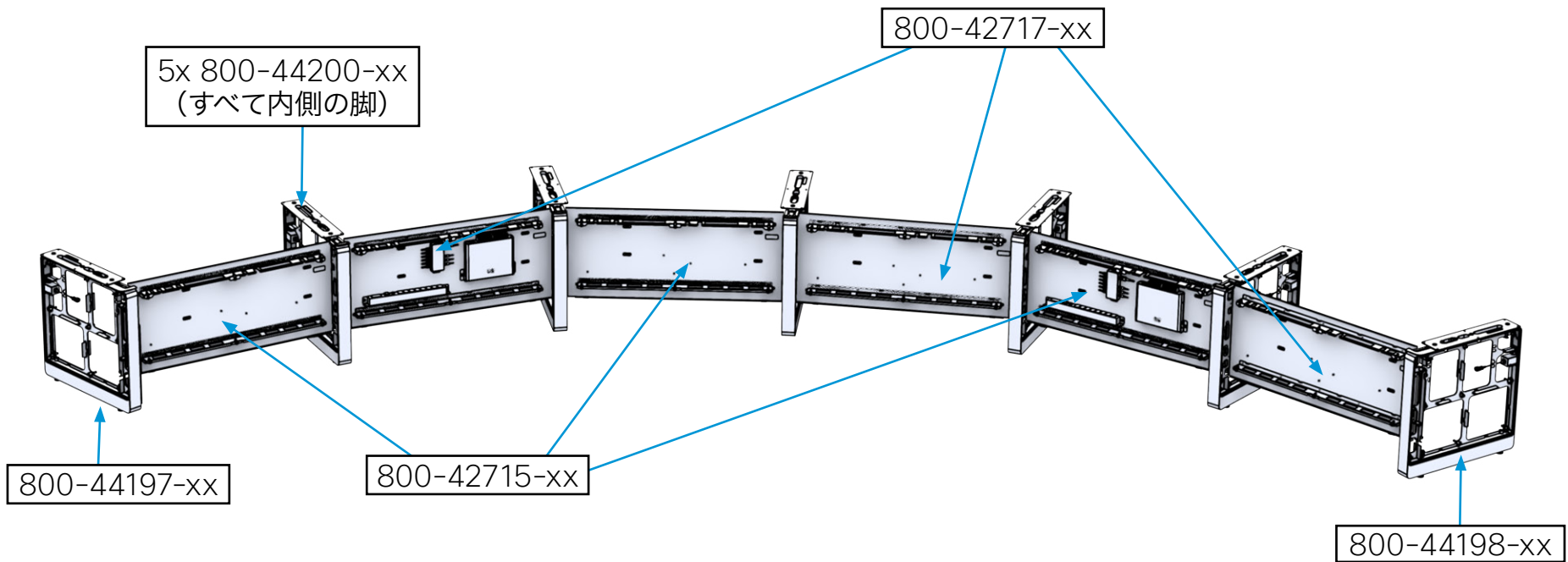
設置前の要件：次の図を使用して、会議室にケーブルのトレンチングを計画します。



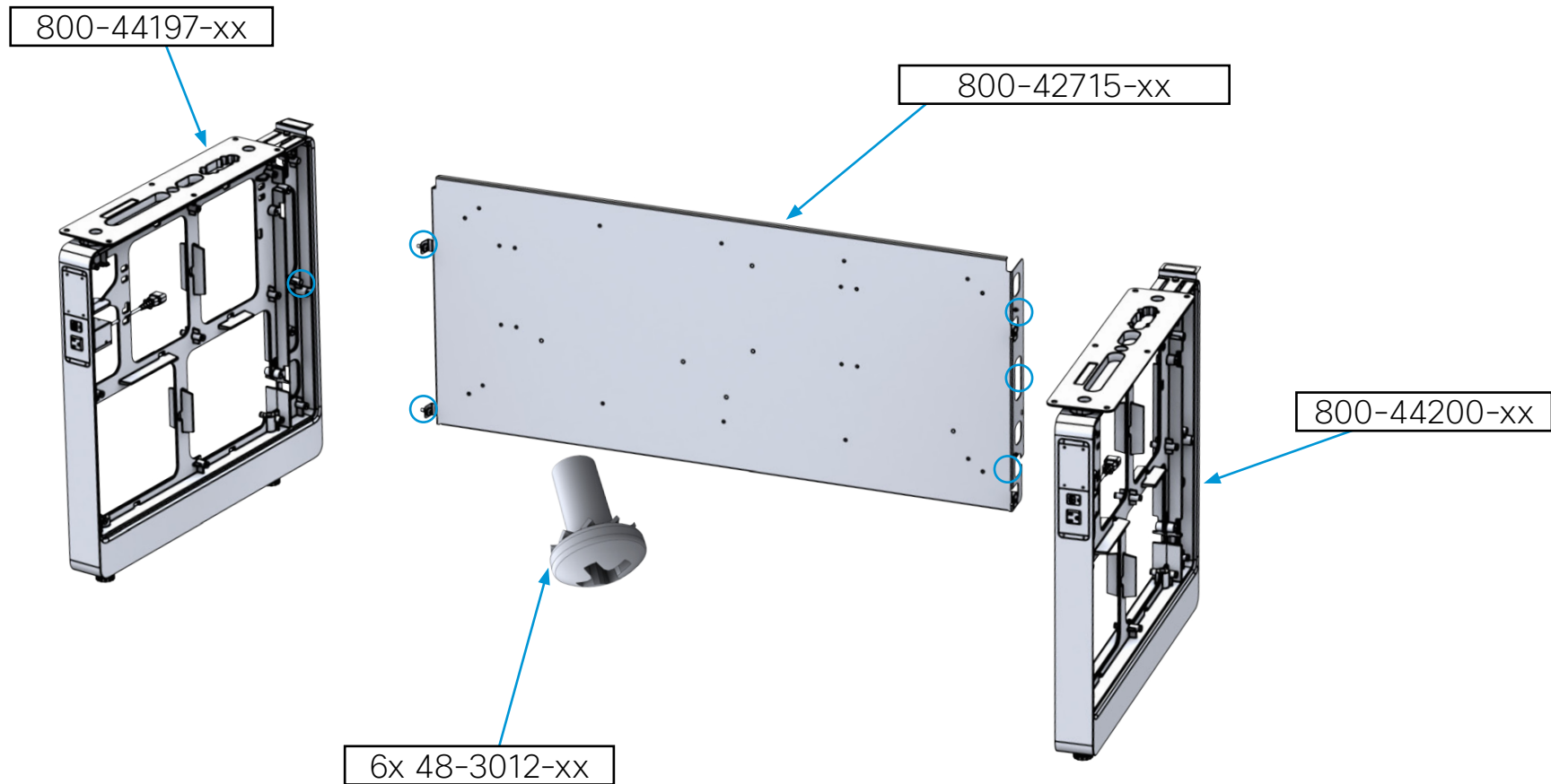
- 1 7x テーブル脚 (1x 左端 800-44198-xx、1x 右端 800-44197-xx、5x 内側の脚 800-44200-xx) を上下逆にし、水平調整脚 2x 51-6073-xx を設置します。脚の下と脚のベースの間に 1 インチ (25 mm) のスペースができるまで、レベラーを調整します。



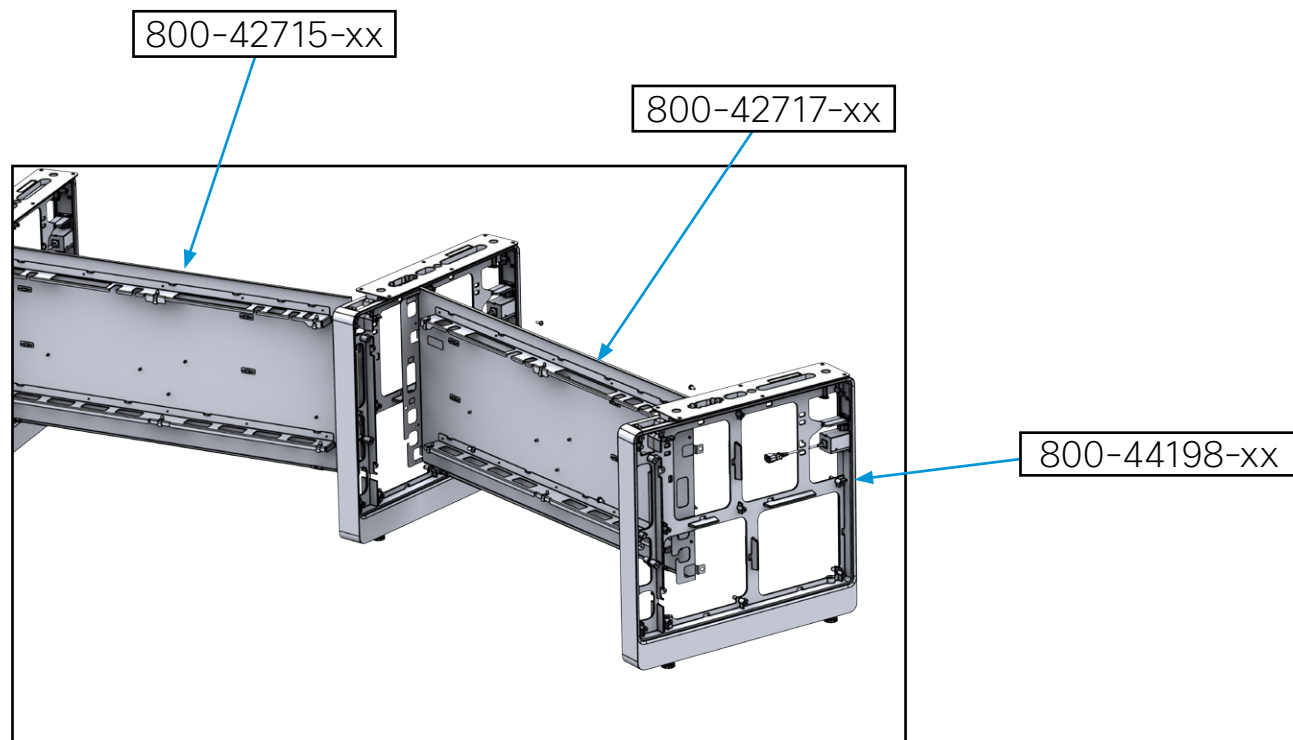
2 脚の間のケーブル管理パネルに使用するテーブル脚とアセンブリを書き留め、これらの脚を正しい順序で組み立てるようにしてください。注：これは前面から見た図なので、左右が逆になります。



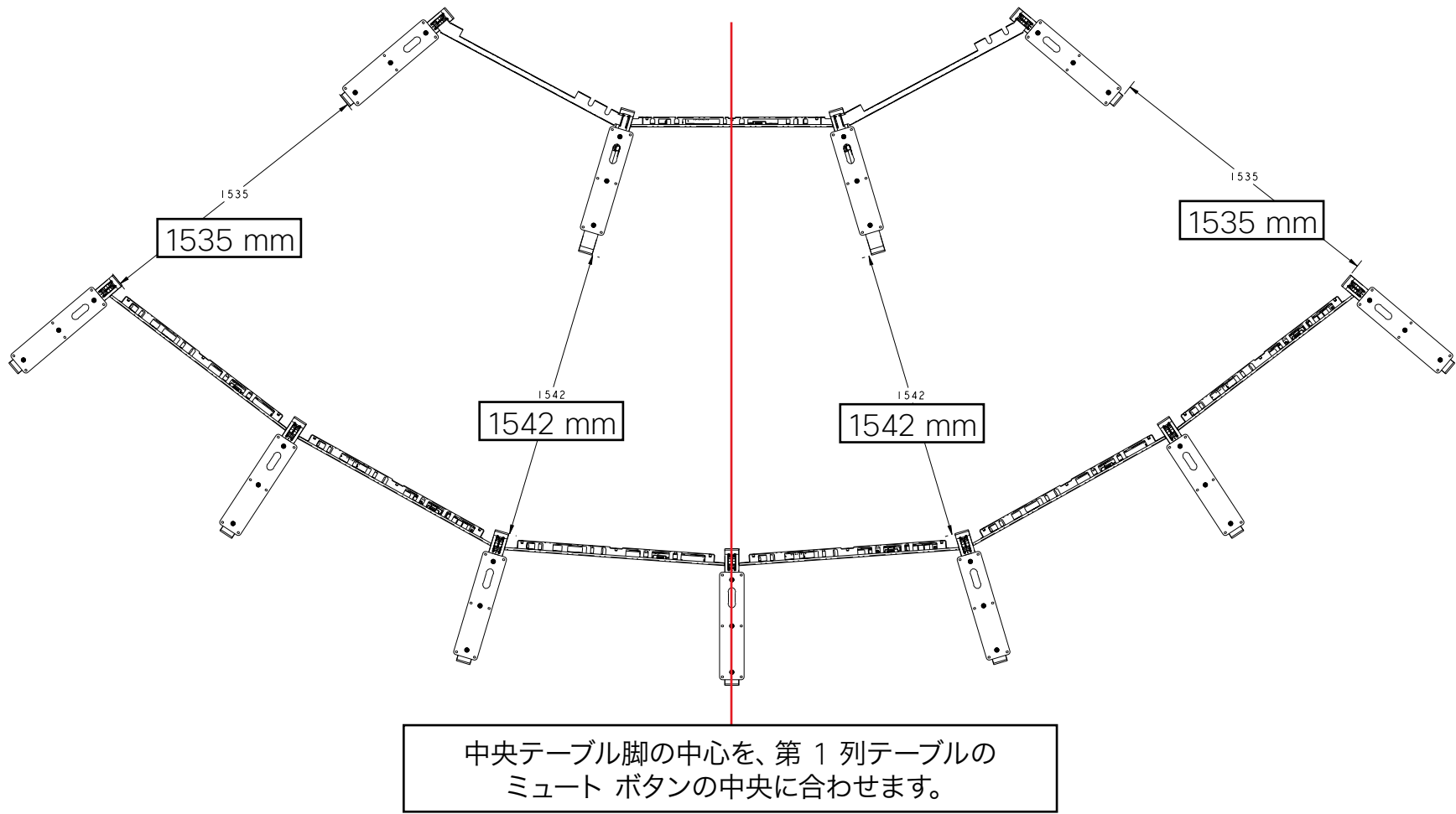
- 3 6x M8x16 mm ネジ 48-3012-x をそれぞれの脚に差し込んで、右端のケーブル管理アセンブリ 800-42715-xx を右端のテーブル脚 800-44197-xx と右から 2 番目のテーブル脚 800-44200-xx に接合します。



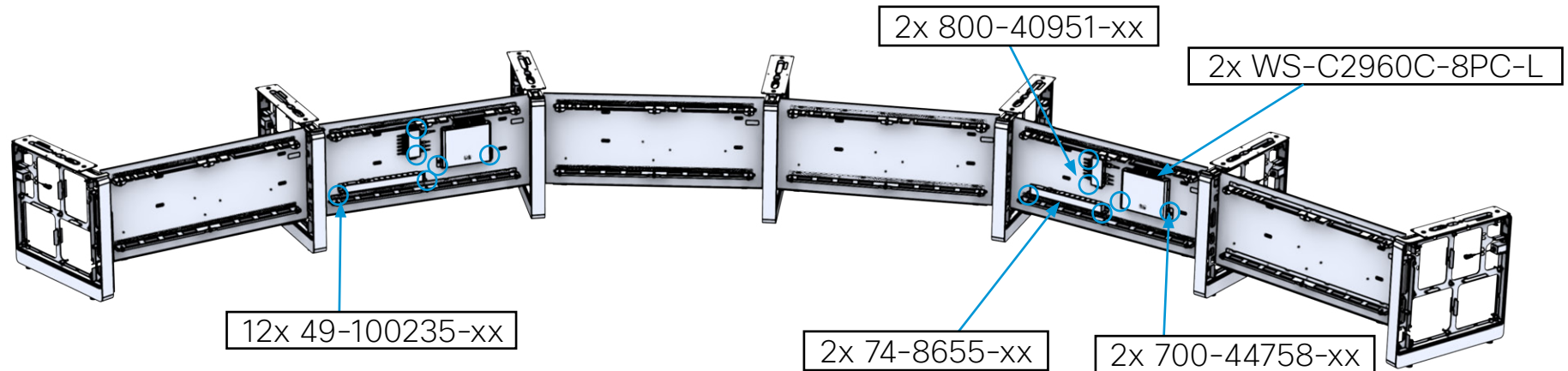
- 4 引き続き、同じ組み立て手順で、ケーブル管理アセンブリを交互に変えながら右から左にテーブルを設置します。最後のステップまで、左端のテーブル脚 800-44198-xx は保管しておきます。**ヒント:** 構造が第 1 列テーブルの後ろで中央に位置するようにし、次のスライドの測定値を使用して、第 1 列からの距離を適切に保ちます。
-



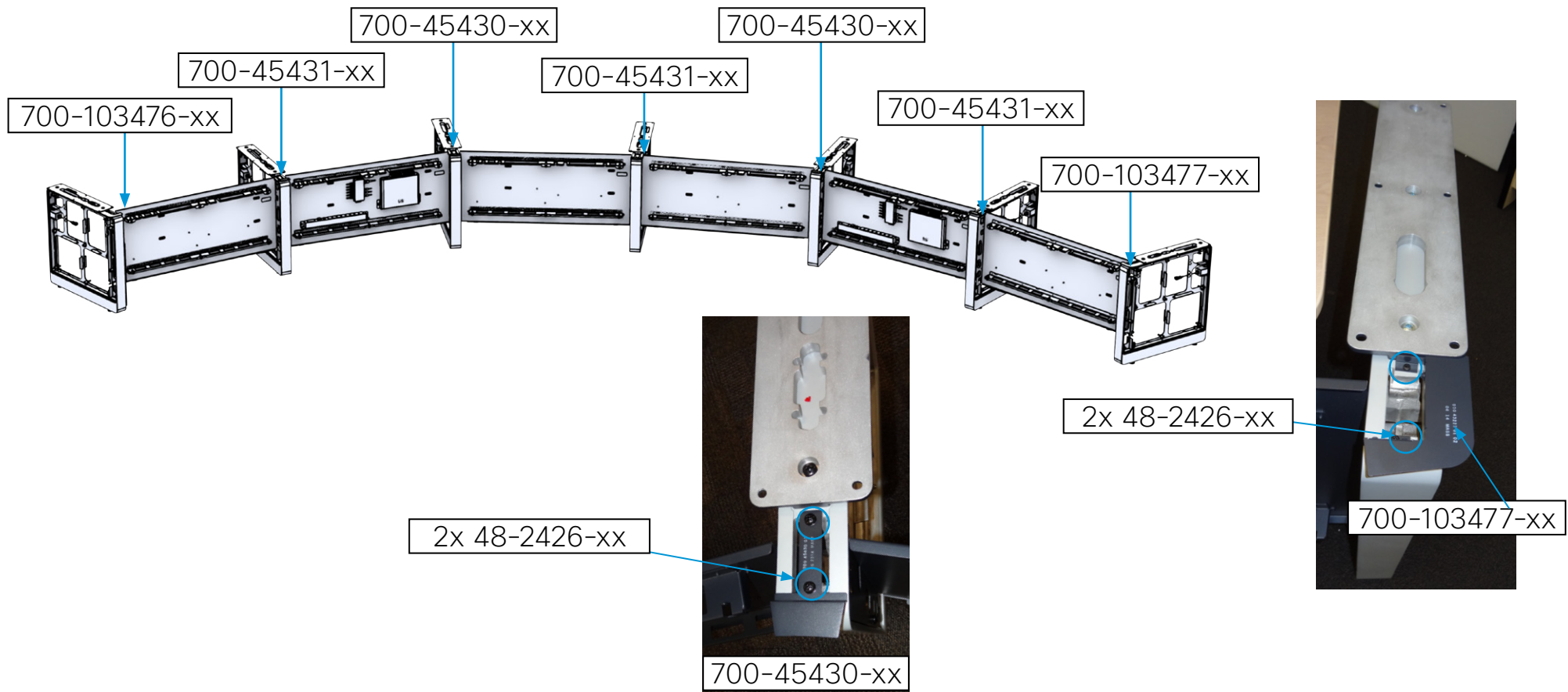
5 第 1 列テーブル脚と第 2 列テーブル脚の間隔を測定し、システムを第 1 列を基準にして中央に配置します。



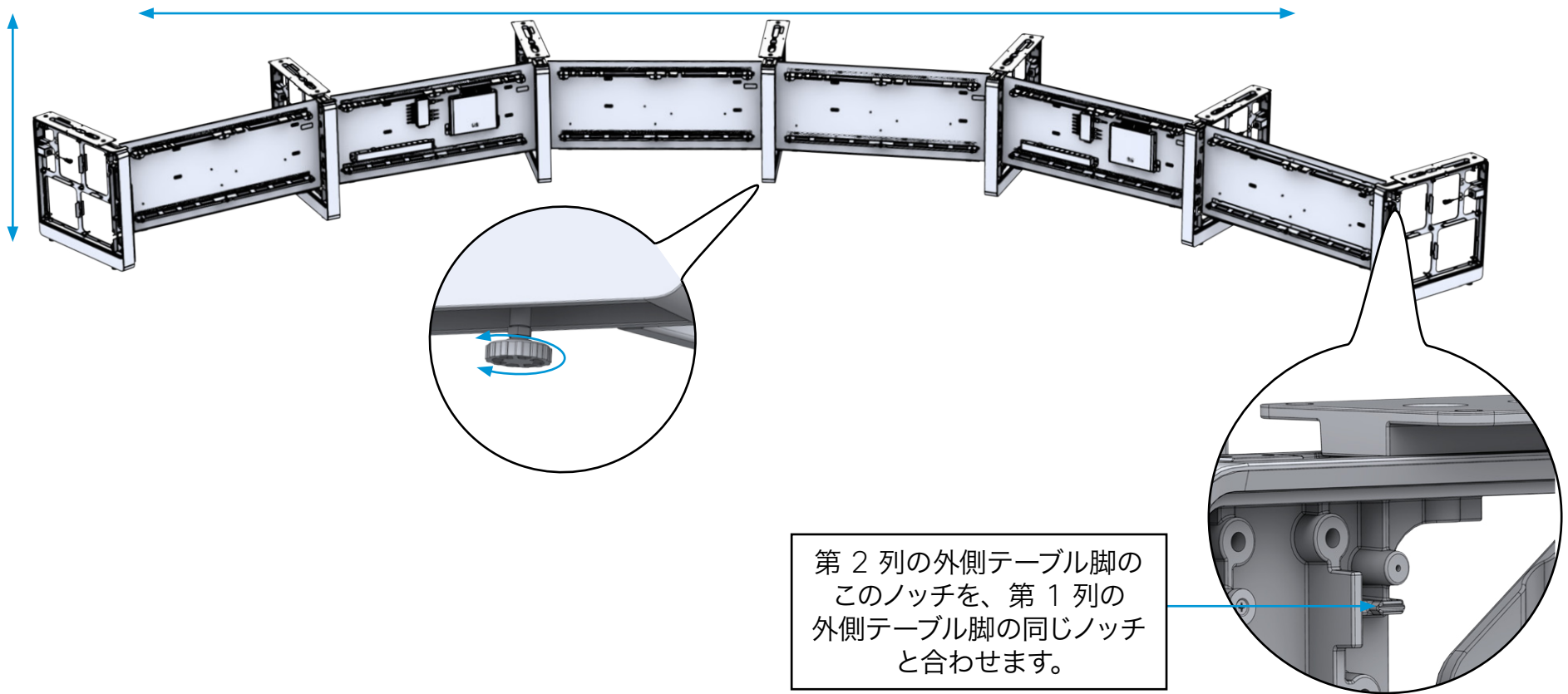
- 6 2x スイッチ WS-C2960C-8PC-L、2x TDM 800-40951-xx、2x PDU 74-8655-xx を取り付けます。a. 2x スイッチ ブラケット 700-44758-xx を、2x 10-32 ネジ 48-2047-xx に取り付けます。b. 12x M6 ナット 49-100235-xx を使用して、2x スイッチ、2x TDM、2x PDU を構造に装着します。
-



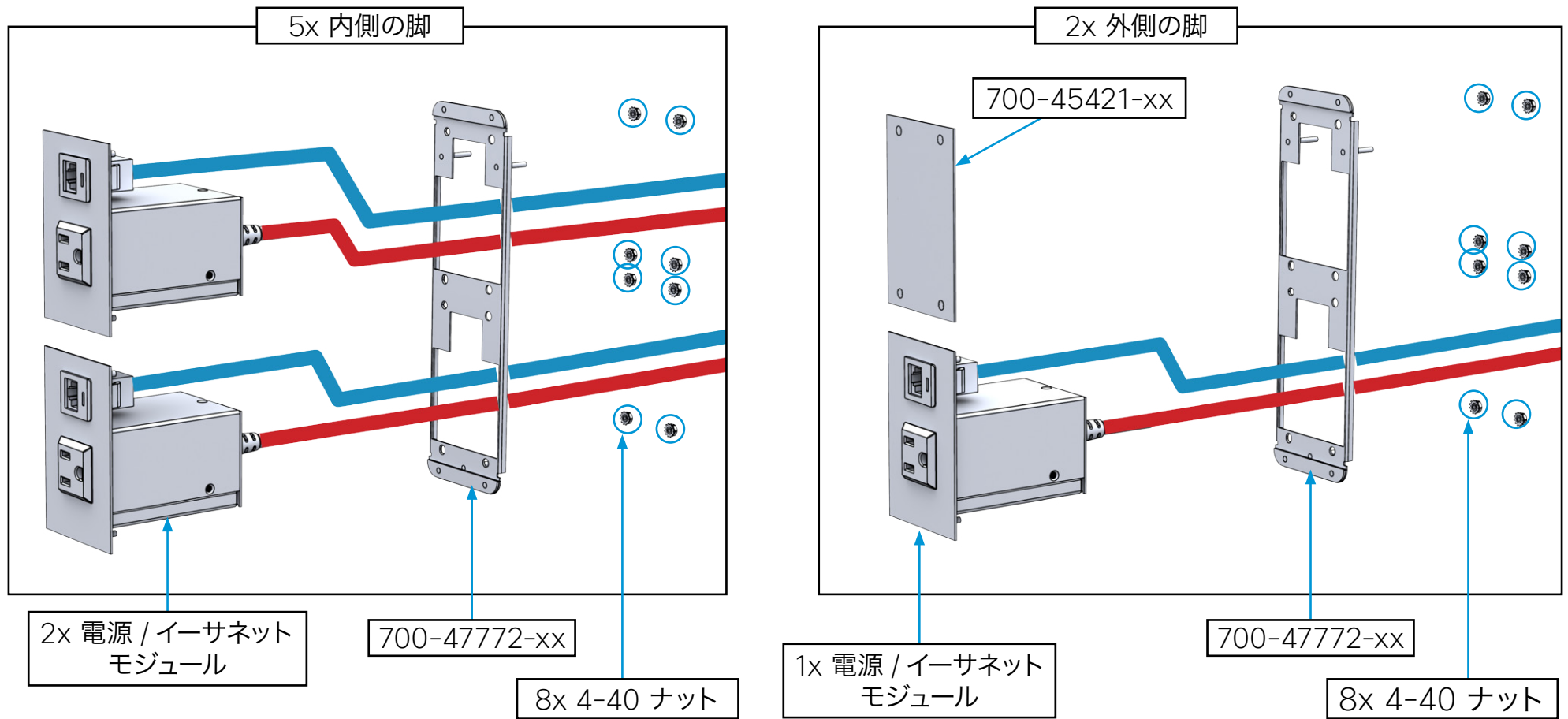
7 14x M4x12 mm 48-2426-xx ネジを使用して、金属トリム部を外側テーブル脚 (700-103477-xx 左隅、700-103476-xx 右隅、700-45431-xx 外側左、外側右、および中央、700-45430-xx 内側左と内側右) に取り付けます。注:これは前面から見た図なので、左右が逆になります。



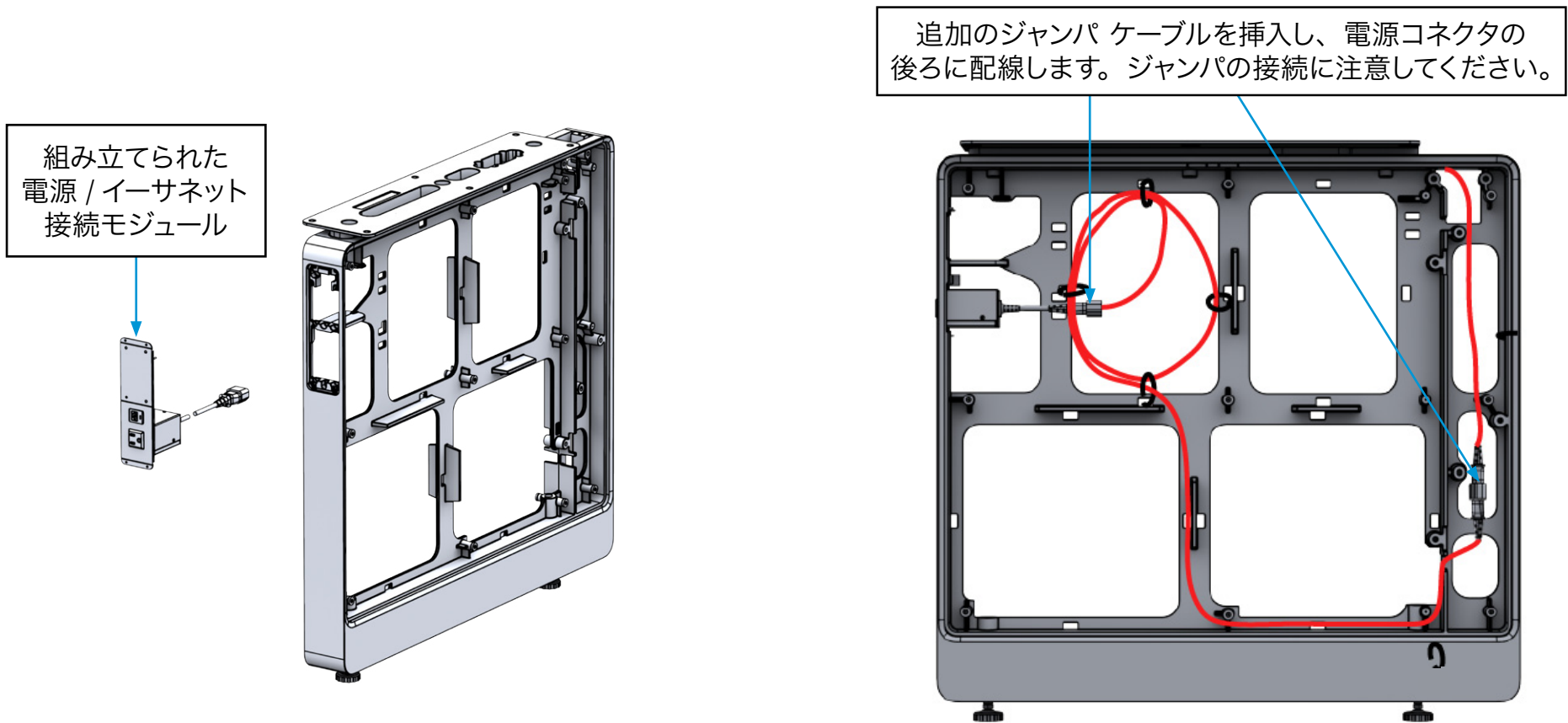
8 レーザー水準器を使用して、垂直軸と水平軸を確認します。水平調整脚を使用して脚を上下に動かします。第 1 列テーブル脚の外側パネルを取り除き、外側の第 1 列と第 2 列のテーブル脚の水平ノッチを揃えることで、第 2 列の高さを第 1 列を基準に確認します。



- 9 コンセント カバーに電源コンセントを組み立てます。a. 12x 電源 / イーサネット接続モジュール (部品番号は国によって異なります) を取り、電源 / イーサネット接続モジュールに付属の 4-40 ナットを使用して 7x 電源 / イーサネット接続カバー 700-47772-xx に組み込みます。b. 下図に示すように、2 本の外側の脚に 2x めくら板 700-45421-xx を使用します。

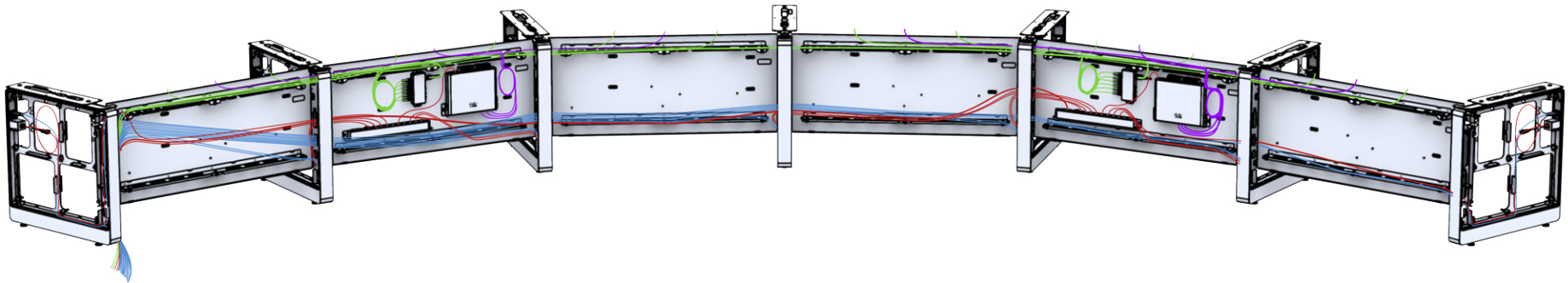


10 7x 電源 / イーサネット接続モジュールをテーブル脚に設置します。3x #4-40 ナットをスタッドに取り付けて、ナットを締めます。1 個のコンセントの付いたモジュールと 1 個のめくら板を 2 本の外側テーブル脚に差し込みます。各テーブル脚にジャンパケーブルをもう 1 本追加します (交換手順を容易にするため)。

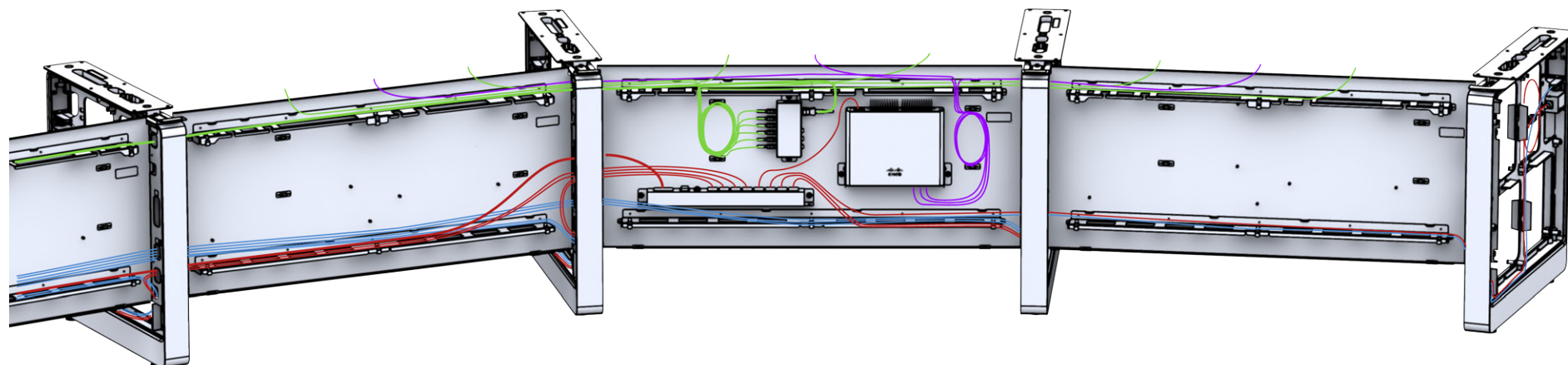


11 次を含む第 2 列のケーブルを配線します。

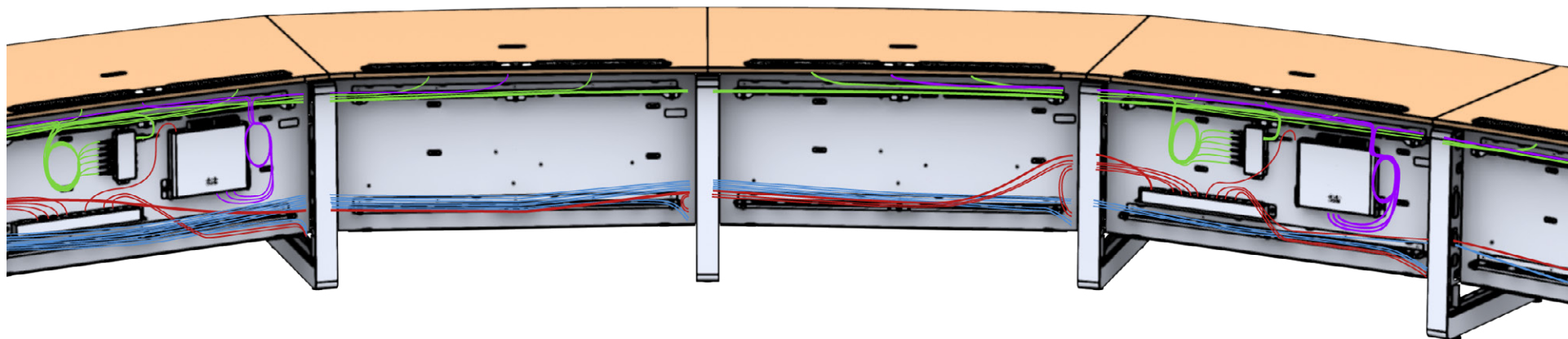
- ・ ミュート ボタン ケーブル
 - ・ マイク バーの Mini-DisplayPort ケーブル。注：正しい番号の付いたケーブルをマイク バーに使用し、ケーブル配線の番号付けを TDM の番号付けに一致させます。詳細については、ケーブル配線図を確認します。
 - ・ 12x イーサネット参加者のノート PC 接続用の 12 x イーサネット ケーブル
 - ・ 参加者 12 人の電源接続用 12x 電源ケーブル
-



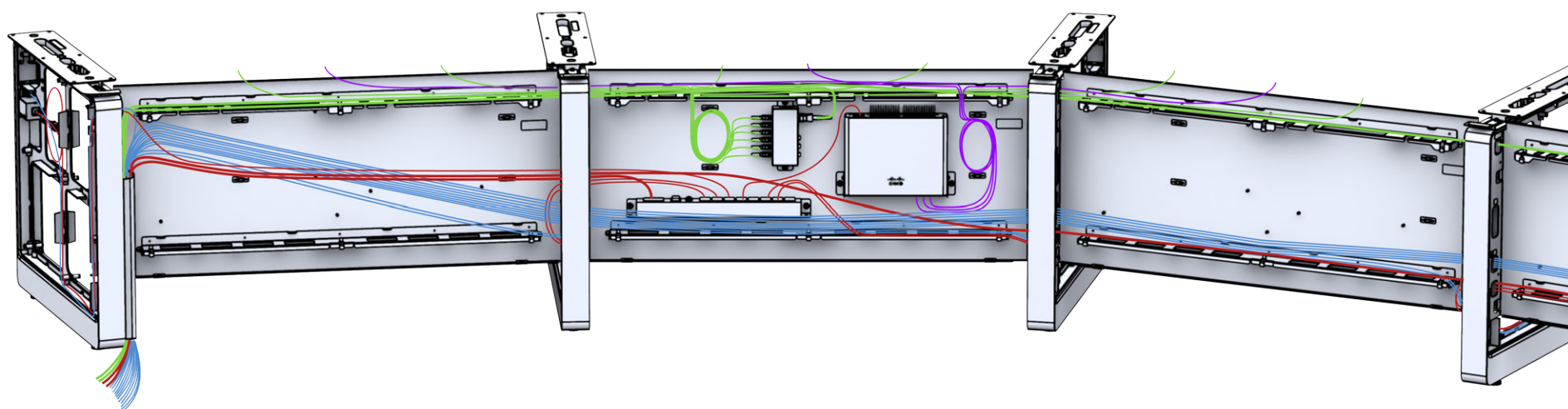
ケーブル配線、左



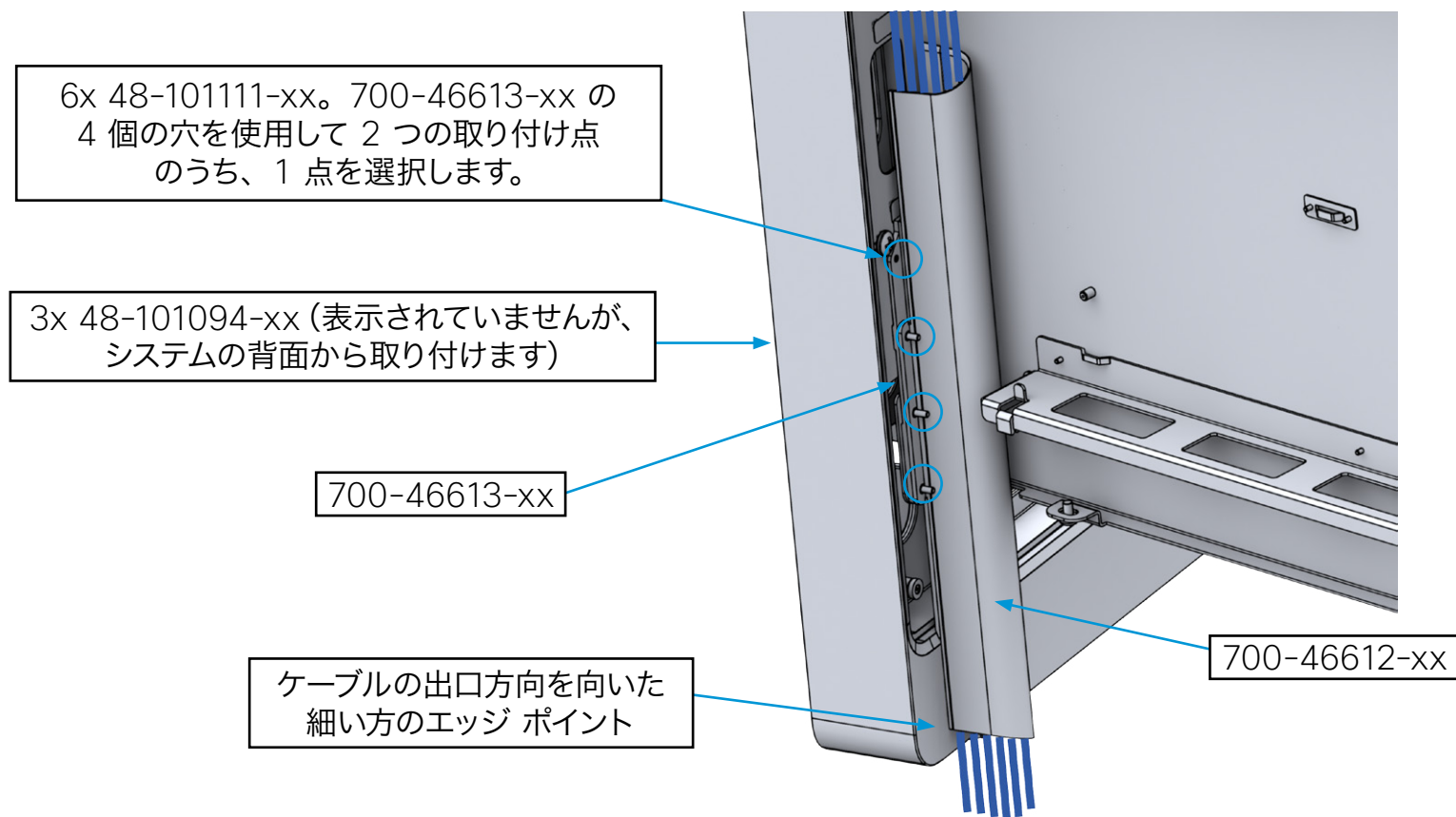
ケーブル配線、中央



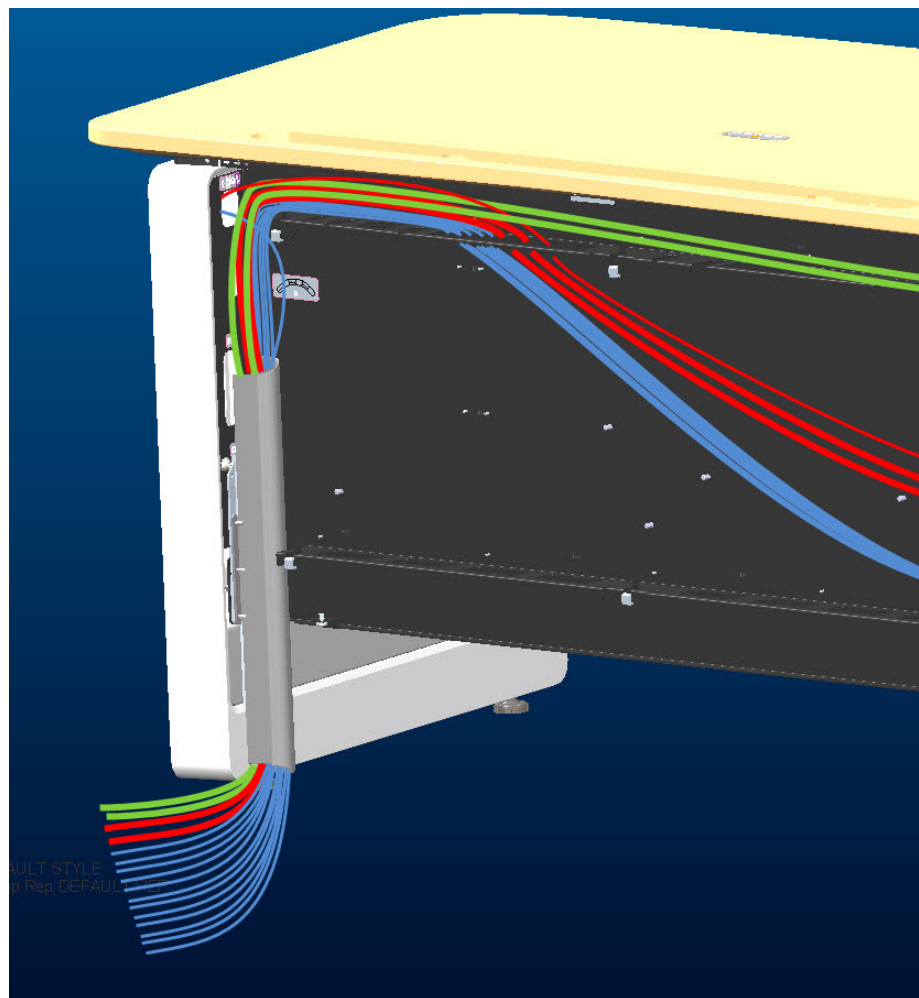
ケーブル配線、右



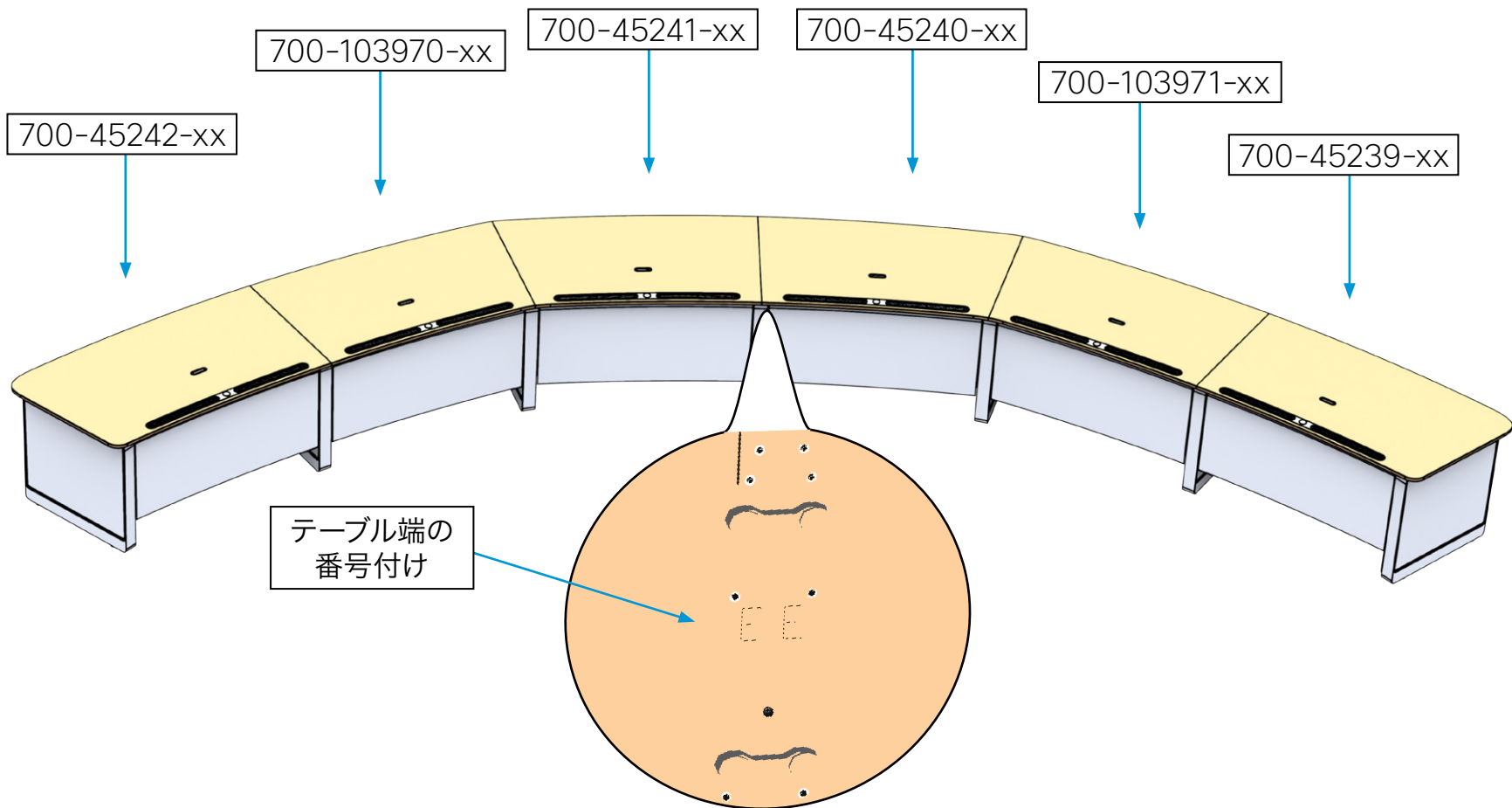
12 ケーブルの出口を設定します (システムの右または左)。左右の出口から縦樋 700-46612-xx の短い円形部にケーブルを束ねます。6x M4x10 mm ネジ 48-101111-xx を使用して、この部分を長い平らな部分 700-46613-xx に接合します。次に、3x M6x10 mm ネジ 48-101094-xx を使用して、組み立てられた縦樋を右端または左端のテーブル脚に接合します。**注:**700-46613-xx には 4 個の穴があり、700-46613-xx をマウントできます。円形部が床に近すぎる場合、上にスライドさせ、上の 3 個の穴を使用します。**ヒント:**細い方がケーブルの出口方向に向くように縦樋を取り付けます。



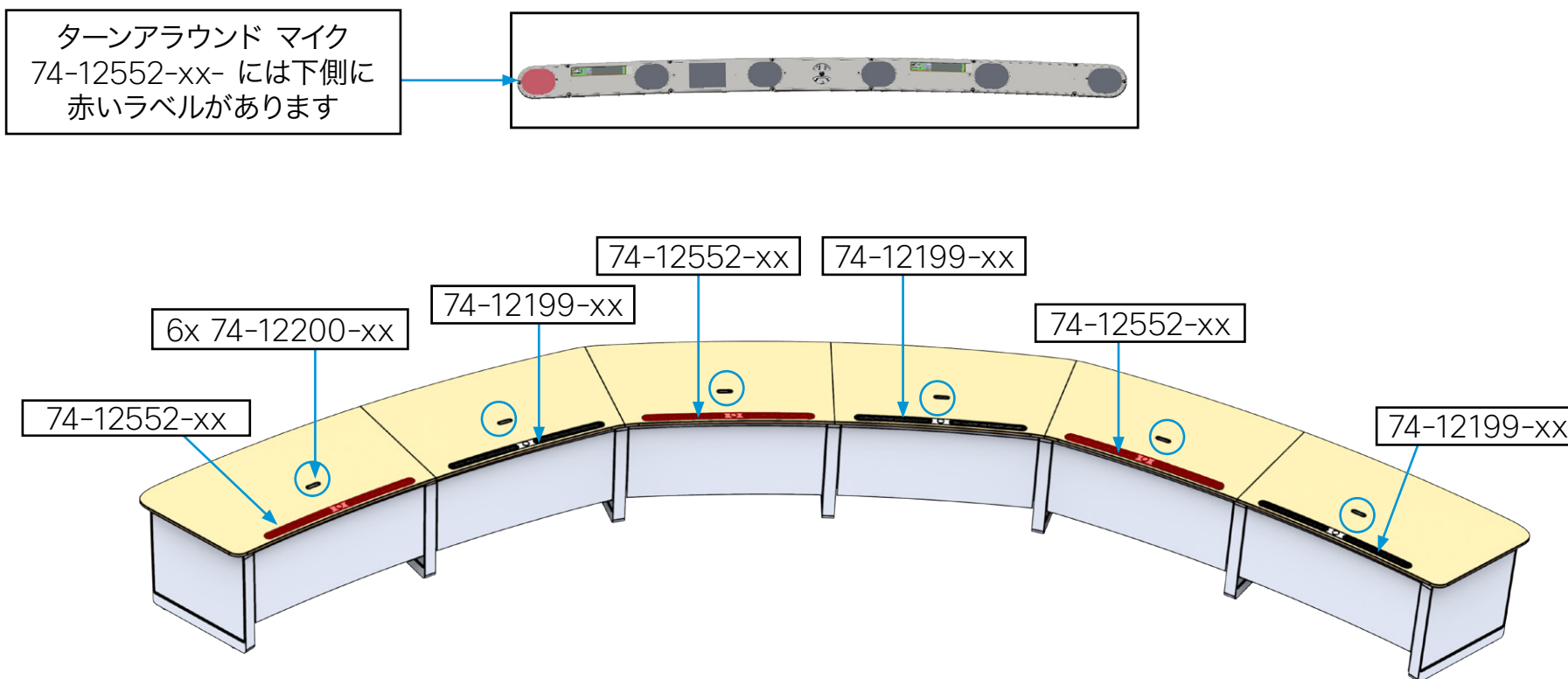
縦樋のケーブル配線



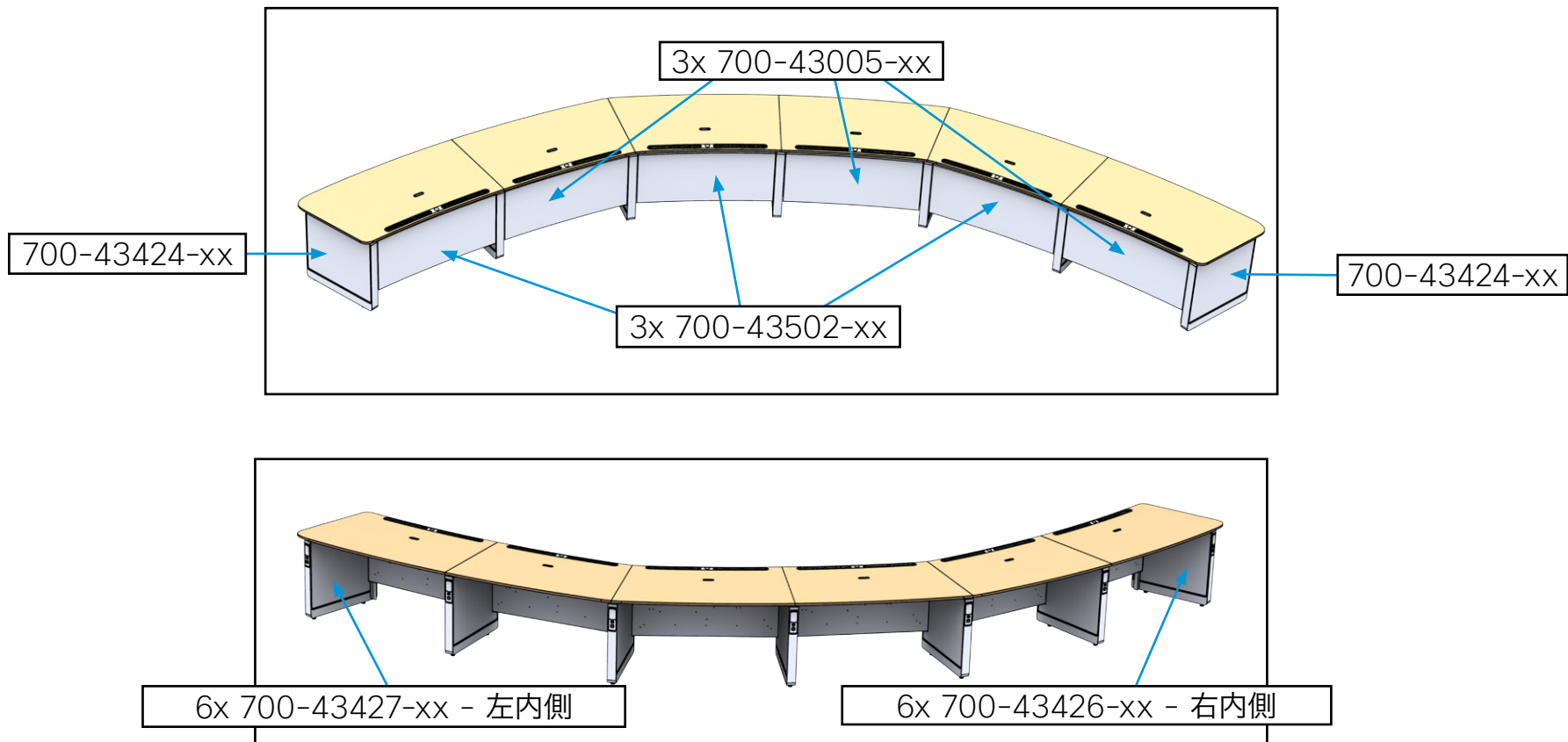
13 テーブルトップを取り付けます。右の 3 つのセクションを設置し、次に左の 3 つのセクションを設置したら、これらのセクションを結合します。第 1 列と同様に、テーブル ジョイナー、半月ボルト、ジョイント プレートを使用します。ヒント：テーブルの端に文字があります。テーブルの下側にある文字を一致させて、テーブルを正しく組み立てます。



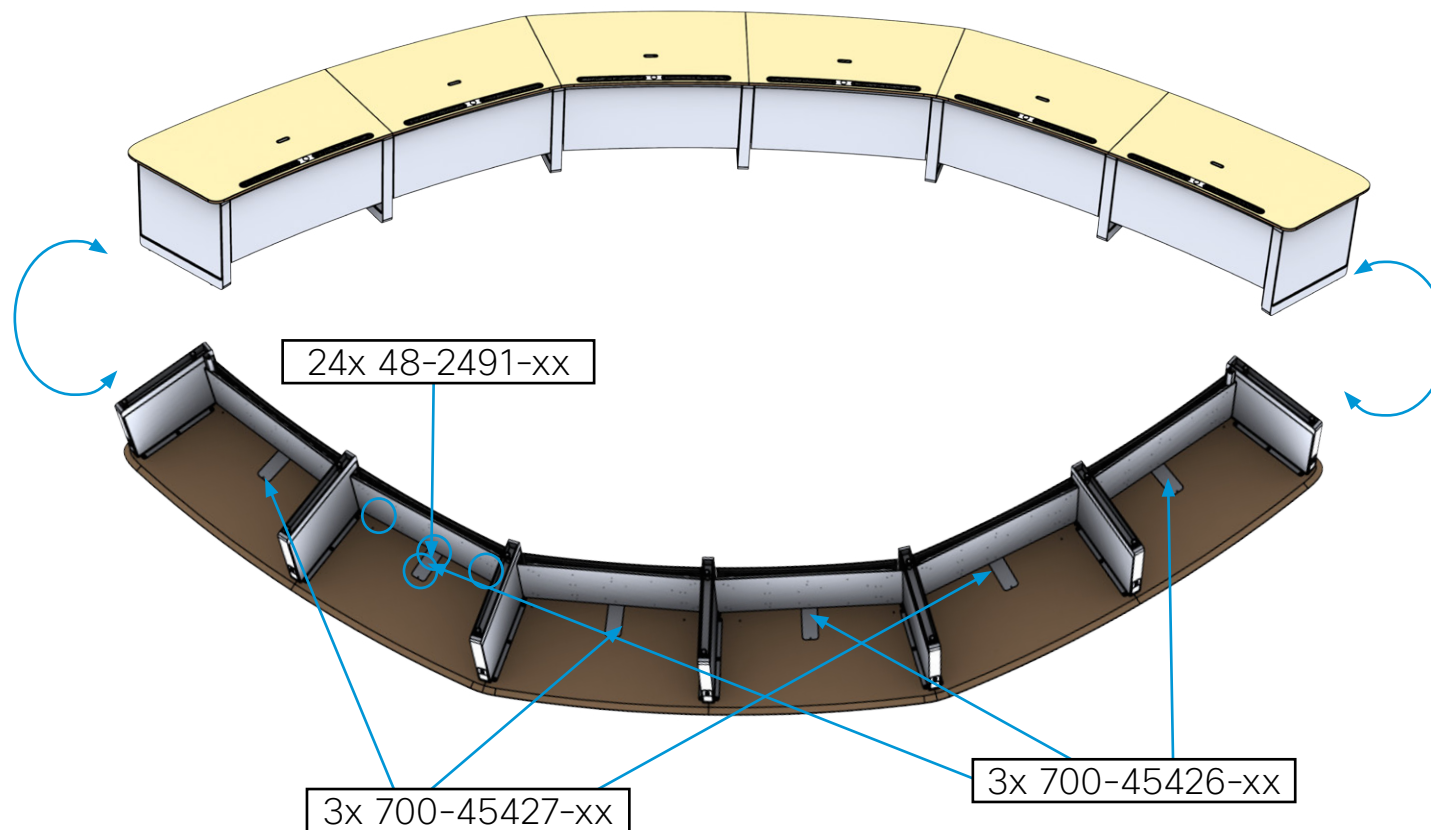
14 48x M4x12 mm ネジ 48-2426-xx を使用して、6x ミュート ボタン 74-12200-xx および 6x マイク(mic) バー(3x 74-12552-xx および 3x 74-12199-xx) を設置します。手順については、ページ 105 ~ ページ 110 を参照してください。2 列目に Touch 10 デバイスがある場合は、この段階でスイッチに設置します。**3x 通常のマイク バーと、3x ターンアラウンド マイク バーを設置することに注意してください。ターンアラウンド マイク バーには下側に赤色のラベルがあります。**



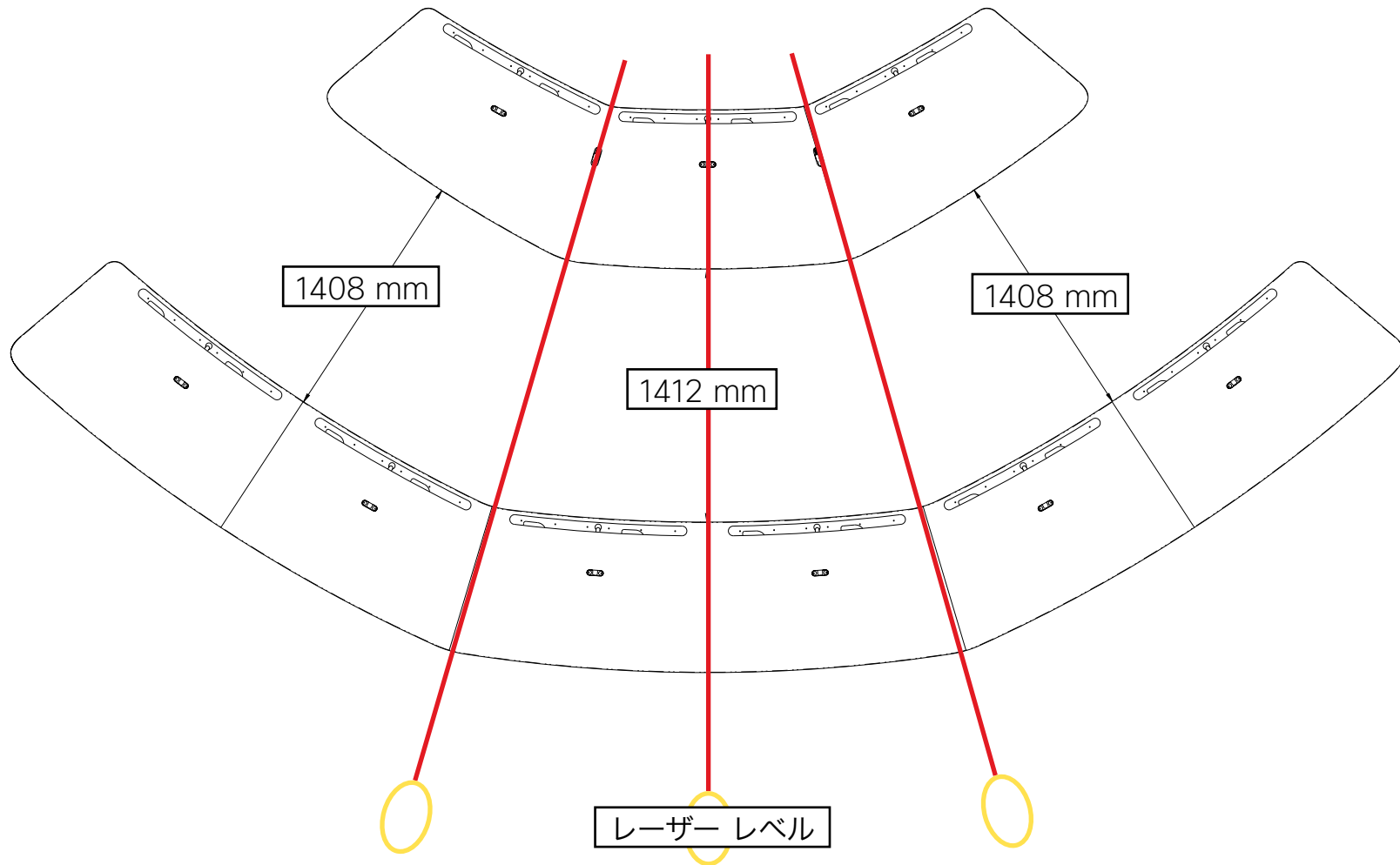
15 脚 PET パネルと前面パネルのカバーを取り付けます。パネルが所定の位置に固定されるまで、テーブル脚の側面にあるマグネット上にパネルを置きます。



16 各カバーに 4x M4x10 mm 黒ネジ 48-2491-xx を使用して、ミュート ボタン カバーをアセンブリ テーブルトップの下側の第 2 列テーブルの下側に装着します。



17 第 1 列と第 2 列の間隔を測定し、必要に応じてテーブルを調整します。テーブルの中央下のレーザー レベルと、テーブル セクション間の継ぎ目を使用して、第 1 列テーブルに合わせて並べます。高さの最終チェックを実行し、第 1 列テーブルと第 2 列テーブルが同じ高さに揃っていることを確認します。



外側の構造パネルとトリムの設置

必要な部品

3x 上部キャビネット (中央 800-41092-xx、右 800-41093-xx、左 800-41094-xx)

2x 上部トリム結合部 700-43281-xx

2x 下部キャビネット (右 800-41095-xx、左 800-41096-xx)

右下と左キャビネット 49-0338-xx 用 4x プラスチック ワッシャ

外部ロック ワッシャ 48-2426-xx 付き 8x 黒 M4x12 mm 長ネジ

1x 各下部トリム部品 (800-42208-xx 左、800-41301-xx 中央、800-41302-xx 右)

下側トリムの結合部アセンブリ:

- ・ 2x 700-102967-xx (下側トリム プレート)
- ・ 2x 700-47507-xx (狭い下側トリム結合部)
- ・ 2x 700-47506-xx (中程度の下側トリム結合部)
- ・ 2x 700-47505-xx (広い下側トリム結合部)
- ・ 2x M4 ナット 49-0420-xx

外部ロック ワッシャ 48-2426-xx 付き 18x 黒 M4x12 mm 長ネジ

1x 水平ディスプレイ トリム (1x トリム 800-42131-xx、
2x ピン 700-47278-xx、2x クリップ 52-100131-xx が含まれます)

1x 各上下ファスキア (74-12905-xx 上、74-13021-xx 下)

カメラ レンズ フード 800-43478-xx

4x 背面 PET プラスチック パネル: 左 800-41100-xx、右 800-41099-xx、
上 800-41097-xx および下 800-41098-xx

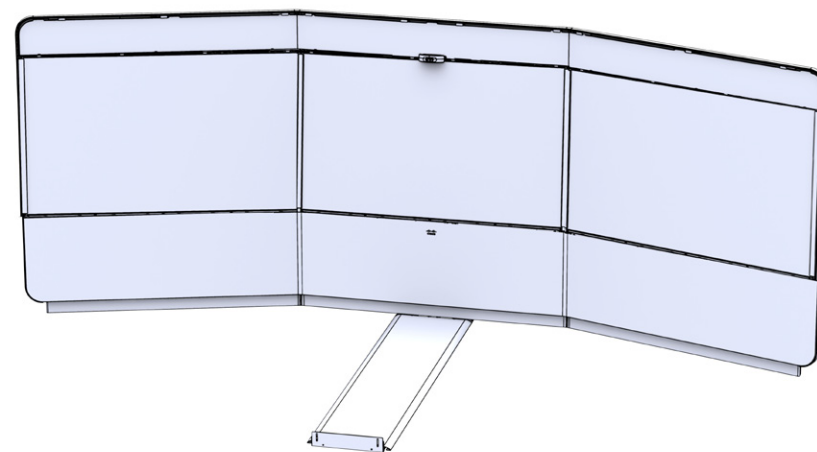
背面ケーブル ランナー カバー 700-43380-xx

必要な工具

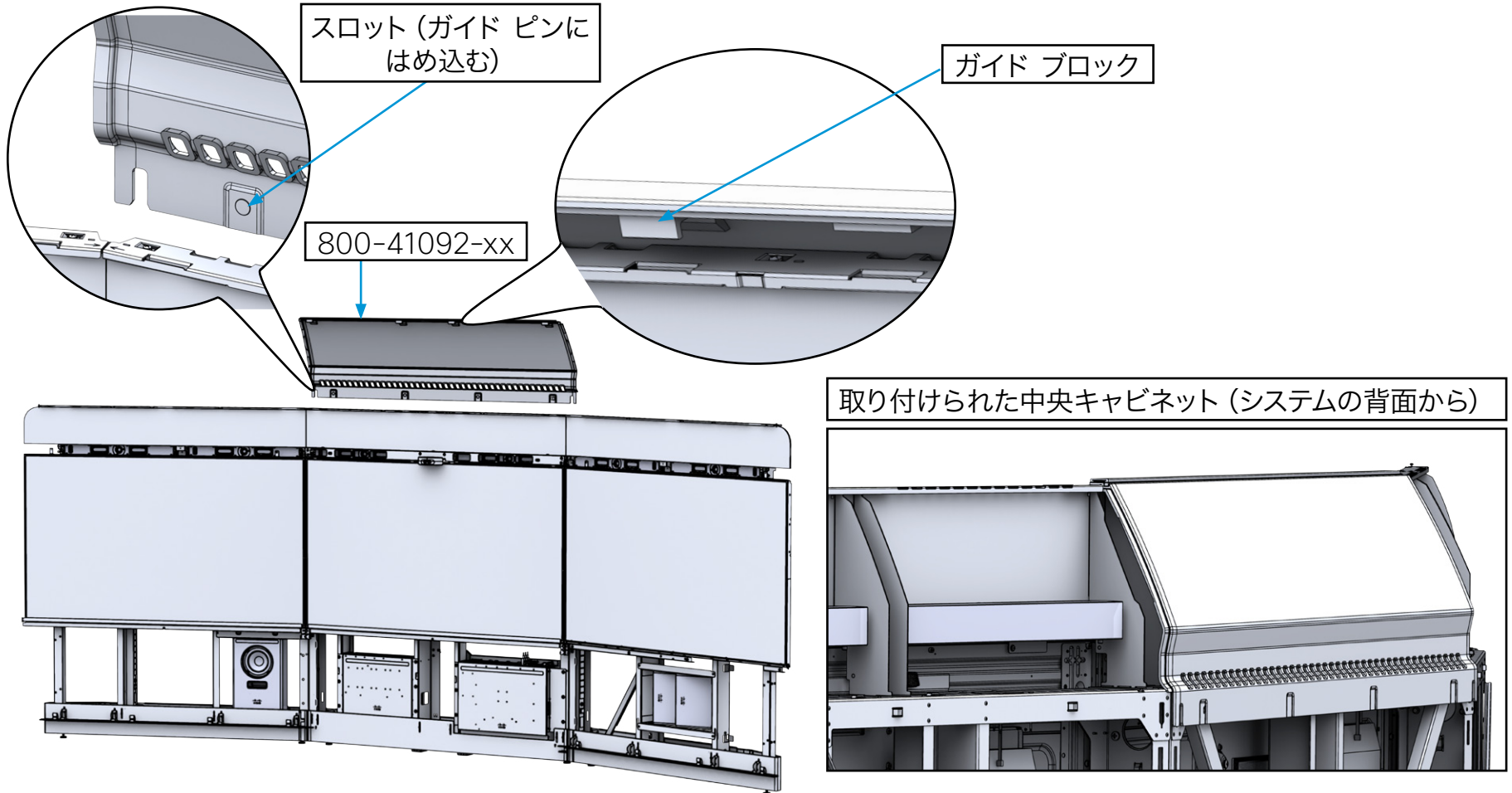
#2 プラス ドライバ

アルコール水準器

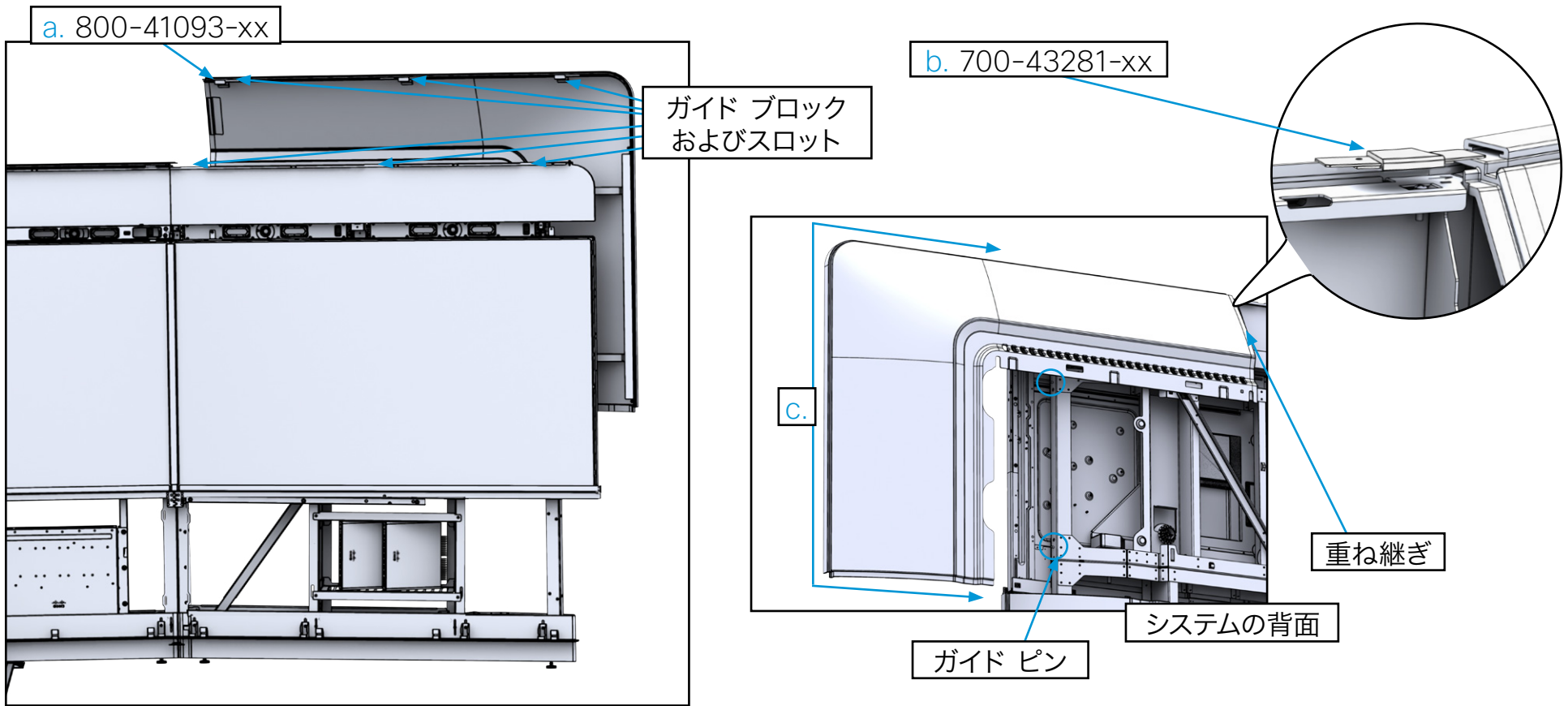
白い手袋 69-2795-xx (上下のファスキアと背面 PET パネルの取り扱用)



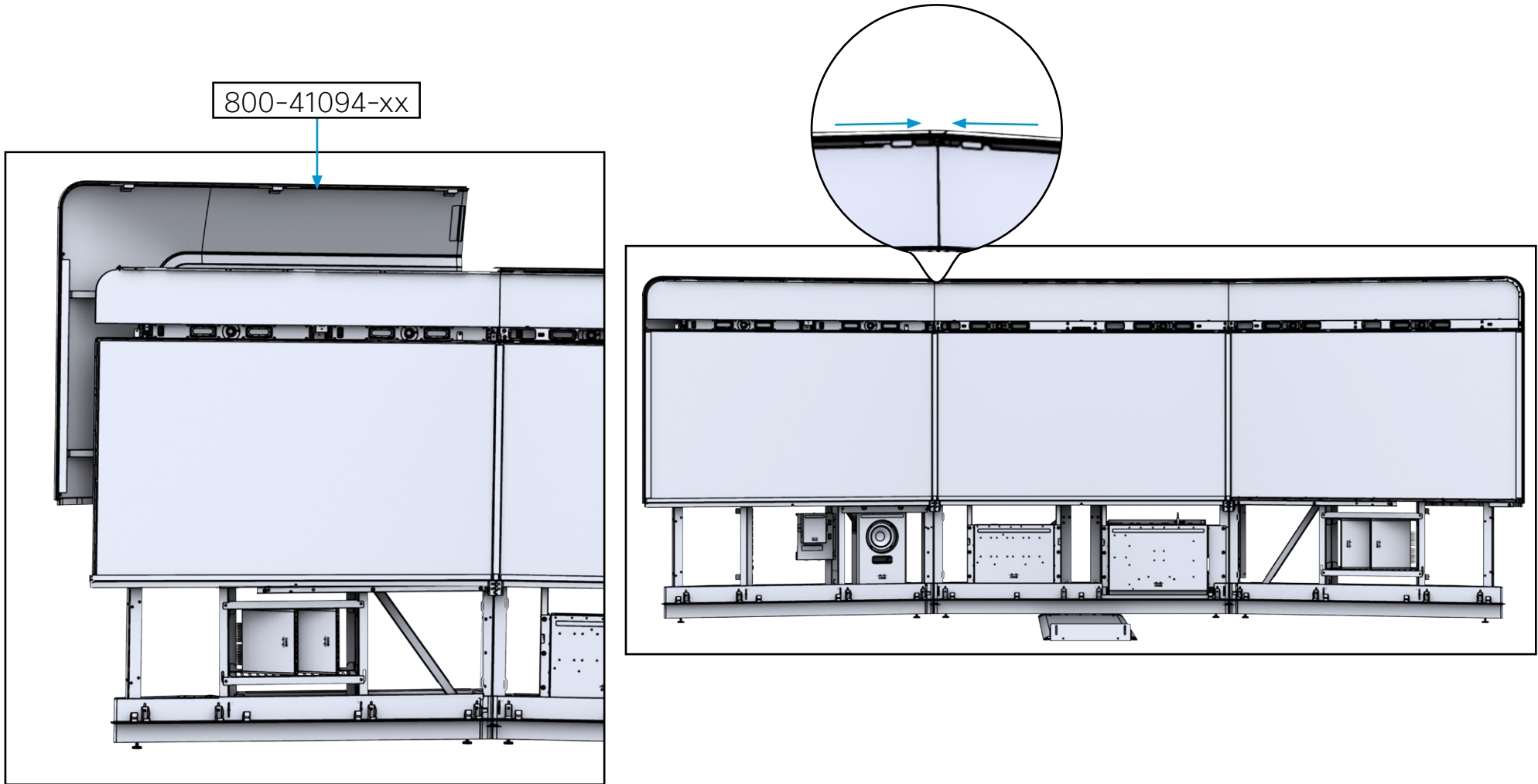
1 中央キャビネット 800-41092-xx を設置します。a. ディスプレイの間にスペースがないことを確認し、必要に応じて一緒に押します。b. フレーム上で中央キャビネットを持ち上げ、中央の水平クロスバーにキャビネットを下ろします。c. ガイドブロックをキャビネットから水平クロスバーに向けて並べます。d. 中央キャビネットの後ろに移動し、ガイドピンがフレームから突き出し、キャビネットのスロットに完全にはめ込まれていることと、マグネットがフレームと結合していることを確認します。



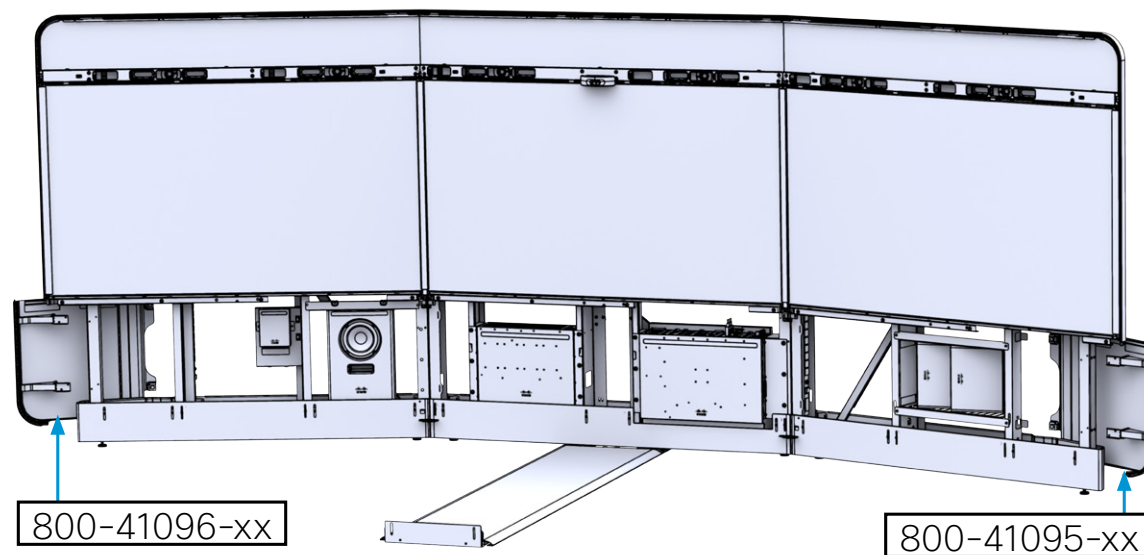
2a 左上と右上キャビネットを設置します。a. 右キャビネット 800-41093-xx を水平クロスバーに下ろし、キャビネットのガイドブロックをクロスバーのスロットに取り付けます。トリム結合部を取り付けられるよう、キャビネットが外側からできるだけ離れていることを確認します。b. トリム結合部 700-43281-xx を右および中央キャビネットのアルミニウム押出材に配置します。c. 中央方向にキャビネットをスライドさせ、キャビネットにあるノッチとフレームの側面にあるガイドピンをはめ込みます。**ヒント:** キャビネットの下に移動し、フレームのガイドピンとキャビネットのノッチが一致していることを確認します。キャビネットが正しく設置されない場合、次の項目を確認してください：1) トリム結合部がトリムに結合している。2. フレームのガイドピンとキャビネットのノッチの位置が合っている。3. 重ね継ぎが側面と中央のキャビネット間で正しく重なり合っている。



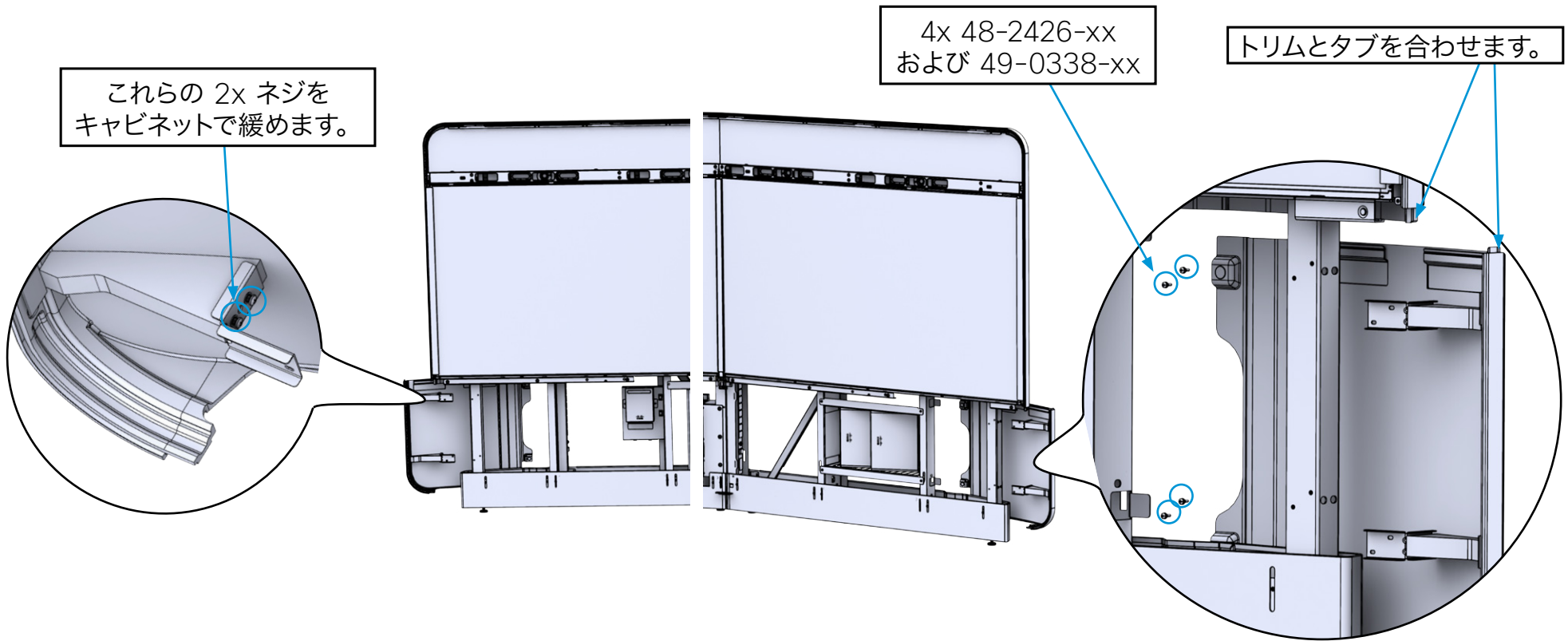
2b e. 左上キャビネット 800-41094-xx についても繰り返します。f. 上部キャビネットとトリム結合部に隙間がないようにキャビネットを調整し、キャビネットが構造に完全に装着されていることを確認します。ヒント：隙間を取り除けない場合は、両側の隙間を均等にします。



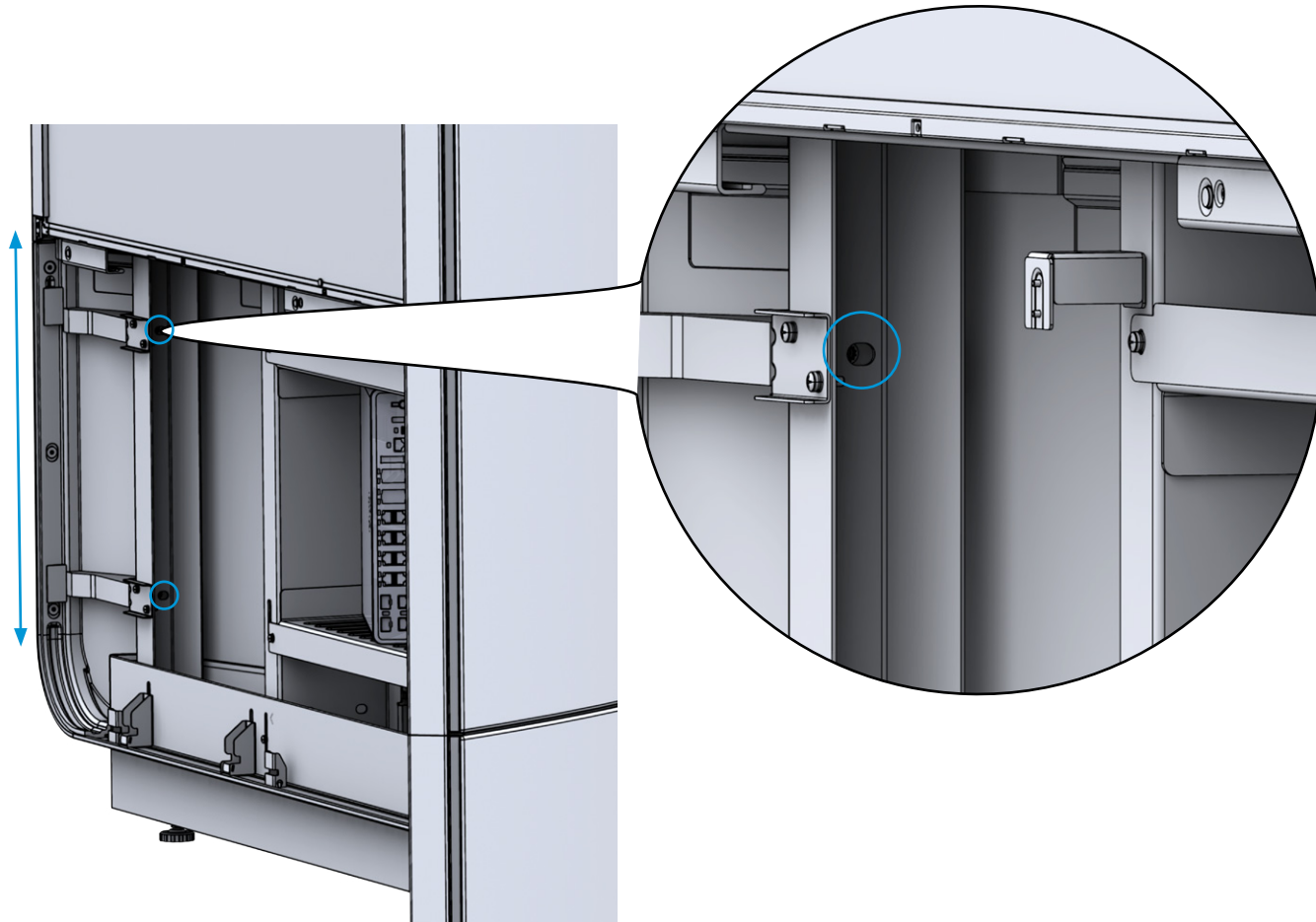
3a 下隅キャビネット (800-41096-xx 左、800-41095-xx 右) を設置します。



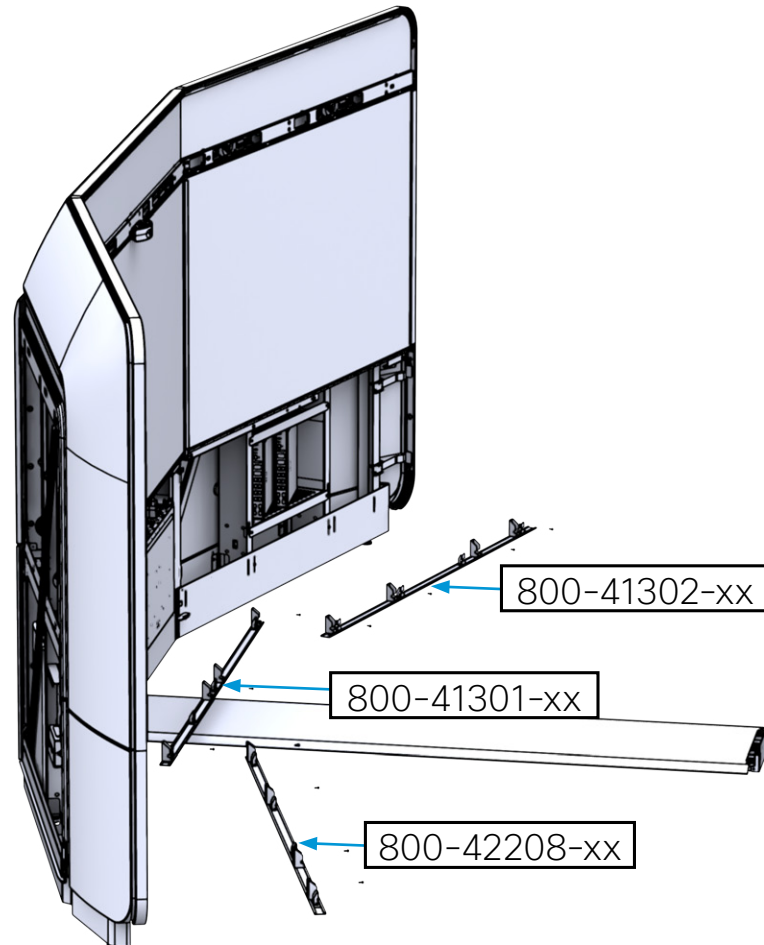
3b b. ブラケットをある程度動かせるように、下側キャビネットのシート メタル ブラケット 800-41095-xx (側面ごとに 2x ネジ) にある 4x 黒 M4 x 16 mm ネジを緩めますが、取り外さないでください。c. 下側キャビネットを所定の位置に配置し、上側キャビネットのトリムに下側キャビネットからタブを装着します。プラスチック ワッシャ 49-0338-xx を 8x 黒 M4 x 12 mm 長ネジ 48-2426-xx に置き、エンドポイント構造にキャビネット ブラケットからワッシャ付きネジを取り付けます。これらのネジの固定に電動ドライバーを使用しないでください。キャビネットをある程度動かさせても、所定の位置で保持できるように締め付けます。



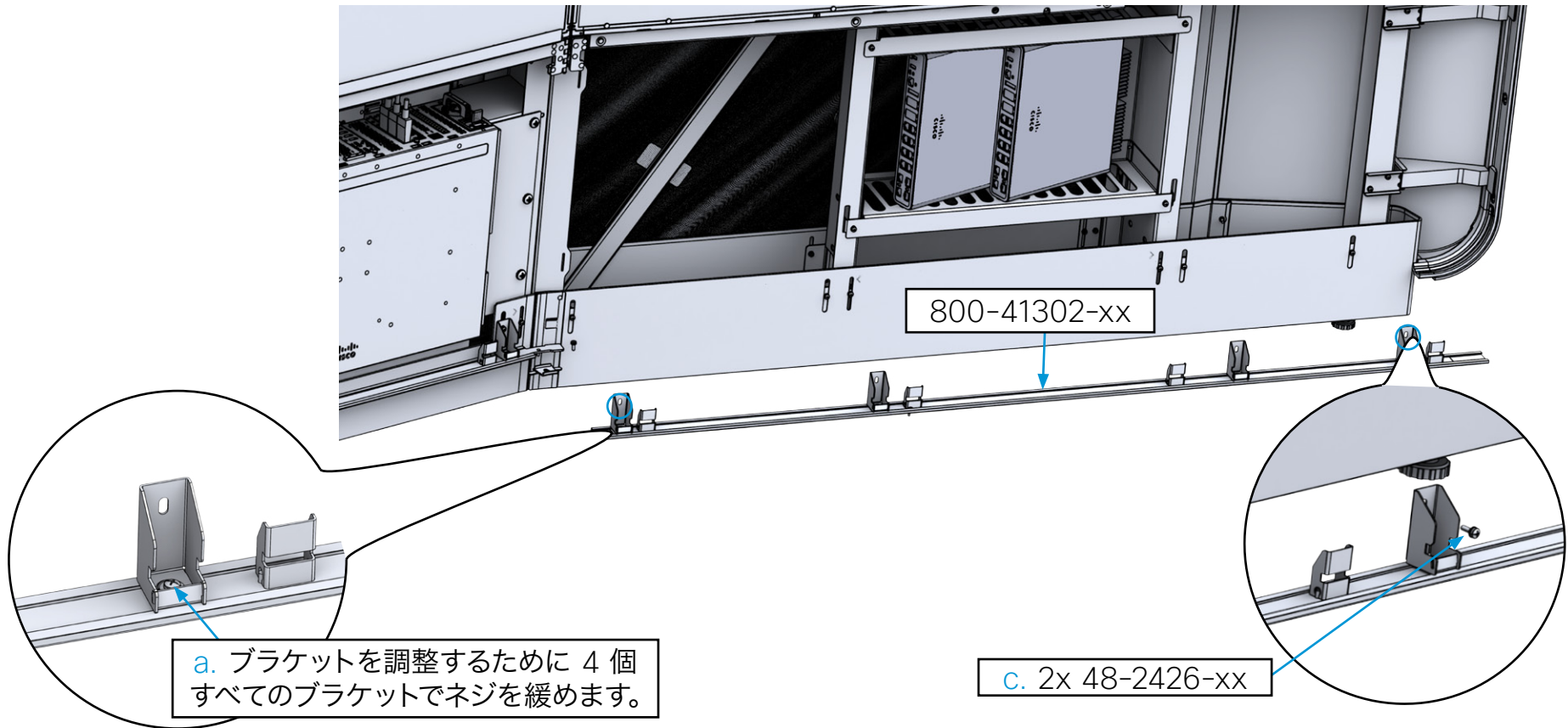
3c 下側のキャビネット前面にレベルを置き、両方のキャビネットを垂直方向に揃え、ディスプレイに合わせます。この整列が完了したら、図の円で示すとおり、4x ネジ (各箇所 2x) を締めます。これらのネジは隠れていることに注意してください。



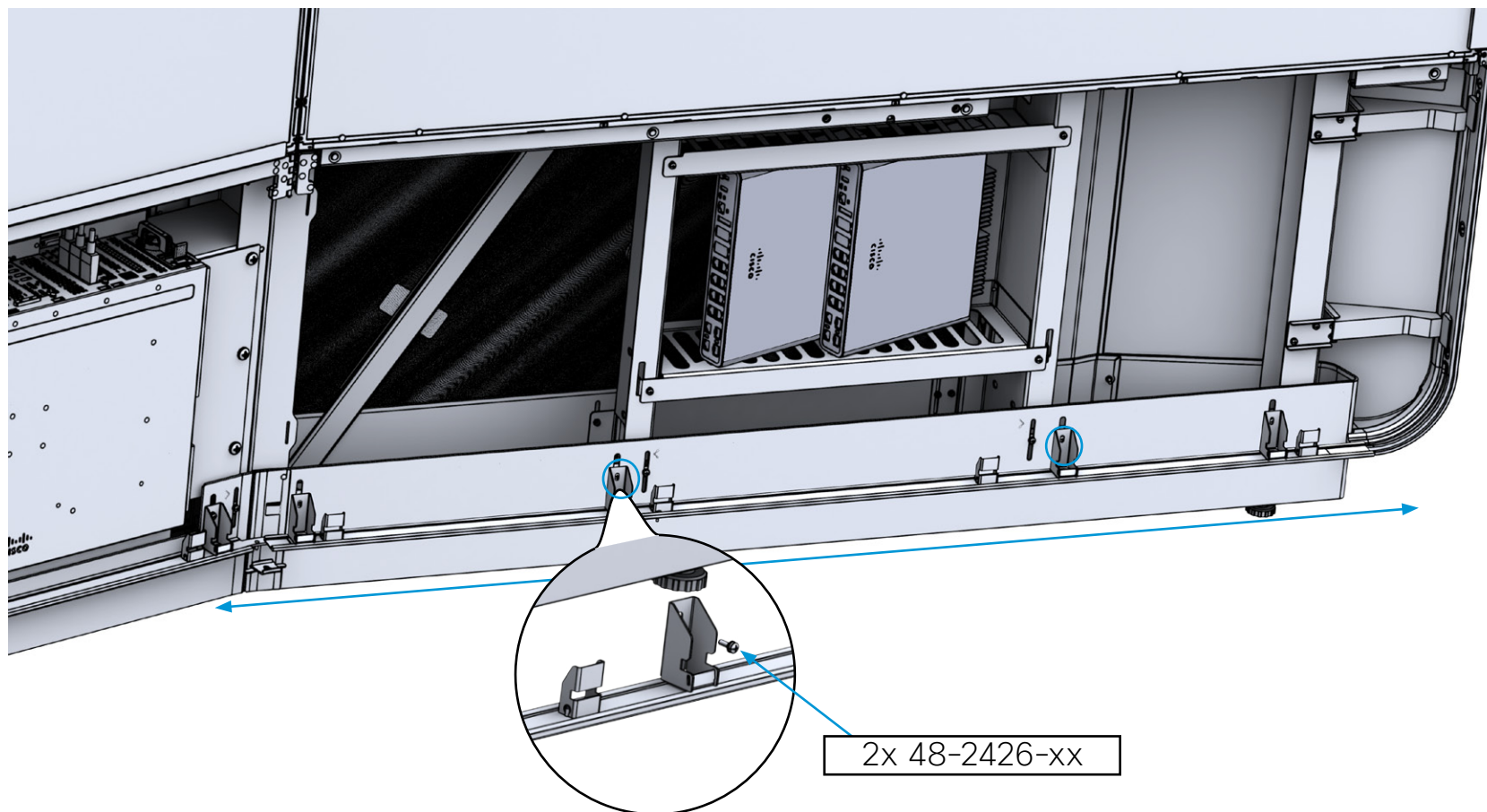
4a 次のページの手順に従って、下側のトリム部品を取り付けます。



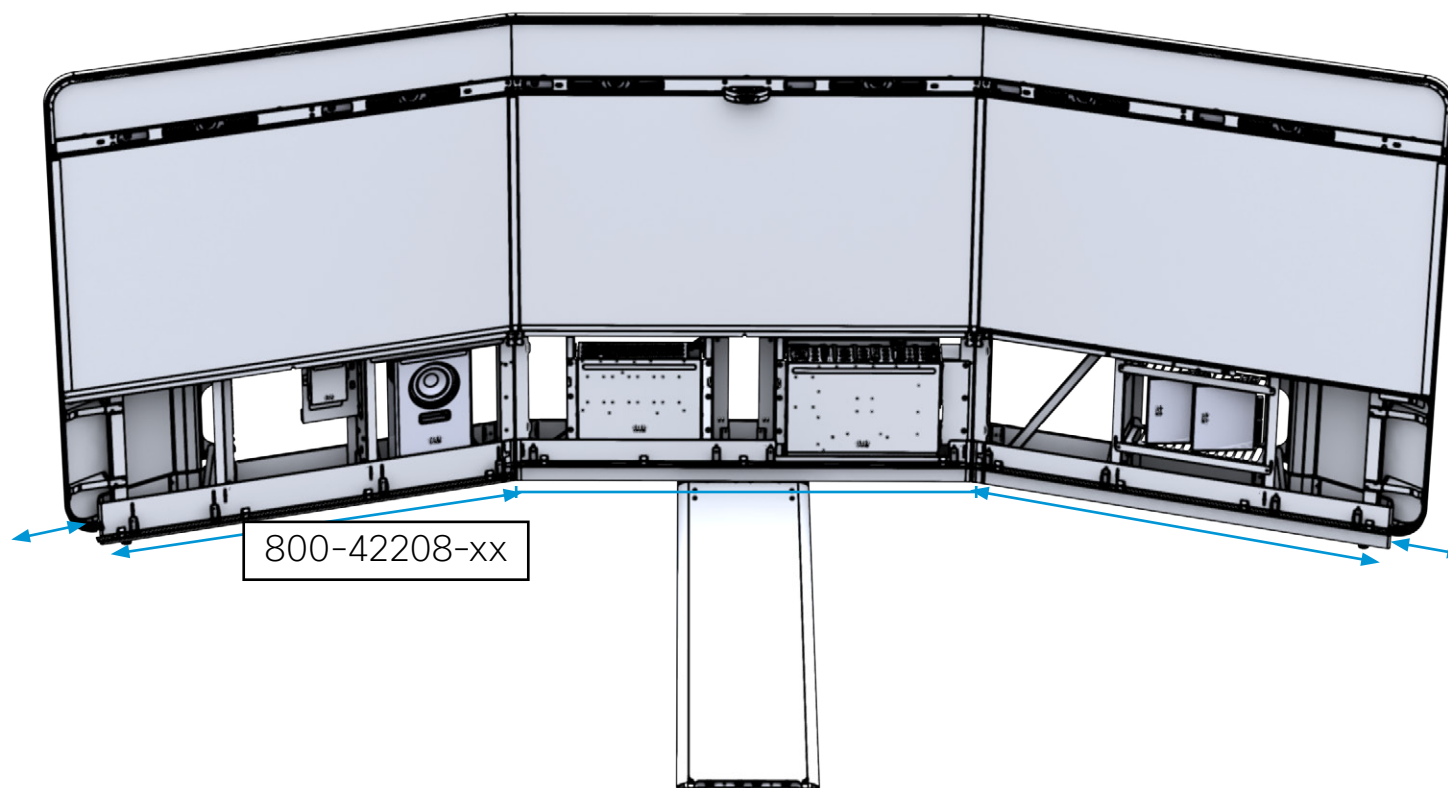
4b 右下のトリム部品 800-41302-xx を取り付けます。a. トリム部品の 4 つのブラケット上のプラス ネジを緩め、ブラケットが容易に動かせるようにします。ただし、フラット トリム部品を持ち上げることはできません。b. 右下のトリム アセンブリを下から持ち上げて、すでに下側のキャビネットに組み立てられた金属トリムに合わせて、キャビネットに配置します。c. 設置はしますが、下側のトリムの右端と左端で、外部ロック ワッシャ 48-2426-xx を 2x 黒 M4 x 12 mm ネジで締めすぎないようにしてください。



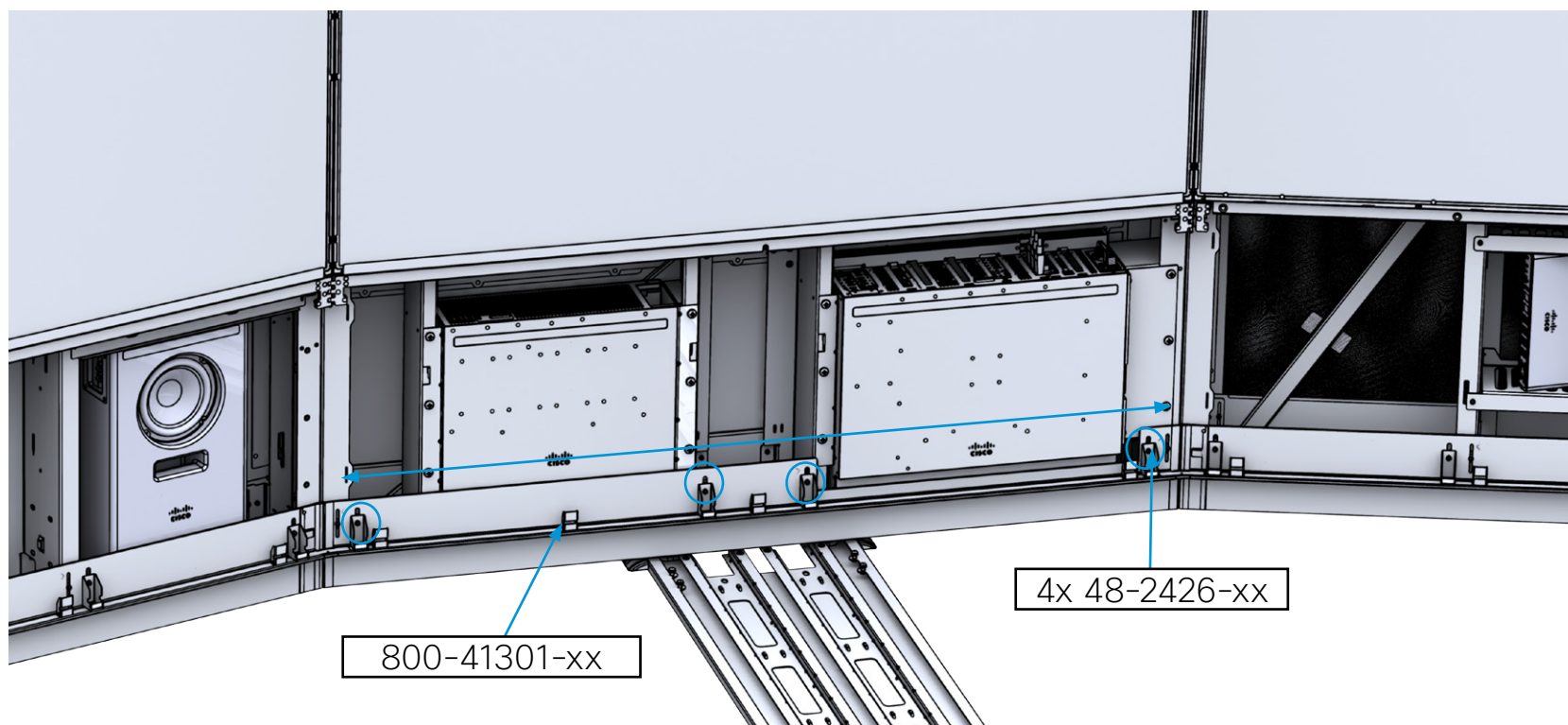
4c d. アルコール水準器で右下のトリム アセンブリを水平調節します。e. 2x 追加の黒 M4 x 12 mm ネジ 48-2426-xx を設置し、4x ネジを締めます。注:トリムは非常に柔軟です。途中で動いたり、曲がったりしてレベルを間違えないよう、設置時に注意してください。



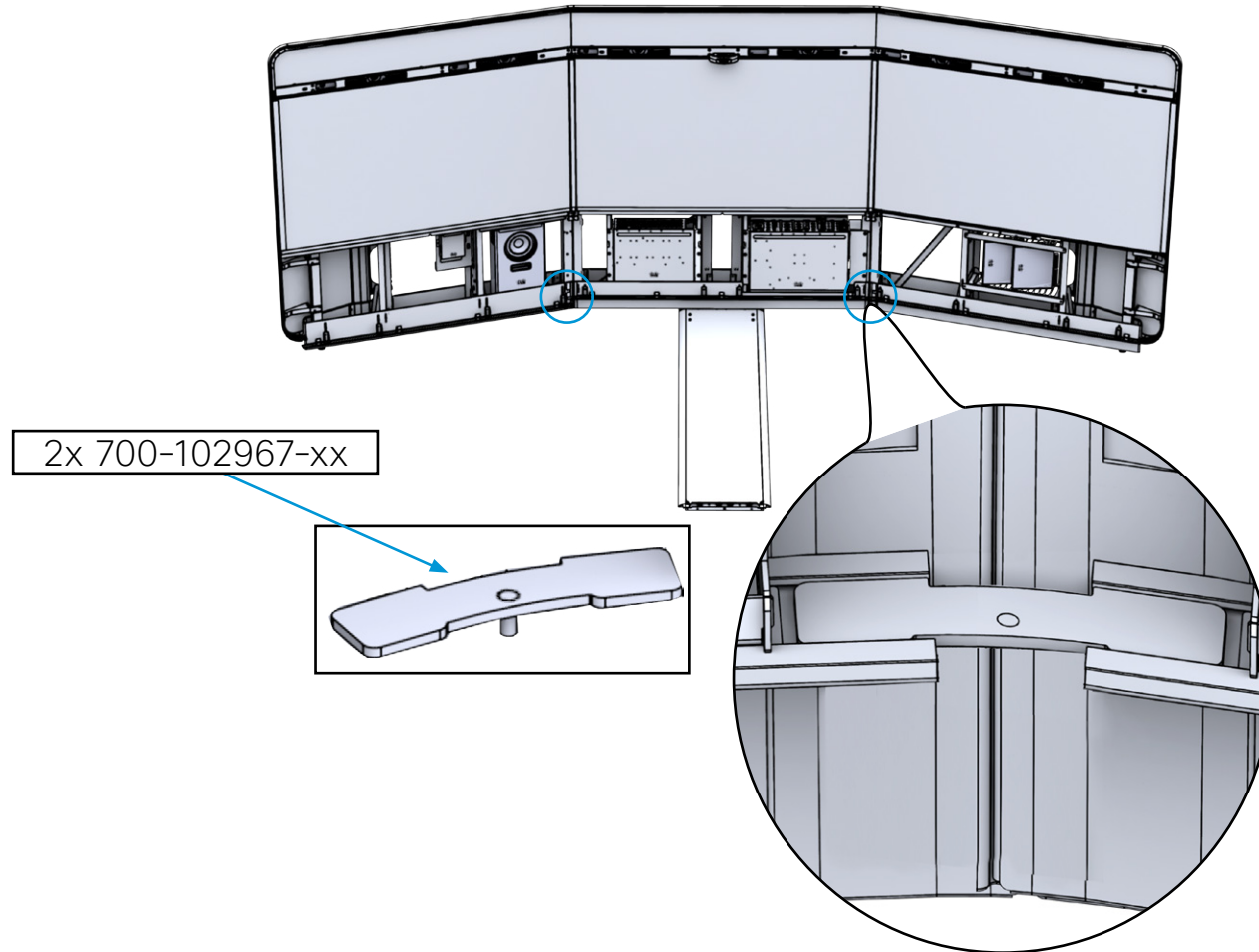
4d 右のトリム部品と同じ手順を使用して、左側のトリム部品 800-42208-xx を設置します。組み立てた後、左右のトリム部品を水平調節し、揃えます。下側のキャビネット上のトリムとのギャップを埋めるために、トリム部品を外側に（側面）にスライドします。



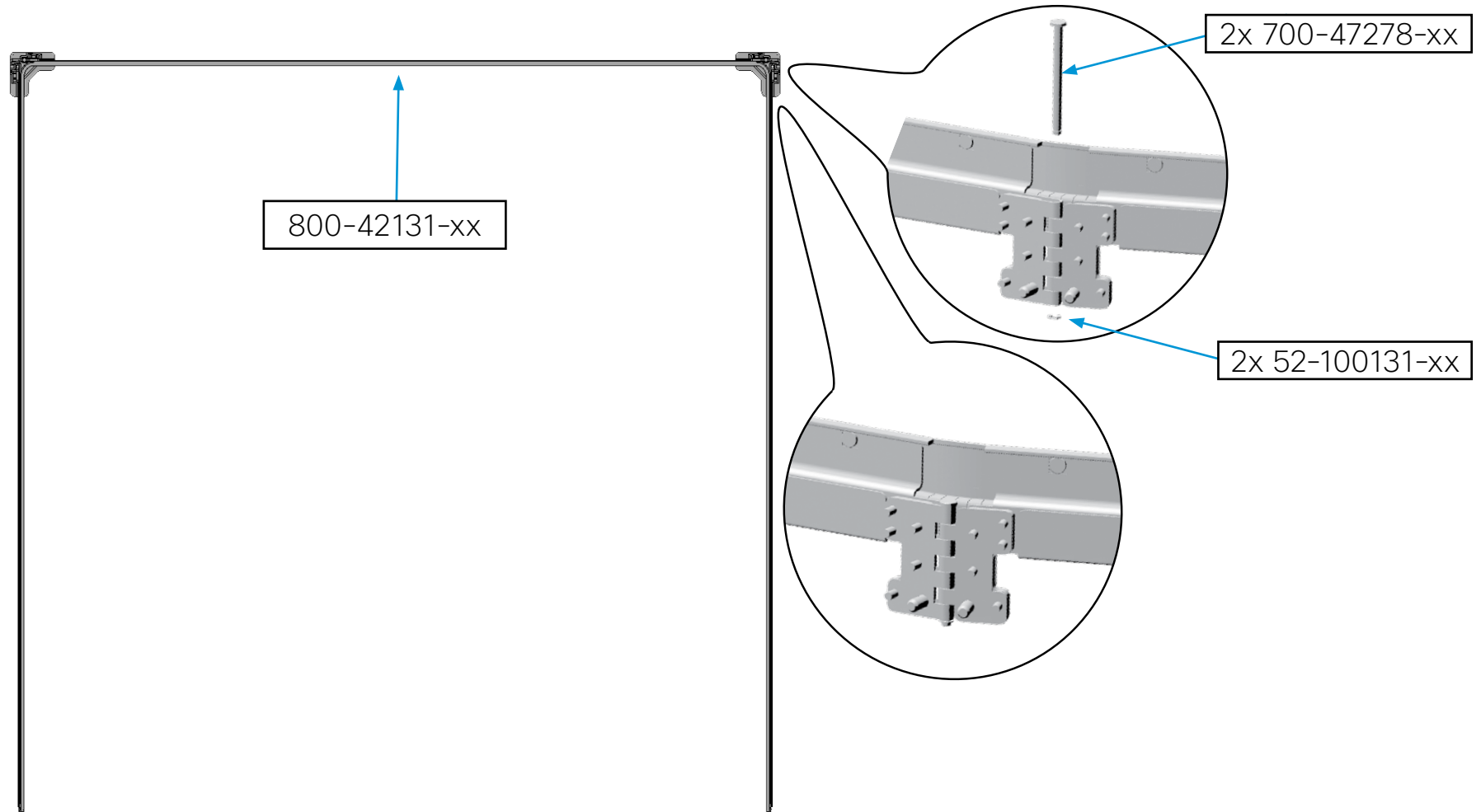
4e 中央下側のトリム部品 800-41301-xx を下から持ち上げて設置します。アルコール水準器を使用して、左右下端のトリム アセンブリと左右が同じ高さになっていることを確認します。4x 黒 M4 x 12 mm 長ネジを外部ロック ワッシャ 48-2426-xx で取り付け、締めます。すべてのトリム部品を締めます。



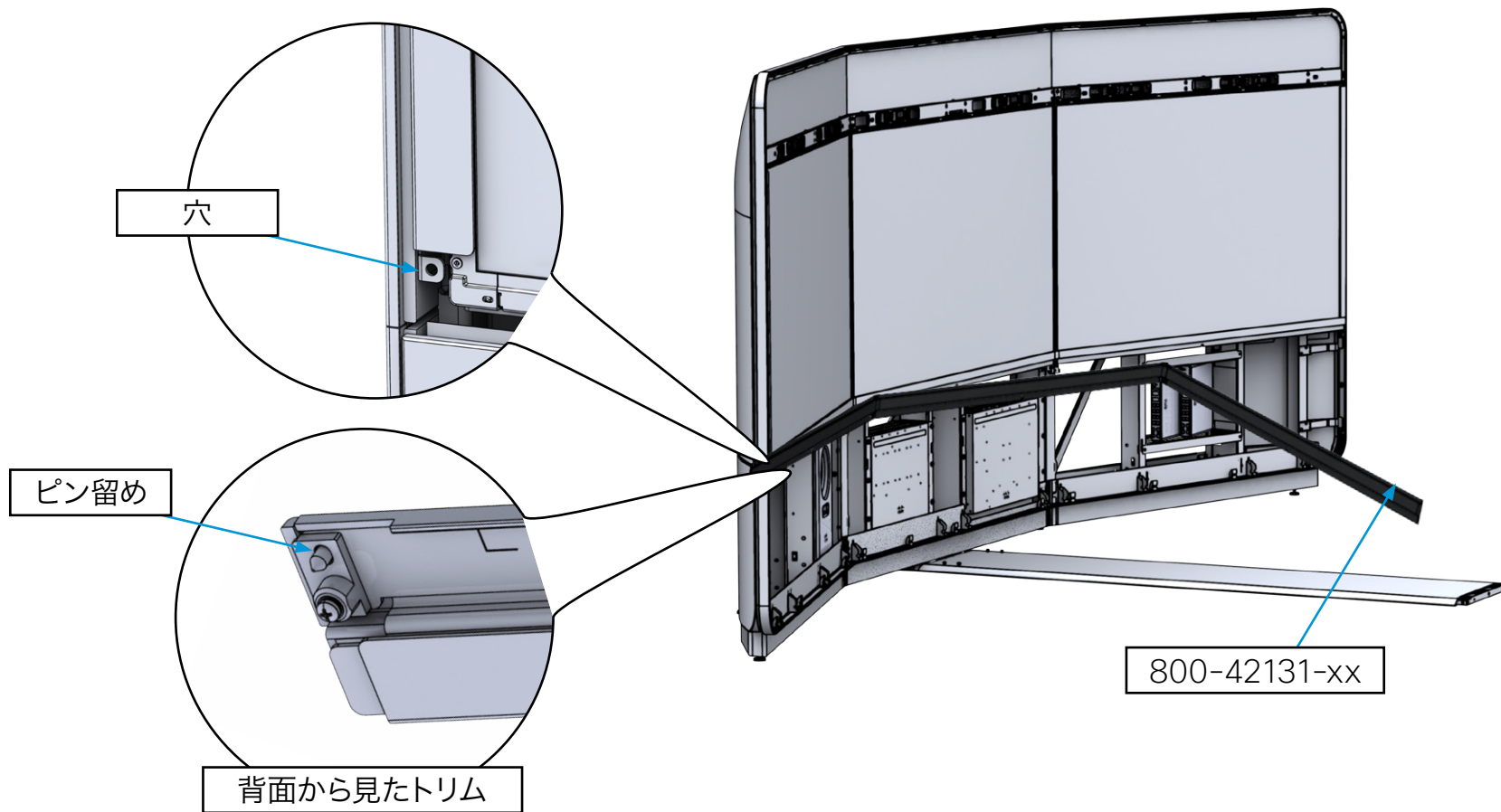
- 5 2x 下側のトリム プレート 700-102967-xx(左と中央トリム アセンブリの間と、右と中央トリム アセンブリの間に 1 つずつ) をトリム アセンブリに差し込みます。



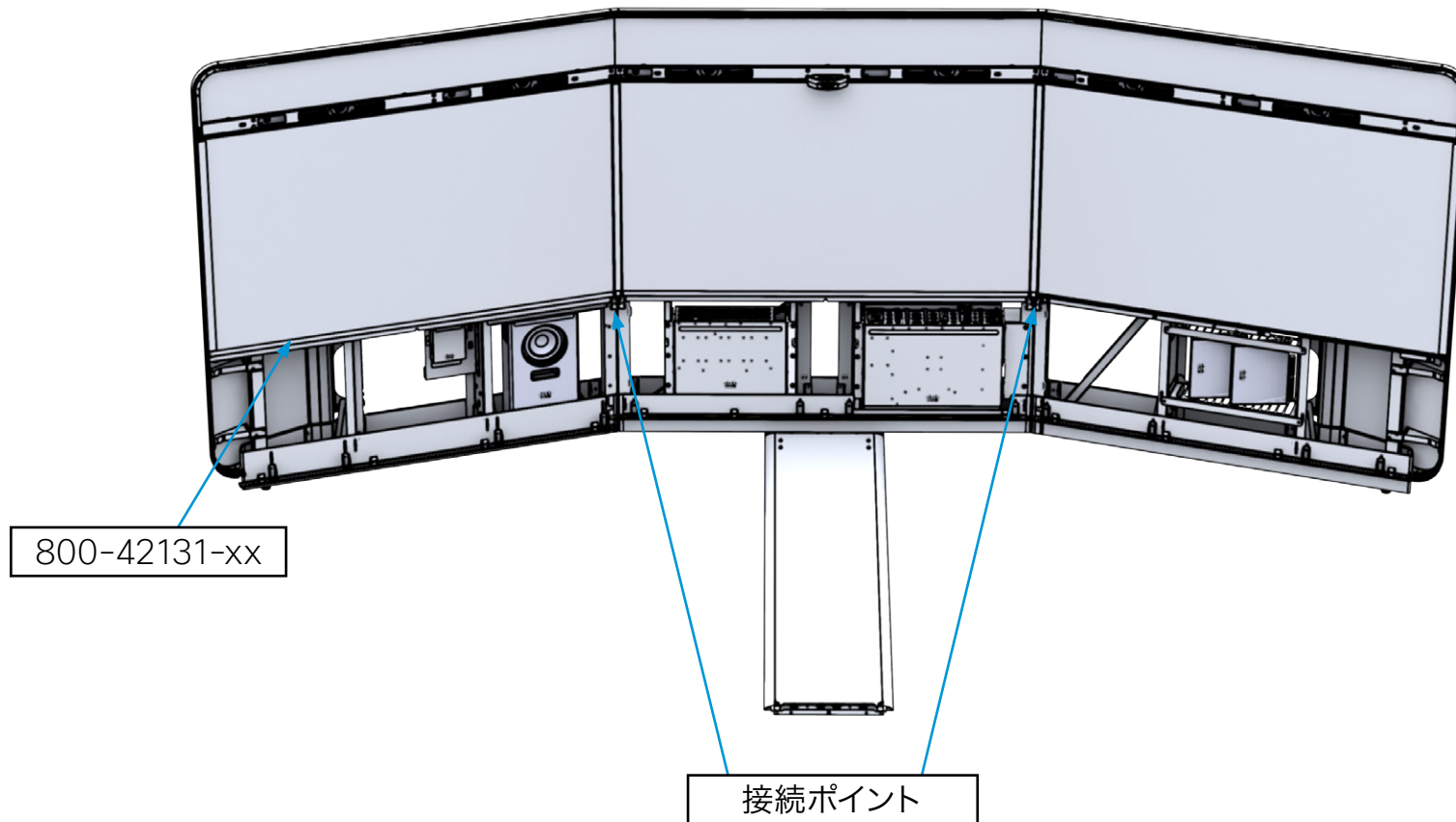
6a 水平ディスプレイ トリム 800-42131-xx を設置します。パッケージの隅からフォームを取り除き、2x ピン 700-47278-xx と 2x クリップ 52-100131-xx (各側面に 1 つ) を使用して水平ディスプレイ トリムのメタル ヒンジを取り付けます。



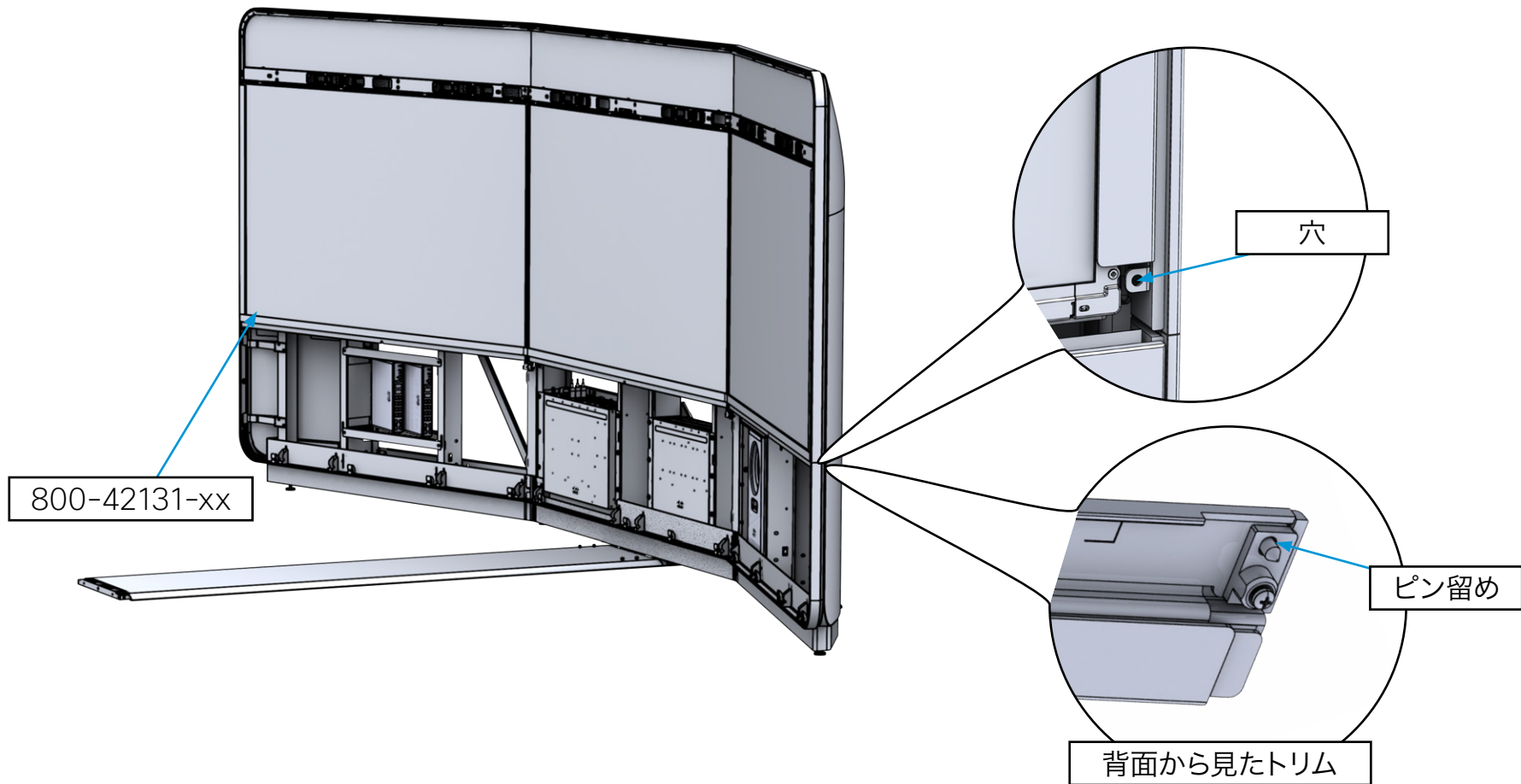
6b 注意:この手順では 2 名が必要です。ゴム製トリムは壊れやすいので、トリムを破いたり、回復不能な損傷を与えないように、慎重に扱う必要があります。部分的にトリムを開いて、トリムの左側にピンを置き、エンドポイント構造の左側の穴に入れます。



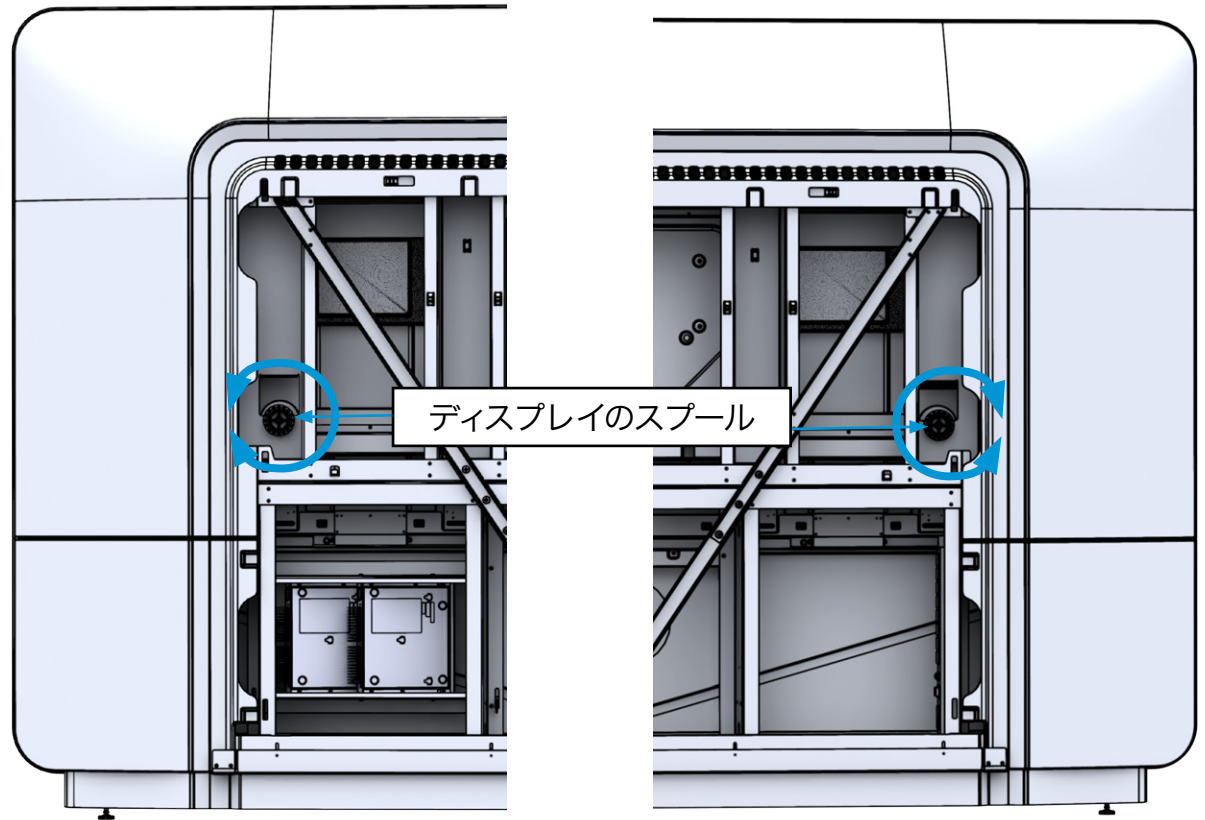
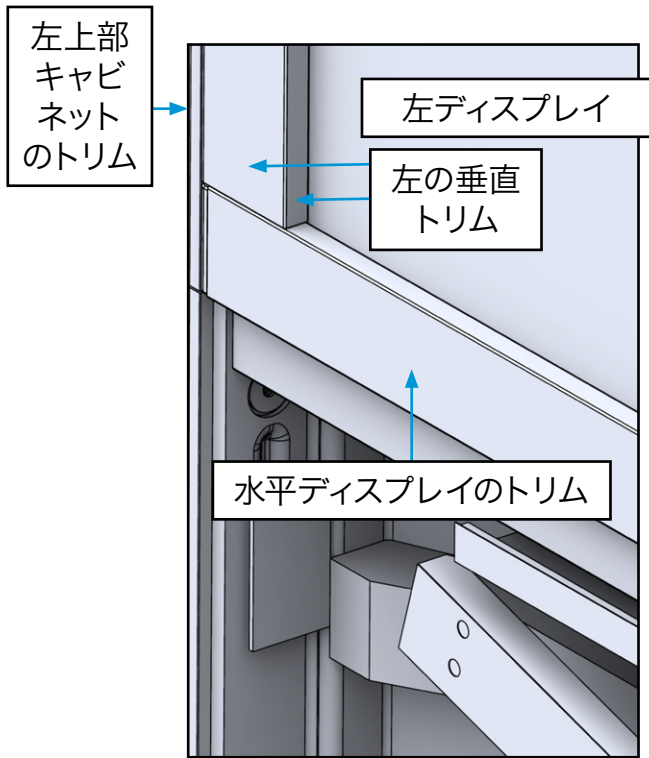
6c 引き続き 2 名で、ベルクロとマグネットがひっかかるまで、左と中央のディスプレイ間の接続ポイントにトリムを接続したら、中央と右のディスプレイ間のベルクロとマグネットにトリムを接続します。



6d 水平ディスプレイ トリムにピンを置き、エンドポイント構造の穴に入れます。両側が均等になるまでトリムを調整します。



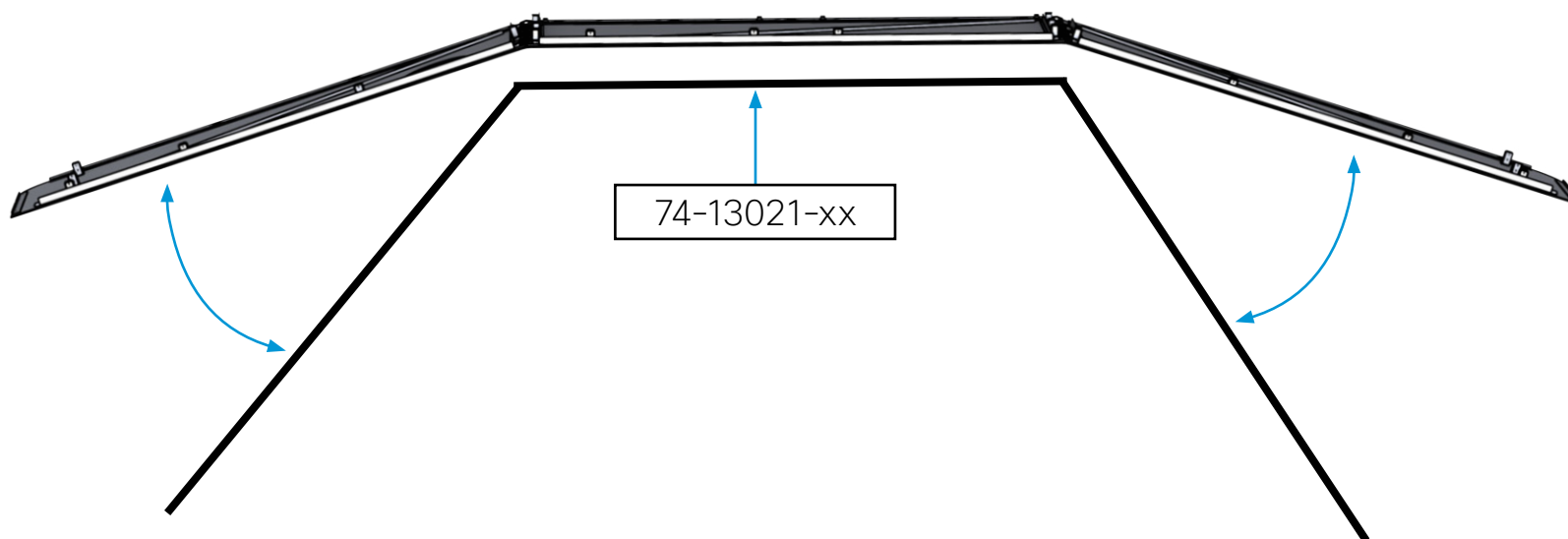
7 ディスプレイをキャビネット トリムに合わせて配置します。ディスプレイの背面下側でスプールを回転し、上部キャビネットのトリムを水平ディスプレイのトリムと側面（垂直）軸のディスプレイに揃えます。この位置合わせを、左右のディスプレイ両方に対して行います。



- 8a** 下側ファスキア 74-13021-xx を設置します。2 名で行い、この手順のアクセサリ キットに含まれる手袋を着用します。
- a. ファスキアをディスプレイ構造とテーブル構造の間の床に置き、下側ファスキアの側面をテーブルに向けて移動します。この手順は、下側ファスキアを組み立てる際の安定性をサポートしますが、ファスキアの側面を回転してディスプレイ構造に戻すこともできます。
-

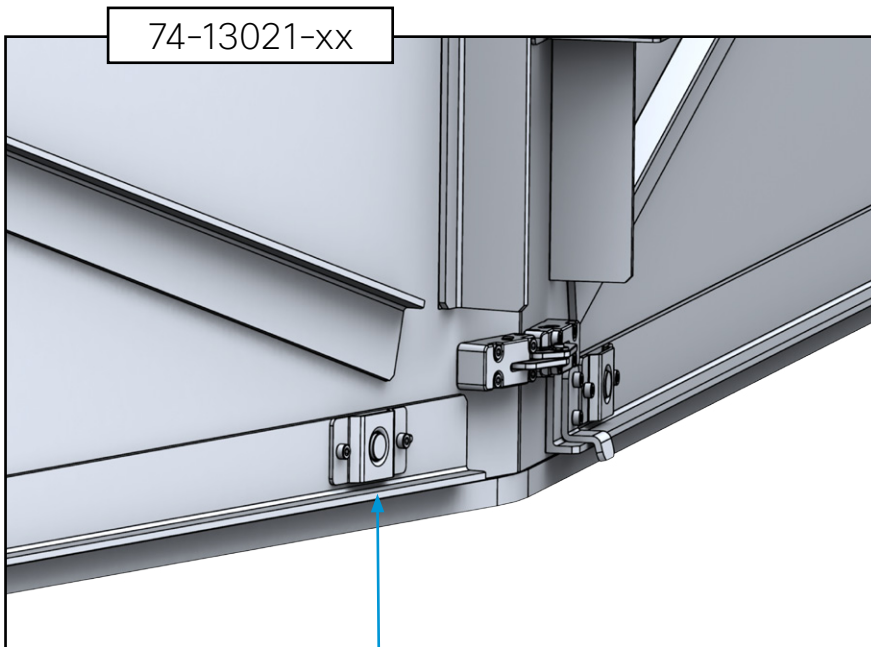
a.

システム上部から見た図

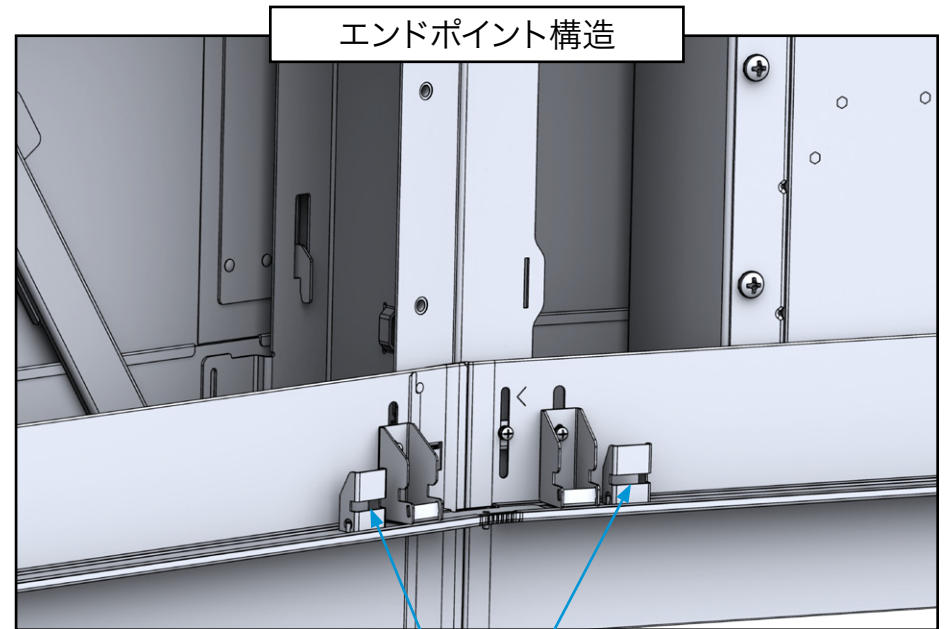


8b

注ディスプレイ構造の看板のアライメント ポイント：最下位の看板の下限しきい値と側にある実行が、エンドポイントのフレーム スロットを備えたブラケット構成する配置に差し込みます。

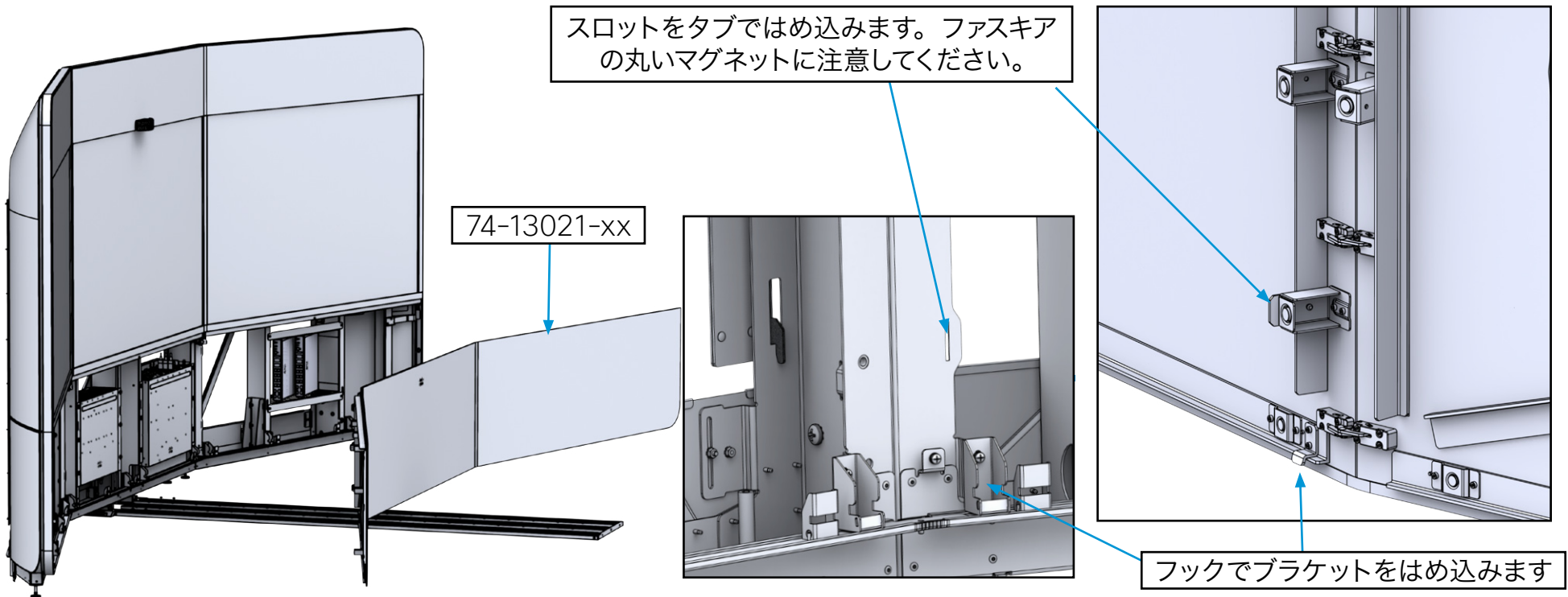


下側ファスキアの垂直方向の位置合わせリップ

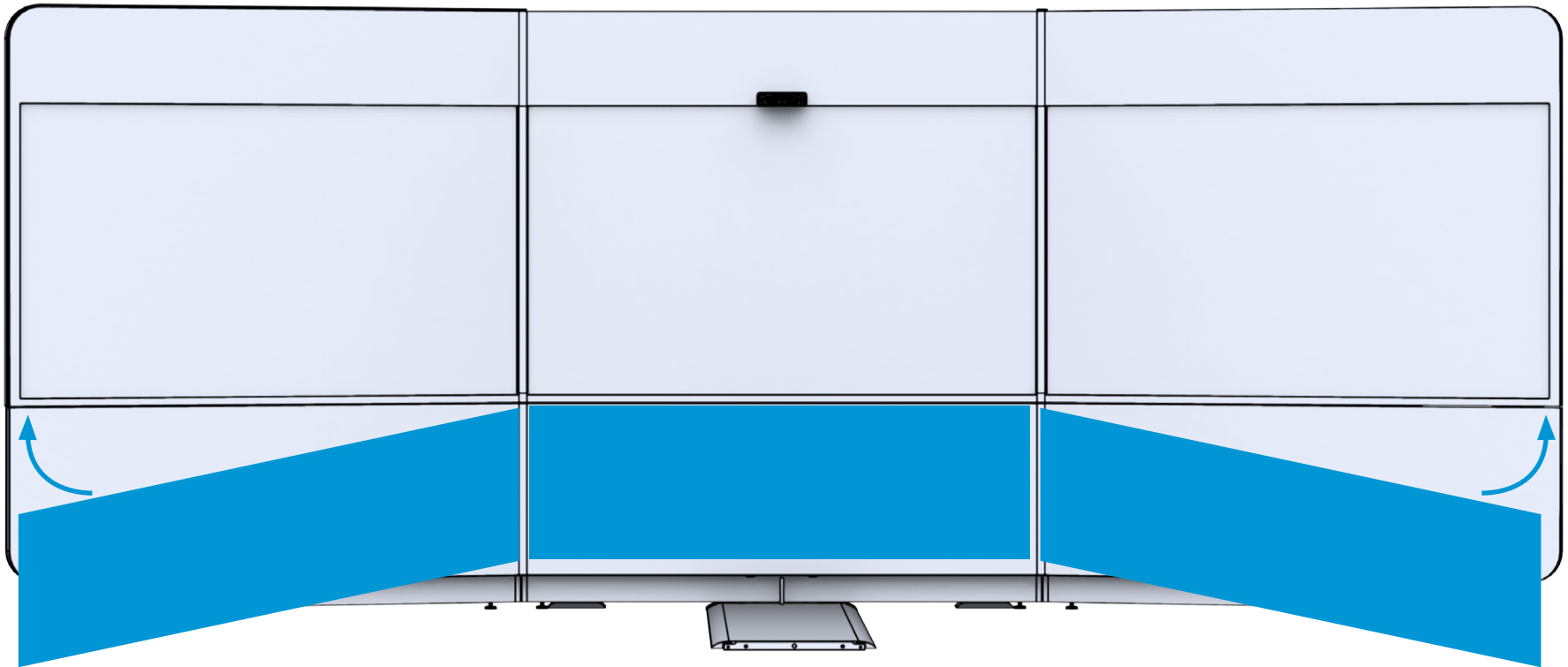


下側ファスキアの位置合わせリップと
マグネット用フレーム スロット

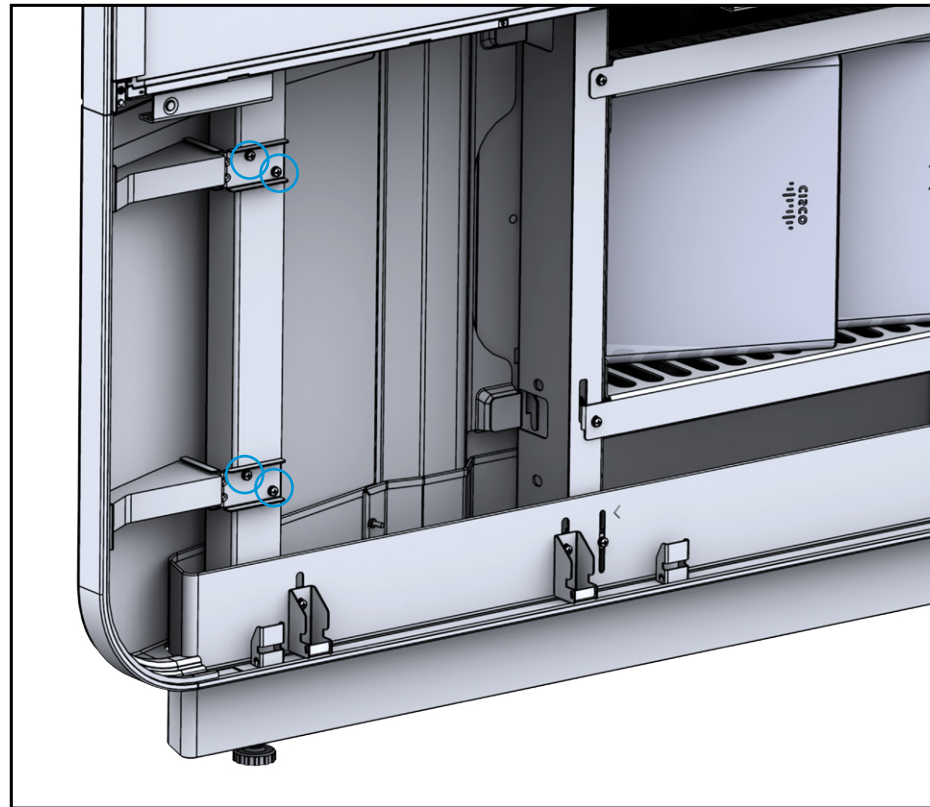
8c b. 下側ファスキアにフック (3x) を置き、下側ファスキアを回転しながらディスプレイ構造のフレーム スロットの所定の位置に入れます。c. ファスキアは部分的に開いた状態にし、下側ファスキアの左中央の位置合わせタブを、中央ディスプレイ構造のスロットに差し込み、下側ファスキアを水平方向に配置します。タブがスロットに合い、ディスプレイ構造に完全にはまると、ファスキアのマグネットが構造に装着された音がします。



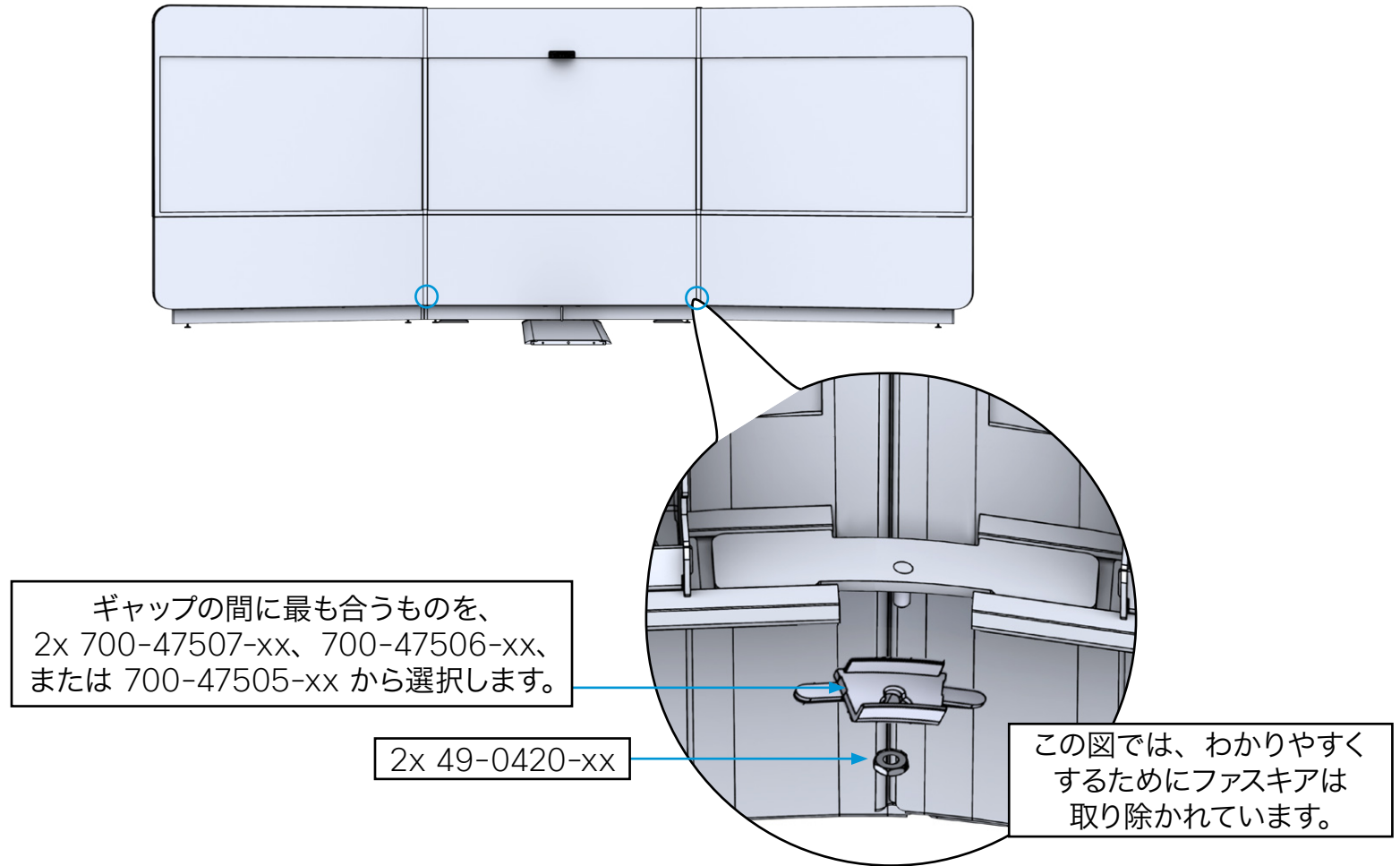
8d d. 下側ファスキアを 1 つずつ広げ、ファスキアのマグネットがディスプレイ構造にはめ込まれるまで、スロットを受ける側にタブを差し込みます。



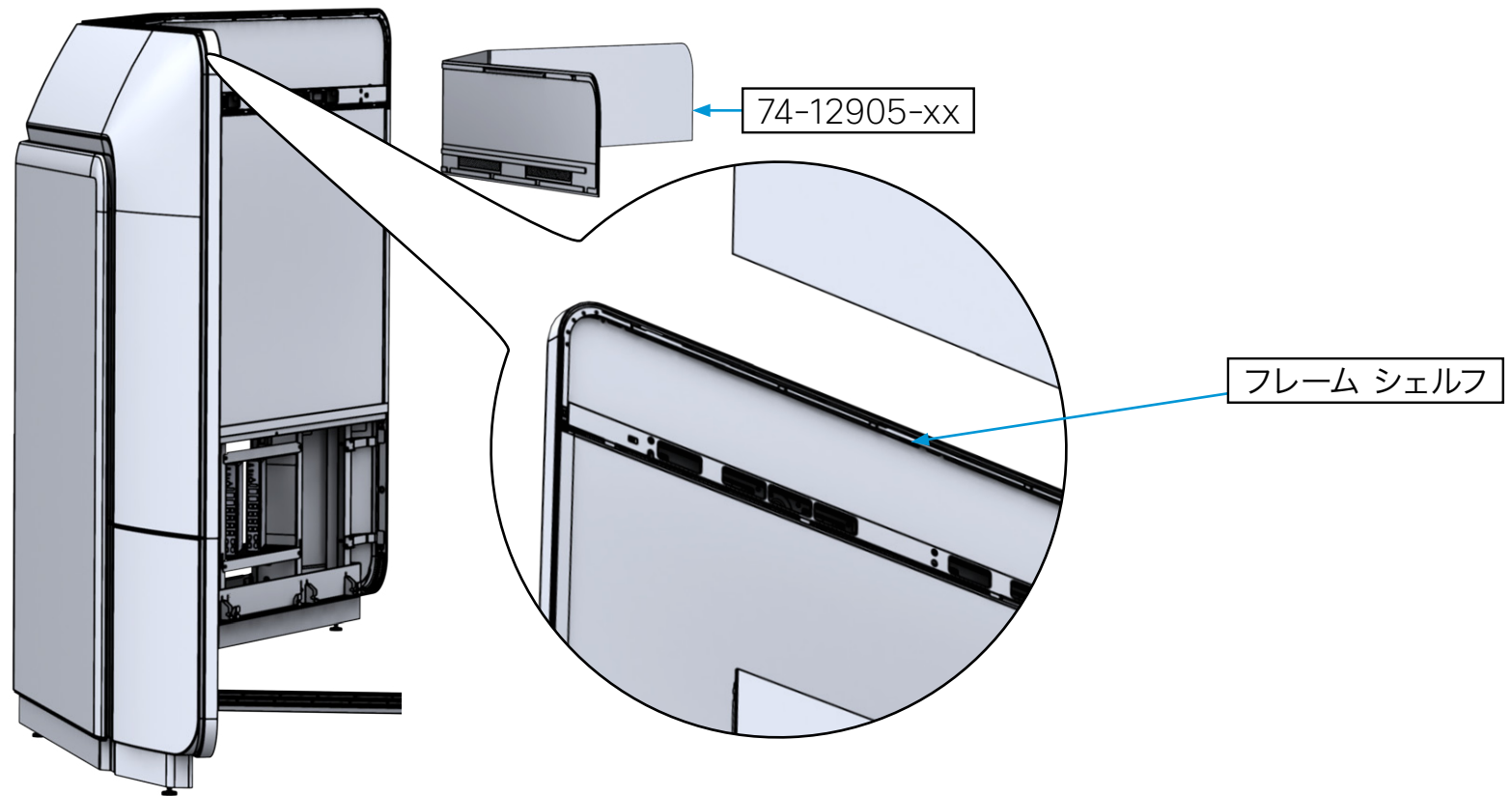
- 9 下側の外側パネルの最終位置合わせを行います。手袋を着用したまま、ファスキアの角を取り外し、必要に応じて下側のキャビネットを移動し、ファスキアおよびそれに接続しているトリム部品に合わせます。アルミニウム トリムはシステムの周囲で継ぎ目がなく、ギャップは最小限に抑えられ、整合性が確保されている必要があります。プラスチック ワッシャ付きの 4 個の丸ネジは、ネジを緩めずに十分に移動する必要があります。最終調整を行った後、ネジを締めて、ファスキアを交換します。
-



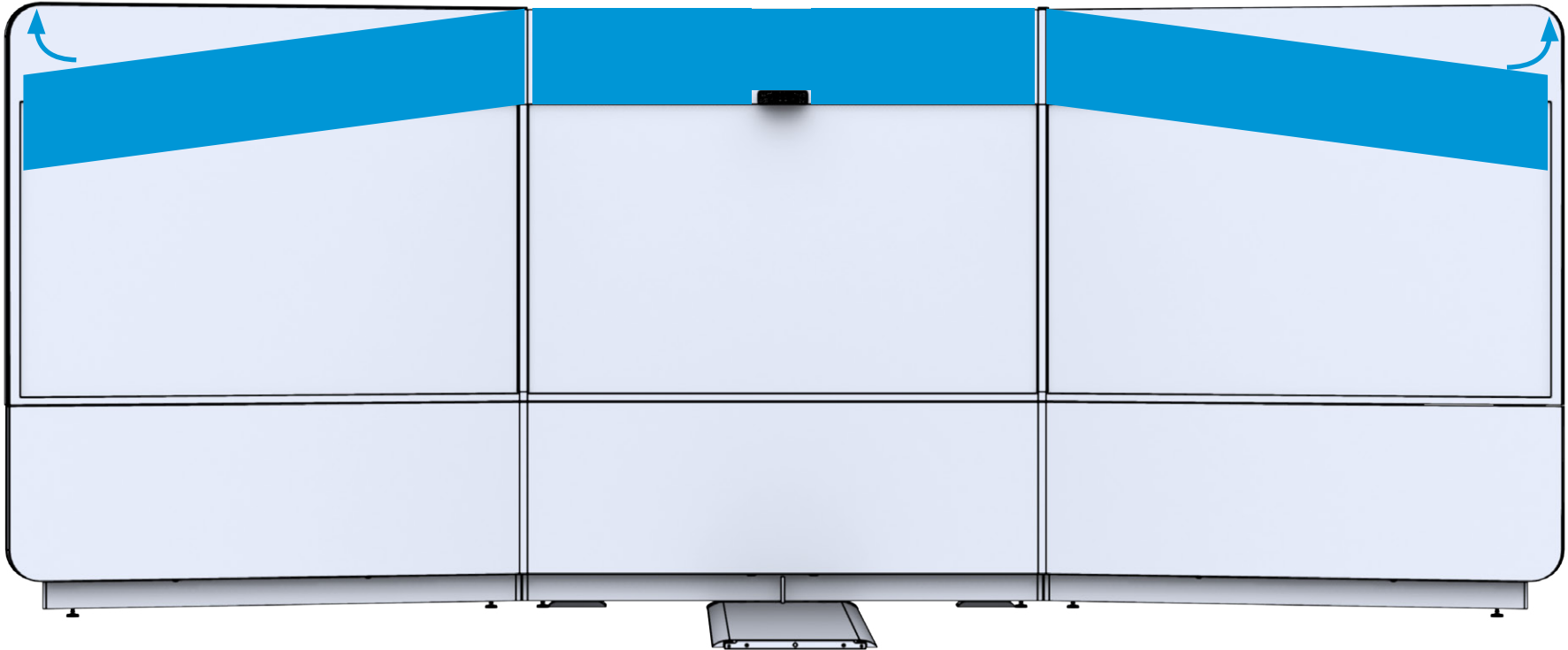
10 ファスキアの下に行き、右下と左下のトリム アセンブリの間にある 2x 下側トリム結合部がはまっているかテストします。トリム アセンブリ間のギャップと一致する、最もはまっているトリム結合部 (狭い 700-47507-xx、中程度 700-47506-xx、広い 700-47505-xx) を使用します。2x M4 ナット 49-0420-xx で固定します。さまざまなギャップに合わせてトリム結合部を組み合わせることができます (たとえば片側には広いものを、反対側には狭いものを使用するなど)。トリム結合部を接続するために、ファスキアを取り除く必要はありません。



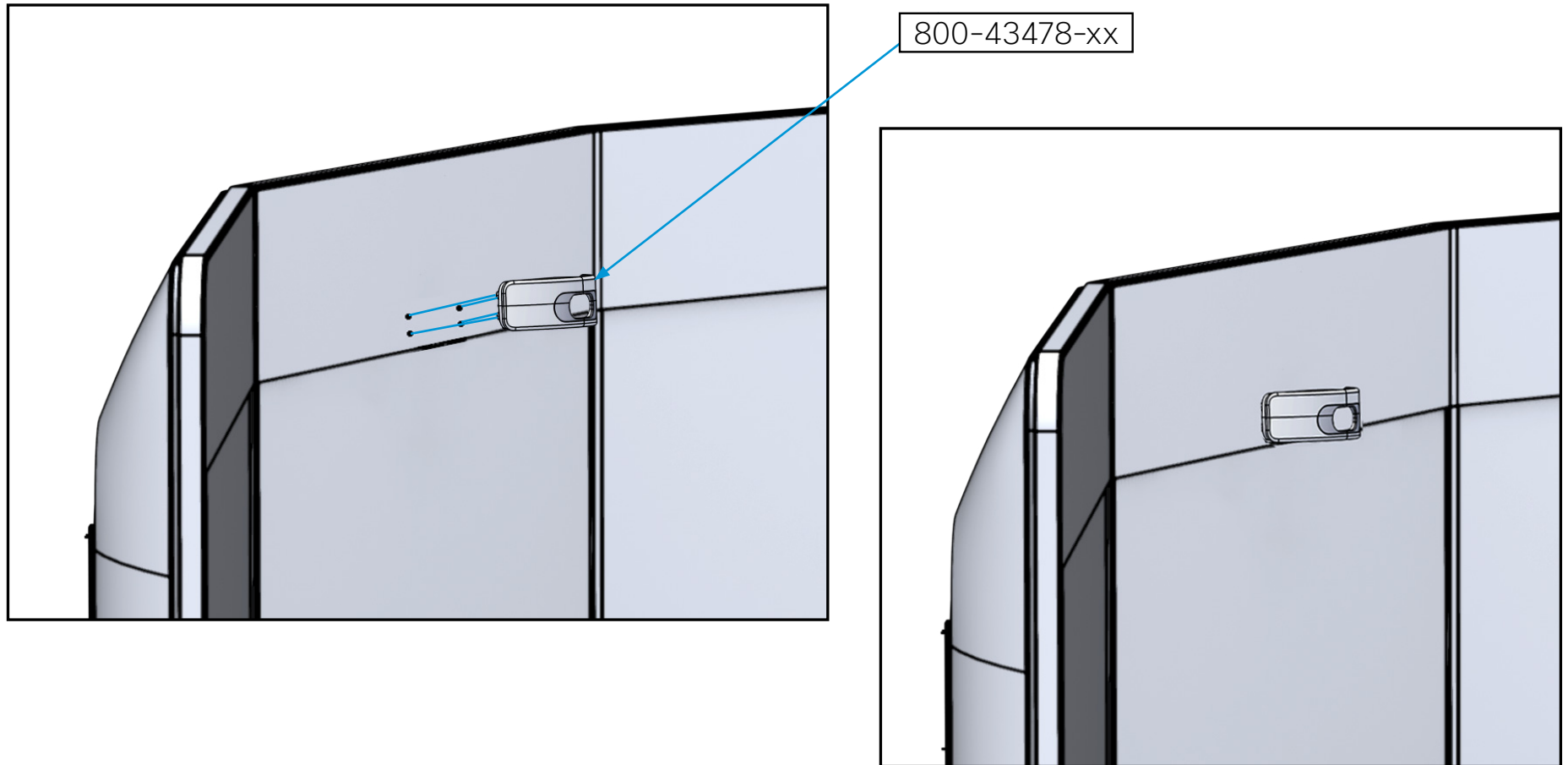
11a 上側ファスキア 74-12905-xx を設置します。2 名で行い、この手順のアクセサリ キットに含まれる手袋を着用します。
a. 上側ファスキアを開き始めますが、完全に開かないでください。ファスキアでカメラのカットアウトをカメラに合わせ、上側ファスキアをカメラの上に置きます。ファスキアの位置合わせリップを中央ディスプレイ上の受け側スロットにはめ込み、マグネットがファスキアをフレームに接続したことを確認してください。b. 上側ファスキアを垂直に合わせます。上側ファスキアの上部リップを、水平クロスバーで作成されたディスプレイ フレームのシート メタル棚の上に置きます。



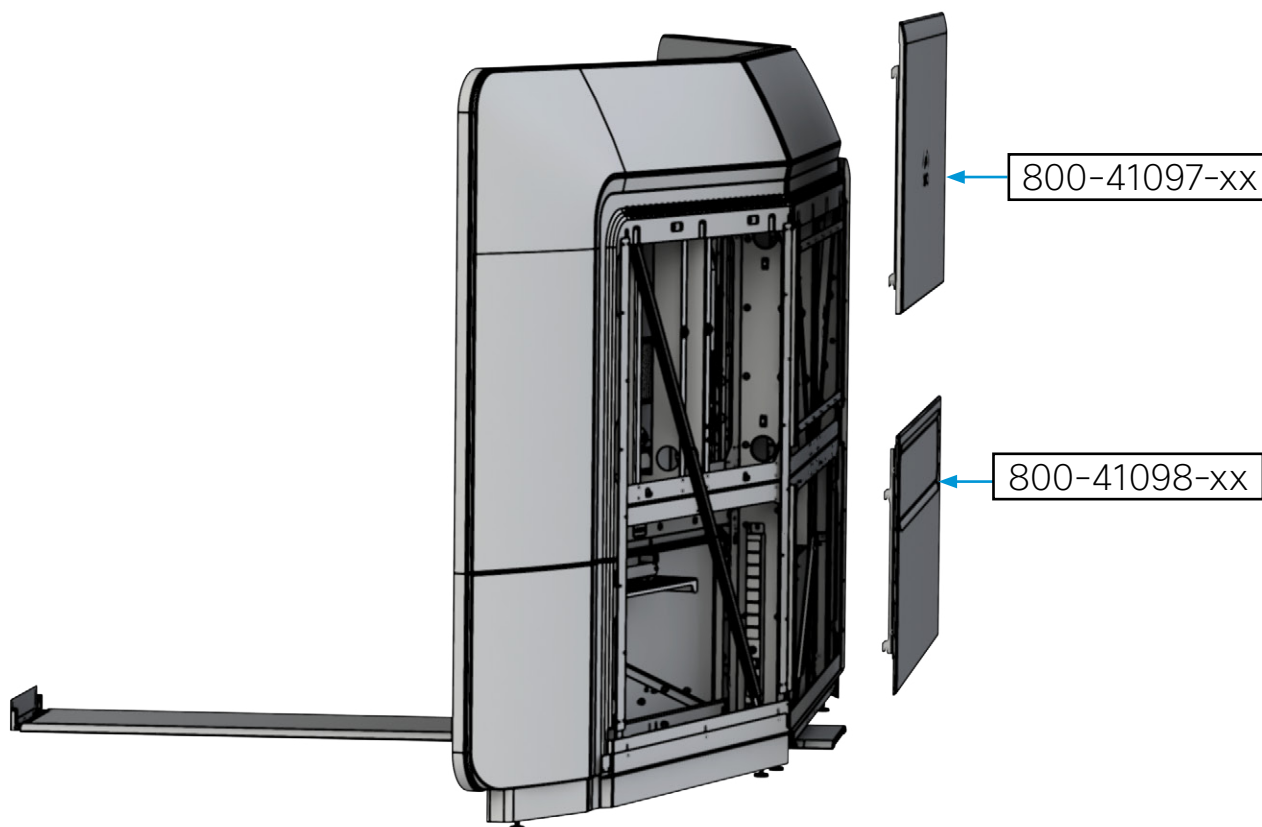
11b c. 上側のファスキアの側面を 1 つずつ開き、マグネットとシート メタル タブをファスキアの上側位置合わせポイントにはめ込みます。



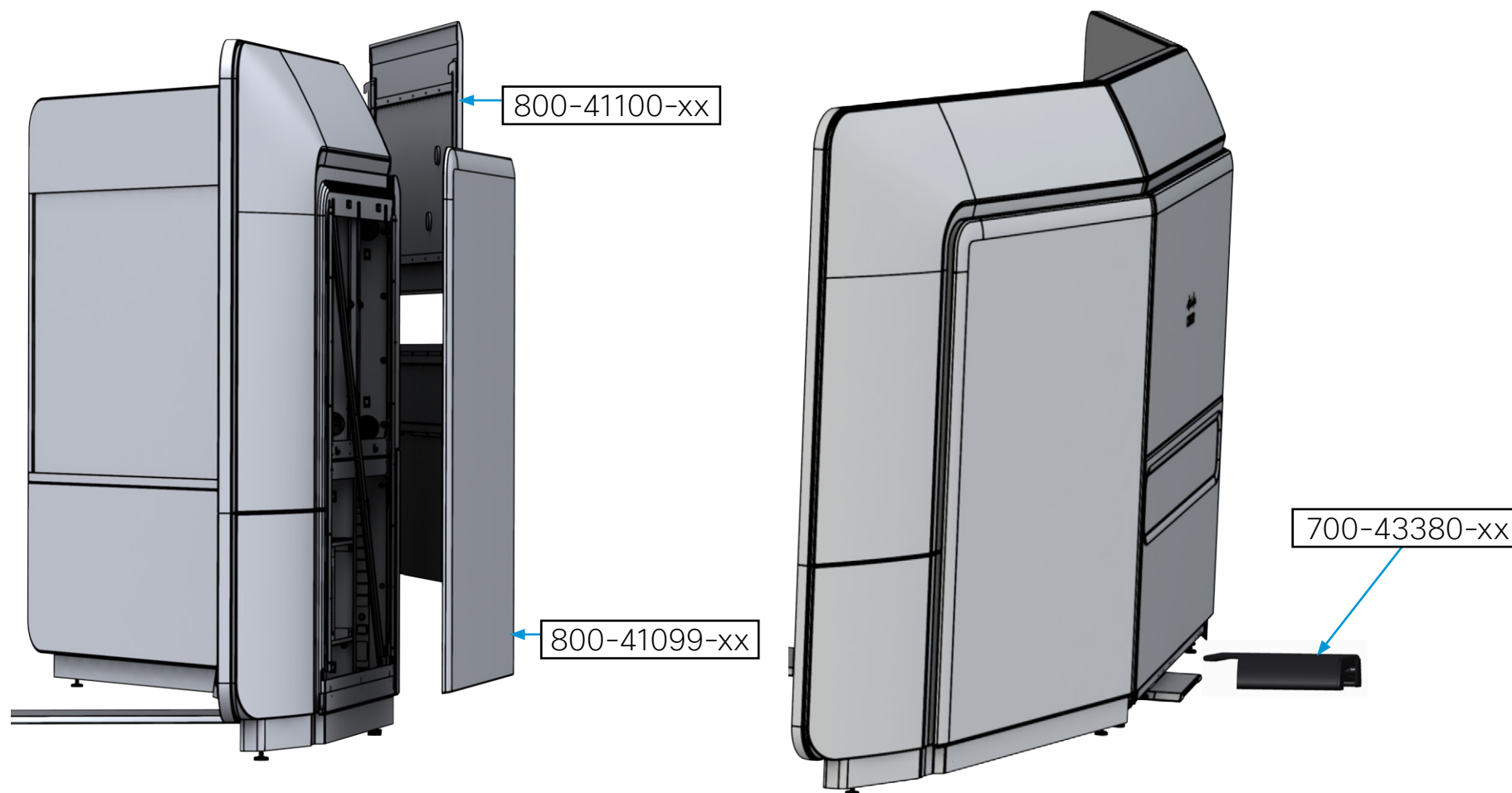
12 上側ファスキアの穴とエンドポイント構造に配置し、カメラ レンズ フード 800-43478-xx をカメラの周りに取り付けます。



13 上側および下側中央 PET パネルを取り付けます。この作業中は手袋を着用してください。a. 下側中央 PET パネル 800-41098-xx を取り付けます。この手順は、パネルと壁の間に十分なスペースがある場合は 1 人で行えますが、そうでない場合は、2 人で取り付ける必要があります。パネルでシート メタル フックをフレームのスロットにはめ込み、パネルが完全に収まるようにゆっくりと下向きに押しします。b. アシスタントとともに、上中央の PET パネル 800-41097-xx をパネルのシート メタル フックからフレームのスロットにはめ込んで取り付け、パネルが完全に固定されたことを確認します。



14 c. 手袋を着用したまま、中央 PET パネルと同じ手順を使用して、右側の PET パネル 800-41099-xx、および左 PET パネル 800-41100-xx を取り付けます。その後、背面ケーブル ランナー カバー 700-43380-xx を、カバーの背面部分のピンに注意してケーブル キャップ背面に置きます。



耐震ブラケットの取り付け

必要な部品

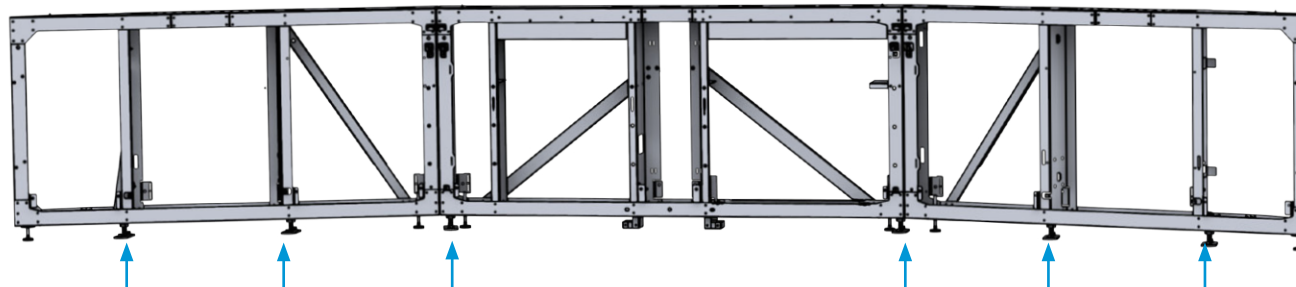
次を含む耐震ブラケット キット 69-100167-01:

- ・ 6x ドリル テンプレート 78-100395-xx
- ・ 6x アンカー ブラケット 700-46833-xx
- ・ 1x 1/2 インチのドリル ビット 51-101126-xx
- ・ 12x 3/8 x 2 インチのドロップイン アンカー 51-101122-xx
- ・ アンカー設定ツール 51-101124-01
- ・ 12x 3/8 x 1 インチの六角ボルト キャップ ネジ 48-101180-xx
- ・ 12x 3/8 インチのワッシャ 48-100249-xx
- ・ 4x 強化ブラケット 700-46832-xx
- ・ 24x M8x16 mm ネジ 48-3012-xx
- ・ 12x 3/4 インチの六角ナット 49-100247-xx
- ・ 12x 3/4 インチのワッシャ 49-100246-xx
- ・ 24x 48-3012-xx 黒 M8 ネジ
- ・ 12x くさび形アンカー 51-101201-xx (施設または建物のマネージャの承認が必要な割れたコンクリートの物質に使用可)
- ・ くさび形アンカー用 2x 3/8 インチ ドリル ビット 51-101125-xx

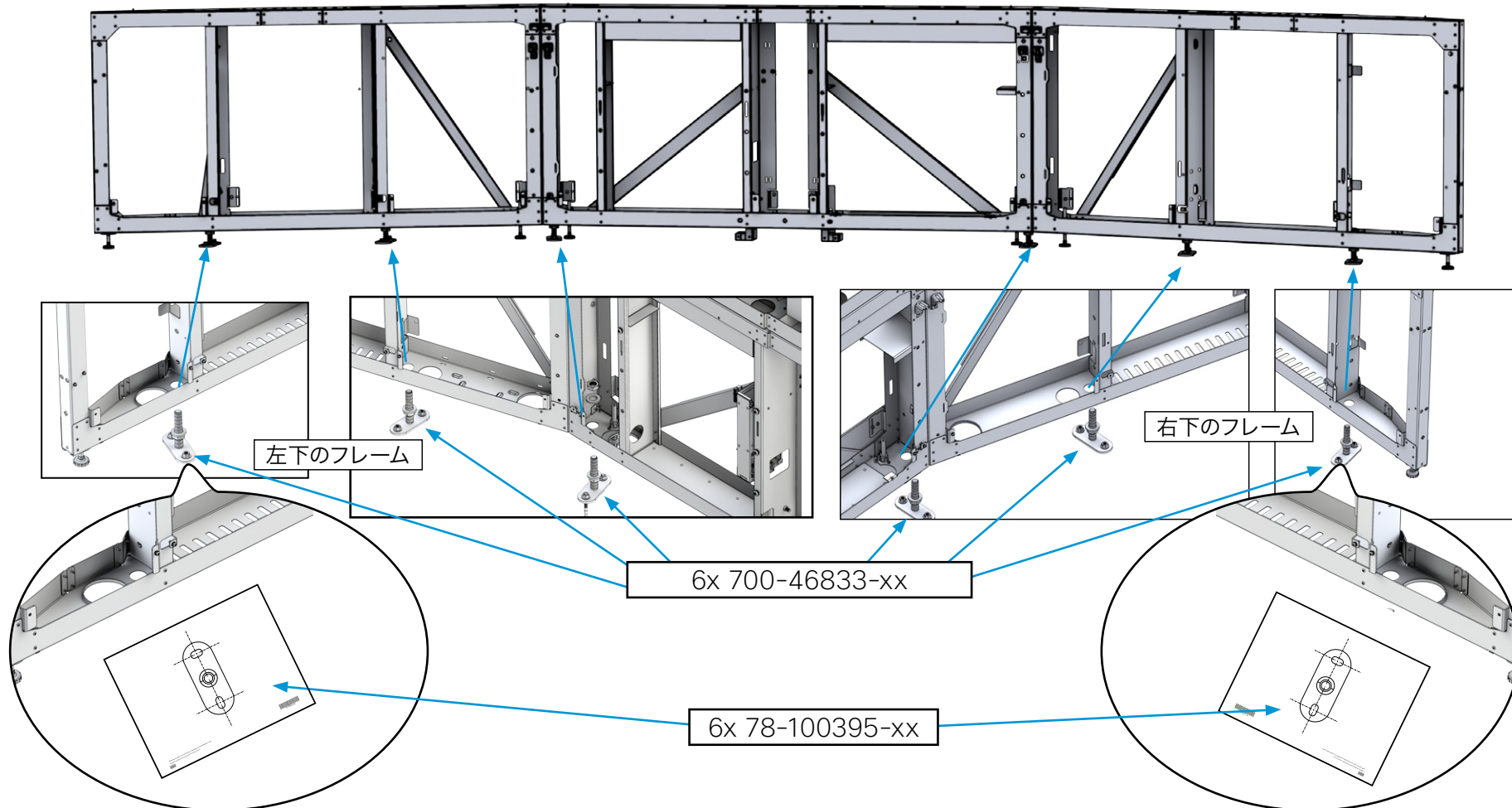
必要な工具

- ・ #3 プラス ドライバ
- ・ 電気ドリル
- ・ 1 1/8 インチ (29 mm) のスパナまたはボックスエンド レンチ、あるいはモンキー レンチ
- ・ 75 フィート ポンド (102 N-m) 以上の容量のトルク レンチ
- ・ 9/16 インチまたは 15 mm のソケット
- ・ メジャー
- ・ ドリルで空けた穴をクリーニングする圧縮空気源 (缶入り圧縮空気も可)

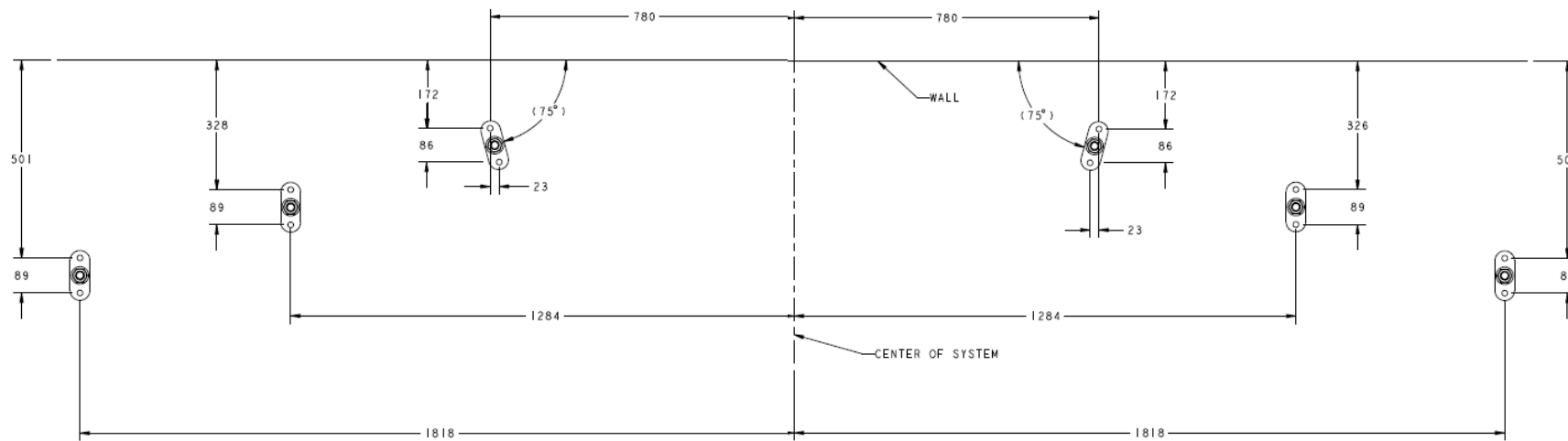
注: 提供されたドロップイン アンカーは割れていない、または割れやすくない床で使用するために設計されています。設置がこれらの条件を満たさない場合、施設や建物のマネージャに相談し、適切なコンクリート用アンカーを入手してください。これらのアンカーはすべて、国内、地域、および自治体の建築基準法に従う必要があります。



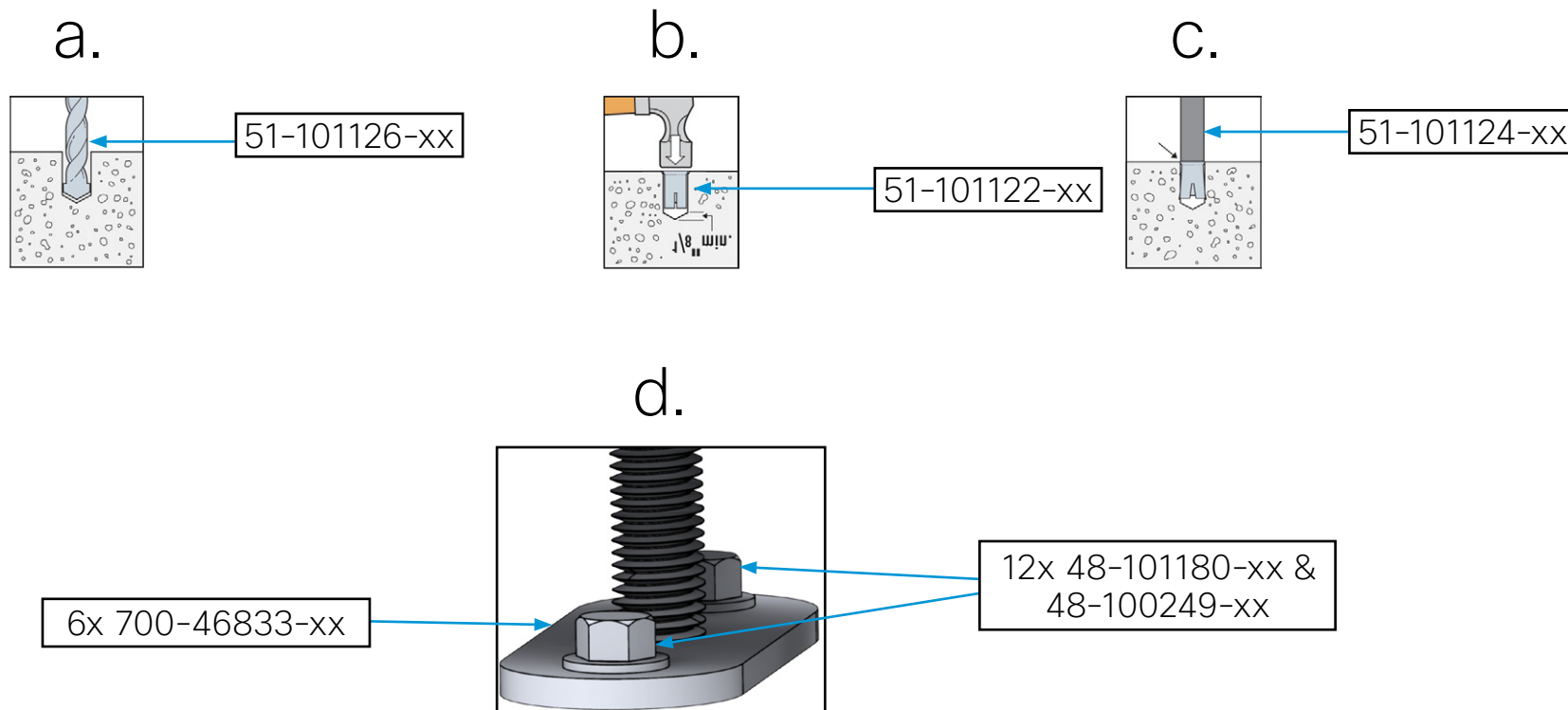
- 1 アンカー ブラケットのドリル位置をマークします。a. 下側のディスプレイ フレームを組み立て、部屋の最終的な設置場所にフレームを配置します。b. 図で示した穴の下に 6x ドリル テンプレート 78-100395-xx を床に置き、6x アンカー ブラケット 700-46833-xx をテンプレート上に置き、フレームの穴に取り付けます。c. テンプレートをアンカー ブラケットに合わせ、移動しないようにテンプレートをテープで床に固定します。d. アンカー ブラケットとディスプレイ フレームを取り除き、テンプレートを残します。



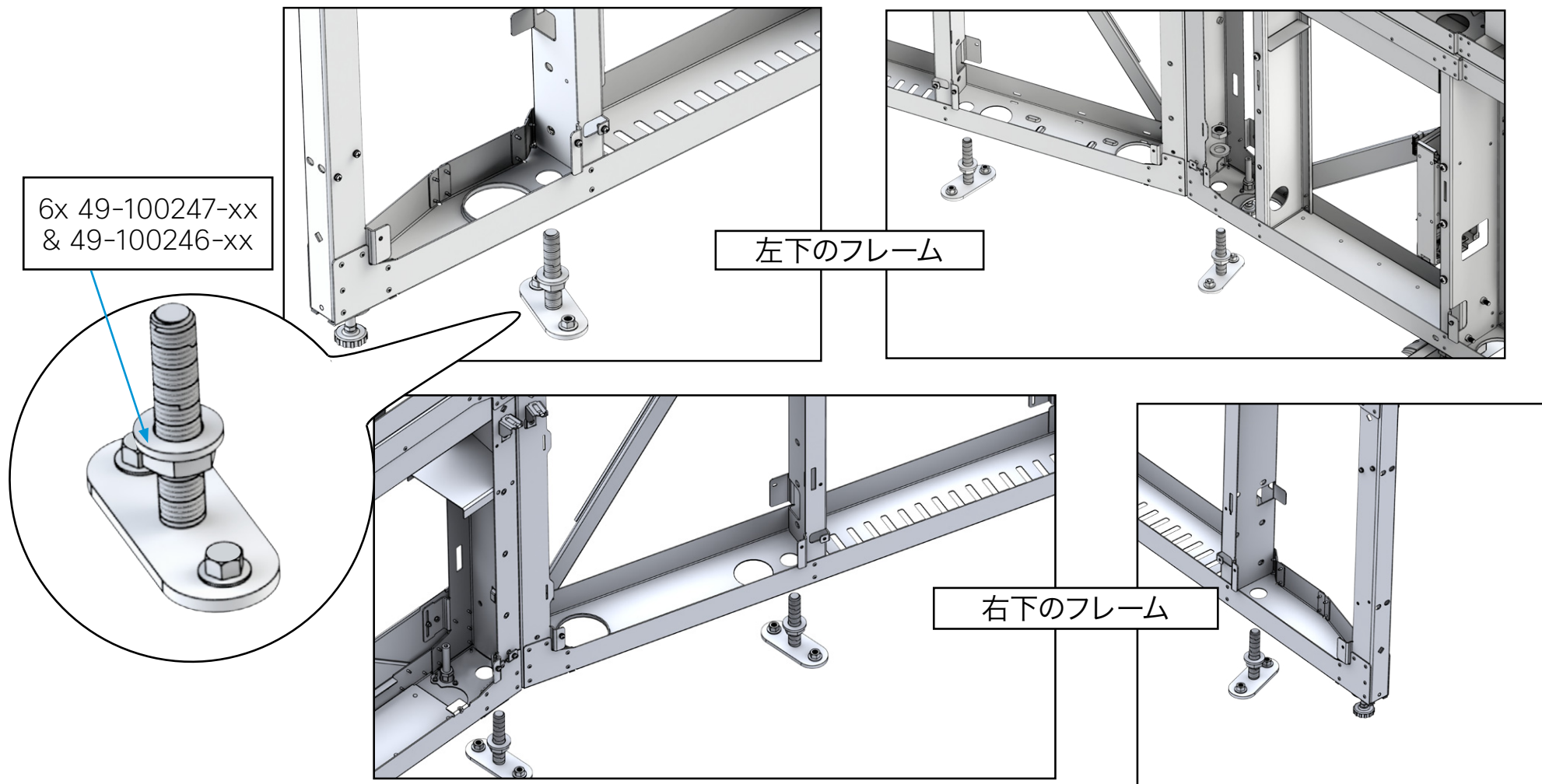
アンカー ブラケットのドリル位置 (原寸に比例していません)



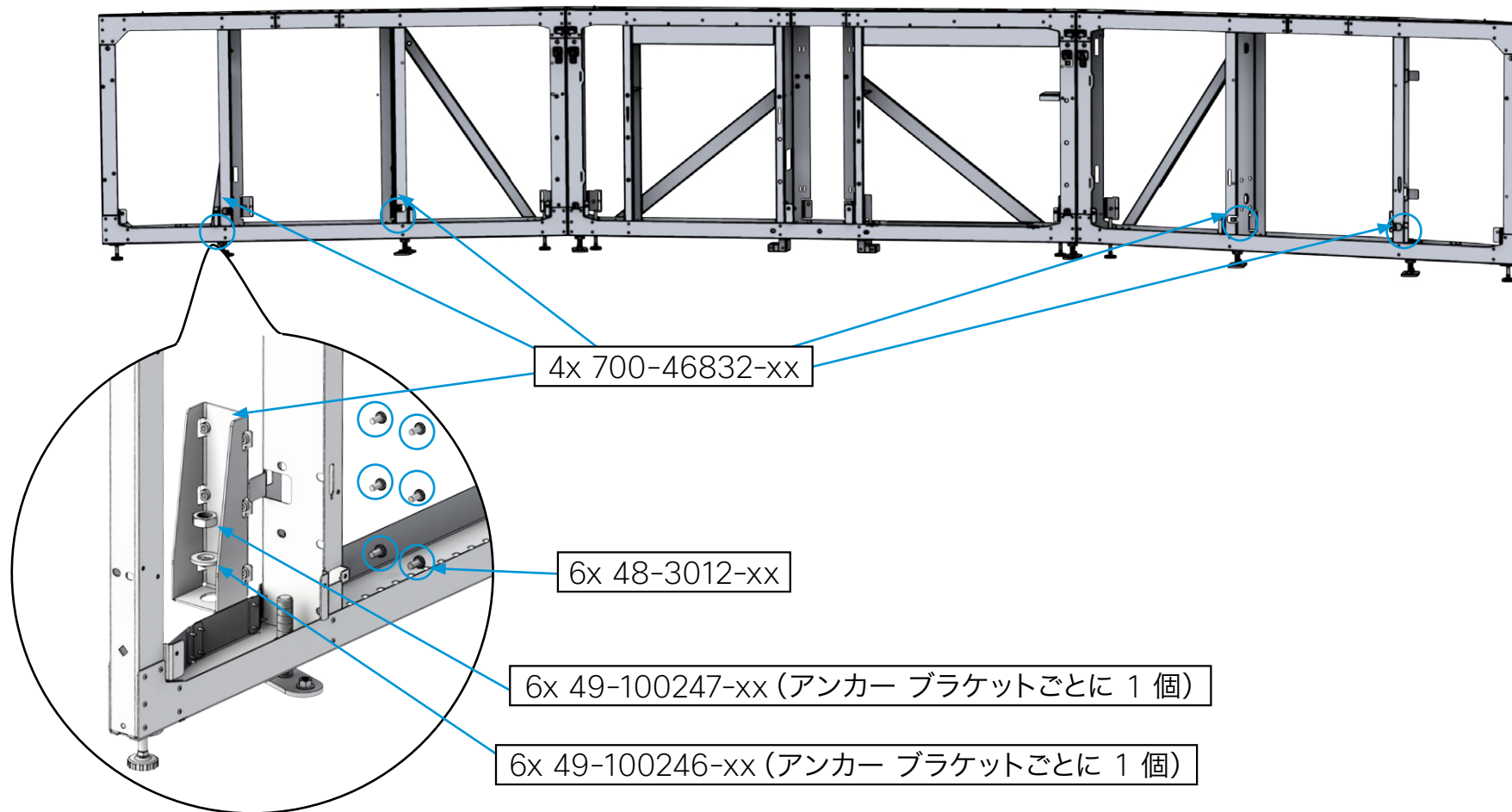
2 6x ドロップイン アンカー 51-101122-xx をドリルして配置し、次の手順でアンカー ブラケットを床に装着します。a. 1/2 インチのドリル ビット 51-101126-xx を最低 1 5/8 (41 mm) 深く穴をあけ、圧縮空気で穴を洗浄します。テンプレートを取り除きます。b. アンカーの上部が表面にぴったり重なるまで、穴にアンカーを挿入します。c. アンカー設定ツール 51-101124-xx を使用して、設定ツールの肩部分がアンカー上部と接触するまで、アンカーを地面に打ち込みます。d. アンカー ブラケット 700-46833-xx をアンカー上に置き、ワッシャ 48-100249-xx 付きの 12x 3/8 x 1 インチの六角ボルト キャップ ネジ 48-101180-xx を挿入します。この時点ではキャップ ネジは緩めたままにします。



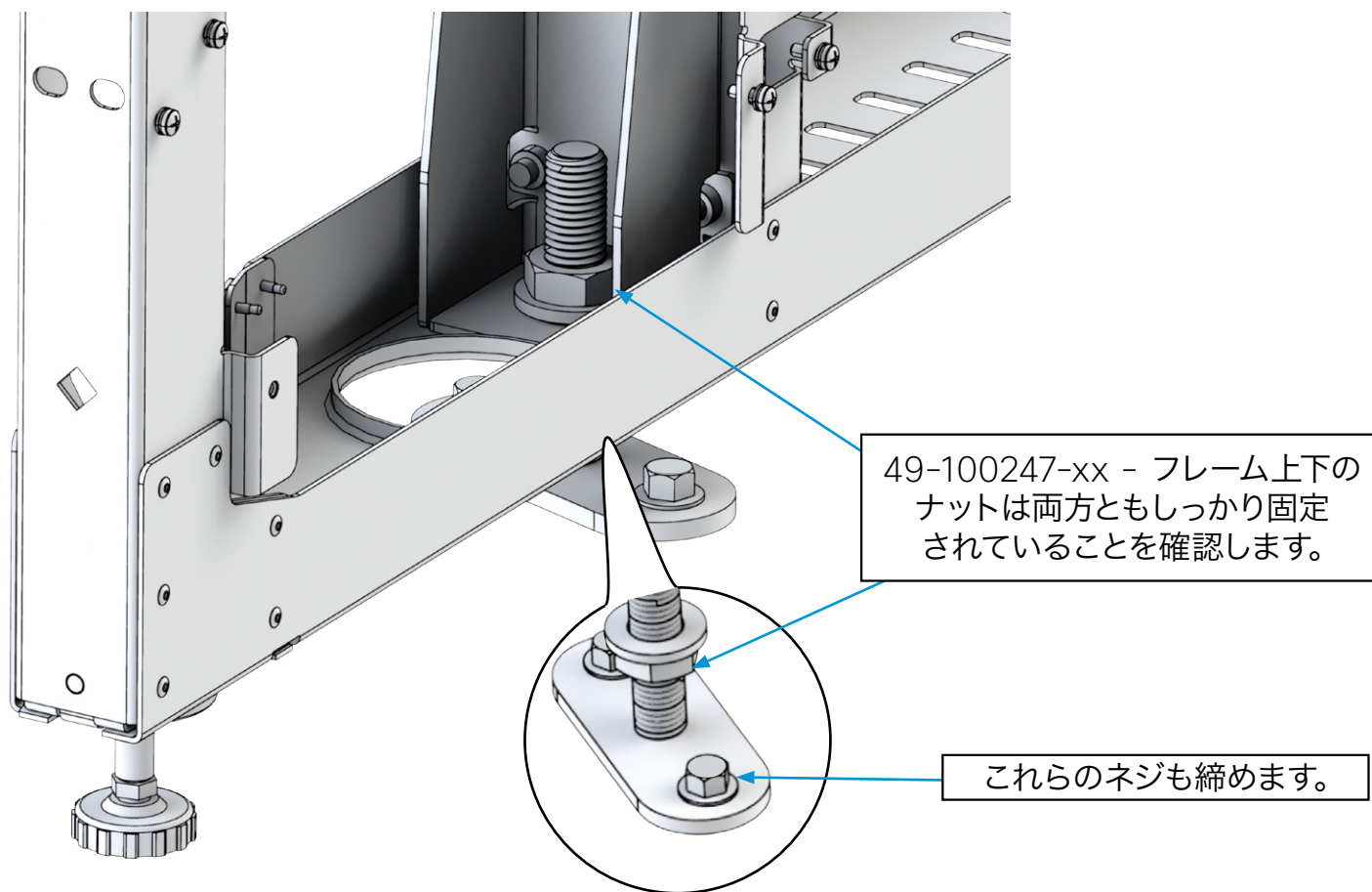
- 3 a. 各アンカー ブラケットにワッシャ 49-100246-xx 付きの 3/4 インチ六角ナット 49-100247-xx をスレッドで装着します。フレーム上下に十分なスペースを残し、ネジを固定します。 b. アンカー ブラケット上に下部フレームを配置します。



4 a. ブラケットごとに 6x M8x16 mm ネジ 48-3012-xx を使用して、ディスプレイ フレームに 4x 強化ブラケット 700-46832-xx を装着します。#3 のプラス ドライバを使用して、ネジを締めます。 b. 各ブラケットに 1x ワッシャ 49-100246-xx と 1x 六角ナット 49-100247-xx を取り付けます。この時点ではナットは緩めたままにします。これらはディスプレイが設置され、システムの垂直をとった後に締めます。



- 5 ディスプレイ フレームの水平と垂直をとった後、2本の 1 1/8 インチ (29 mm) レンチまたはモンキー レンチを使用して 3/4 インチのナットを締めます。フレームの下のナットも固定されていることを確認します。また、9/16 インチ (15 mm) のレンチで六角ボルト キャップのネジ 48-101180-xx を締めます。残りの 5 個のブラケットについても繰り返します。

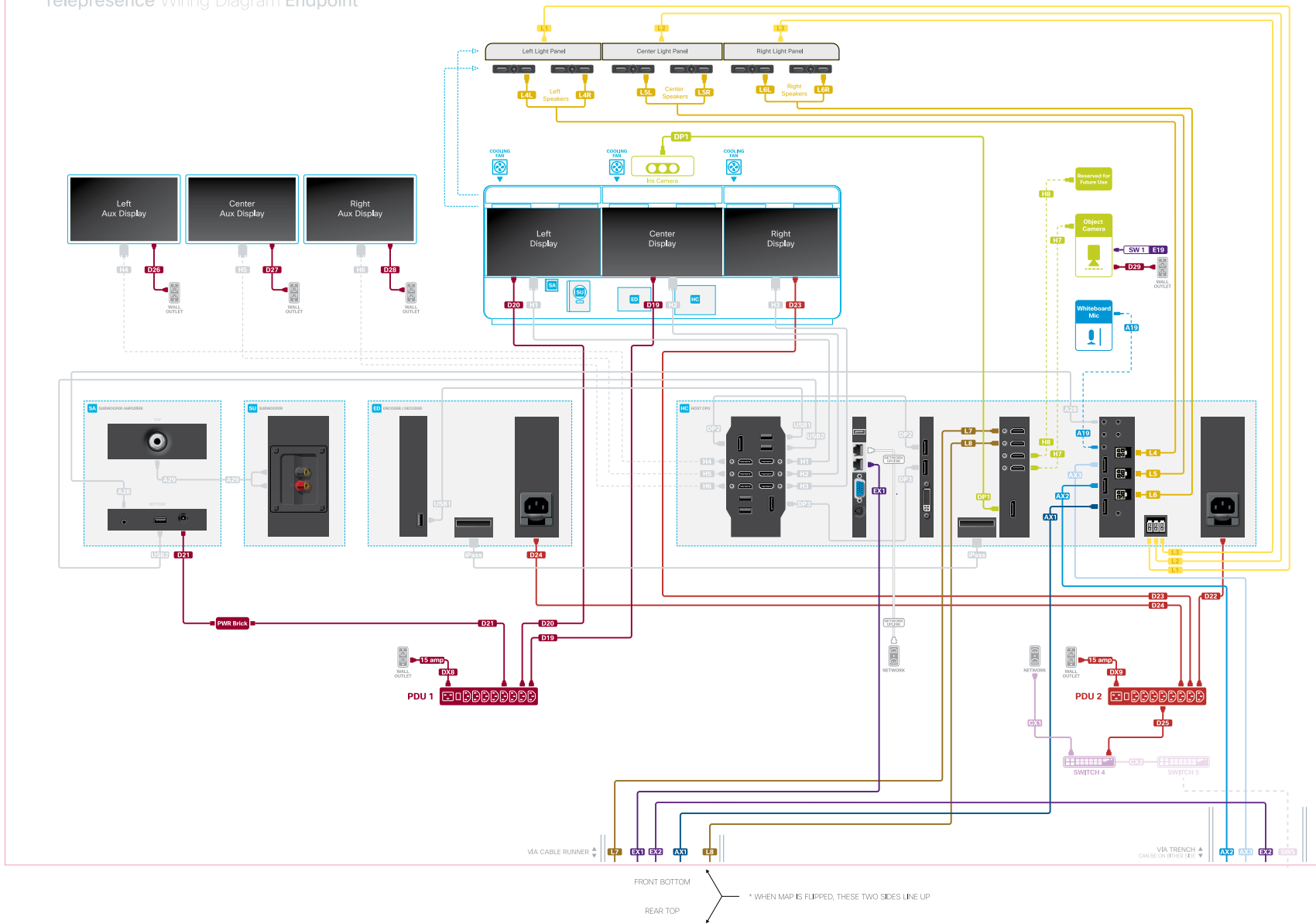


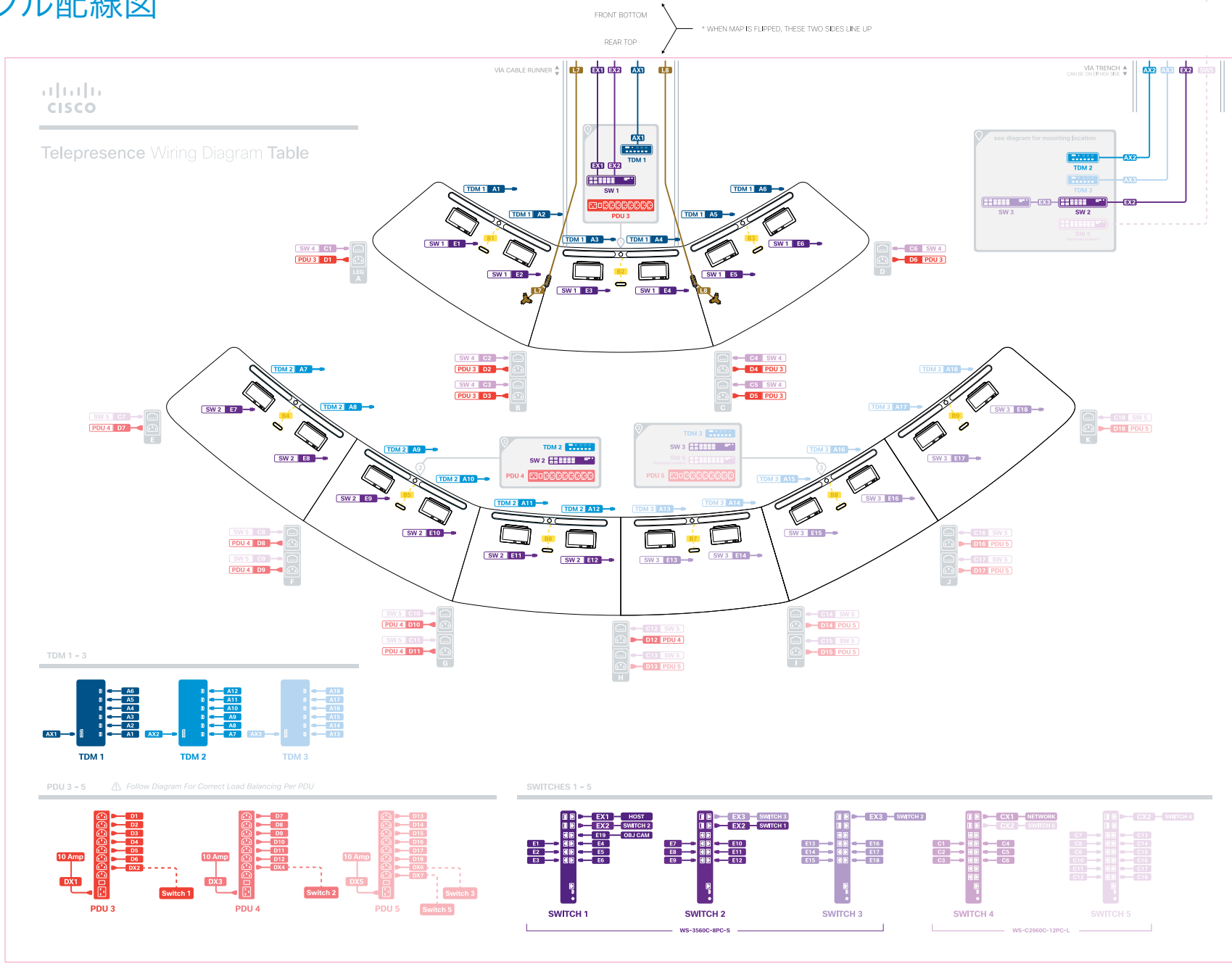
ケーブル配線図

この章では、システムのケーブル配線図を示します。



Telepresence Wiring Diagram Endpoint





©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先:シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>